



HAMMOND

Model XE-1



取扱説明書
OWNER'S PLAYING GUIDE



安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

| | | |
|---|--------------------------------------|---|
|  | 注 意 感電の恐れあり キャビネットをあけるな |  |
| 注意: 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。修理は、専門のサービス員に依頼してください。 | | |



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

●この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



●この機器を分解したり、改造したりしないでください。



●修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず専門のサービス員に相談してください。



●次のような場所での使用や保存はしないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿気の高い所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



●電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。



警告

- 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつきます。



- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。



- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。



- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードなどを取り外し、専門のサービス員に修理を依頼してください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

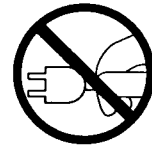


注意

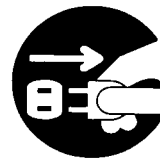
- この機器は、正常な動作が妨げられることのない所に設置して、使用してください。



- 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。



- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。





使用上のご注意

HAMMOND ORGAN

●使用環境のご注意

直射日光の当たるところ、暖房機具のすぐ近く、湿気やホコリの多いところでの使用は避けてください。この製品は、常温の屋内で使用するよう設計されています。屋外で使用される場合には、1) 雨が降らない場所、2) 強風が吹かない場所、3) 極端な温度変化のない場所に設置してください。

●据付場所のご注意

設置、据付の前に取扱説明書をよくお読みください。

平らで安定した場所への設置、据付をしてください。不安定な場所への設置、据付は絶対にしないでください。火災、地震の際にはオルガンに近づかないようにしてください。

●使用される前のご注意

使用される前には必ず取扱説明書をお読みください。

電源コードは、定格電圧100V 50/60Hzの電源プラグにしっかりと差し込んで使用してください。

コードをひっぱって抜かないで、必ず根元の部分を持って抜いてください。

電源コードを電源プラグに差し込む場合には、必ず本体の電源をオフにしてください。また濡れた手で電源コードをさわりますと、感電する恐れがありたいへん危険です。

長期間で使用にならない場合には、電源コードを電源プラグから抜いておいてください。

外部機器（例えばレスリースピーカー、MIDI機器）を接続して使用する場合にも、必ず本体の電源をオフにしてください。接続するレスリースピーカー、MIDI機器の電源もオフにしてください。

●用途以外の使用禁止

本機の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

転倒や落下の恐れがありたいへん危険です。

●使用方法

取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

本体、各種装備、または内部電子部品を改造しないでください。

もし改造された場合は非常に危険です。正常動作の保証はいたしません。

●保守

キャビネット、鍵盤等を汚れていない乾いた布などでふき、本機を常に清潔にしてください。

アルコール、ベンジン、シンナー等は製品をいためる恐れがあります。

●異常時の処置

異音、異臭等が発生した場合には、本体の電源を切り、すみやかに専門のサービス員に点検を依頼してください。絶対に内部の電子機器に触れないでください。感電する恐れがあります。

ごあいさつ

このたびは、ハモンドオルガン XE-1をお選びいただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

XE-1は1934年ローレンス・ハモンドにより1号機モデルA型を発表して以来、60年余りもの間、世界中の多くのミュージシャンに愛用され、様々なミュージックシーンで演奏されつづけてきた伝統のハモンドサウンドを新開発VASE II+DRBシステムで再現し、最新のDSPテクノロジーによって誕生したデジタル・レスリーを搭載した新世代のハモンドオルガンです。本製品はお好みのオルガン・サウンド作りからMIDIコントロールにいたるまでの多機能にもかかわらず、コンパクトかつ使いやすく設計された製品です。

21世紀にむけてより多くの演奏者にハモンドサウンドを愛していただくことを願ひ、XE-1をお届けいたします。

XE-1の優れた機能を十分に発揮いただき、末永くご愛用いただくため、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

株式会社 鈴木楽器製作所

- 目 次 -

| | | | |
|---|-----------|---------------------------------------|-----------|
| イントロダクション | 1 | ミキサーモードページ4 | 14 |
| 基本接続 | 1 | MENU(メニュー)モード | 14 |
| 電源の接続 | 1 | MENU(メニュー)モードページ1 | 14 |
| オーディオ接続 | 1 | MENU(メニュー)モードページ2 | 15 |
| アンプへの接続 | 1 | MENU(メニュー)モードページ3 | 16 |
| レスリースピーカーの接続 | 1 | MENU(メニュー)モードページ4 | 16 |
| フットスイッチの接続 | 2 | 「ショートカット」 | 17 |
| EXP-100シリーズエクスプレッションペダルの接続 | 2 | 「ジャンプ」タッチタブ | 17 |
| XPK-100MIDIペダルボードの接続 | 2 | DISK(ディスク) | 18 |
| XLK-1MIDIキーボードの接続 | 2 | DEMO(デモ) | 18 |
| XPK-100用またはXLK-1用の電源の接続 | 2 | MIDI(ミディ) | 18 |
| XPK-100およびXLK-1のXE-1への接続電源の接続 | 3 | CONTROL(コントロール) | 18 |
| 他のMIDI接続 | 3 | EASYREC(イージーレコード) | 18 |
| 外部音源の接続 | 3 | SEQMENU(シーケンサーメニュー) | 18 |
| マイクロホンのXE-1への接続 | 3 | | |
| パソコンのXE-1への接続 | 3 | ドローバーとパーカッション | 19 |
| ヘッドホンの接続 | 3 | マニュアルドローバー | 19 |
| 基本接続図 | 4 | 標準ドローバーレジストレーションパターン | 20 |
| 基本コントロール | 6 | フルト系 | 20 |
| ON/OFFPOWER(電源)スイッチ | 6 | リード系 | 20 |
| MASTERVOLUME(主音量)スライダー | 6 | ダイアペyson系 | 21 |
| ディスプレイ | 6 | ストリング系 | 21 |
| ドローバー | 7 | ペダルドローバー | 22 |
| タッチタブ | 7 | DRAWBARON/OFF(ドローバーON/OFF)タッチタブ | 22 |
| タッチボタン | 7 | DRAWBARSUSTAIN(ドローバーサステイン)タッチタブ | 22 |
| セレクトタッチボタン | 7 | DRAWBAR(ドローバー)機能画面 | 23 |
| タッチON/OFFタッチボタン | 7 | DRAWBAR(ドローバー)機能画面-ページ1 | 23 |
| タッチボタンを押し続ける | 8 | PART(パート) | 23 |
| テンポつまみ | 8 | OCTAVE(オクターブ) | 24 |
| その他のコントロール | 8 | DRAWBAR(ドローバー)機能画面-ページ2 | 24 |
| ディスクドライブ | 8 | PART(パート) | 24 |
| CompactFlash(コンパクトフラッシュ)カードスロット | 8 | VOICE(ボイスモード) | 24 |
| PITCHBEND(ピッチベンド)と | | ATTACK(アタック) | 24 |
| MODULATION(モジュレーション)ホイール | 9 | FOLDBACK(フォールドバック) | 25 |
| PITCHBEND(ピッチベンド) | 9 | PERCUSSION(パーカッション) | 25 |
| MODULATION(モジュレーション) | 9 | SECONDHARMONIC(セカンドハーモニック) | 25 |
| 重要お読みください | 9 | THIRDHARMONIC(サードハーモニック) | 25 |
| SPLITON(スプリットオン)タッチタブ | 9 | FASTDECAY(ファーストディケイ) | 25 |
| PEDALTOLOWER(ペダル・トゥ・ロワー)タッチタブ | 9 | SOFT(ソフト) | 25 |
| | | PERCUSSION(パーカッション)編集ページ | 26 |
| ディスプレイ | 10 | VOLUME(ボリューム) | 26 |
| タッチボタン | 10 | TOUCH(タッチ) | 26 |
| 番号付きタッチボタン | 10 | VELOCITY(ペロシティー) | 27 |
| PAGEUP(ページアップ)と | | KEYTRAK(キートラッキング) | 27 |
| PAGEDOWN(ページダウン)タッチボタン | 10 | DRAWBARCANCEL(ドローバーキャンセル) | 27 |
| MENU/EXIT(メニュー/戻る)、 | | DRAWBARLEVEL(ドローバーレベル) | 27 |
| PLAY(プレイ)、DISPLAYHOLD(ディスプレイホールド) | | ドローバーのみにかかる効果 | 28 |
| とPART/EDIT(パート/エディット)タッチボタン | 10 | VIBRATO(ビブラート)とCHORUS(コーラス) | 28 |
| MENU/EXIT(メニュー/戻る) | 10 | ビブラート/コーラスON/OFF | 28 |
| PLAY(プレイ) | 10 | V1-(スモールビブラート) | 28 |
| DISPLAYHOLD(ディスプレイホールド) | 11 | V2-(ワイドビブラート) | 28 |
| PART/EDIT(パート/エディット) | 11 | V3-(フルビブラート) | 28 |
| ディスプレイモード | 11 | CHORUS(コーラス) | 28 |
| プレイモード | 11 | C1-(スモールコーラス) | 28 |
| ミキサーモード | 12 | C2-(ワイドコーラス) | 28 |
| ミキサーモードページ1 | 12 | C3-(フルコーラス) | 28 |
| ミキサーモードページ2 | 13 | VIBRATO(ビブラート)編集ページ | 29 |
| ミキサーモードページ3 | 13 | VIBRATORATE(ビブラート速度) | 29 |
| | | LESLIE(レスリー) | 30 |
| | | LESLIE(レスリー)タッチタブ | 30 |

| | | | |
|---|-----------|--|-----------|
| LESLIEON(レスリーオン) | 30 | SUSTAIN(サステイン)機能画面-ページ2-サステイン有効 | 49 |
| LESLIEFAST(レスリーファースト) | 30 | CHORUS(コーラス) | 49 |
| LESLIE(レスリー)編集ページ | 30 | CHORUS(コーラス)機能画面 | 49 |
| LESLIE(レスリー)編集-ページ1 | 31 | MODE(モード) | 50 |
| SPEED(スピード) | 31 | DEPTH(デプス) | 50 |
| TIME(タイム)-立ち上がりおよび立ち下がり時間 | 31 | CHORUS(コーラス)ミキサーメニュー | 51 |
| BRAKE(ブレーキ)-停止時間 | 32 | CHORUS(コーラス)ミキサーメニュー-ページ1 | 51 |
| OFFTYPE(オフタイプ) | 32 | KEYBOARDSPLIT(キーボードスプリット) | 52 |
| LESLIE(レスリー)編集-ページ2 | 33 | XE-1のアップパーとロワー鍵盤 | 52 |
| VOLUME(ボリューム) | 33 | SPLITON(スプリット・オン)タッチタブ | 52 |
| MICSETTING(マイクロホン設定) | 33 | SPLIT(スプリット)機能画面 | 52 |
| ANGLE(アングル) | 33 | タッチボタンによるスプリットポイントの変更 | 53 |
| DISTANCE(ディスタンス) | 33 | 鍵盤によるスプリットポイントの変更 | 53 |
| レスリースピーカーキャビネットを使う | 34 | SINGLE(シングル)およびDOUBLE(ダブル)モード | 53 |
| SUSTAIN(サステイン) | 34 | RHYTHM&EASYPLAY(リズムと自動伴奏) | 55 |
| UPPERDRAWBARSUSTAIN(アッパードロバーサステイン) | 34 | RHYTHMS&STYLES(リズム&スタイル) | 55 |
| LOWERDRAWBARSUSTAIN(ロワードロバーサステイン) | 34 | リズムカテゴリー | 55 |
| PEDALDRAWBARSUSTAIN(ペダルドロバーサステイン) | 34 | リズムスタイルの選び方 | 55 |
| OVERDRIVE(オーバードライブ) | 35 | RHYTHMCONTROL(リズムコントロール) | 56 |
| OVERDRIVE(オーバードライブ)編集ページ | 35 | START/STOP(スタート/ストップ) | 56 |
| ボイス・セクション | 36 | TOUCHTEMPO(タッチテンポ) | 56 |
| VOICE(ボイス)タッチタブグループ | 36 | TOUCHTEMPO(タッチテンポ)機能画面 | 57 |
| VOICE(ボイス)ON/OFFタッチタブ | 37 | RHYTHMSTART(リズムスタート) | 57 |
| UPPER(アッパー)1 | 37 | DIVISION(ディビジョン) | 57 |
| UPPER(アッパー)2 | 37 | TOUCHSTART(タッチスタート) | 58 |
| LOWER(ロワー)1 | 37 | INTRO/ENDING(イントロ/エンディング) | 58 |
| LOWER(ロワー)2 | 37 | FILLIN(フィルイン)1および2 | 58 |
| PEDAL(ペダル) | 37 | テンポつまみ | 58 |
| VOICESSETUP(ボイス・セットアップ)タッチタブ | 37 | AUTOBANDORCHESTRA(オートバンドオーケストラ) | 58 |
| UPPER(アッパー)1 | 37 | AUTOBAND(オートバンド)1タッチタブ | 58 |
| UPPER(アッパー)2 | 37 | AUTOBAND(オートバンド)2タッチタブ | 58 |
| LOWER(ロワー)1 | 38 | AUTOBASS(オートベース)タッチタブ | 59 |
| LOWER(ロワー)2 | 38 | MEMORY(メモリー)タッチタブ | 59 |
| PEDAL(ペダル) | 38 | AUTOBAND(オートバンド)機能画面 | 59 |
| 音色の選び方 | 38 | CHORDMODE(コードモード) | 60 |
| SETUP(セットアップ)タッチタブ | 42 | EASYPLAYSYSTEM(イージー・プレイ・システム) | |
| OCTAVE(オクターブ)UP | 42 | コード-SINGLE(シングル)モード | 60 |
| OCTAVE(オクターブ)DOWN | 42 | メジャーコード | 60 |
| VELOCITYTOUCH(ベロシティ・タッチ) | 42 | マイナーコード | 60 |
| SUSTAIN(サステイン) | 42 | セブンスコード | 60 |
| VOICEEDIT(ボイス・エディット)メニュー | 42 | ディミニッシュコード | 61 |
| VOICEEDIT(ボイス・エディット)メニュー-ページ1 | 43 | オーグメントコード | 61 |
| TONE-CUTOFF(カットオフ) | 43 | ONBASS(オンベース) | 61 |
| TONE-RESO(レゾナンス) | 43 | BASSRETRIGGER(ベースリトリガー) | 61 |
| ENVELOPE-ATTACK(エンベロープ・アタック) | 44 | CHORDTRANSFORM(コード変換) | 62 |
| ENVELOPE-DECAY(エンベロープ・ディケイ) | 44 | STYLEEDIT(スタイルエディット)メニュー | 62 |
| ENVELOPE-RELEASE(エンベロープ・リリース) | 44 | STYLEEDIT(スタイルエディット)メニュー-ページ1 | 63 |
| VOICEEDIT(ボイス・エディット)メニュー-ページ2 | 44 | VOICE(ボイス) | 63 |
| PITCH-COARSE(ピッチ・コースチューン) | 44 | STYLEEDIT(スタイルエディット)メニュー-ページ2 | 63 |
| PITCH-FINE(ピッチ・ファインチューン) | 44 | VOLUME(ボリューム) | 64 |
| PITCH-DETUNE(ピッチ・デチューン) | 45 | カスタムスタイルの作成 | 64 |
| VIBRATO-RATE(ビブラート・レート) | 45 | カスタムスタイルの記憶 | 66 |
| VIBRATO-DEPTH(ビブラート・デプス) | 45 | カスタムスタイルの呼び出し | 67 |
| VIBRATO-DELAY(ビブラート・ディレイ) | 45 | MEMORY(メモリー)機能画面 | 67 |
| CUSTOMVOICE(カスタムボイス) | 46 | BUTTONOFF(ボタンオフ)モード | 68 |
| カスタムボイスの作成 | 46 | BUTTONON(ボタンオン)モード | 68 |
| ボイス・セクションのみにかかる効果 | 48 | RHYTHMVARIATIONS(リズム・バリエーション) | 69 |
| SUSTAIN(サステイン) | 48 | AUTOVARI(オートバリ)タッチタブ | 69 |
| SUSTAIN(サステイン)機能画面 | 48 | | |
| SUSTAIN(サステイン)機能画面-ページ1-サステイン長さ | 49 | | |

| | | | |
|--------------------------------------|-----------|------------------------------------|------------|
| AUTOVARI(オートバリ)機能画面 | 69 | REVERB(リバーブ)機能画面 | 94 |
| AUTOVARI(オートバリ)機能画面-ページ1 | 70 | REVERB(リバーブ)機能画面-ページ1 | 94 |
| MODE(モード) | 70 | RHYTHM&VOICEMODE(リズム&ボイス・リバーブモード) | 94 |
| AUTO(オート)モード | 70 | RHYTHM&VOICELEVEL(リズム&ボイス・リバーブレベル) | 95 |
| FILL(フィルイン)モード | 70 | DRAWBARMODE(ドローバー・リバーブタイプ) | 95 |
| PROG-REPEAT(プログラム・リピート) | 71 | DRAWBARLEVEL(ドローバー・リバーブレベル) | 95 |
| AUTOVARI(オートバリ)機能画面-ページ2 | 71 | REVERB(リバーブ)機能画面-ページ1(続き) | 96 |
| AUTOVARI(オートバリ)シーケンスの作り方 | 71 | SES/EQ(サウンド・エクスパンション・システム/イコライザー) | 96 |
| COPY(コピー)とPASTE(ペースト) | 73 | SES/EQタッチタブ | 96 |
| MARK(マーク)とJUMP(ジャンプ) | 75 | SES/EQ機能画面 | |
| RHYTHMEDIT(リズムエディット)メニュー | 75 | SES/EQ機能画面-ページ1 | 97 |
| RHYTHMEDIT(リズムエディット)メニュー-ページ1 | 76 | SESステレオ/モノセレクト | 97 |
| CLR/LOAD(クリア/ロード) | 76 | SESエフェクトデプス | 98 |
| TIME(拍子) | 77 | SES/EQ機能画面ページ2と3 | 98 |
| METRMENU(メトロノーム・メニュー) | 77 | EQファンクション | 99 |
| METRONOME(メトロノーム)機能画面 | 77 | EQグループ | 99 |
| TIME(拍子記号) | 77 | EQON/OFF | |
| UPBEAT(裏拍) | 77 | | |
| VOICE(ボイス) | 78 | | |
| RHYTHMEDIT(リズムエディット)メニュー-ページ1(続き) | 78 | 便利な機能 | 100 |
| PATTERN(パターン) | 78 | TRANPOSE(トランスポーズ) | 100 |
| DRUMSET(ドラムセット) | 79 | MANUALDRUM(マニュアルドラム) | 100 |
| NAME(名前をつける) | 79 | MANUALDRUM(マニュアルドラム)機能画面 | 100 |
| SAVE(記憶) | 80 | LOWER(ロワー)ON/OFF | 101 |
| ユーザーリズムの記憶 | 80 | PEDAL(ペダル)ON/OFF | 101 |
| ERASE(消去) | 81 | DRUMVOICELOWER(ロワードラムボイス) | 101 |
| ALLINST(全ての楽器) | 82 | DRUMVOICEPEDAL(ペダルドラムボイス) | 101 |
| QUANTIZE(クオンタイズ) | 82 | VOLUME(ボリューム) | 101 |
| ユーザーリズムの呼び出し方 | 83 | SOUNDEFFECT(サウンドエフェクト) | 102 |
| EASYPLAYSYSTEM | | SOUNDEFFECT(サウンドエフェクト)ボイスメニュー | 102 |
| (イージー・プレイ・システム)タッチタブ | 84 | PROCHORD(プロコード) | 102 |
| PRESETS(プリセット) | 85 | PROCHORD(プロコード)機能画面 | 103 |
| プリセットバンク | 85 | MODE(モード) | 103 |
| プリセットバンクの選び方 | 85 | プロコード使用時のボイスパートについて | 103 |
| セッティングをプリセットに記憶するには | 86 | プロコードボイスの変え方 | 104 |
| COMBI.PRESET(コンビネーションプリセット)機能画面 | 87 | PROCHORD(プロコード)ミキサー | 106 |
| COMBI.PRESET(コンビネーションプリセット)機能画面-ページ1 | 87 | CONTROL(コントロール)機能画面 | 107 |
| プリセットバンクを選ぶ | 87 | CONTROL(コントロール)機能画面-ページ1 | 108 |
| プリセットバンクに名前を付ける | 88 | PBRANGE(ピッチバンドレンジ) | 108 |
| COMBI.PRESET(コンビネーションプリセット)機能画面-ページ2 | 89 | CONTROL(コントロール)機能画面-ページ2 | 108 |
| プリセットを選ぶ | 89 | MODULAT(モジュレーション) | 108 |
| プリセットに名前を付ける | 89 | CONTROL(コントロール)機能画面-ページ3 | 109 |
| COMBI.PRESET(コンビネーションプリセット)機能画面-ページ3 | 90 | EXPRESS-SOURCE(エクスプレッションソース) | 109 |
| パラメーターON/OFFオプション | 90 | CONTROL(コントロール)機能画面-ページ4 | 109 |
| COMBI.PRESET(コンビネーションプリセット)機能画面-ページ4 | 90 | FOOTSW.(フットスイッチ)機能設定 | 109 |
| 送信するMIDIプログラム番号の設定 | 90 | CONTROL(コントロール)機能画面-ページ5 | 110 |
| RHYTHMPRESET(リズムプリセット) | 91 | GLIDE(グライド) | 110 |
| セッティングをリズムプリセットに記憶するには | 91 | CONTROL(コントロール)機能画面-ページ6 | 110 |
| RHYTHMPRESET(リズムプリセット)機能画面 | 92 | DAMPER(ダンパー) | 110 |
| RECALLMODE(リコールモード) | 92 | CONTROL(コントロール)機能画面-ページ7 | 111 |
| RENAME(名前を付ける) | 93 | TOSHORTCUT(ショートカット時間) | 111 |
| 全体にかかる効果 | 94 | DISPLAYTIMEOUT(タイムアウト時間) | 111 |
| REVERB(リバーブ) | 94 | PAN(パン)ミキサーメニュー | 112 |
| REVERB(リバーブ)タッチタブ | 94 | PAN(パン)ミキサーメニュー-ページ1 | 112 |
| | | VELOCITY(ベロシティ)ミキサーメニュー | 112 |
| | | VELOCITY(ベロシティ)ミキサーメニュー-ページ1 | 113 |
| | | MIDI(ミディ) | 114 |
| | | MIDIで出来ること | 114 |

| | | | |
|---------------------------------|-----|---------------------------------|------------|
| MIDIの接続 | 114 | DISKUTIL(ディスクユーティリティ)メニュー | 142 |
| MIDIINとMIDIOUT | 114 | DISKUTIL-FORMAT(フォーマット) | 142 |
| MIDITHRU | 115 | MEDIA(メディア) | 143 |
| オーディオとMIDI接続 | 115 | MODE(モード) | 143 |
| 例1:シンセサイザ | 115 | DISKUTIL-SONG&SETUP(ソング&セットアップ) | 144 |
| 例2:サウンドモジュール | 115 | ディスクまたはカードから曲を読み込む | 144 |
| パソコンを使う | 116 | 曲をディスクまたはカードへ保存する | 146 |
| Macintosh™パソコンへの接続 | 116 | ディスクまたはカードからの曲の消去 | 147 |
| PC-9800シリーズパソコンへの接続 | 117 | ディスクまたはカードからスタイルを読み込む | 148 |
| PC-シリーズパソコンへの接続 | 118 | 読み込まれたスタイルを使う | 149 |
| MIDI機能画面 | 119 | スタイルをディスクまたはカードへ保存する | 149 |
| MIDI機能画面-ページ1 | 120 | 「ディレクトリ」とは | 151 |
| MIDITEMPLATE(テンプレート) | 120 | ディレクトリの作成 | 152 |
| MIDILOCALCONTROL(ローカルコントロール) | 121 | ファイルタイプ | 153 |
| MIDINRPN | 121 | 複合スタイルファイル | 153 |
| MIDI機能画面-ページ2 | 121 | ソングファイル | 153 |
| MIDIノートON/OFFチャンネルの選択 | 121 | ディスクスタイルファイル | 153 |
| MIDI制御チャンネルの選択 | 122 | ニューファイル | 154 |
| MIDI機能画面-ページ3 | 122 | DISKUTIL-CHAINPLAY(チェインプレイ) | 154 |
| AUTOBANDリズム/ベースパートの選択 | 122 | DISKUTIL-WHOLE(ホール) | 155 |
| AUTOBANDリズム/ベースチャンネルの選択 | 122 | WHOLEの保存 | 155 |
| AUTOBAND伴奏パートの選択 | 122 | WHOLEメニュー | 156 |
| AUTOBAND伴奏チャンネルの選択 | 122 | WHOLEの読み込み | 156 |
| EXP.SENDTO(エクスプレッション情報の送信先) | 123 | WHOLEメニュー | 157 |
| MIDI機能画面-ページ4 | 123 | WHOLEの消去 | 157 |
| MIDIノートON/OFFチャンネルの選択 | 123 | WHOLEメニュー | 158 |
| MIDI制御チャンネルの選択 | 123 | | |
| MIDI機能画面-ページ5 | 124 | その他の機能 | 159 |
| AUTOBANDリズム/ベースパートの選択 | 124 | DEMOPLAY(デモ演奏) | 159 |
| AUTOBANDリズム/ベースチャンネルの選択 | 124 | DEMO(デモ)タッチタブ | 159 |
| AUTOBAND伴奏パートの選択 | 124 | デモソングの再生 | 159 |
| AUTOBAND伴奏チャンネルの選択 | 124 | TUNE(調律)機能画面 | 160 |
| MIDI機能画面-ページ6 | 125 | SYSTEM(システム)メニュー | 161 |
| MIDI機能画面-ページ7 | 126 | SYSTEM(システム)メニュー-ページ1 | 161 |
| MIDICLOCK(クロック)ON/OFF | 126 | DEFAULT(デフォルト)-リセット手順 | 161 |
| MIDISTART/STOP(スタート/ストップ) | 126 | SYSTEM(システム)メニュー-ページ2 | 162 |
| BULKDUMP-RECI(メモリーダンプ受信) | 126 | MANUAL(手鍵盤)モード | 162 |
| BULKDUMP-SEND(メモリーダンプ送信) | 127 | PEDAL(足鍵盤)モード | 162 |
| シーケンサー、ディスクドライブ、 | | SYSTEM(システム)メニュー-ページ3 | 162 |
| CompactFlash(コンパクトフラッシュ)カードの使い方 | 128 | DEMOBUTTON(デモタッチタブ) | 162 |
| SEQUENCER(シーケンサー) | 128 | PARTONMODE(パートオンモード) | 163 |
| SEQUENCER(シーケンサー)タッチタブ | 129 | PLAY/MIXER(プレイ/ミキサー)モードセレクト | 163 |
| SEQUENCER(シーケンサー)メニュー | 129 | SYSTEM(システム)メニュー-ページ4 | 163 |
| EASYREC(イージーレコード) | 130 | VERSION(ソフトウェアバージョン) | 163 |
| EASYREC(イージーレコード)を使った曲の記録 | 131 | | |
| 曲の再生 | 133 | 機器のお手入れ | 164 |
| MULTIREC(マルチレコード) | 134 | 電源 | 164 |
| MULTIREC(マルチレコード)を使った曲の記録 | 135 | キャビネットとベンチ | 164 |
| 曲の再生 | 137 | 鍵盤とボタン | 164 |
| 16TRACKS(16トラック) | 138 | 機器の移動 | 164 |
| 16TRACKS(16トラック)を使った曲の記録 | 138 | バックアップ電池について | 165 |
| 曲の再生 | 140 | | |
| ディスクドライブと | | | |
| CompactFlashO(コンパクトフラッシュ) | 141 | | |
| ディスクスロット | 141 | | |
| アクセスインジケータ | 141 | | |
| エジェクトボタン | 141 | | |
| CompactFlash(コンパクトフラッシュ)カードスロット | 141 | | |

◆ イントロダクション

◆ 基本接続

ヘッドホンジャックを除いたすべての接続コネクタは、XE-1 後部のアクセサリパネル上にあります。ヘッドホンジャックは、機器前面のディスクドライブスロットの下にあります。本セクションで説明している種々の接続については、4 ページの図を参照してください。接続図と各パラグラフの前にある番号付きの黒丸も参照してください。

① 電源の接続

ハモンド XE-1 は、AC100 ボルトの電源電圧に設定されて工場出荷されています。XE-1 を AC 電源に接続するには：

1. XE-1 に同梱の AC 電源コードを接続します。
2. XE-1 の「AC IN」とマークされているコネクタに、電源コードのメス側コネクタを差し込みます。
3. AC 電源コンセントに、電源コードのもう一端を差し込みます。

オーディオ接続

XE-1 にはスピーカーが搭載されており、本体のみで音を鳴らすことができますが、PA 機器やレスリースピーカーに接続する場合は、以下のようにします。

1. XE-1 をアンプに接続します。または；
2. XE-1 をレスリースピーカーキャビネットに接続します。

② アンプへの接続

1. 各ケーブルの両端に 1/4 インチプラグを持つ、2 本のオーディオケーブルを使います。
2. 各オーディオケーブルの一端を XE-1 後部の LINE OUT ジャックに接続します。

注記：この説明では、1/4 インチフォノプラグ入力を持つキーボードまたはギターアンプを使っていると仮定しています。これらのタイプのアンプに最も広く使われているコネクタプラグだからです。

3. 各ケーブルの他の一端をアンプの 1/4 インチメスオーディオ入力コネクタに接続します。

オーディオ入力として、一つの 1/4 インチメス型コネクタしかアンプに装備されていない場合、ケーブルの一端を XE-1 の L/MONO オーディオ入力に接続し、他端をアンプの 1/4 インチメス型オーディオ入力コネクタに接続します。

③ レスリースピーカーの接続（11 ピン）

XE-1 でレスリースピーカーを使うには、電源を「ON」する前に、レスリースピーカーを接続しなければなりません。接続するには：

1. レスリーコネクタケーブルを用意します。

2. コネクターケーブルのメス側をレスリースピーカーの後部、左下のコネクターに差し込みます。
3. XE-1のアクセサリパネルの11ピンレスリーコネクターに、コネクターケーブルのオス側を差し込みます。

両方のレスリーコネクターには、ピンが確実に噛み合うように、各接続部にノッチが付いています。

重要注記：XE-1の11ピンレスリーコネクターを使って、多くの標準的な1チャンネル、2チャンネル、3チャンネルレスリースピーカーに直接、接続することができます。現行モデル例として、303、723、914があります。しかし、122XBのような単一チャンネルレスリーキャビネットにXE-1を接続する場合、レスリーではドローバーサウンドのみが再生されます。したがって、普通、XE-1をマルチチャンネルレスリースピーカーとともに使うことを推奨します。

重要注記：旧型の6ピン122や147、または900シリーズのような9ピンキャビネット、760または770キャビネットなど、様々なピン構成のレスリースピーカーにXE-1を接続する場合、アダプターキットおよび/またはコネクターケーブルが必要になります。必要なアダプターキットやケーブルの詳細については、ハモンド販売店にご相談ください。

④ フットスイッチの接続

ハモンドモデルFS-9Hフットスイッチのような、オプションのフットスイッチをXE-1に接続することができます。XE-1の後部にあるFOOT SW ジャックに、フットスイッチのプラグを挿入します。

注記：フットスイッチを正しく動作させるには、XE-1を「OFF」にして接続します。

⑤ EXP-100 シリーズエクスプレッションペダルの接続

ハモンド EXP-100シリーズエクスプレッションペダルを使いたい場合、XE-1後面のEXP-100専用ジャックにEXP-100からのプラグを挿入します。

注記：EXP-100シリーズ以外の機器は接続しないでください。

⑥ XPK-100 MIDI ペダルボードの接続

ハモンド XPK-100 MIDI ペダルボードを使う場合、MIDI ケーブルを使って、XPK-100のMIDI OUT ポートをXE-1のMIDI IN 1ポートに接続します。

注記：最良の結果を求めるには、XPK-100/XE-1双方のコントロールチャンネルを「16」にセットします。この方法については、XPK-100クイックフィーチャーガイドをご覧ください。

⑦ XLK-1 MIDI キーボードの接続

ハモンド XLK-1 キーボードを使う場合：

1. MIDI ケーブルを使って XLK-1 の MIDI OUT ポートを XE-1 の MIDI IN 1 ポートに接続します。
2. DCC-2 ケーブルを使って XE-1 の DC OUT から XLK-1 の DC IN ジャックへ接続します。

⑧ XPK-100 用または XLK-1 用の電源の接続

XPK-100およびXLK-1には電源スイッチは装備されていません。XE-1の後部にあるDC電源コネクター各ユニットへ接続することで、電源の供給とオン/オフをコントロールすることができます。

注記：XE-1のコンセントには、XPK-100またはXLK-1以外の機器を接続しないでください。故障の原因になります。

⑨ XPK-100 および XLK-1 の XE-1 への接続

MIDIケーブルを使って、XLK-1のMIDI OUTをXPK-100のMIDI IN（1/2どちらでも）に、XPK-100のMIDIOUTをXE-1のMIDI IN 1（必ず1）に接続します。4ページを参照してください。

注記：DCC-2ケーブルは、接続されているすべての機器の電源がXE-1の電源スイッチで「ON」および「OFF」できるように、DC電源を必要とする数台の機器を相互接続するためのケーブルです。DCC-2ケーブルの注文や購入については、ハモンド販売店にご相談ください。

⑩ 他のMIDI接続

XE-1は、多くのMIDI互換機器とインターフェースが可能です。MIDI接続とハモンドXE-1の詳細については、54ページから始まるMIDIセクションをご覧ください。

⑪ 外部音源の接続

CDプレイヤーや音源モジュールといった外部音源をXE-1に接続して、XE-1および外部音源の両方を同じスピーカーシステムで聴くためには、次のように接続します。

1. 各ケーブルの両端に1/4インチプラグを持つオーディオケーブルを2本用意します。
2. 各オーディオケーブルの一端を外部音源の各オーディオ出力コネクタに接続します。
3. 同じ各オーディオケーブルのもう一端をXE-1後部のLINE INジャックに接続します。

⑫ マイクロホンのXE-1への接続

マイクをMICROPHONE INジャックに接続すると、XE-1のスピーカーとアンプをPAシステムとして使うことができます。マイク音量とエコー音量の調節は同ジャックの隣にあるつまみで行います。OUTジャックからは、内蔵のマイクアンプ及びエコー回路を通った信号が出力されます。

⑬ パソコンのXE-1への接続

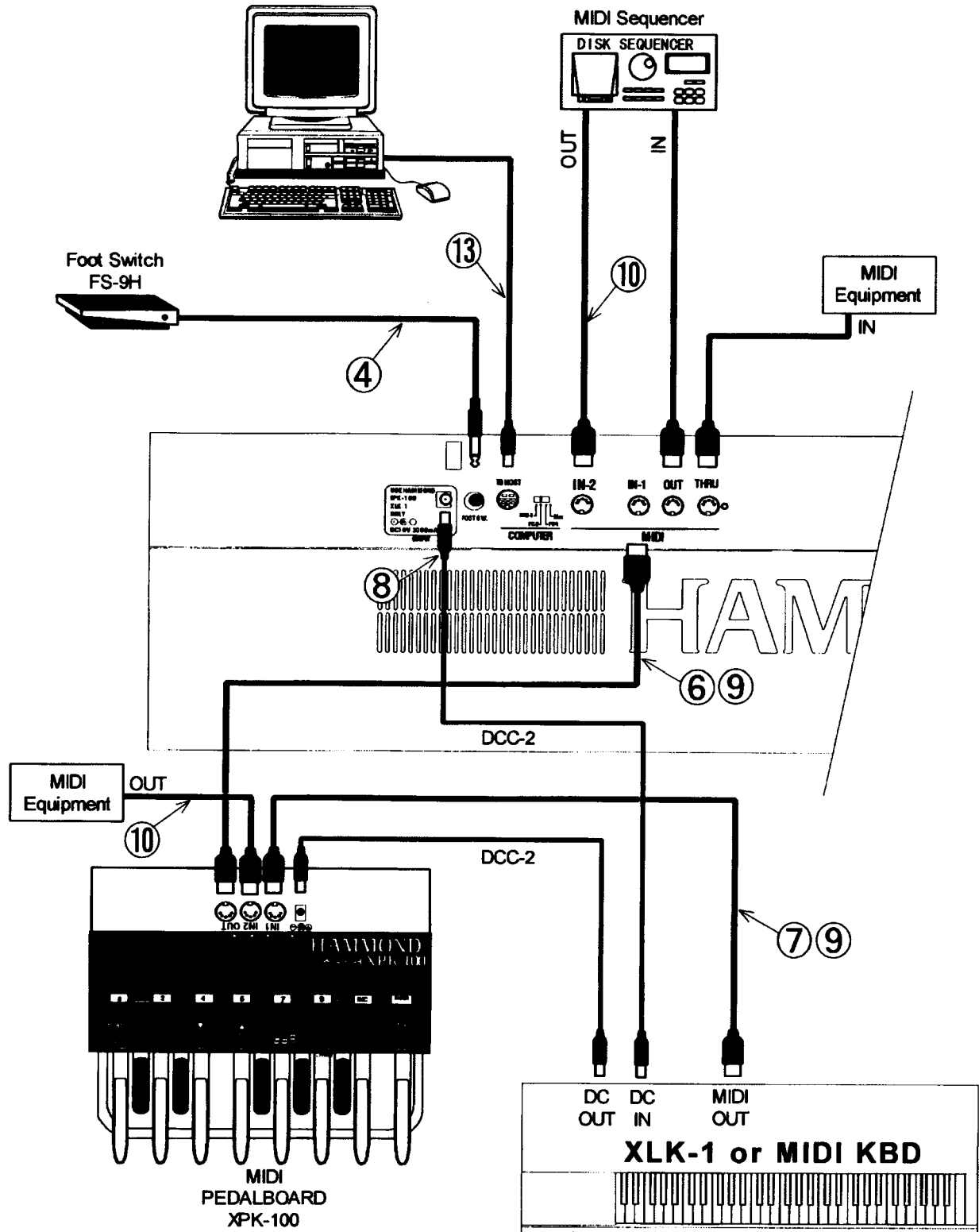
シリアルケーブルを使って、パソコンをXE-1に接続することができます。この接続方法の詳細については、本ガイドの116ページ以降に記述されています。

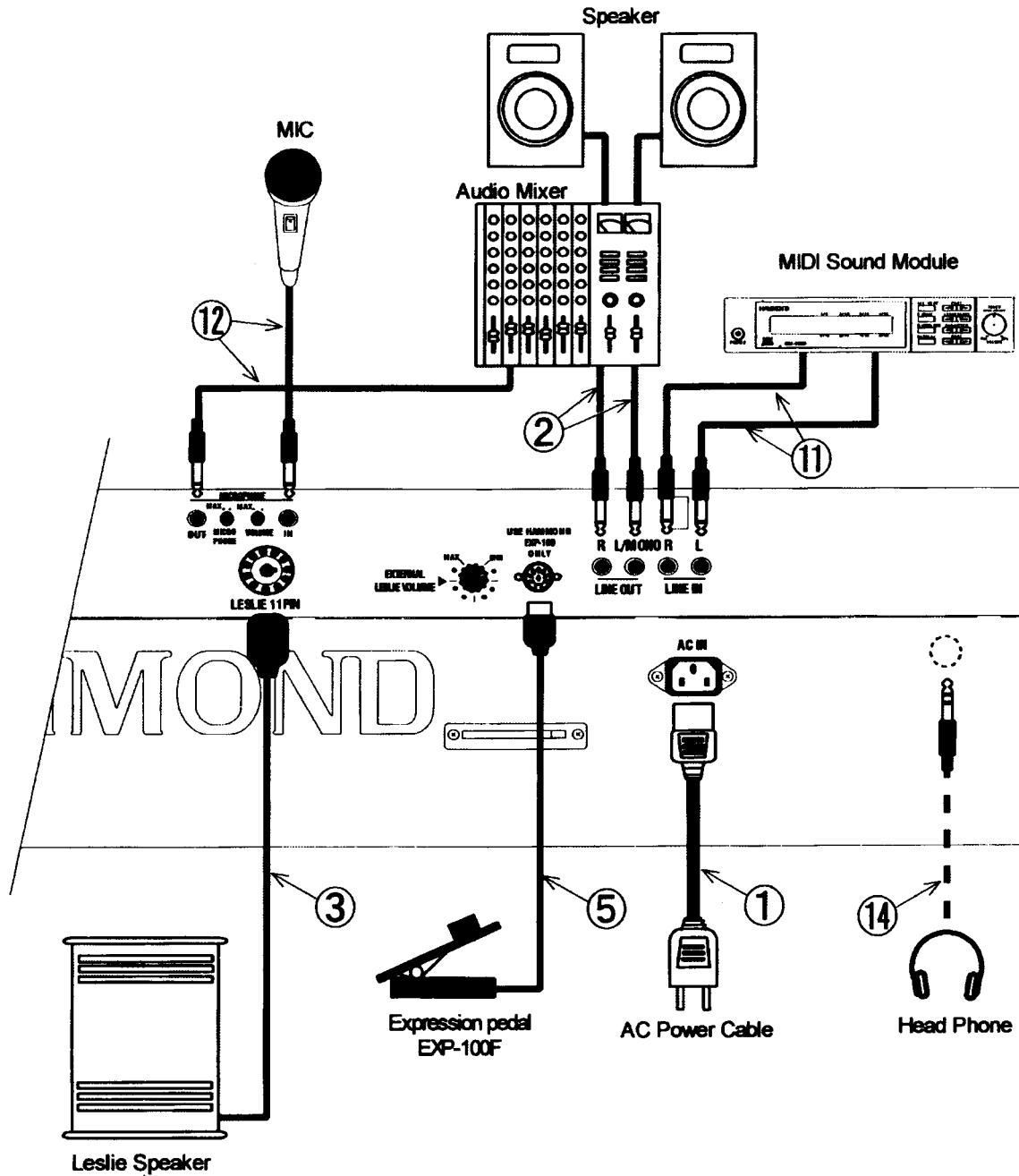
⑭ ヘッドホンセットの接続

個人で使用できるように、ステレオヘッドホンジャックが本体全面左にあります。ヘッドホンの使用時には、本体のスピーカーからは音が出ません。

基本接続図

この2ページに示す図は、XE-1で可能な種々の接続方法を詳しく説明しています。図の番号は、前のページのパラグラフ番号を意味します。各々の接続方法の説明については、番号で指定されたパラグラフを参照してください。





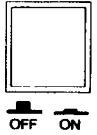
◆ 基本コントロール

XE-1のパネルのコントロールには、ドローバー、タッチタブ、タッチボタン、テンポつまみ、マスターボリュームスライダー、ピッチベンド/モジュレーションホイールが含まれます。これらのコントロールで、機器の調節や機能変更ができます。

ON/OFF POWER (電源) スイッチ

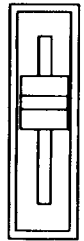
ON/OFF POWER (電源) スイッチは、鍵盤の左側にあります。このスイッチが「ON」の位置 (押し込まれた状態) にあるとき、いくつかのLEDとディスプレイが点灯し、機器が「ON」になったことがわかります。

POWER



MASTER VOLUME (主音量) スライダー

MASTER VOLUMEスライダーは、コントロールパネル上、PRESETタッチタブグループの右側にあります。このスライダーでは、XE-1全体の総合または最大音量をコントロールすることができます。音量を上げるには奥へ、下げるには手前にスライドさせます。

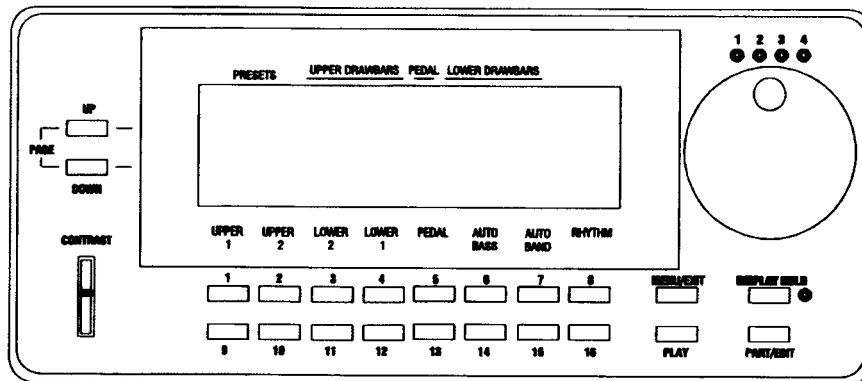


MASTER VOLUME

注記: XE-1にエクスプレッションペダルが接続されている場合、MASTER VOLUMEスライダーの設定によって決定される量までが表現できます。

ディスプレイ

ディスプレイは、XE-1の上部の中央にあります。



ディスプレイには、本機の各種状態が表示され、多くの操作はディスプレイを使って行います。

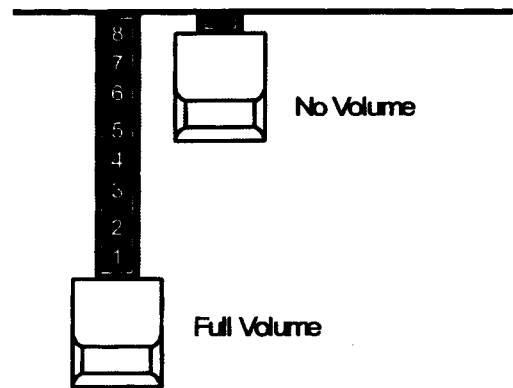
注記: 詳細については、本ガイドの10ページから始まるディスプレイセクションで説明されています。

ドローバー

ドローバーは、ハモンドサウンドの基本となる音色をコントロールするためのつまみです。XE-1では、アッパーおよびローパーパート用にそれぞれ9列、ペダルパート用に2列のドローバーがあります。

ドローバーを手前に引き出すと、音量が0（無音）から8（最大）まで大きくなります。ドローバーを奥へ押し出すと、そのドローバーの音量が小さくなります。

ハモンドドローバーの詳細については、本操作ガイドのドローバーとパーカッションセクションをご覧ください。



タッチタブ

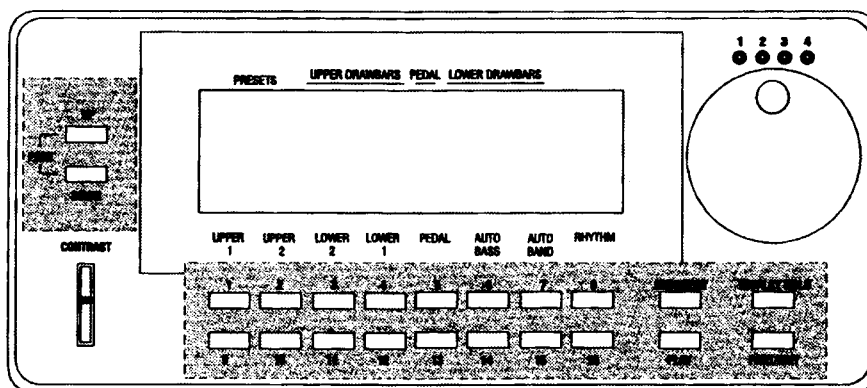
タッチタブには赤いLEDがあり、「ON」のときに点灯します。



注記：RHYTHMS & STYLES、RHYTHM VARIATIONS、VOICE、VOICE SETUP、PRESETS セクションのタッチタブは、すべてオフになることはありません。少なくとも、これら5セクションで、それぞれ一つのLEDが常に点灯しています。

タッチボタン

タッチボタンは、ディスプレイに表示されます。



タッチボタンでは、次のような3つの操作を行います。

1. いくつかの選択肢から1つを選ぶ。
2. ある機能を「ON」または「OFF」する。

3. ある値を増加／減少させる。この場合、タッチボタンを一度押すと、その値が1段階増加または減少します。押したままにすると、値が連続的に変化します。これらはディスプレイで確認することができます。

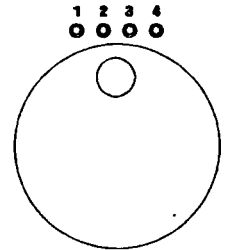
注記：これら個々のセクションの詳細については、本操作ガイドの後ろで説明されています。それらのページ番号については、目次を参照してください。

テンポつまみ

LCD画面の右には、テンポつまみがあります。

このつまみでリズムやシーケンサーのテンポをコントロールすることができます。

注記：テンポつまみの詳細については、本ガイドの RHYTHM & EASY PLAY (リズムと自動伴奏) セクションをご覧ください。



◆その他のコントロール

ディスクドライブ

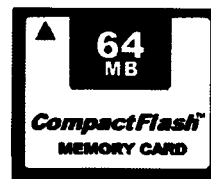


ディスクドライブは、鍵盤の左端にあります。ディスクドライブで、次のことが可能になります。

1. 本体の曲やセットアップをフロッピーディスクに保存します
2. フロッピーディスクに保存された曲やセットアップを本体へ読み込みます。
3. 追加のスタイルを保存／読み込みます。

ディスクドライブの詳細については、128ページ以降の「シーケンサー、ディスクドライブ、CompactFlash (コンパクトフラッシュ) の使い方」をご覧ください。

CompactFlash™ (コンパクトフラッシュ) カードスロット



CompactFlash (コンパクトフラッシュ) カードスロットは、XE-1後部の右手にあります。これで次のことが可能になります。

1. 本体の曲やセットアップをカードに保存します。
2. カードに保存された曲やセットアップを本体へ読み込みます。
3. 追加のスタイルをXE-1へ保存／読み込みます。
4. 本体内の全ての情報をカードへ保存／読み込みます。

CompactFlash (コンパクトフラッシュ) カードスロットの詳細については、128ページ以降の「シーケンサー、ディスクドライブ、CompactFlashを使う」をご覧ください。

「CompactFlash」とCompactFlashの表記は、CompactFlash Associationの登録商標です。

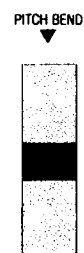
PITCH BEND (ピッチベンド) と MODULATION (モジュレーション) ホイール

これら2つのコントロールは、ディスクドライブのすぐ上、鍵盤の左端にあります。

PITCH BEND (ピッチベンド)

フレーズ中で鍵盤のピッチを変化させたい場合に使用します。奥へ動かすとピッチが高く、手前に動かすと低くなります。

注記:ピッチベンドレンジの変更方法については、本ガイドの108ページに記述されています。



MODULATION (モジュレーション)

ボイスのビブラート (またはトレモロ) 量をコントロールします。

奥へ動かすと効果のかけりが増加し、手前に動かすと減少します。通常はゼロ (一番手前側) にしておきます。

注記:モジュレーションをかけるパートの変更方法については、本ガイドの108ページに説明されています。



◆重要 - お読みください。

XE-1の鍵盤は一段だけですが、二段の手鍵盤や足鍵盤を持つ機器 (オルガンのような) と同様に使うことができます。以下、その説明をします。

オルガンでは、アッパー鍵盤 (上鍵盤) は普通、メロディーを右手で演奏します。ロー鍵盤 (下鍵盤) は普通、左手で伴奏かメロディーのハーモニーサポートを演奏します。ペダル鍵盤 (足鍵盤) は普通、左足でベースの演奏をします。

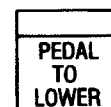
XE-1では、一段の鍵盤を二つのパートに「スプリット」(区分け) して、この演奏スタイルを可能にしています。鍵盤の右手側はアッパー鍵盤になり、左手側はロー鍵盤になります。

コントロールパネルの右側にある SPLIT ON (スプリット・オン) タッチタブは、一段の鍵盤をアッパーとローに分割するために使われます。SPLIT ON タッチタブが「ON」(LEDが点灯) のとき、ディスプレイがプレイモードであれば、ディスプレイ内の鍵盤表示の一部が反転表示され、「C3」のように表示されます。これは、鍵盤が分割され、左から数えて3番目の「C」キーがアッパーおよびロー鍵盤の分割点になることを意味します。



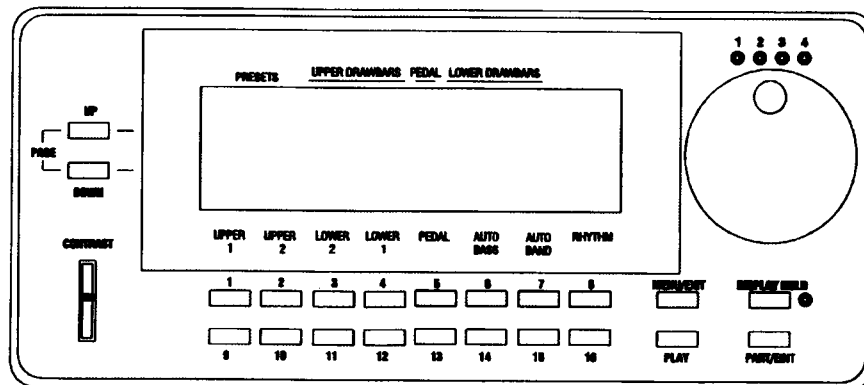
注記:「C3」は、デフォルトのスプリットポイントです。しかし、鍵盤の任意の位置にスプリットポイントを再配置することができます。これについては、本ガイドのKEYBOARD SPLIT セクション (52ページ) で説明されています。

加えて、ハモンド XPK-100のようなMIDIペダルボードを接続する場合、XE-1のペダルパートを利用することができます。しかし、PEDAL TO LOWER (ペダル・トゥ・ロー) タッチタブで、ロー鍵盤でペダルローパーとボイスを演奏することができます。



◆ ディスプレイ

レジストレーションセットアップ、各ボイスの設定、リズムテンポ、MIDI情報などのコントロールには、タッチタブ、タッチボタン、ドローバーなどが使われます。ディスプレイでは、これらの変化を目で見て調節することができます。



◆ タッチボタン

番号付きタッチボタン

表示ウィンドウの下に、1から16でマークされた16のタッチボタンがあります。これらのボタンは、様々なモードとメニューが使われるときに、機能が自動的に変化します。これらの基本的な機能は、次の通りです。

1. ボイスと編集機能を選びます。
2. 何かをオンまたはオフにします。
3. Yes、NoまたはOKを確認します。
4. パラメーターを増大または減少させます。

さらに左側にPAGE UPとPAGE DOWNタッチボタンがあり、右側にMENU/EXIT、PLAY、DISPLAY HOLD、PART/EDITタッチボタンがあります。

PAGE UP (ページアップ) とPAGE DOWN (ページダウン) タッチボタン

複数のページを持つ画面を、これら2つのタッチボタンを使って移動します。ページ番号の大きなページに行くにはPAGE UPを、その逆にはPAGE DOWNを押します。

MENU/EXIT (メニュー/戻る)、PLAY (プレイ)、DISPLAY HOLD (ディスプレイホールド)

これらの4つのタッチボタンもまた、ディスプレイとその機能の操作を行います。次は、これらのタッチボタンのそれぞれについての簡単な説明です。

MENU/EXIT (メニュー/戻る) - メニュー画面へ飛ぶ、何らかの画面から前の画面へ戻る。

PLAY (プレイ) - プレイ画面へ飛ぶ、プレイ画面の場合はミキサー画面とプレイ画面を切り替える。

DISPLAY HOLD (ディスプレイホールド) - 普通、ボイス選択画面やショートカットなどで表示された画面は一定時間経つと前の画面へ戻ります。これを「ON」にしておくと、所定の時間が経っても現在の画面を表示し続けます。

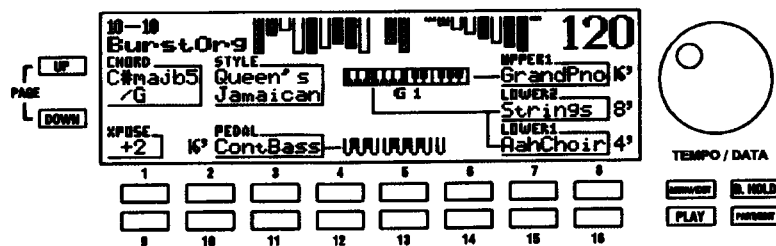
PART/EDIT (パート/エディット) - ミキサー画面やシーケンサー画面では表示するパートの切り替えをし、ボイスやスタイルの選択画面では選ばれているそれらをエディットする画面に飛びます。

◆ディスプレイモード

ディスプレイモードには、プレイモード、ミキサーモード、MENU (メニュー) モードの3つのモードがあります。

プレイモード

PLAY タッチボタンを押すと、プレイモード画面が表示されます。



XE-1 を最初にオンした後、これと同様の画面が表示されます。次のような表示になります

1. アッパー、ロワー、ペダルのドローバーレジストレーションは、図(各ドローバーの位置に応じた、異なる長さや色の棒グラフ)で表示されます。
2. プリセットバンクと番号
3. プリセットの名前
4. スタイル
5. UPPER 1 ボイス
6. UPPER 2 又は LOWER 2 ボイス
7. LOWER 1 ボイス
8. PEDAL ボイス
9. 各鍵盤と各パートの接続状態 (ラインで表示されます)。
10. コードルートとコードタイプ
11. キーボードモード
12. スプリットポイント
13. トランスポーズ
14. テンポ

注記: LCD画面のすぐ下に、UPPER 1、UPPER 2などの各種ボイスグループの印刷マークが見えます。これらの詳細については、ミキサーモードセクションで説明します。

注記: ボイスセクションの詳細については、36ページから始まる VOICE SECTION (ボイスセクション) で説明されています。

ミキサーモード

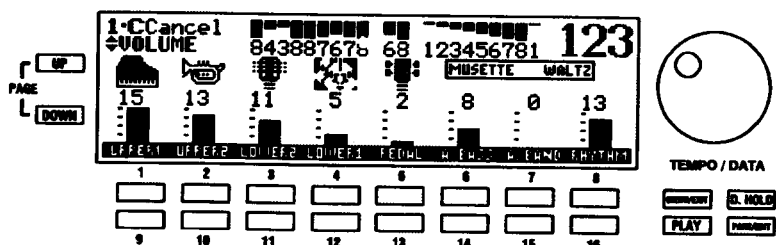
ミキサーモードでは、個々のパートの音量やパン（定位）などを一覧して調節することができます。

XE-1には多くのパートが存在するため、それらのパートを4つの画面に分け、PART/EDIT タッチボタンで切り替えて表示します。4画面全てにおいて、以下の表示は共通です。

1. アッパー、ロワー、ペダルのドローバーレジストレーションは、短い棒グラフ表示と数値で表示されます。
2. 各パートの音色アイコン
3. 各パートの音量やパン（定位）などの設定
4. テンポ
5. プリセットバンクと名前

ミキサーモードの、各画面のパートについて説明します。

ミキサーモード - ページ 1



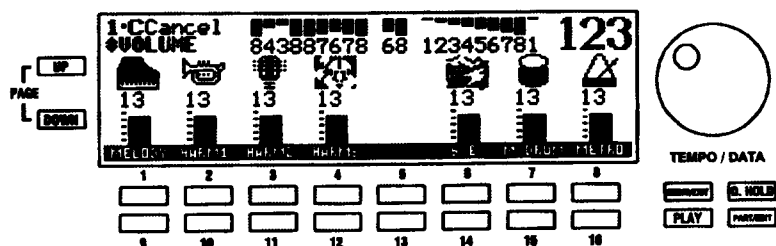
PLAY Mode から、ミキサーモードの最初のページを見るには、PLAY セレクトタッチボタンを押します。次のような表示になります。

1. UPPER 1、UPPER 2、LOWER 1、LOWER 2、PEDAL に対して、現在のボイスセレクションのために、現在のボイスセレクションを示す図形です。
2. UPPER 1、UPPER 2、LOWER 2、LOWER 1、A.BASS（オートバス）、A.BAND（AutoBand）、RHYTHM のボリューム設定です。

各パートの音量を調節するには、その表示下の各タッチボタンを押します。音量を上げるには上段（1～8）、下げるには下段（9～16）を押します。例えばUPPER 1の音量は1と9、UPPER 2の音量は2と10で調節します。

注記：ボイス指定（UPPER 1、UPPER 2、LOWER 2 など）の詳細については、36ページから始まるボイス・セクションで説明されています。

ミキサーモード - ページ 2



ミキサーモードのページ1から、PARTセレクトタッチボタンを一度押して、ミキサーモードのページ2を表示させます。次のような表示になります。

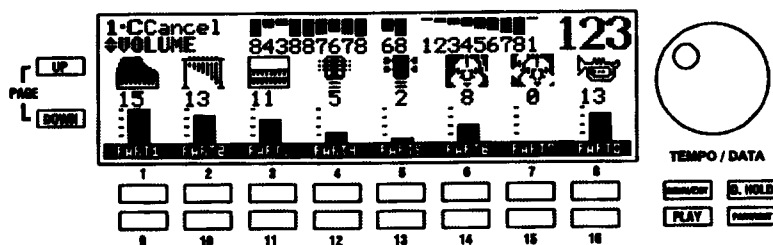
1. PRO CHORD、SOUND EFFECT、MANUAL DRUM、METRONOME の個々のパートに対して、現在のボイスセレクションを示す図形です。
2. PRO CHORD メロディーおよびハーモニーボイス、SOUND EFFECT、MANUAL DRUM、METRONOME のボリュームを設定します。

指定したボイスグループのボリュームを上げるには、最上行の番号付きセレクトタッチボタン（1番、2番、3番、4番、5番、6番、7番、および8番）を使います。

指定したボイスグループのボリュームを下げるには、最下行の番号付きセレクトタッチボタン（9番、10番、11番、12番、13番、14番、15番、および16番）を使います。

注記：PRO CHORD、SOUND EFFECT、MANUAL DRUMの詳細については、100ページから始まる SPECIAL PERFORMANCE FEATURES で説明されています。

ミキサーモード - ページ 3



ミキサーモードのページ2から、PARTセレクトタッチボタンを一度押して、ミキサーモードのページ3を表示させます。次のような表示になります。

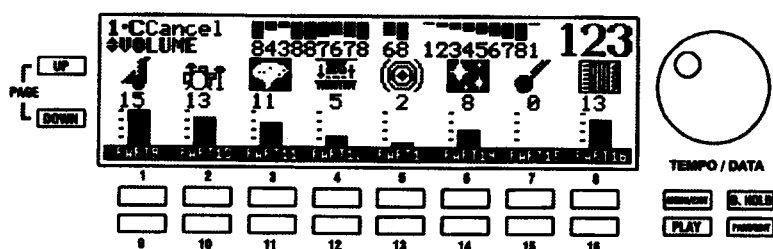
1. パート1からパート8までに対して、現在のボイスセレクションを示す図形です。
2. パート1から8までのボリューム設定です。

指定したパートのボリュームを上げるには、最上行の番号付きセレクトタッチボタン（1番、2番、3番、4番、5番、6番、7番、および8番）を使います。

指定したパートのボリュームを下げるには、最下行の番号付きセレクトタッチボタン（9番、10番、11番、12番、13番、14番、15番、および16番）を使います。

注記：「PARTS」は、XE-1のディスクドライブまたはCompactFlash機能を使用して、MIDIソングファイルを再生するために使用されます。この詳細については、128ページから説明されています。

ミキサーモード - ページ4



ミキサーモードのページ3から、PARTセレクトタッチボタンを一度押して、ミキサーモードのページ4を表示させます。次のような表示になります。

1. パート9からパート16までに対して、現在のボイスセレクションを示す図形です。
2. パート9から16までのボリューム設定です。

指定したパートのボリュームを上げるには、最上行の番号付きセレクトタッチボタン（1番、2番、3番、4番、5番、6番、7番、および8番）を使います。

指定したパートのボリュームを下げるには、最下行の番号付きセレクトタッチボタン（9番、10番、11番、12番、13番、14番、15番、および16番）を使います。

注記：PAGE UP およびPAGE DOWN セレクトタッチボタンを使って別なパラメーターを選び、番号付きタッチボタンを使って、それらを制御することができます。これについては、本ガイドの後ろ、SPECIAL ADVANCED FEATURES で説明されています。

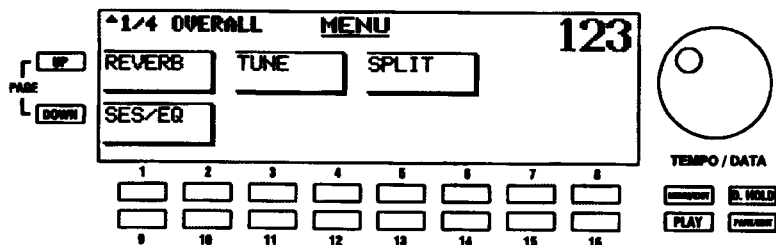
注記：XE-1 を最初に「ON」にしたときに、まずプレイモードとミキサーモードのどちらを表示するかを選ぶことができます。この方法については、本ガイドのSPECIAL UTILITY FEATURESEFFECTS で後ほど説明されています。

MENU (メニュー) モード

MENU (メニュー) モードは、それぞれの機能画面へ行くための窓口で、4ページあります。フロントパネル上に無い機能は基本的にここから設定します。

MENU (メニュー) モード - ページ 1

どれかのプレイモード画面でMENU/EXITセレクトタッチボタンを押すと、ディスプレイは、次のような表示になります。



ディスプレイウィンドウに、4つのセレクションが表示されます。

番号付きセレクトタッチボタンを押すと、各々の機能画面へ飛びます。

REVERB (リバーブ) - リバーブ (残響) やコーラス (音に厚みを加える) の総合的な設定を行います。(セレクトタッチボタン 1 又は 2)

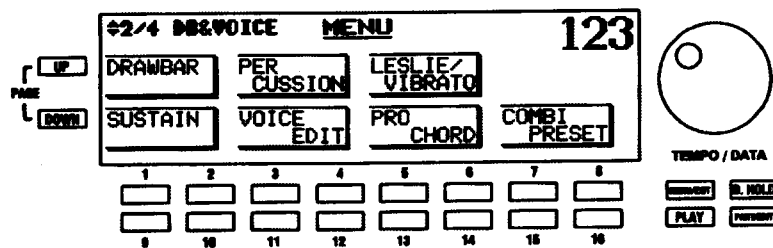
TUNE (チューン) - 全体の調律と、ドローバーのチューニング特性の選択を行います。(セレクトタッチボタン 3 又は 4)

SPLIT (スプリット) - スプリットポイントをセットすることができます。(セレクトタッチボタン 5 又は 6)

SES/EQ - Sound Expansion System (サウンド拡張システム - 音に広がりを加える) と、イコライザー (音質調節) を行います。(セレクトタッチボタン 9 又は 10)

MENU (メニュー) モード - ページ 2

MENU (メニュー) モードのページ 1 から、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。ディスプレイの MENU (メニュー) モードのページ 2 では、次のような表示になります。



ディスプレイウィンドウに、7つのセレクションが表示されます。

番号付きセレクトタッチボタンを押すと、各々の機能画面へ飛びます。

DRAWBAR (ドローバー) - 各ドローバーパートの音色やオクターブを設定します。(セレクトタッチボタン 1 又は 2)

PERCUSSION (パーカッション) - パーカッションの音量や特性を設定します。(セレクトタッチボタン 3 又は 4)

LESLIE/VIB (レスリー/ビブラート) - 内蔵のデジタルレスリー、ビブラート、オーバードライブといったドローバーパートにかかる効果の設定をします。(セレクトタッチボタン 5 又は 6)

SUSTAIN (サステイン) - 各パートのサステインの設定をします。(セレクトタッチボタン 9 又は 10)

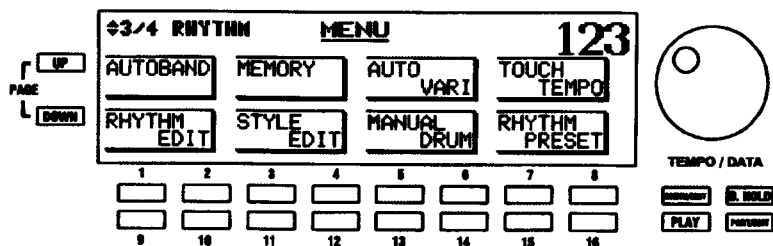
VOICE EDIT (ボイスエディット) - 内蔵音色を加工して「ユーザーボイス」を作成します。(セレクトタッチボタン 11 又は 12)

PRO CHORD (プロコード) - プロコード機能のモードを設定します。(セレクトタッチボタン 13 又は 14)

COMBI PRESET (コンビネーションプリセット) - コンビネーションプリセットの一覧表示、名前の変更、呼び出すパラメータの設定をします。(セレクトタッチボタン 15 又は 16)。

MENU (メニュー) モード - ページ 3

MENU (メニュー) モードのページ2から、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。ディスプレイのMENU (メニュー) モードのページ3では、次のような表示になります。



ディスプレイウィンドウに、8つのセレクションが表示されます。

番号付きセレクトタッチボタンを押すと、各々の機能画面に飛びます。

AUTOBAND (オートバンド) - 自動伴奏のコード判定方法などの設定をします。(セレクトタッチボタン1又は2)

MEMORY (メモリー) - MEMORY (メモリー) 機能で保持される内容を設定します。(セレクトタッチボタン3又は4)

AUTO VARI (オートバリ) - オートバリ機能の動作のしかたや、シーケンス (スタイルの演奏順序) の設定を行います。(セレクトタッチボタン5又は6)

TOUCH TEMPO - (タッチテンポ) - タッチテンポ機能の設定をします。(セレクトタッチボタン7又は8)

RHYTHM EDIT - (リズムエディット) - 内蔵スタイルとは別に、リズム楽器による「ユーザーリズム」を作成します。(セレクトタッチボタン9又は10)

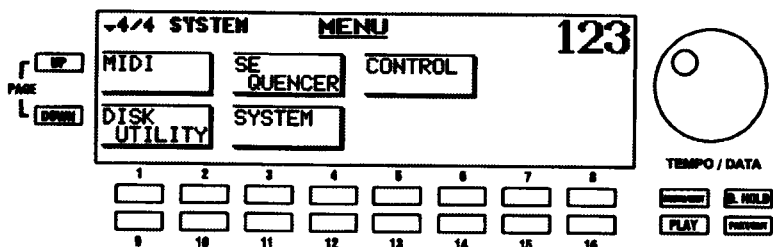
STYLE EDIT (スタイルエディット) - 内蔵スタイルを加工して「カスタムスタイル」を作成します。(セレクトタッチボタン11又は12)

MANUAL DRUM (マニュアルドラム) - マニュアルドラム機能で鳴らす音色やコントロールするパートを設定します。(セレクトタッチボタン13又は14)

RHYTHM PRESET (リズムプリセット) - リズムプリセットの名前を変更したり、リズムプリセットが動作するきっかけを設定します。(セレクトタッチボタン15又は16)

MENU (メニュー) モード - ページ 4

MENU (メニュー) モードのページ3から、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。ディスプレイのMENU (メニュー) モードのページ4では、次のような表示になります。



ディスプレイウィンドウに、5つのセクションが表示されます。

番号付きセレクトタッチボタンを押すと、各々の機能画面に飛びます。

MIDI (ミディ) - MIDIチャンネルの設定やバルクダンプの送信等を行います。(セレクトタッチボタン1又は2)

SEQUENCER (シーケンサー) - シーケンサーモードの切り替えや、曲の消去を行います。(セレクトタッチボタン3又は4)。

CONTROL (コントロール) - ピッチベンド/モジュレーションホイール、フットスイッチといった各コントローラや、ディスプレイの表示時間などの設定をします。(セレクトタッチボタン5又は6)

DISK UTILITY - フロッピーディスクやコンパクトフラッシュカードへの保存や読み出しを行います。(セレクトタッチボタン9又は10)

SYSTEM - 機器全体の設定をします。(セレクトタッチボタン11又は12)

注記:画面上部左に表示される矢印と「1/2」、「1/4」などの番号は、現在の画面以外に複数の「ページ」があることを意味します。この場合、PAGE UP または PAGE DOWN セレクトタッチボタンを押して、ページを切り替えます。

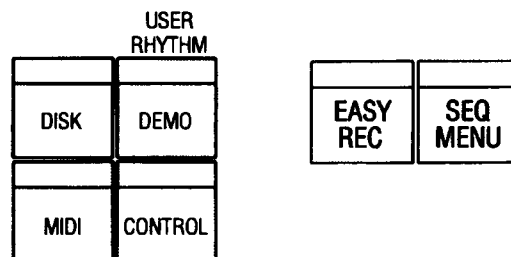
PAGE UP セレクトタッチボタンを再度押すと、再びページ1が表示されます。

◆ 「ショートカット」

いくつかの機能画面には、メニューモードからではなくその機能に関するタッチタブを押し続けるだけで飛ぶことができます。これを「ショートカット」と呼びます。

全部ではありませんが、多くの機能画面へショートカットで行くことができます。さらに、ショートカットからのみ行ける機能画面も少しあります。各セクションでは、機能の説明の前に、その画面へ来る方法を説明しています。

「ジャンプ」 タッチタブ



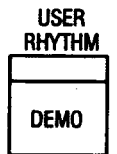
ショートカットがない機能画面へ簡単に行くために、フロントパネル左側に4つのタッチタブのグループがあり、それらの画面へ即座に行くことができます。

DISK (ディスク)

ディスクドライブやコンパクトフラッシュカードに関する操作をすることができます。このタッチタブを押すと、DISK UTILITY (ディスクユーティリティ) メニューに飛びます。

**DEMO (デモ)**

内蔵のデモソングを演奏したり、プログラムしたユーザーリズムを呼び出したりすることができます。本タッチタブの機能については、本ガイドのその他の機能 - SYSTEM セクションで説明されています。



注記: ユーザーリズムのプログラム方法については、本ガイドの RHYTHM&EASY PLAY (リズムと自動伴奏) セクションで説明されています。

MIDI (ミディ)

MIDI 設定機能画面に飛びます。

**CONTROL (コントロール)**

ピッチバンド/モジュレーションホイール、フットスイッチなどのコントローラーの設定をすることができます。このタッチタブを押すと、CONTROL 機能画面へ飛びます。

**EASY REC (イージーレコード)**

EASY RECORD 画面に飛び、本体内に曲が存在しない場合は「記録スタンバイ」状態になります。

**SEQ MENU (シーケンサーメニュー)**

シーケンサーモードの切り替えや曲の消去を行えます。このタッチタブを押すと、SEQ MENU 画面へ飛びます。

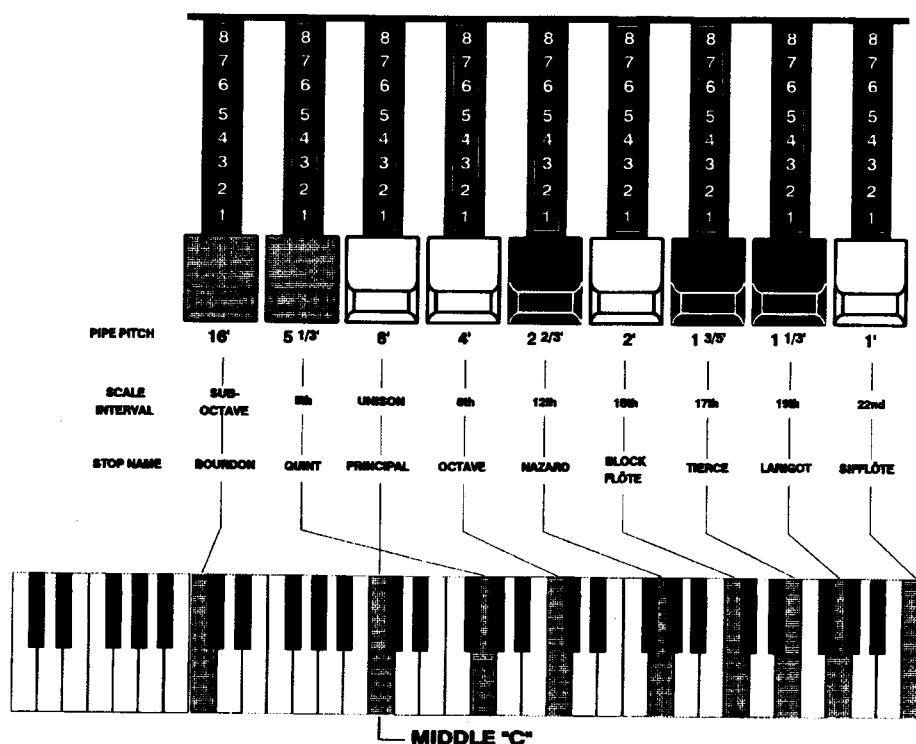


◆ ドローバーとパーカッション

マニュアルドローバー

XE-1には、それぞれの手鍵盤パート用に9つのドローバーのセットがあります。ドローバーは、時にトーンパーと呼ばれることがあり、有名な Hammond サウンドの心臓部でもあり、またその基本でもあり、1935年に最初の Hammond オルガンのモデル A が発表されて以来用いられています。

これらのドローバーで作りに出せるサウンドの組み合わせは約253,000,000です。各ドローバーは、異なるピッチ（音程）のサイン波から作られます。以下の図は、中央の「ド」が押されたときに、各ドローバーがどのように鍵盤と関係しているかを示したものです。

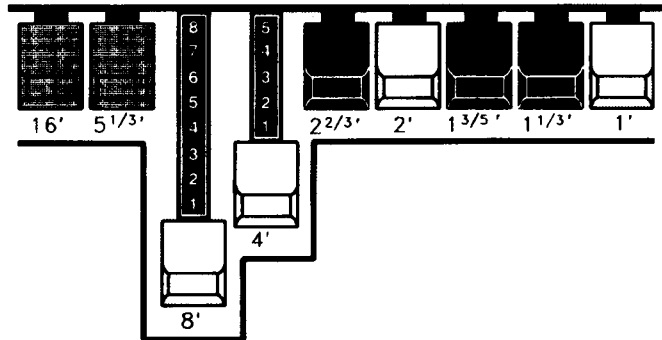


各ドローバー前面には、フィート記号付きの数字が記されています。たとえば、左の白いドローバーには「8」と記されています。これはパイプオルガンの鍵盤の最低音で使用されるパイプの長さが実際には8フィートであることを示すパイプオルガンの用語です。各ドローバーの1から8の数字は音量を表す物で、「1」から「8」の順序で音量が大きくなります。

4つの代表的ドローバーレジストレーションパターン

フルート系 (2ステップパターン)

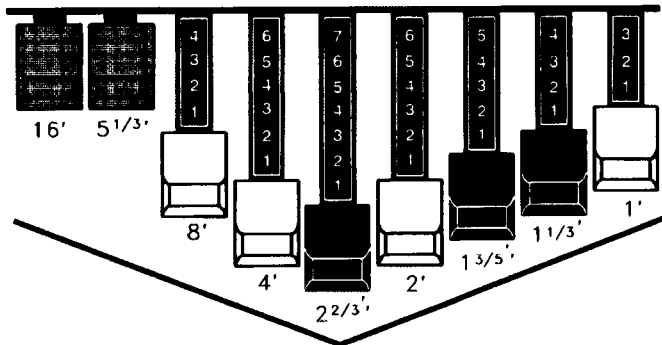
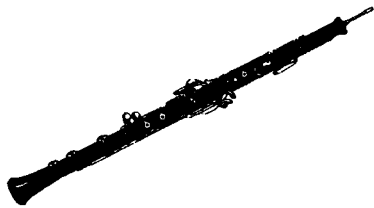
フルートトーン



| | |
|-----------------------------|-------------|
| Accompaniment Flute 8' @I | 00 8460 000 |
| Accompaniment Flute 8' @II | 00 3220 000 |
| Accompaniment Flute 8' @III | 00 8600 000 |
| Chorus of Flutes 16' | 80 8605 002 |
| Orchestral Flute 8' | 00 3831 000 |
| Piccolo 2' | 00 0006 003 |
| Stopped Flute 8' | 00 5020 000 |
| Tibia 8' | 00 7030 000 |
| Tibia 4' | 00 0700 030 |
| Tibia(Theater) 16' | 80 8605 004 |
| Wooden Open Flute 8' | 00 8840 000 |

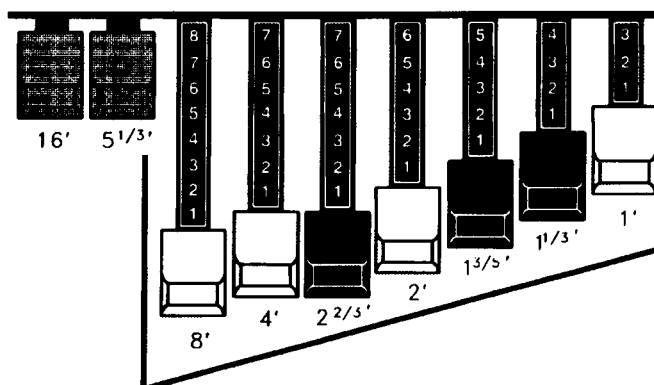
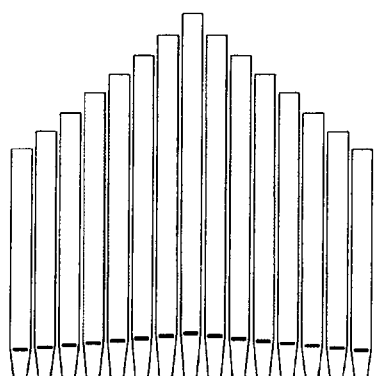
リード系 (トライアングルパターン)

リードトーン



| | |
|-----------------|-------------|
| Bassoon 16' | 44 7000 000 |
| Clarinet 8' | 00 6070 540 |
| English Horn 8' | 00 3682 210 |
| Flugel Horn 8' | 00 5777 530 |
| French Horn | 00 7654 321 |
| Kinura 8' | 00 0172 786 |
| Oboe 8' | 00 4764 210 |
| Trombone 8' | 01 8777 530 |
| Trumpet 8' | 00 6788 650 |
| Tuba Sonora 8' | 02 7788 640 |
| Vox Human 8' | 00 4720 123 |

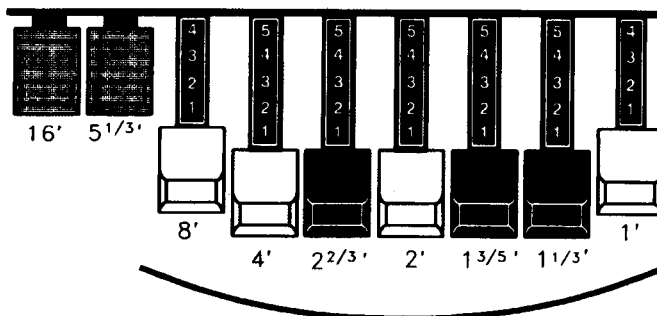
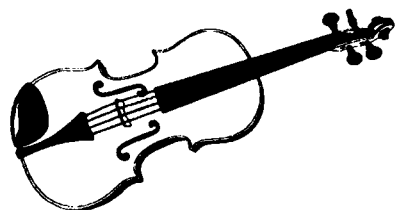
ダイアパーソン系 (チェックマークパターン)



ディアパーソントーン

| | |
|-----------------------|-------------|
| Accomp Diapason 8' | 00 8874 210 |
| Chorus Diapason 8' | 00 8686 310 |
| Diapason 8' | 00 7785 321 |
| Echo Diapason 8' | 00 4434 210 |
| Harmonic Diapason 16' | 85 8524 100 |
| Harmonic Diapason 8' | 00 8877 760 |
| Harmonic Diapason 4' | 00 0606 045 |
| Horn Diapason 8' | 00 8887 480 |
| Open Diapason 8' | 01 8866 430 |
| Solo Diapason | 01 8855 331 |
| Wood Diapason 8' | 00 7754 321 |

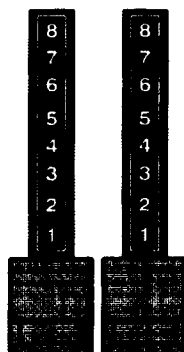
ストリング系 (ボウパターン)



ストリングトーン

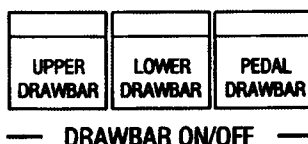
| | |
|----------------------|-------------|
| Cello 8' | 00 3564 534 |
| Dulciana 8' | 00 7770 000 |
| Gamba 8'@I | 00 3484 443 |
| Gemshorn 8' | 00 4741 321 |
| Orchestral String 8' | 00 1464 321 |
| Salicional 8' | 00 2453 321 |
| Solo Viola 8' | 00 2474 341 |
| Solo Violin 8' | 00 3654 324 |
| Viola da Gamba 8' | 00 2465 432 |
| Violina 4' | 00 0103 064 |
| Violone 16' | 26 3431 000 |

◆ペダルドローバー



アッパーおよびロワードローバーの間にある二つの茶色のドローバーは、ペダル鍵盤で生成されるサウンドをコントロールします。左のつまみは重低音の16'ピッチのトーンを作りだし、右のつまみは8'ピッチすなわち1オクターブ高いトーンを作り出します。

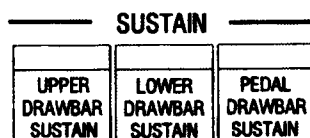
◆DRAWBAR ON/OFF (ドローバー ON/OFF) タッチタブ



ディスプレイの右にあるタッチタブのグループにより、各鍵盤のドローバーを「ON」または「OFF」することができます。

各鍵盤のドローバーを「ON」にするには、ドローバーを鳴らしたい鍵盤に対応するDRAWBAR ON/OFF (ドローバーON/OFF) タッチタブを押します。LEDが点灯し、その鍵盤に対してドローバーが発音することを示します。

◆DRAWBAR SUSTAIN (ドローバーサステイン) タッチタブ



これらのタッチタブが「ON」(LEDが点灯)になると、ドローバー音にサステイン(延音)効果がかかります。

注記: サステインの詳細については、本ガイド34ページからのEFFECTSセクションで説明されています。

▶ DRAWBAR (ドローバー) 機能画面

MENU/EXIT タッチボタンを使った DRAWBAR 機能画面への行きかた：

MENU/EXIT タッチボタンを使った DRAWBAR 編集メニューへのアクセス：

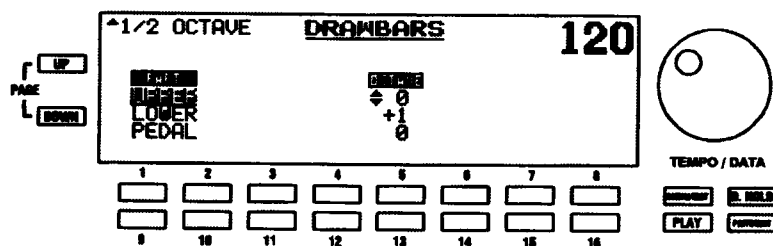
1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU (メニュー) モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 1番または2番セレクトタッチボタンを押します。「DRAWBARS」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った DRAWBAR 機能画面への行きかた：

3つのDRAWBAR ON/OFF タッチタブの一つを押したままにします。約1秒後、画面上部に「DRAWBARS」という単語が表示されます。

現在、DRAWBAR 機能画面の最初のページが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、ドローバーを様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

DRAWBAR (ドローバー) 機能画面 - ページ 1



PART (パート)

どのパートに対して操作をするかを選択します。「UPPER」、「LOWER」または「PEDAL」を選ぶことができます。現在の選択項目が「強調」すなわち反転表示（黒の背景に緑の文字）されます。

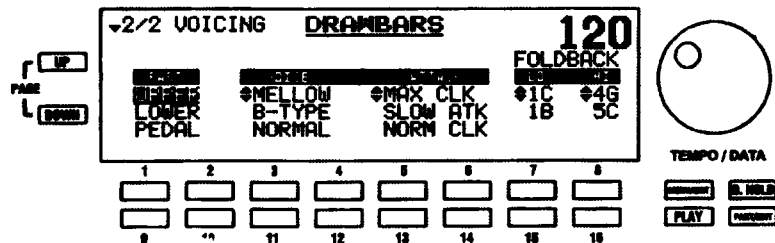
選択項目を移動するには、上へは1番または2番、下へは、9番または10番のセレクトタッチボタンを使います。

OCTAVE (オクターブ)

各鍵盤に対してドローバーが鳴るオクターブを選ぶことができます。「-2」(2オクターブ下) から「+2」(2オクターブ上) までを選ぶことができます。

選択項目の移動には、上は5番、下は13番のセレクトタッチボタンを使います。

DRAWBAR (ドローバー) 機能画面 - ページ2



PART (パート)

どのパートに対して操作をするかを選択します。「UPPER」、「LOWER」または「PEDAL」を選ぶことができます。現在の選択項目が「強調」すなわち反転表示（黒の背景に緑の文字）されます。

選択項目を移動するには、上は1番または2番、下は、9番または10番のセレクトタッチボタンを使います。

VOICE (ドローバーボイスモード)

ドローバーの総合サウンドを変えることができます。(1)「B-タイプ」(B-3トーンホイールジェネレーターのサウンド)、(2)「メロー」(純粋なサイン波のサウンド)、(3)「ブライト」(高いピッチのドローバーに倍音を加えた、明るいサウンド)を選ぶことができます。現在の選択項目が「強調」すなわち反転表示（黒の背景に緑の文字）されます。

選択項目を移動するには、上は3番または4番、下は11番または12番のセレクトタッチボタンを使います。

ATTACK (アタック)

トーンホイールハモンドオルガンの場合、鍵盤を押さえる度にクリック音が生じます。ATTACKはこれをシミュレートする機能で、アタックタイプまたはキークリックの特性を変えることができます。「SLOW ATK」、「NO CLK」、「SOFT CLK」、「NORM CLK」、「MAX CLK」を選ぶことができます。初期設定は、「NORM CLK」です。現在の選択項目が「強調」すなわち反転表示（黒の背景に緑の文字）されます。

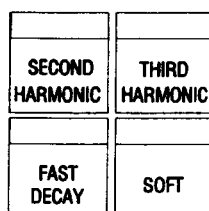
選択項目を移動するには、上は5番または6番、下は13番または14番のセレクトタッチボタンを使います。

FOLDBACK (フォールドバック)

B-3のようなトーンホイールハモンドオルガンでは、低ピッチおよび高ピッチのドローバーが折り返される、つまり他のキーの音程が繰り返されます。FOLDBACKはこれをシミュレートした機能で、ドローバーの上限と下限の周波数を設定することができます。

選択項目を設定するには、下限は7番と15番、上限は8番と16番のセレクトタッチボタンを使います。

◆ PERCUSSION (パーカッション)



— PERCUSSION —

PERCUSSIONコントロールは、ドローバーのすぐ右側にある4つの異なるタッチタブで構成され、アッパー鍵盤から演奏できるハーモニックパーカッショントーンのコントロールに使われます。

注記: パーカッション音を鳴らすには、通常、アッパー鍵盤をディタッチ（非レガート）で演奏しなければなりません。一つのキーを演奏して、他のキーを演奏する間にそのキーを押したままにすると、すべてのキーを離して再度、演奏を始めるまで、パーカッション音が再び鳴ることはありません。

SECOND HARMONIC (セカンドハーモニック)

このハーモニーのトーンは、4' ドローバーからのサウンドと同じです。

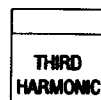
このセカンドハーモニックをドローバーに組み合わせると、明るくて透明なサウンドになります。



THIRD HARMONIC (サードハーモニック)

このハーモニックトーンは、2 2/3' ドローバーによるトーンと同じです。

このサードハーモニックをドローバーに組み合わせると、力強く重いサウンドになります。



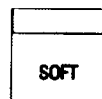
FAST DECAY (ファーストディケイ)

このタッチタブが通常の状態（LEDは消灯）のとき、パーカッショントーンはチャイムのようにゆっくり弱く（フェードアウト）なります。FAST DECAYが「ON」（LEDが点灯）のとき、シロフォンやグロッケンシュピールのように、パーカッションエフェクトが急速に弱くなります。

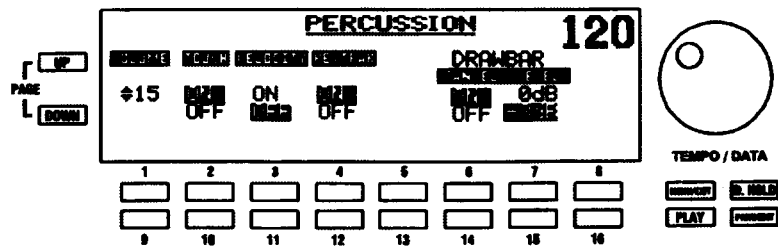


SOFT (ソフト)

このコントロールは、パーカッショントーンのボリューム調節に使います。通常の状態（LEDが消灯）のとき、アッパー鍵盤ドローバーによって再生されるトーンに比べて、パーカッションエフェクトが非常に目立ちます。このタッチタブが「ON」（LEDが点灯）のとき、パーカッションエフェクトのボリュームが低くなり、非常に目立たなくなります。



▶ PERCUSSION (パーカッション) 編集ページ



この機能画面により、パーカッションの特性の種々の変更をすることができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った PERCUSSION 編集ページへの行きかた：

1. PLAY 画面から、MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチスイッチを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU (メニュー) モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 3番または4番セレクトタッチボタンを押します。「PERCUSSION」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った PERCUSSION 編集ページへの行きかた：

4つのPERCUSSIONタッチタブの一つを押したままにします。約1秒後、画面上部に「PERCUSSION」という単語が表示されます。

現在、PERCUSSION編集ページが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、パーカッションを様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

VOLUME (ボリューム)

パーカッションの全体的な音量を設定することができます。これにより、パーカッションとドローパーの音量バランスを変えることができます。

数値を変更するには、上へは1番、下へは9番のセレクトタッチボタンを使います。

パーカッションタッチ

パーカッションが発音するモードを設定します。「ON」になると、ディタッチ (非レガート) でキーを演奏する場合に限り、パーカッションが鳴ります (シングルトリガー)。ディタッチの程度に、関係はありません。これは、オリジナルのモデルのB-3、C-3、RT-3、またはA-100シリーズのタッチレスポンスパーカッション機能と同じです。「OFF」になると、他のキーが押されているかどうかに関係なく、演奏されると各キーが鳴ります (マルチトリガー)。これは、X-66、コンコルド、ハモンドオルガンの最新モデルのパーカッション機能と同じです。

タッチを「ON」にするには2番、「OFF」にするには、10番のセレクトタッチボタンを使います。

VELOCITY (ベロシティー)

「ON」にすると、キーを演奏する速度に応じて、パーカッションの音量が変化します。キーを強く弾くと、パーカッションの音も大きくなります。キーを弱く弾くとパーカッションの音も小さくなります。「OFF」にすると、どの強さでも同じ音量で鳴ります。

ベロシティーを「ON」にするには、3番、「OFF」にするには、11番セレクトタッチボタンを使います。

KEYTRAK (キートラッキング)

B-3、C-3、RT-3、A-100など、タッチレスポンスパーカッションコントロールを持つオリジナルのハモンドオルガンでは、高い周波数におけるパーカッションサウンドが少し弱められています。これをシミュレートする機能です。

キートラッキングを「ON」にするには4番、「OFF」にするには、12番セレクトタッチボタンを使います。

DRAWBAR CANCEL (ドローバーキャンセル)

「ON」のとき、いずれかのパーカッションタッチタブが「ON」になると、1'ドローバーの音は鳴りません。これは、B-3、C-3、RT-3、またはA-100シリーズなど、オリジナルのタッチレスポンスパーカッション機能付きハモンドオルガンと同じです。この機能を「OFF」にすると、パーカッションが「ON」の場合でも、1'ドローバーの音は鳴ります。これは、最新のパーカッション付きのハモンドオルガンと同じです。

ドローバーキャンセルを「ON」にするには6番、「OFF」にするには、14番セレクトタッチボタンを使います。

DRAWBAR LEVEL (ドローバーレベル)

タッチレスポンスパーカッション機能付きのオリジナルのハモンドオルガンの場合、パーカッションをノーマルな音量 (SOFT タッチタブが「OFF」) で「ON」にすると、音量バランスをとるためにアップドローバーの音量がわずかに小さくなります。しかし新しいモデルでは、パーカッションをノーマルな音量で「ON」にしてもアップドローバーを通常通りの音量で使うことができます。

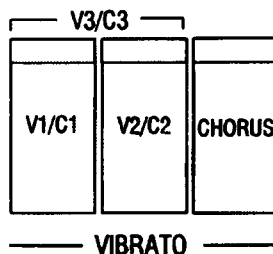
「0db」を選ぶには7番、前者をシミュレートした「-3db」を選ぶには15番のセレクトタッチボタンを使います。

注記：db (デシベル) は、音響信号の強さを示す単位のことです。

◆ドローバーのみにかかる効果

ビブラート/コーラス、レスリー、サステイン、オーバードライブをXE-1のドローバーサウンドに加えることができます。次のセクションでは、各エフェクトの詳細が説明されています。

VIBRATO (ビブラート) と CHORUS (コーラス)



これら3つのタッチタブで、ドローバーのビブラートとコーラスの量をコントロールすることができます。

ビブラート/コーラス ON/OFF

ビブラートまたはコーラスエフェクトを「ON」にするには、適切なタッチタブを押して「ON」(LEDが点灯)にします。

V1 - (スモールビブラート) - これは、ほとんどのオーケストラのソロ楽器と同等のビブラートが得られます。

V2 - (ワイドビブラート) - これは、シアターオルガンの効果が得られる標準的なデプスのビブラートです。

V3 - (フルビブラート) - V1/C1とV2/C2タッチタブの両方を同時に押すと、ビブラート3が選択できます。ビブラート3は最も深いビブラートで、温かみがある印象的な音を得られます。

CHORUS (コーラス)

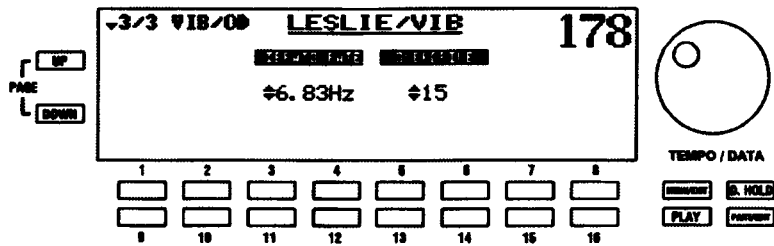
CHORUSタッチタブを「ON」にすると、ビブラートのかかった音とかからない音がミックスされます。

C1 - (スモールコーラス) - 軽いコーラスが得られます。

C2 - (ワイドコーラス) - 標準的な深さのコーラスです。

C3 - (フルコーラス) - CHORUSタッチタブと共に、V1/C1タッチタブとV2/C2タッチタブの両方を押すと最も深いコーラスになります。音に温かみ加わり、ドローバーのセッティングが強調されます。

▶ VIBRATO (ビブラート) 編集ページ (LESLIE/VIBRATO メニュー)



この機能画面により、好みのビブラート/コーラス速度を選ぶことができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った VIBRATO 編集ページへの行きかた：

1. 任意のプレイモードページからMENU（メニュー）モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU（メニュー）モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU（メニュー）モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 5番または6番セレクトタッチボタンを押します。「LESLIE/VIB」という単語が画面上部に表示されます。このメニューには、3ページあります。ディスプレイの左上隅に「1/3」が表示されます。
4. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。ディスプレイの左上隅に、「3/3」が表示されます。また、画面の左側に「VIB/OD」という単語が表示されます。

ショートカットを使った VIBRATO 編集ページへの行きかた：

3つのビブラート/コーラスタッチタブの一つを押したままにします。約1秒後、ディスプレイの左上隅に「4/4」が表示され、画面の左側に「VIB/OD」という単語が表示されます。

現在、VIBRATO 編集ページが表示されています。

VIBRATO RATE (ビブラート速度)

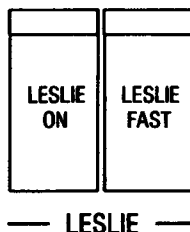
ビブラート/コーラスの速度を設定します。

速度を上げるには3番または4番、下げるには11番または12番セレクトタッチボタンを使います。

LESLIE® (レスリー)

ハモンド XE-1には、2ローターのレスリースピーカーに相当するデジタルレスリーエフェクトを内蔵しています。また、各種の外部レスリースピーカーでXE-1を鳴らすこともできます。レスリースピーカーとXE-1の使用方法的詳細については、34ページから説明されています。次のパラグラフでは、XE-1の内蔵デジタルレスリーの動作について説明します。

LESLIE (レスリー) タッチタブ



これら2つのタッチタブにより、内部デジタルレスリーまたは接続されているレスリースピーカーキャビネットのローターをコントロールすることができます。

LESLIE ON (レスリーオン)

ステーションナリー（静止）、ロータリー（回転）の、どちらのスピーカーでドローバーパートの音を出すかを切り替えます。このタッチタブが「OFF」（LEDが消灯）のとき、ステーションナリーチャンネルでドローバーが鳴ります。「ON」（LEDが点灯）にすると、ロータリーチャンネルでドローバーが鳴ります。

LESLIE FAST (レスリーファースト)

ローターの回転速度を切り替えます。このタッチタブが「OFF」（LEDが消灯）のとき、ローターはゆっくりと回転します（コーラル又はスロー）。「ON」（LEDが点灯）にすると、ローターの回転速度が上がり、力強く豊かなサウンドが再生されます（トレモロ又はファースト）。

注記：LESLIE ON タッチタブが「ON」（LEDが点灯）の場合に限り、LESLIE FAST タッチタブが機能します。

▶ LESLIE (レスリー) 編集ページ (LESLIE/VIBRATO メニュー)

これらの拡張機能画面により、内蔵デジタルレスリーの特性をいろいろと変化させることができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った LESLIE 編集ページへの行きかた：

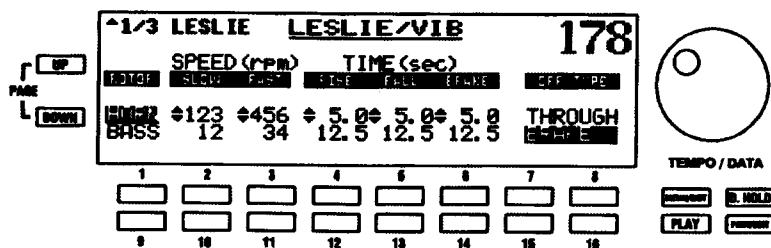
1. PLAY画面から、MENU（メニュー）モードの最初の画面を見るには、MENU/EXITセレクトタッチスイッチを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU（メニュー）モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UPセレクトタッチボタンを一度押します。MENU（メニュー）モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 7番または8番セレクトタッチボタンを押します。「LESLIE/VIB」という単語が画面上部に表示されます。このメニューには、3ページあります。ディスプレイの左上隅に「1/3」が表示されます。

ショートカットを使った LESLIE 編集ページへの行きかた：

2つのレスリータッチタブのどちらかを押したままにします。約1秒後、画面上部に「LESLIE/VIB」という単語が表示されます。

現在、LESLIE 編集ページが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、デジタルレスリーを様々に変化させることができます。

LESLIE (レスリー) 編集ページ 1



SPEED (スピード)

スローおよびファースト時の、ホーン（高音）バス（低音）それぞれのローター速度を調節します。

HORNまたはBASSを選ぶには、1番または9番セレクトタッチボタンを使います。

スロー時の速度を調節するには、2番と10番のセレクトタッチボタンを使います。

ファースト時の速度を調節するには、3番と11番のセレクトタッチボタンを使います。

注記：この機能は、外部のレスリースピーカーキャビネットには影響しません。

TIME (タイム) - 立ち上がりおよび立ち下がり時間

スローからファーストなど、ローターの回転数を切り替えた際に、その回転数に達するまでの時間を各ローター別に設定します。ファーストの回転数に達するまでの時間をRISE（ライズ）、同じくスローをFALL（フォール）で設定します。

RISE (ライズ) を変更するには、4番と12番のセレクトタッチボタンを使います。

FALL (フォール) を変更するには、5番と13番のセレクトタッチボタンを使います。

注記: この機能は、接続されているレスリースピーカーキャビネットには影響しません。

注記: スローおよびファーストの速度に「0」を設定すると、レスリーを「SLOW」から「FAST」に前後に切り替えたとき、ローターが回転するのを防ぐことができます。例えば、ホーンローターだけを SLOW/FAST 速度選択に反応させたい場合、バスローターのスローとファーストの両方のスピードを「0」に設定します。この設定では、ホーンローターだけが SLOW または FAST で動作し、バスローターは静止したままです。

BRAKE (ブレイク) タイム

次項の OFF TYPE (オフタイプ) を BRAKE (ブレイク) にしておくと、LESLIE ON タッチタブを「OFF」にした場合、ドローバー音はロータリーチャンネルのままで鳴り (ステーションナリーには切り替わりません)、そのかわりにローターの回転が停止します。この時にローターが静止するまでの時間を各ローター別に設定します。

BRAKE (ブレイク) を変更するには、6番と14番のセレクトタッチボタンを使います。

注記: この機能は、接続されているレスリースピーカーキャビネットには影響しません。

OFF TYPE (オフタイプ)

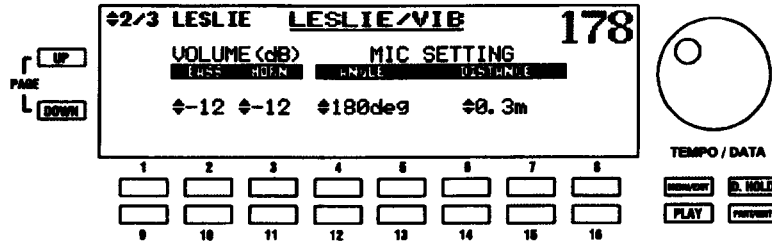
LESLIE ON タッチタブを「OFF」にした時に、ドローバー音をステーションナリーチャンネルに切り替える THROUGH (モデル 723、750、914 のようなマルチチャンネルモデルのシミュレート) か、ドローバー音はロータリーチャンネルのままで鳴り、そのかわりにローターを停止する BRAKE (モデル 122XB のような、ローターを止める機能を持つ単一チャンネルモデルのシミュレート) かを設定します。

THROUGH (スルー) を選ぶには、7番または8番、BRAKE (ブレイク) を選ぶには、15番または16番のセレクトタッチボタンを使います。

注記: この機能は、接続されているレスリースピーカーキャビネットには影響しません。

LESLIE (レスリー) 編集ページ2

ページ1から、PAGE UPタッチボタンを押します。Leslie Volume Balance & Microphone Settingメニューページが表示されます。



VOLUME (ボリューム)

デジタルレスリーのホーンとバスローターの間のバランスを調節することができます。

バスローターの音量を変更するには、2番と10番のセレクトタッチボタンを使います。

ホーンローターの音量を変更するには、3番と11番のセレクトタッチボタンを使います。

注記: この機能は、接続されているレスリースピーカーキャビネットには影響しません。

MIC SETTING (マイクロホン設定)

(架空の) レスリースピーカーに、どのように (架空の) マイクロホンを設置して聴いているかを設定します。「ANGLE」と「DISTANCE」の二つの設定を調節することができます。

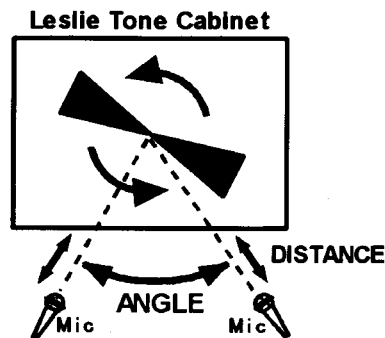
ANGLE (アングル) は、ステレオ収録におけるマイクロホンの角度を設定します。「0deg」はモノラルすなわち両方のマイクが中央に置かれている場合です。角度を増やすと、マイクロホンのお互いの位置が離れてステレオ感が増します。

ANGLEを増やすには、4番または5番、減らすには、12番または13番のセレクトタッチボタンを使います。

DISTANCE (ディスタンス) は、レスリースピーカーキャビネットとマイクロホンの距離を設定します。距離が離れると、ローターの回転感が少なくなります。

DISTANCEを増やすには、6番または7番、減らすには、14番または15番のセレクトタッチボタンを使います。

注記: この機能は、接続されているレスリースピーカーキャビネットには影響しません。



注記: ANGLE と DISTANCE の両方の設定は、微妙なエフェクトであり、多くの設定の中でも違いを見つけるために注意深い設定が必要でしょう。

レスリースピーカーキャビネットを使う

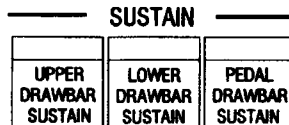
ハモンド XE-1は、直接、レスリースピーカーキャビネットと接続できるように設計されています。レスリースピーカーキャビネットは単に音を増幅するだけではなく、様々なアニメーションエフェクトを得るために、回転する機械式ローターを搭載しています。使用できる機能は下表の通りです。

| LESLIE ROTOR SPEED OPTIONS | |
|----------------------------|---|
| 説明 | 機能 |
| スロー (コーラル) | ローターが低速回転し、賛美歌、クラシック、スローテンポの曲に適したエフェクトが得られます。 |
| OFF | ローターが回転しません。ピブラートとコーラスを使って、アニメーションが可能になります。 |
| ファースト (トレモロ) | ローターが高速回転し、豊かなサウンドを再生します。 |

注記: 上の表は、11ピンインターフェースを使ったシングルまたはマルチチャンネルレスリースピーカーキャビネットのどちらかに対して選択できるオプションを示します。

SUSTAIN (サステイン)

フロントパネル右側にあるSUSTAINコントロールは、離鍵したときにドローバー音を延音させるために使います。これは、ハーブ、チャイムまたはベルのような音をつくるのに適しています。



サステインコントロールは、アッパー、ロー、ペダルの3つのコントロールに分かれています。

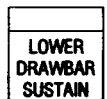
UPPER DRAWBAR SUSTAIN (アッパードローバーサステイン)

このタッチタブが「ON」(LEDが点灯)のとき、アッパー鍵盤ドローバートーンにサステインが加えられます。



LOWER DRAWBAR SUSTAIN (ロワードローバーサステイン)

このタッチタブが「ON」(LEDが点灯)のとき、ロー鍵盤ドローバートーンにサステインが加えられます。



PEDAL DRAWBAR SUSTAIN (ペダルドローバーサステイン)

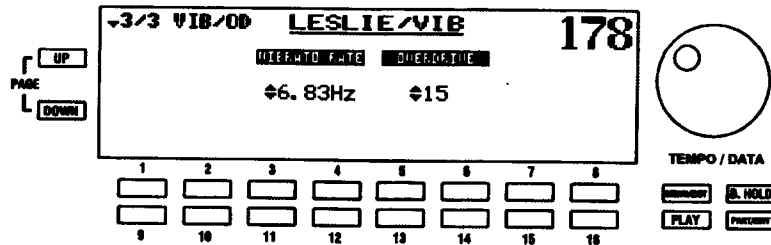
このタッチタブが「ON」(LEDが点灯)のとき、ペダルトーンにサステインが加えられます。



OVERDRIVE (オーバードライブ)

オーバードライブはアンプを過大入力させたときのような、歪んだサウンドが得られます。

▶ OVERDRIVE (オーバードライブ) 編集ページ



この機能画面により、好みのオーバードライブ量に調整することができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った OVERDRIVE 編集ページへの行きかた：

1. 任意のプレイモードページからMENU（メニュー）モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU（メニュー）モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU（メニュー）モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/3」が表示されます。
3. 5番または6番セレクトタッチボタンを押します。「LESLIE/VIB」という単語が画面上部に表示されます。このメニューには、3ページあります。ディスプレイの左上隅に「1/3」が表示されます。
4. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。ディスプレイの左上隅に、「3/3」が表示されます。また、画面の左側に「VIB/OD」という単語が表示されます。ショートカットを使ったOVER

ショートカットを使った OVERDRIVE 編集ページへの行きかた：

3つのピブラート/コーラストッチタブの一つを押したままにします。約1秒後、ディスプレイの左上隅に「4/4」が表示され、画面の左側に「VIB/OD」という単語が表示されます。

画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、オーバードライブの量を変化させることができます。

オーバードライブ量を増加するには5番または6番、減少するには13番または14番のセレクトタッチボタンを使います。値を「0」にすると効果はかかりません。

◆ ボイス・セクション

XE-1には、VOICE タッチタブで操作できる高品質デジタルボイスが装備されています。

◆ VOICE (ボイス) タッチタブグループ

VOICE タッチタブグループは、ディスプレイの右側にあります。これらのボイスは、単独またはドローパーとの組み合わせで使います。

| VOICE | | | | | | |
|------------------|---------|-----------------|--------|----------------|---------------|-------------------------|
| PIANO | E.PIANO | VIBRA MALLET | GUITAR | ACCOR- DION | ORGAN REED | ETHNIC CUSTOM 1 |
| STRINGS CHOIR | BRASS | SAX | FLUTE | SYNTH | BASS | DRUM SET CUSTOM 2 |

ボイスの1つを選択するには、使いたいボイスのタッチタブでカテゴリーを選択し、続いてディスプレイでリストから希望の音色を指定します。

注記: CUSTOM 1およびCUSTOM 2とマークされている二つのVOICE タッチタブは、ボイスエディット機能を使って作成したカスタムボイスを呼び出すためにも使用します。この方法については、本ガイドの46ページから説明されています。

VOICE タッチタブ名は、ボイスのカテゴリーを表します。これは、PIANO、ACCORDIONなど、特性が似た楽器のグループごとにボイスが配置されていることを意味します。

どれかのVOICE タッチタブを押すと、ディスプレイにそのカテゴリーのボイス一覧が表示されます。

注記: リストされているボイスの数は、カテゴリーによって異なります。

ディスプレイ左上の「1/4」、「1/3」あるいは「1/2」のような表示は、そのボイスカテゴリーに複数のページあることを意味しています。各ページを行き来するには、PAGE UP と PAGE DOWN セレクトタッチボタンを使います。

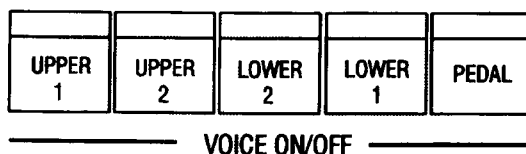
ボイスページを上へ移動するにはPAGE UP を、下へ移動するにはPAGE DOWN セレクトタッチボタンを使います。

注記: メッセージ「1/1」は、対象のボイスカテゴリーのページ数が1ページだということを意味します。1ページしか持たないボイスカテゴリーの場合、PAGE UP またはPAGE DOWN タッチボタンを押しても変化はありません。

ボイスを選ぶには、どれかの番号付きタッチボタンを使います。現在選んでいるボイスが「強調」すなわち反転表示（黒の背景に緑の文字）されます。

注記: ボイスセクションの利用には、VOICE SETUP タッチタブを使うのが一番です。正しいパートに対してボイスを変えるためです。詳細については、本ガイドの37ページ以降のVOICE SETUP タッチタブの部分をご覧ください。

◆ VOICE (ボイス) ON/OFF タッチタブ



どのパートを鳴らすかを選択します。

UPPER (アッパー) 1

選んだボイスをアッパー鍵盤で演奏することができます。



UPPER (アッパー) 2

2番目に選んだボイスをアッパー鍵盤で演奏することができます。このパートとLOWER 2は同時には「ON」できません。



LOWER (ロワー) 1

選んだボイスをロワー鍵盤（スプリットの左側）で演奏することができます。



LOWER (ロワー) 2

2番目に選んだボイスをロワー鍵盤で演奏することができます。このパートとUPPER 2は同時には「ON」できません。



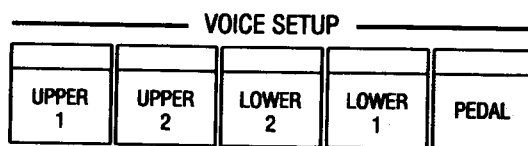
PEDAL (ペダル)

選んだボイスをペダルで演奏することができます。



注記：普通、迅速な音色切り替えのために、VOICE ON/OFFとDRAWBAR ON/OFFタッチタブは、互いに他方を「OFF」にします。しかし、それぞれのタッチタブを個別に操作することもできます。163ページで説明しているPART ON MODE（パートオンモード）をご参照ください。

◆ VOICE SETUP (ボイス・セットアップ) タッチタブ



どのパートを操作するかを選択します。

UPPER (アッパー) 1

アッパー鍵盤のボイスを選ぶことができます。



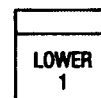
UPPER (アッパー) 2

アッパー鍵盤の2番ボイスを選ぶことができます。

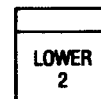


LOWER (ロワー) 1

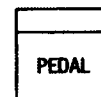
ロワー鍵盤 (シングルモードではスプリットの左側、ダブルモードでは右側) に対するボイスを選ぶことができます。

**LOWER (ロワー) 2**

ロワー鍵盤の2番ボイスを選ぶことができます。

**PEDAL (ペダル)**

ペダル鍵盤のボイスを選ぶことができます。

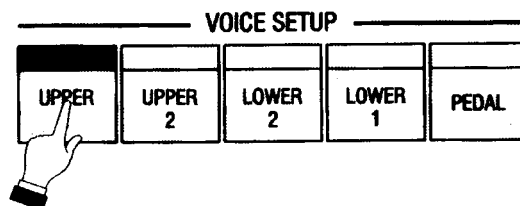


◆ VOICE SETUP (ボイス・セットアップ) タッチタブを使う

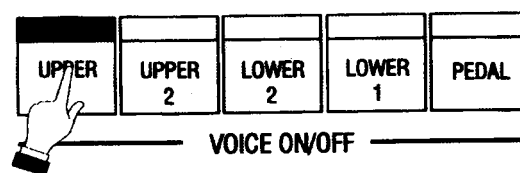
操作するパートの選択には VOICE SETUP を使用します。パートを「ON」するには VOICE ON/OFF タッチタブを使用します。これをうまく使うと、あるパートのボイスを使って演奏しながら、「裏」では別のパートでボイス選択をしておくことができます。

以下の操作を実行してみてください。

1. XE-1 を「ON」にします。
2. VOICE SETUP タッチタブグループの UPPER 1 タッチタブが「ON」(LED が点灯) していない場合、押して点灯させます。



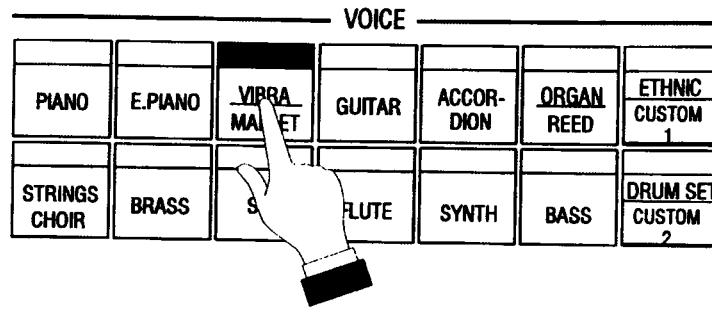
3. VOICE ON/OFF タッチタブグループの UPPER 1 タッチタブが「ON」(LED が点灯) していない場合、押して点灯させます。



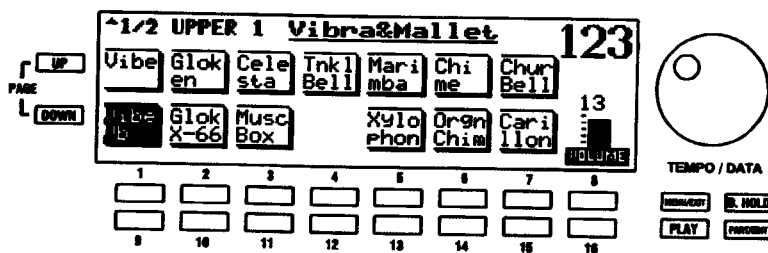
これで操作するパート、鳴るパート共に UPPER 1 になりました。これで、VOICE タッチタブによるボイスの変更による変化は鍵盤を弾くだけですぐに確認できます。

注記: この例で、SPLIT ON タッチタブが「OFF」(LED は消灯) であることを確認してください。

4. ボイスセクションのVIBRA/MALLET タッチタブを押します。

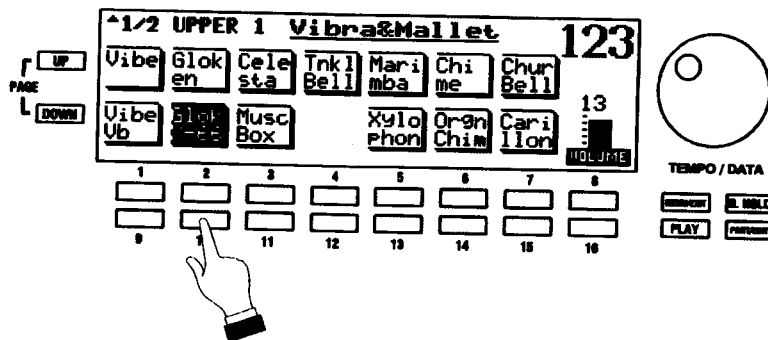


これにより、Vibra&Mallet 画面が表示されます。ディスプレイは、次のような表示になります。



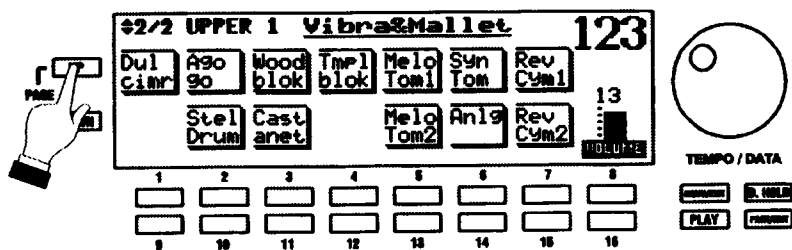
一つのボイス名が「強調」すなわち反転表示 (黒の背景に緑の文字) されています。これは、現在選ばれているボイスです。また、画面上部左手の隅に「UPPER 1」が表示されます。これは、現在操作中のパートがUPPEER 1であることを示します。

5. 画面のボイスは、番号付きタッチボタンに対応して配置されています。例えば、VIBRA/MALLET タッチタブが「ON」になったときに再生するボイスとして、Glok X-66 を選択したいと仮定します。UPPER 1ボイスとしてGlok X-66を選ぶには、10番セレクトタッチボタンを押します。「Glok X-66」表示が「強調」すなわち反転表示されます。



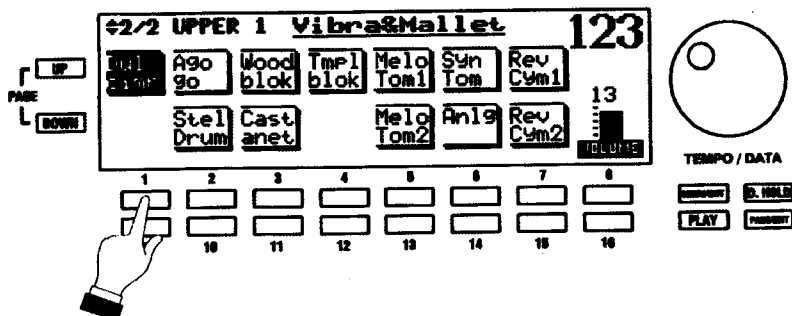
6. 鍵盤を弾くと、新しいボイスが鳴ります。

7. ディスプレイの上部左隅に「1/2」が表示されます。これは、この画面には複数のページがあることを意味します。VIBRA/MALLET ボイスメニューの2番目のページを見るには、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。



ディスプレイの左上隅に、「2/2」が表示されます。また、異なるボイス名リストが表示されます。しかし、それらのいずれも選択されないことに注意してください。これは、VIBRA/MALLET グループから選んで演奏するボイスが最初のページにあるからです。

8. このページからボイスを選ぶには、目的のボイスに対応する番号付きタッチボタンを押します。例えば、ダルシマーを選びたいと仮定すると、1番タッチボタンを押します。



番号付きタッチボタンに対応するようにボイスが配置されるパターンを参照して、各グループに対してボイスメニューから任意のボイスを選ぶことができます。

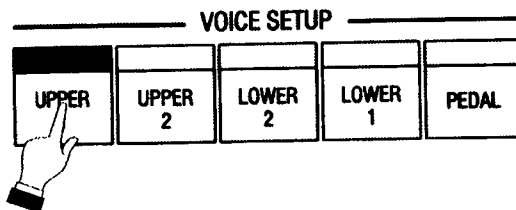
選んだボイスのボリュームを変更したい場合；

ボリュームを上げるには、8番タッチボタンを使います。

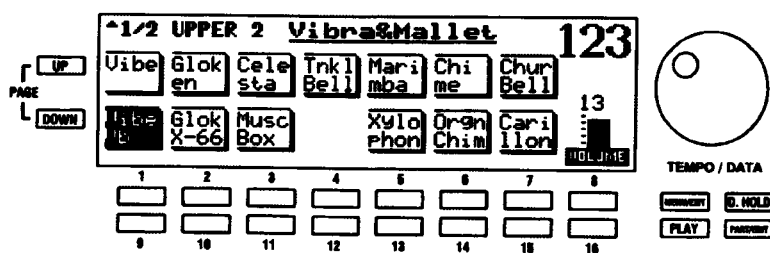
ボリュームを下げるには、16番タッチボタンを使います。

タッチボタンを使ってボリュームを調節すると、ディスプレイのグラフバーが長くなったり短くなったりします。また、バーの上の数値が増減します。

9. UPPER 2のためにボイスを選ぶと仮定します。UPPER 1ボイスを演奏または聞いている間に、これを実行することができます。VOICE SETUP タッチタブグループのUPPER 2セレクトタッチボタンを押します。

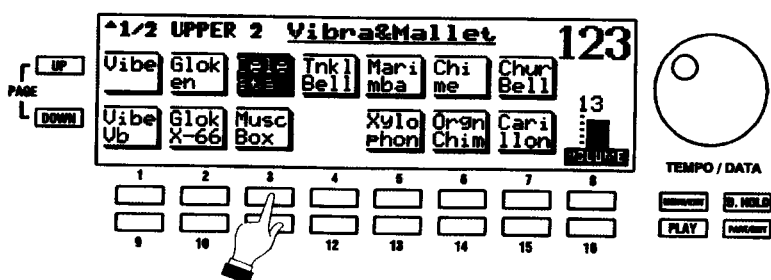


ディスプレイは、次のような表示になります。



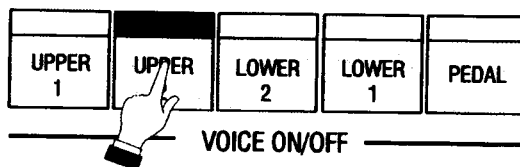
ディスプレイに「UPPER 2」が表示されます。これは、UPPER 2パートに対してボイスを選べることを意味します。

10. この例としては、3番セレクトタッチボタンを押して、チェレスタを選びます。



UPPER 2パートに、チェレスタを選びました。しかし、楽譜を鍵盤で演奏すると、UPPER 1パートで選んだボイスが聞こえます。

11. UPPER 2に選んだボイスを聞くには、VOICE ON/OFFグループのUPPER 2タッチタブを押します。



UPPER 2タッチタブが「ON」になりますが、UPPER 1タッチタブは「OFF」になります。これは故意に行われ、迅速に音色を変えることができます。

12. 鍵盤で任意の音符を演奏すると、UPPER 2ボイスが聞こえます。

注記：複数のボイスグループをいっしょに再生したい場合、聞きたいグループとともに、ON/OFFタッチタブを押してください。しかし、UPPER 2パートおよびLOWER 2パートを同時に使うことはできません。これら二つのどちらかを押す場合、もう一つが「ON」であればキャンセルされます。

◆ SETUP (セットアップ) タッチタブ

| — SETUP — | |
|-------------|----------------|
| OCTAVE UP | VELOCITY TOUCH |
| OCTAVE DOWN | SUSTAIN |

VOICE SELECT タッチタブの右側に4つのタッチタブがあります。これらにより、オクターブの選択、サステインとベロシティーの「ON」または「OFF」を設定します。

OCTAVE (オクターブ) UP

選択したボイスのオクターブを1オクターブ上げます。LEDは、8'ピッチではUP/DOWN共に消灯、4'ピッチではUPのみ点灯、2'ピッチではUPのみ点滅します。



OCTAVE (オクターブ) DOWN

選択したボイスのオクターブを1オクターブ下げます。LEDは、16'ピッチではDOWNのみ点灯、32'ピッチではDOWNのみ点滅します。

VELOCITY TOUCH (ベロシティ・タッチ)

選んだボイスに対して、ベロシティ（弾く強さによる音の変化）を有効にします。

注記：VELOCITY TOUCH タッチタブを使って、加えるベロシティータッチのレベルをコントロールすることができます。この方法については、本ガイドの便利な機能 - VELOCITY TOUCH で説明されています。



SUSTAIN (サステイン)

選んだボイスにサステイン（延音）効果を加えます。

注記：サステイン時間の変更方法は、本ガイドのボイス・セクションのみにかかる効果 - SUSTAIN で説明されています。



▶ VOICE EDIT (ボイス・エディット) メニュー

既存のボイスを加工して「カスタムボイス」として記憶する機能です。

MENU/EXIT タッチボタンを使った VOICE EDIT メニューへの行きかた：

1. PLAY 画面から、MENU（メニュー）モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチスイッチを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU（メニュー）モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。

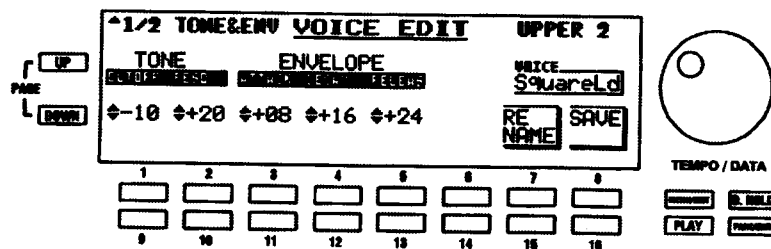
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU (メニュー) モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 11番または12番セレクトタッチボタンを押します。「VOICE EDIT」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った VOICE EDIT メニューへの行きかた：

1. VOICE タッチタブの一つを押します。ディスプレイには、そのグループのボイスのメニューが表示されます。
2. PART/EDIT タッチボタンを一度押します。「VOICE EDIT」という単語が画面上部に表示されます。

現在、VOICE EDIT メニューが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、ボイスを様々に変化させられます。これらの操作については、次に説明します。

VOICE EDIT (ボイス・エディット) メニュー - ページ 1



画面の右側に、現在選んでいるボイスとパートが表示されます。

TONE - CUTOFF (カットオフ)

ボイスの全体的な明るさを設定します。

値を上げるには1番、下げるには9番のセレクトタッチボタンを使います。

TONE - RESO (レゾナンス)

ボイスの「フォルマント」を設定します。値を大きくするとよりクセのある音になり、小さくすると、より柔らかい音になります。

値を上げるには2番、下げるには10番のセレクトタッチボタンを使います。

ENVELOPE - ATTACK(エンベロープ・アタック)

打鍵後に音量が最大になる時間を設定します。

アタックを遅くするには3番、速くするには11番のセレクトタッチボタンを使います。

ENVELOPE - DECAY (エンベロープ・ディケイ)

打鍵中に減衰していく音色について、減衰時間を設定します。

ディケイを遅くするには4番、速くするには12番のセレクトタッチボタンを使います。

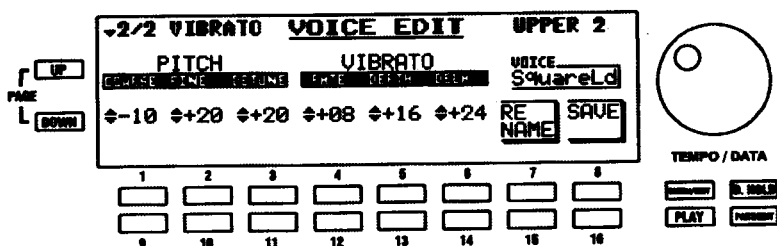
ENVELOPE - RELEASE (エンベロープ・リリース)

離鍵後に音が減衰していく時間を設定します。

リリースを遅くするには5番、速くするには13番のセレクトタッチボタンを使います。

VOICE EDIT (ボイス・エディット) メニュー - ページ 2

VOICE EDIT メニューのページ1から、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押して、ページ2を表示させます。



画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、選んだボイスに様々なエフェクトを加えることができます。これらの操作については、次に説明します。

PITCH - COARSE (ピッチ・コースチューン)

ピッチを半音単位で設定します。

ピッチを上げるには1番、下げるには9番のセレクトタッチボタンを使います。

PITCH - FINE (ピッチ - ファインチューン)

ピッチを微調整します。

ピッチを上げるには2番、下げるには10番のセレクトタッチボタンを使います。

PITCH - DETUNE (ピッチ - デチューン)

ボイスによっては、「ステレオサンプル」つまり1ノートあたり2つのサンプルが発音するものがあります。このようなボイスについて、2番目のピッチをわずかにずらし、コーラスまたは「チューン外れ」の効果を得ます。

デチューン量を増やすには3番、減らすには11番のセレクトタッチボタンを使います。

VIBRATO - RATE (ビブラート - レート)

ビブラートの速度を設定します。

ビブラート速度を上げるには4番、下げるには12番のセレクトタッチボタンを使います。

VIBRATO - DEPTH (ビブラート - デプス)

ビブラートの深さを設定します。

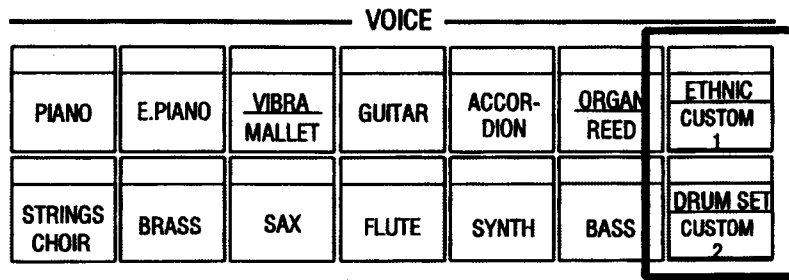
デプスを深くするには5番、浅くするには13番のセレクトタッチボタンを使います。

VIBRATO - DELAY (ビブラート - ディレイ)

ビブラートのディレイ時間を設定します。

ディレイ時間を長くするには6番、短くするには14番のセレクトタッチボタンを使います。

◆ CUSTOM VOICE (カスタムボイス)

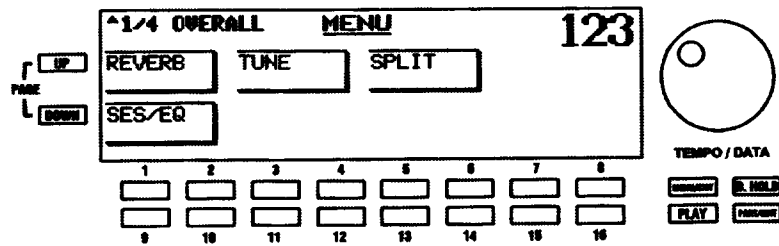


XE-1のCUSTOM VOICE機能により、前のページで説明したパラメーターを使ってボイスライブラリーのボイスを編集し、好みのカスタムボイスを作成することができます。編集が終わったら、その編集結果をカスタムボイスとして保存することができます。

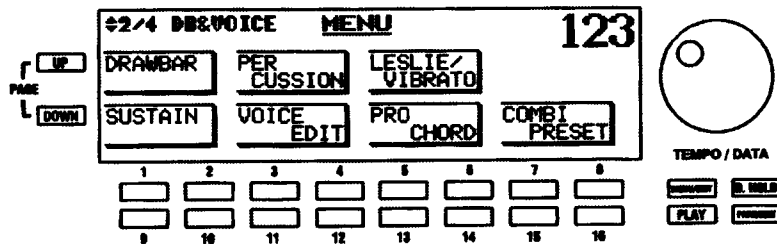
カスタムボイスの作成

以下の操作を実行してみてください。

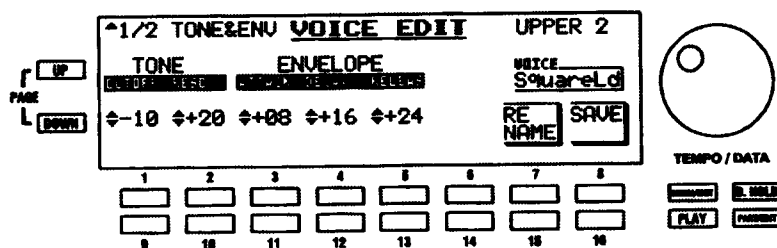
1. 様々なグループの中から、編集したいボイスを選びます。
2. MENU/EXIT タッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



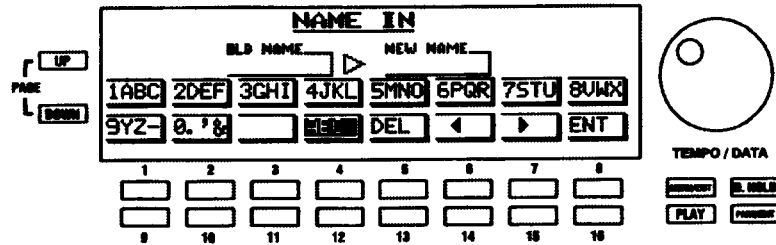
3. PAGE UP タッチボタンを一度押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



4. 11番または12番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



- VOICE EDIT メニューを選びました。VOICE EDIT メニューのページ1 およびページ2のパラメーターを使って、選んだボイスを好みに変更します。
- この時点では、編集したボイスに新しい名前を付けることをお奨めします。この実行には、7番または15番 (RENAME) セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



- 「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。

カーソル位置にスペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

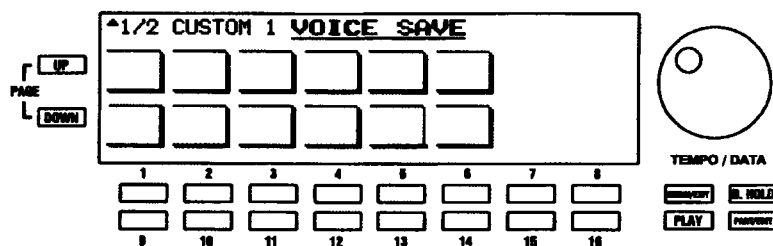
大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイのレターボックスには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

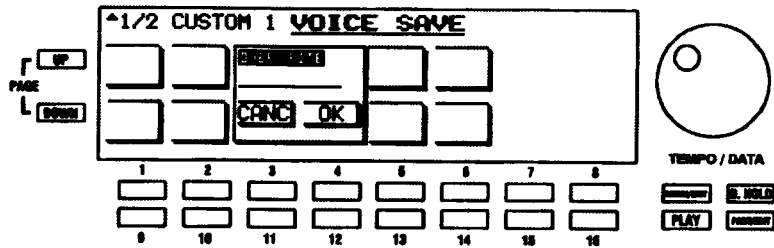
カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

入力した名前の確定にはENT (16番セレクトタッチボタン) を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

- 名前 (16文字まで) を確定するには、ENT (16番セレクトタッチボタン) を押してください。
- カスタムボイスを記憶するには、16番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



10. カスタムボイスを記憶したい場所を選ぶには、番号付きタッチボタンの一つを押します。画面のボックスは、先に説明した VOICE SELECT ページと同様に、番号付きタッチボタンに対応するパターンで構成されます。この例としては、1番セレクトタッチボタンを押してください。次のような画面が表示されます。



11. カスタムボイスを上書きしたくない場合、3番または11番セレクトタッチボタンのどちらかを押します。VOICE EDIT メニューが再度表示され、カスタムボイスは記憶されません。カスタムボイスを記憶したい場合、4番または12番セレクトタッチボタンを押してください。ディスプレイに、「Please wait」というボックスが約1秒間、表示されます。このボックスが消えると、記憶完了です。

◆ボイス・セクションのみにかかる効果

サステインとコーラスをXE-1のボイスにかけることができます。次のセクションでは、各エフェクトの詳細が説明されています。

SUSTAIN (サステイン)

VOICESセクションのSETUPタッチタブグループにあるこのタッチタブは、選んだボイスにサステイン（延音）効果を加えます。



▶ SUSTAIN (サステイン) 機能画面

この機能画面により、アッパーおよびローキーボードとペダルのためのサステイン特性をコントロールすることができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った SUSTAIN 機能画面への行きかた：

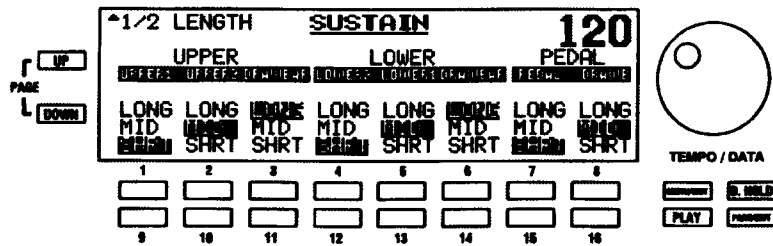
1. 種々のメニューセレクションを見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。
2. 9番または10番セレクトタッチボタンを押します。「SUSTAIN」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った SUSTAIN 機能画面への行きかた：

SETUPグループのSUSTAINタッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「SUSTAIN」という単語が表示されます。

現在、SUSTAIN機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、サステインを様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

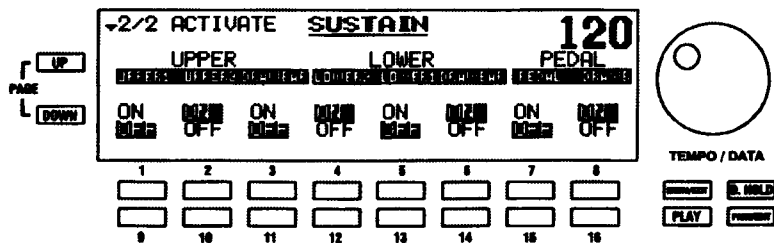
SUSTAIN (サステイン) 機能画面ページ 1 - サステイン長さ



このメニューページにより、どれかのサステインタッチタブを押して「ON」にしたとき、加えるサステインの量を選ぶことができます。アッパー鍵盤、ロー鍵盤、ペダル鍵盤に対して、様々な設定を選ぶことができます。

SUSTAIN (サステイン) 機能画面ページ 2 - サステイン設定

ページ 1 から、PAGE UP タッチボタンを押します。サステイン設定ページが表示されます。



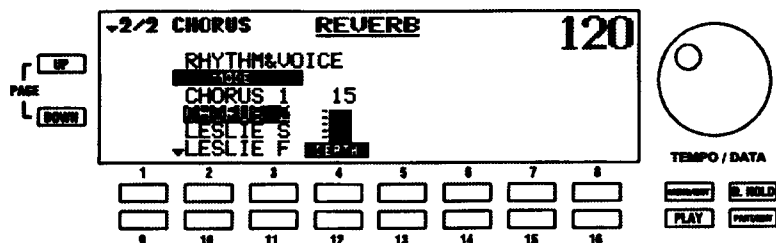
どのパートにサステインをかけるかを設定します。このパラメータは、フロントパネルのSUSTAINタッチタブと連動しています。

サステインを「ON」するには上段（1番～8番）を、「OFF」するには下段（9番～16番）のセレクトタッチボタンを使います。

CHORUS (コーラス)

コーラスエフェクトでは、あたかも二つの楽器を同時に演奏しているかのように、オーケストラボイスを二つの微妙に異なるピッチに分解し、自然で豊かなサウンドの広がりを実現します。(この効果は、「音響ミックス」と呼ばれます。)

▶ CHORUS (コーラス) 機能画面



この機能画面により、好みのコーラスのタイプと量に調整することができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った CHORUS 編集ページへの行きかた：

1. 任意のプレイモードページからMENU（メニュー）モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU（メニュー）モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. 1番または2番セレクトタッチボタンを押します。「REVERB」という単語が画面上部に表示されます。このメニューには、2ページあります。ディスプレイの左上隅に「1/2」が表示されます。
3. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。ディスプレイの左上隅に、「2/2」が表示されます。また、画面の左側に「CHORUS」という単語が表示されます。

ショートカットを使った CHORUS 編集ページへの行きかた：

1. REVERB タッチタブを押したままにします。約1秒後、ディスプレイの左上部に「1/2 REVERB」が表示され、画面上部に「REVERB」という単語が表示されます。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。ディスプレイの左上隅に、「2/2」が表示されます。また、画面の左側に「CHORUS」という単語が表示されます。

画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、コーラスのタイプと量を変化させることができます。

MODE（モード）

コーラスモードを設定します。この設定はボイスとリズム及び自動伴奏に対して有効です。

選択項目を移動するには、上は2番または3番、下は10番または11番セレクトタッチボタンを使います。

DEPTH（デプス）

全体的なコーラス量を設定します。この設定はボイスとリズム及び自動伴奏に対して有効です。

コーラスの量を増やすには4番、減らすには、12番セレクトタッチボタンを使います。

▶ CHORUS (コーラス) ミキサーメニュー

個々のパートに対して必要なコーラスの量を設定します。

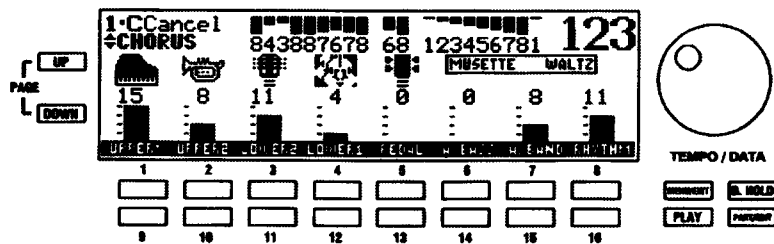
注記: この機能画面には、ショートカットがありません。PLAY および PART タッチボタンでのみアクセス可能です。

CHORUS ミキサーメニューへの行きかた：

1. ミキサーモードのページ1が表示されるまで、繰り返してPLAYセレクトタッチボタンを押します。ミキサーモードの詳細については、本ガイドのINFORMATION CENTER DISPLAY セクションを参照してください。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを三度押します。CHORUS MIXER メニューのページ1が表示されます。

現在、CHORUS MIXERメニューが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、様々なディビジョンのコーラスをコントロールすることができます。これらの操作については、次に説明します。

CHORUS (コーラス) ミキサーメニュー - ページ 1



各パートのコーラス量を増やすには上段（1番～8番）、減らすには下段（9番～16番）のセレクトタッチボタンを使います。

注記: ボイス指定（UPPER 1、UPPER 2、LOWER 2など）の詳細については、36ページから始まるボイス・セクションで説明されています。

コーラス量をコントロールしたいパートが画面中に無い場合は、PARTセレクトタッチボタンを使って画面を切り替えます。一度押す毎にパート表示画面が順番に切り替わります。

◆ KEYBOARD SPLIT (キーボードスプリット)

XE-1の鍵盤は一段ですが、その一段を二つに分けて、それぞれ別の鍵盤として使用することができます。

◆ XE-1 のアッパーとローワー鍵盤

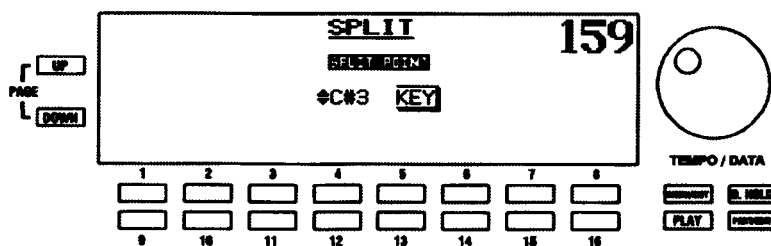
従来のオルガンのような二段鍵盤の楽器では、アッパー鍵盤は右手で演奏し、ローワー鍵盤は左手で演奏します。XE-1ではスプリットが「ON」のとき、スプリットポイントの右側のエリアはアッパー鍵盤として、左側のエリアはローワー鍵盤として指定されます。ディスプレイにはプレイ画面の場合、画面中央に分割された鍵盤とスプリットポイントが表示されます。スプリットが「OFF」の場合、本体の鍵盤は全てアッパー鍵盤として動作します。

◆ SPLIT ON (スプリットオン)

スプリットを起動するには、このタッチタブを押して「ON」(LEDが点灯)にします。一段鍵盤としてXE-1を演奏するには、これを押して「OFF」(LEDが消灯)させます。



▶ SPLIT (スプリット) 機能画面



スプリットポイントを設定します。

注記: この設定は SPLIT ON タッチタブが「ON」(LEDが点灯)でなければ効果が得られません。

MENU/EXIT タッチボタンを使った SPLIT 機能画面への行きかた:

1. 任意のプレイモードページからMENU(メニュー)モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU(メニュー)モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. 5番または6番セレクトタッチボタンを押します。「SPLIT」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った SPLIT 編集ページへの行きかた:

SPLIT ON タッチタブに触れたままにします。約1秒後、画面上部に「SPLIT」という単語が表示されます。

画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、スプリットポイントを変化させることができます。

タッチボタンによるスプリットポイントの変更：

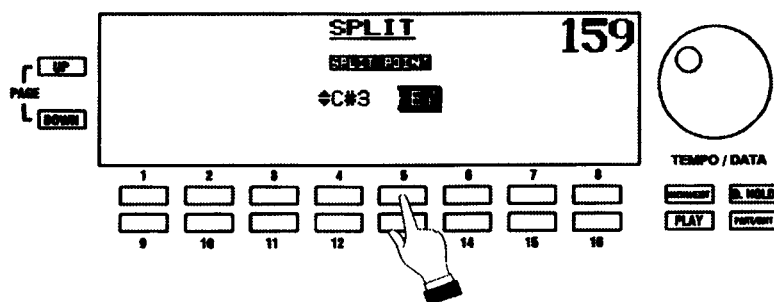
スプリットポイントの移動には4番と12番のセレクトタッチボタンを使います。上限は「C6」、下限はC1（鍵盤の両端）です。

鍵盤によるスプリットポイントの変更：

以下の操作を実行してみてください。

3. 5番または13番セレクトタッチボタンのどちらかを押したままにします。

「KEY」ボックスが強調表示されます。

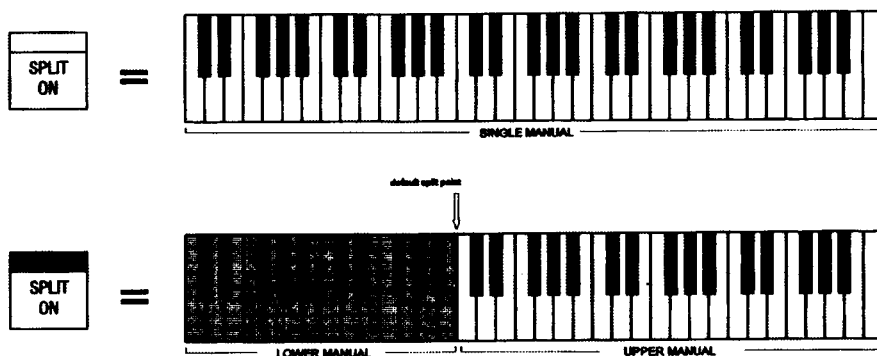


4. スプリットポイントを設定したい場所の鍵を押します。その鍵がローキーボードの最高音になります。その右にあるすべての鍵は、アッパーキーボードに割り当てられます。

◆ SINGLE (シングル) および DOUBLE (ダブル) モード

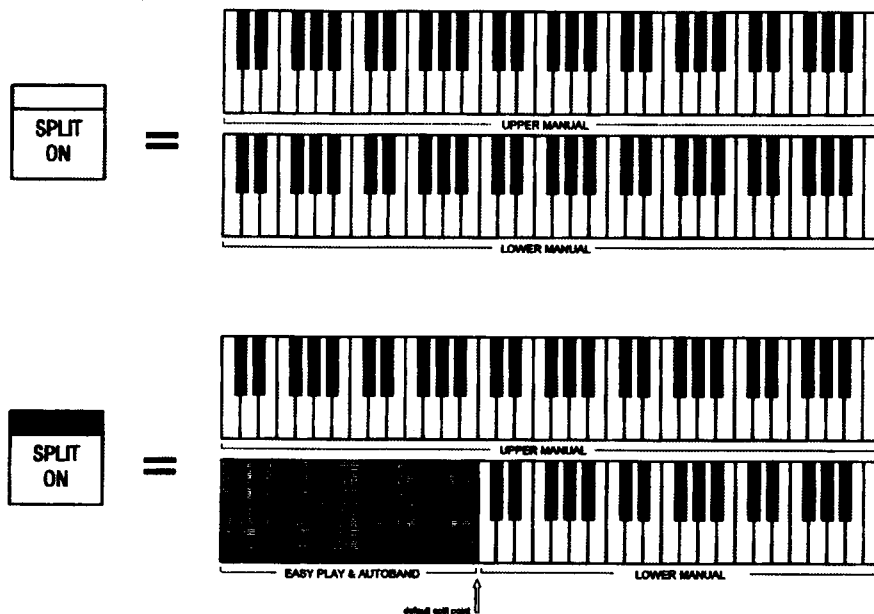
本体のみで演奏する場合、「シングルモード」と呼ばれる状態でXE-1を使用します。この場合スプリット機能は下図のように動作します。

しかし、ハモンド XLK-1 のような MIDI キーボードを使って「ダブルモード」に設定した場合、スプリット



機能は下図のように動作します。

SPLIT タッチタブが「ON」の場合、XLK-1またはローキーボードとして使っている機器をスプリットします。



こうして、XE-1の鍵盤でメロディー、ローキーボードの右側で異なるメロディー（ロワードローパーおよびLOWER 1およびLOWER 2タッチタブによって提供される）、それにローキーボードの左側で伴奏をするAUTOBANDの「3段鍵盤」操作を使うことができます。

◆ RHYTHM & EASY PLAY (リズムと自動伴奏)

◆ RHYTHMS & STYLES (リズム&スタイル)

ハモンドXE-1には、多様な音楽スタイルを表現し、演奏にリアリズムと楽しみをもたらすリズムと自動伴奏を搭載しています。

8個×2列すなわち16カテゴリーに、合計100スタイルが配置されています。

16リズムカテゴリーの1つを選択するには、使いたいリズムのタッチタブを押します。

| RHYTHMS & STYLES | | | | | | | |
|------------------|---------|-------|--------|---------|-------|------------|---------------------|
| WALTZ | COUNTRY | JAZZ | BALLAD | 8 BEAT | DANCE | BOSSA NOVA | RHUMBA DISK STYLE 1 |
| MARCH POLKA | TRAD. | SWING | ROCK | 16 BEAT | SAMBA | LATINS | TANGO DISK STYLE 2 |

注記：これらのタッチタブのどれか一つは、常に「ON」(LEDが点灯)になります。

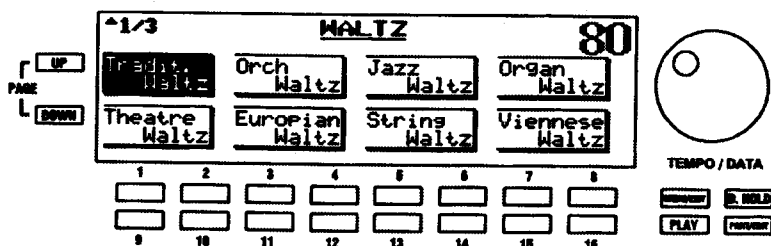
リズムの演奏中にスタイル(又はバリエーション)を変更すると、次の小節から新しく選んだスタイル(又はバリエーション)が演奏されます。

リズムカテゴリー

16のリズムタッチタブのそれぞれは、カントリー、トラディショナルなど、一般音楽分類内で様々な音楽のタイプを示します。ディスプレイを使って、各カテゴリー内で、好みのリズムを選ぶことができます。

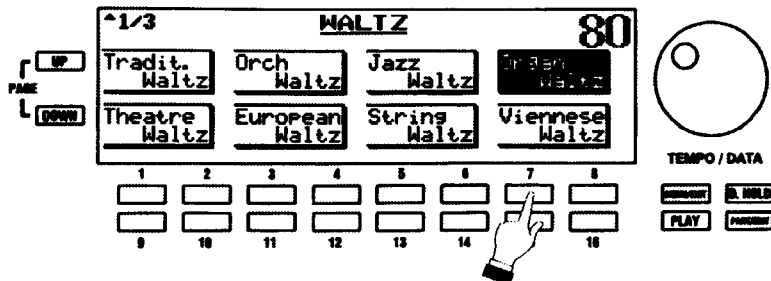
リズムスタイルの選び方

1. 好みのリズムカテゴリー(SWING, LATINSなど)に対応するタッチタブを押します。ディスプレイには、画面上部に選んだカテゴリーが表示され、その下に多数の様々なリズムスタイル名が表示されます。例えば、WALTZタッチタブを押すと、次に示す8リズムスタイルが表示されます。
2. 好みのスタイルを選ぶには、番号付きタッチボタンを使います。画面上のリズムは、番号付きタッ



タッチボタンの配列に対応しています。例えば、WALTZ カテゴリーでは、表示の左上部に「TRADIT. WALTZ」が表示されます。したがって、そのリズムを選ぶには、左上のタッチボタン（1番または2番）を使います。上部右隅にあるスタイル「ORGAN WALTZ」を選ぶには、7番または8番タッチボタンを使います。すべての他のリズムセレクションについても、同じ原則が適用されます。

注記： リストされているリズムの数は、カテゴリーによって異なります。



ディスプレイ左上隅の、「1/4」、「1/3」あるいは「1/2」のような表示は、そのリズムカテゴリーに複数のページあることを意味しています。ページを行き来するには、PAGE UPとPAGE DOWNセレクトタッチボタンを使います。

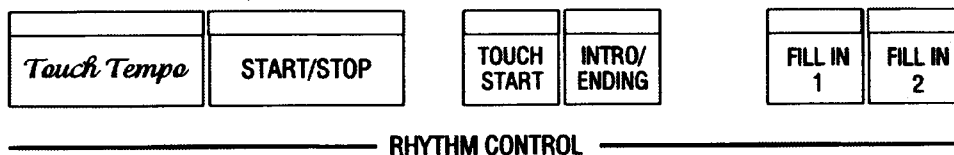
ページ番号の大きなページに行くにはPAGE UPを、その逆にはPAGE DOWNを押します。

注記： メッセージ「1/1」は、対象のリズムカテゴリーのページ数が1ページだということを意味します。一ページしか持たないリズムカテゴリーの場合、PAGE UPまたはPAGE DOWNタッチボタンを押しても変化はありません。

◆ RHYTHM CONTROL (リズムコントロール)

RHYTHM CONTROL タッチタブグループでは、AUTO VARIリズムをコントロールすることができます。

START/STOP (スタート/ストップ)



押すとリズムがスタートし、LEDが点灯します。再度押すと、リズムがストップします。

START/STOP

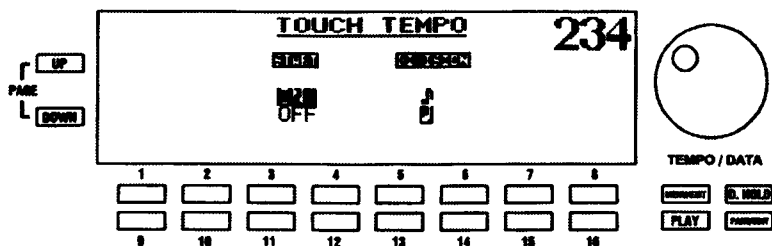
TOUCH TEMPO (タッチテンポ)

好みのテンポで「1、2、3、4」と、このタッチタブを4回（4拍子のスタイルの場合）叩き、リズムテンポを設定することができます。したがって、テンポつまみで設定されたテンポではなく、そのテンポにリズムがプログラムされます。しかし、必要であれば、さらにリズムテンポを調節するために、テンポつまみを使うことができます。ディスプレイ右上にリズムテンポがBPM（拍子/分）で表示されます。

Touch Tempo

注記： リズムが演奏されているときでも、TOUCH TEMPOタッチタブを二回押して、テンポを調節することができます。

▶ TOUCH TEMPO (タッチテンポ) 機能画面



TOUCH TEMPOの機能を設定することができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った TOUCH TEMPO 機能画面への行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENUセレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。MENU (メニュー) モードのページ3が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「3/4」が表示されます。
3. 7番または8番セレクトタッチボタンを押します。「TOUCH TEMPO」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った TOUCH TEMPO 機能画面への行きかた：

TOUCH TEMPO タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「TOUCH TEMPO」という単語が表示されます。

現在、TOUCH TEMPO機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、TOUCH TEMPO 機能を様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

RHYTHM START (リズムスタート)

TOUCH TEMPO ボタンを4回 (4拍子の場合) 叩いてテンポの入力が完了したら、直ぐに選んだリズムの演奏を始めるかどうかを選ぶことができます。この機能が「ON」のとき、設定したテンポでリズムがスタートします。この機能が「OFF」のとき、テンポは設定されますが、STOP/START または TOUCH START 機能で「ON」になるまで、リズムはスタートしません。

「ON」を選ぶには、3番または4番、「OFF」を選ぶには、11番または12番セレクトタッチボタンを使います。

DIVISION (ディビジョン)

TOUCH TEMPO タッチタブの叩き方を設定します。「♪」(八分音符) または「♩」(四分音符) を選ぶことができます。

8分音符を選ぶには5番または6番、4分音符を選ぶには13番または14番セレクトタッチボタンを使います。

TOUCH START (タッチスタート)

「ON」にすると START/STOP と TOUCH START 両方の LED が点灯し、演奏者が演奏を始めるのを待ちます。ローキー鍵盤及びペダル鍵盤 (CHORD MODE が SINGLE 又は FINGERD の場合)、全ての鍵盤 (CHORD MODE が PIANIST の場合) のどれかを弾くと同時にリズムがスタートします。



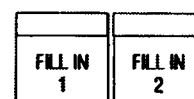
INTRO/ENDING (イントロ/エンディング)

イントロを入れるには、リズムの停止中に INTRO/ENDING タッチタブを「ON」にします。リズムをスタートさせると、イントロが入ってから選んだスタイルが始まります。エンディングを入れるにはリズムの走行中に INTRO/ENDING タッチタブを押します。エンディングが入ってから、リズムが自動的に停止します。



FILL IN (フィルイン) 1 および 2

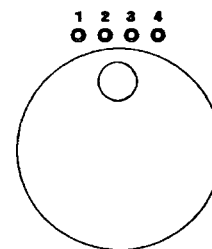
各スタイルは基本的に何小節かのパターンが繰り返し演奏されますが、リズムの走行中に Fill In 1 および Fill In 2 タッチタブでフィルインを入れ、リズムパターンに変化を付けることができます。押すとすぐにその小節の残り部分にフィルインが入りますが、最後の拍で押すと、その次の小節にフィルインが入ります。



◆ テンポつまみ

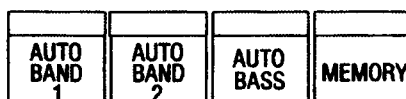
LCD画面の右には、テンポつまみがあります。このつまみでテンポを簡単にコントロールすることができます。テンポの範囲は、40から300 BPM (拍/分) までです。

ディスプレイ右上にリズムテンポが BPM (拍/分) で表示されます。



◆ AUTOBAND ORCHESTRA (オートバンドオーケストラ)

AUTOBAND ORCHESTRA



リズムと共に伴奏をするオートバンドは二つのパートで構成されています。それぞれのタッチタブを ON/OFF することにより、伴奏に変化を付けることができます。

AUTOBAND (オートバンド) 1 タッチタブ

「ON」にすると主にリズムカルな伴奏を行います。



AUTOBAND (オートバンド) 2 タッチタブ

「ON」にすると主にメロディアスな伴奏を行います。



AUTOBAND 1およびAUTOBAND 2を両方とも使うと、最大の伴奏が得られます。お互いのパートは、補完しあうように作られています。

AUTOBAND機能とともに持続音として、ローボイスグループとロードローパーを使うこともできます。

AUTO BASS (オートベース) タッチタブ

「ON」にするとリズムと共にベースを演奏します。演奏者がベースライン弾く場合には「OFF」にします。

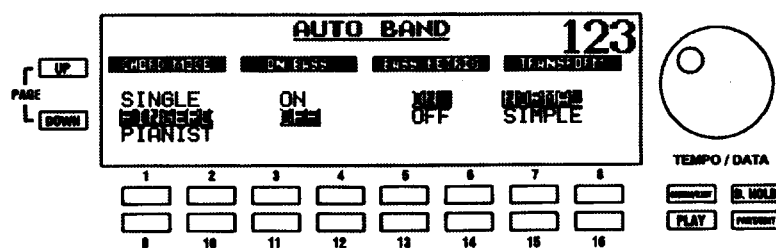


MEMORY (メモリー) タッチタブ

「ON」にするとロー鍵盤を離しても、次に鍵盤を押すまではまだその鍵盤が押されているかのように振る舞います。あるコードから次のコードに移るとき、コード変更を滑らかに行うことができます。



▶ AUTOBAND (オートバンド) 機能画面



この機能画面により、AUTOBANDの機能を選ぶことができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った AUTO BAND 機能画面への行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENUセレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。MENU (メニュー) モードのページ3が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「3/4」が表示されます。
3. 1番または2番セレクトタッチボタンを押します。「AUTO BAND」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った AUTO BAND 機能画面への行きかた：

AUTO BAND 1またはAUTO BAND 2のどちらかを押したままにします。約1秒後、画面上部に「AUTO BAND」という単語が表示されます。

現在、AUTO BAND 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、AUTO BAND 機能を様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

CHORD MODE (コードモード)

コードを演奏する方法を選ぶことができます。「SINGLE」(最小限の運指でコードを指定できる初心者向けモード)、「FINGERED」(コードの構成音を押さえて指定するモード)または「PIANIST」(ロワー、ペダル鍵盤に限らず鍵盤全体でコードを指定するモード)を選ぶことができます。

注記: この機能は、AUTOBANDとEASY PLAY SYSTEMの両方に有効です。下記のON BASS機能も同様です。しかし、EASY PLAY SYSTEMタッチタブは、ロワー鍵盤ドローバーとボイスを使ってEASY PLAY SYSTEMコードを再生するように設計されており、AUTOBAND部には影響しません。したがって、EASY PLAY SYSTEMとEASY PLAY SYSTEMタッチタブの両方の詳細については、84ページ以降で説明しています。

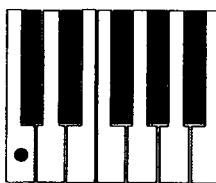
選択項目を移動するには、上へは1番または2番、下へは9番または10番のセレクトタッチボタンを使います。

EASY PLAY SYSTEM (イージー・プレイ・システム) コード - SINGLE (シングル) モード

メジャーコード

メジャーコードを演奏するには、演奏するコードの名前の鍵を押さえます。

例：Cメジャーコード：ロワー鍵盤の「C」キーを演奏します。



マイナーコード

マイナーコードは、コードの根音とその鍵を含めずに3個右の鍵（短3度）を押さえます。例えば「C」マイナーコードを演奏するには、「C」と「E^b」を押さえます。

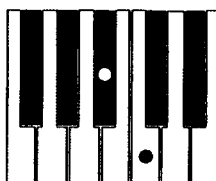
1. C
2. E^b



セブンスコード

セブンスコードは、コードの根音とその鍵を含めずに2個左（短7度）の鍵を押さえます。例えば「C」セブンスコードを演奏するには、「C」と「B^b」を押さえます。

1. C
2. B^b



ディミニッシュコード

ディミニッシュコードは、コードの根音とその鍵を含めずに6個右（減5度）の鍵を押さえます。例えば「C」ディミニッシュコードを演奏するには、「C」と「G^b」を押さえます。

1. C
2. G^b



オーギュメントコード

オーギュメントコードは、コードの根音とその鍵を含めずに4個右（長3度）及び8個右（増5度）の鍵を押さえます。例えば「C」オーギュメントコードを演奏するには、「C」、「E」、「G[#]」を押さえます。

1. C
2. E
3. G[#]



注記:ここでの例は、すべてのハーモニーに共通の5つの基本コードタイプの例です。すべてのコードの完全なリストについては、本ガイドの最後にある付録をご覧ください。

ON BASS (オンベース)

コードの転回系（最低音）によって分数コードを指定するかどうかを設定します。「ON」にすると、例えば「C/G」を指定したい場合は低音側から「G」、「C」、「E」と押さえ、通常の「C」を指定したい場合は「C」「E」「G」と押さえます。「OFF」にすると転回系に関わらず同じコード判定を行います。

この機能を「ON」するには3番または4番、「OFF」するには11番または12番のセレクトタッチボタンを使います。

注記:ハモンド XPK-100のようなMIDIペダルボードをXE-1に接続されている場合、ON BASSの設定に関わらずそのペダル鍵盤で分数コードを指定することができます。

BASS RETRIGGER (ベースリトリガー)

オートベースの発音中にコードチェンジを行った場合、ベース音が追従してリトリガー（再発音）するかどうかを設定します。「ON」にするとリトリガーを行います。コードチェンジの激しい曲に有効ですが反面、ちょっとしたことでベース音に変化しやすいので注意が必要です。「OFF」にするとベースは所定のタイミングのみで発音し、発音中にコードチェンジを行っても新しい音での発音はしません。

この機能を「ON」するには5番または6番、「OFF」には13番または14番セレクトタッチボタンを使います。

CHORD TRANSFORM (コード変換)

特にジャズおよびビッグバンドスタイルのような多くのスタイルが、その音楽ジャンルに適したメジャー6、7、9および他の複雑なコードボイスイングを使ってかかれています。しかし、さらにベーシックなコードを使って、これらのスタイルの演奏を聞きたい場合があるかも知れません。例えば、Cメジャーコードに対して、「C」「E」と「G」だけなどです。この機能により、これらのスタイルの聞こえ方を選ぶことができます。「NORMAL」(スタイルは、楽譜通りに演奏されます)または「SIMPLE」(スタイルは、基本コードタイプのみを使って演奏されます)を選ぶことができます。

NORMAL を選ぶには7番または8番、SIMPLE を選ぶには、15番または16番セレクトタッチボタンを使います。

注記: この機能は、すべてのスタイルには影響しません。ジャズ、ビッグバンド、コンテンポラリー、ラテンスタイルなど、複雑なハーモニーを使って書かれたものが対象です。

▶ STYLE EDIT (スタイルエディット) メニュー

既存のスタイルを加工し、「カスタムスタイル」として記憶する機能です。

MENU/EXIT タッチボタンを使った STYLE EDIT メニューへの行きかた:

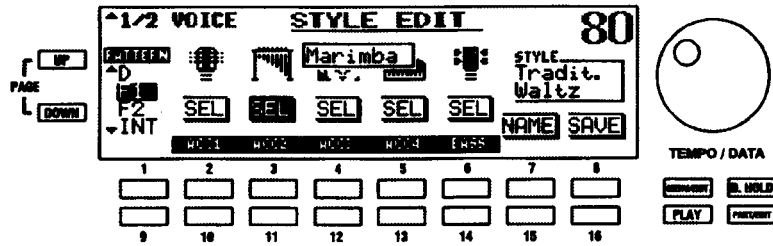
1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。MENU (メニュー) モードのページ3が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「3/4」が表示されます。
3. 11番または12番セレクトタッチボタンを押します。「STYLE EDIT」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った STYLE EDIT メニューへの行きかた:

1. RHYTHMS & STYLES タッチタブを押したままにします。ディスプレイには、そのグループのリズムとスタイルのメニューが表示されます。
2. PART/EDIT タッチボタンを一度押します。「STYLE EDIT」という単語が画面上部に表示されます。

現在、STYLE EDIT メニューが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、スタイルを様々に変化させることができます。これらの操作については、次のページから詳しく見られます。

STYLE EDIT (スタイルエディット) メニュー - ページ 1



VOICE (ボイス)

オートバンドの各楽器音を変更します。画面中の ACC1, ACC2 は AUTO BAND1 に、ACC3, ACC4 はそれぞれ AUTO BAND2 に、BASS は AUTO BASS にそれぞれ対応します。

編集したいスタイルの部分を選ぶには、1 番および 9 番セレクトタッチボタンを使います。「I」(イントロ)、メインスタイル「A」「B」「C」「D」、「F1」(フィル1)、「F2」(フィル2)、それに「E」(エンディング) を選ぶことができます。

ACC1 を選ぶには、2 番または 10 番セレクトタッチボタンを使います。

ACC2 を選ぶには、3 番または 11 番セレクトタッチボタンを使います。

ACC3 を選ぶには、4 番または 12 番セレクトタッチボタンを使います。

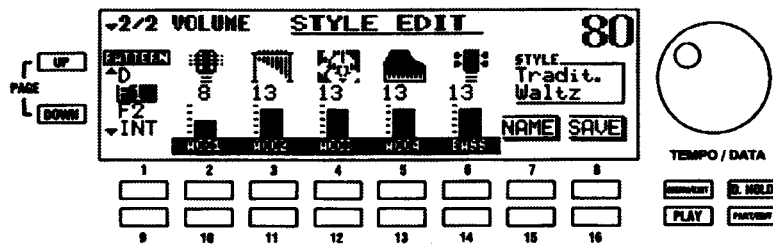
ACC4 を選ぶには、5 番または 13 番セレクトタッチボタンを使います。

BASS を選ぶには、6 番または 14 番セレクトタッチボタンを使います。

各パートのボイスを変更するには、まず上記の方法で伴奏パートを選び(「SEL」が強調表示されます)、次に VOICE タッチタップで鍵盤のボイスと同じようにボイスを指定します(ボイス一覧画面になります)。一定時間経つか EXIT を押すと STYLE EDIT の画面に戻ります。

STYLE EDIT (スタイルエディット) メニュー - ページ 2

STYLE EDIT メニューのページ 1 から、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押して、ページ 2 を表示させます。



VOLUME (ボリューム)

オートバンドの各パートの音量を変更します。画面中のACC1, ACC2はAUTO BAND1に、ACC3, ACC4はそれぞれAUTO BAND2に、BASSはAUTO BASSにそれぞれ対応します。

編集したいスタイルの部分を選ぶには、1番および9番セレクトタッチボタンを使います。「I」(イントロ)、メインスタイル「A」「B」「C」「D」、「F1」(フィル1)、「F2」(フィル2)、それに「E」(エンディング)を選ぶことができます。

ACC1の音量を変更するには、2番および10番セレクトタッチボタンを使います。

ACC2の音量を変更するには、3番および11番セレクトタッチボタンを使います。

ACC3の音量を変更するには、4番および12番セレクトタッチボタンを使います。

ACC4の音量を変更するには、5番および13番セレクトタッチボタンを使います。

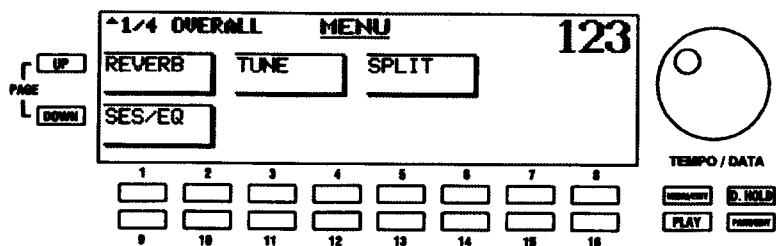
BASSの音量を変更するには、6番および14番セレクトタッチボタンを使います。

各パートのボイス名はそれぞれアイコンで表示されますが、音量の変更中はそのボイスのフルネームが表示されます。

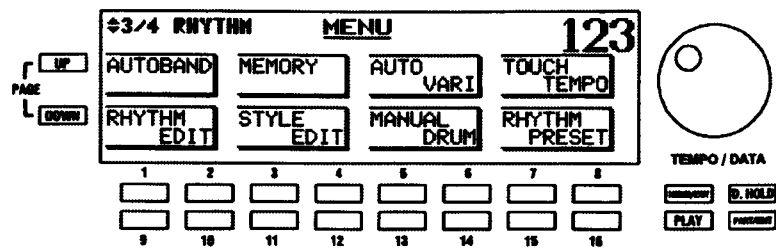
カスタムスタイルの作成

以下の操作を実行してみてください。

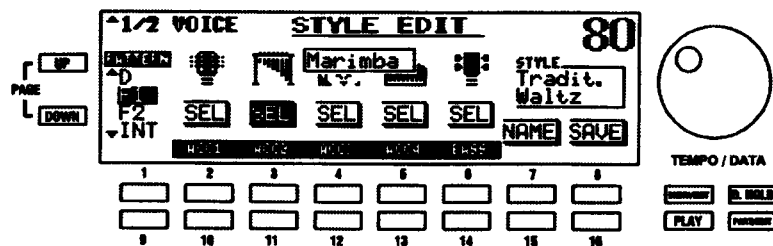
1. RHYTHMS & STYLES タッチタブを使って、編集したいスタイルを選びます。
2. MENU/EXIT タッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



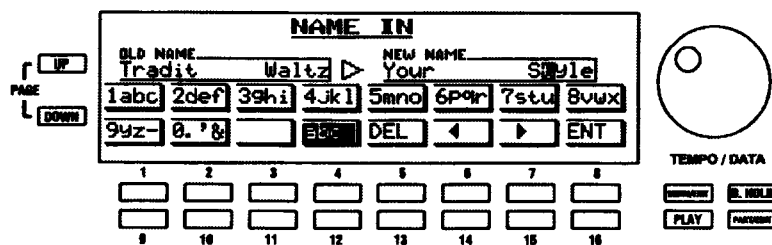
3. PAGE UP タッチボタンを二度押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



4. 11番または12番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



5. STYLE EDIT メニューを選びました。STYLE EDIT メニューのページ1およびページ2のパラメーターを使って、選んだスタイルを好みに変更します。
6. この時点では、編集したスタイルに新しい名前を付けることをお奨めします。この実行には、7番または15番 (RENAME) セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



7. 「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。

カーソル位置にスペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイのレターボックスには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

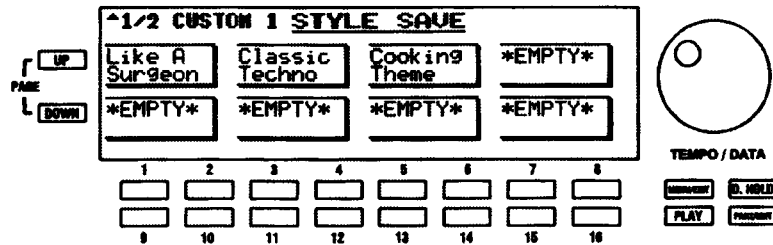
入力した名前の確定にはENT (16番セレクトタッチボタン) を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

8. 名前（16文字まで）を確定するには、ENT（16番セレクトタッチボタン）を押してください。

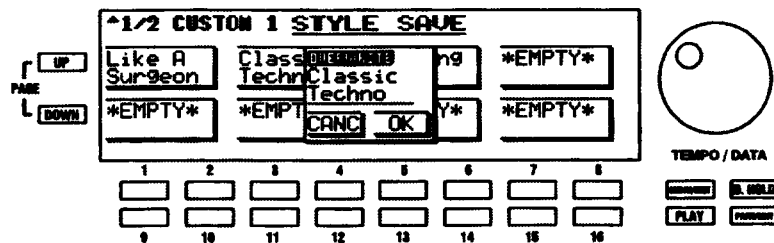
カスタムスタイルの記憶

カスタムスタイルを記憶するには：

1. TYLE EDIT メニューから、16番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



2. 独自のカスタムスタイルをページ1（「C.STYLE1」）またはページ2（「C.STYLE2」）のどちらかに記憶するかを選ぶには、PAGE UPとPAGE DOWNタッチボタンを使います。C.STYLE 1を選ぶと、RHUMBA/DISK STYLE 1リズムタッチボタンを選んで、カスタムスタイルを呼び出すことができます。C.STYLE 2を選ぶと、TANGO/DISK STYLE 2リズムタッチボタンを選んで、カスタムスタイルを呼び出すことができます。
3. カスタムスタイルを記憶したい場所を選ぶには、番号付きタッチボタンの一つを押します。画面のボックスは、先に説明したSTYLE SELECTページと同様に、番号付きタッチボタンに対応するパターンで構成されます。この例としては、1番セレクトタッチボタンを押してください。次のような画面が表示されます。

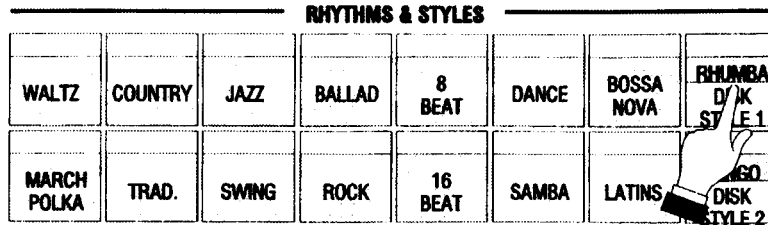


4. カスタムスタイルを上書きしたくない場合、3番または11番セレクトタッチボタンのどちらかを押します。STYLE EDITメニューが再度表示され、カスタムスタイルは記憶されません。カスタムスタイルを記憶したい場合、4番または12番セレクトタッチボタンを押してください。ディスプレイに約1秒間、「Please wait」というボックスが表示されます。このボックスが消えるとき、カスタムスタイルが記憶されます。新しいスタイル名が記憶された位置に表示されます。

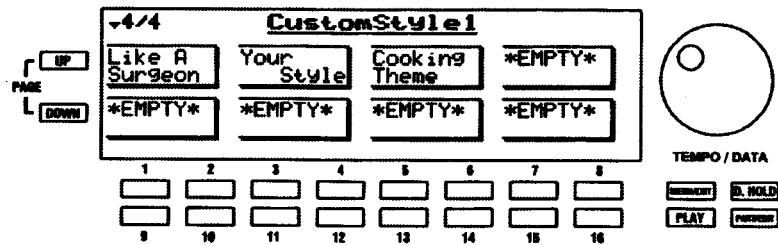
カスタムスタイルの呼び出し

すでに記憶しているカスタムスタイルを呼び出したい場合、次のようにします。

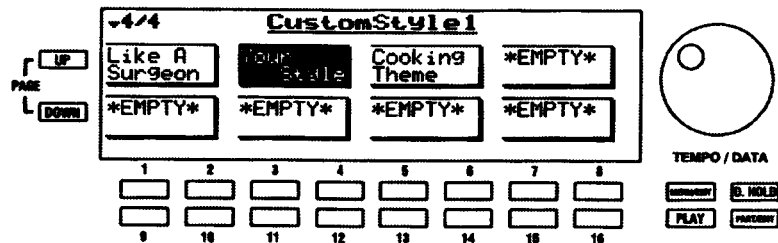
1. カスタムスタイルをどこに記憶するかに応じて、RHUMBA/DISK STYLE 1またはTANGO/DISK STYLE 2リズムタッチボタンのどちらかを押し、RAGEタッチボタンを使って「4/4」ページへ移動します。



ディスプレイは、次のような表示になります。

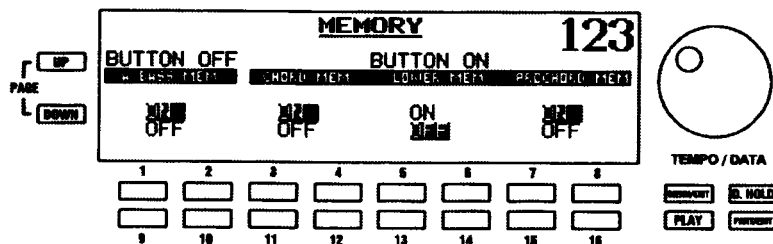


2. 選びたいカスタムスタイルに対応する番号付きタッチボタンを押します。選択されたスタイル名が強調表示されます。



カスタムスタイルを使うための準備ができました。他のリズムやスタイルと同様に、AUTOBAND ORCHESTRA、RHYTHM VARIATIONS、RHYTHM CONTROL タッチタブを使います。

▶ MEMORY (メモリー) 機能画面



MEMORY タッチタブの機能を設定します。

MENU/EXIT タッチボタンを使った MEMORY 機能画面への行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU (メニュー) モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 3番または4番セレクトタッチボタンを押します。「MEMORY」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った MEMORY 機能画面への行きかた：

MEMORY タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「MEMORY」という単語が表示されます。

現在、MEMORY 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、MEMORY 機能を様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明されます。

BUTTON OFF (ボタンオフ) モード

MEMORY タッチタブが「OFF」のとき、離鍵しても AUTO BASS が鳴り続けるかどうかを設定します。

オートベースメモリーを「ON」にするには2番、「OFF」にするには10番のセレクトタッチボタンを使います。

BUTTON ON (ボタンオン) モード

MEMORY タッチタブが「ON」のとき、離鍵しても何を鳴らし続けるかを設定します。「CHORD」(AUTOBAND 伴奏)、「LOWER」(ロワードローバーとボイス)、または「PROCHORD」(PROCHORD ハーモニアレンジメント) を別々に選ぶことができます。

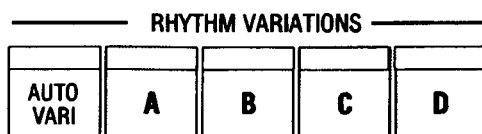
CHORD メモリーを「ON」にするには4番、「OFF」にするには12番のセレクトタッチボタンを使います。

LOWER メモリーを「ON」にするには6番、「OFF」にするには14番のセレクトタッチボタンを使います。

PROCHORD メモリーを「ON」にするには8番、「OFF」にするには16番のセレクトタッチボタンを使います。

◆ RHYTHM VARIATIONS (リズム・バリエーション)

5つのタッチタブがあり、次のように表示されます。



個々のスタイルには4つのバリエーションがあります。「A」パターンは、最も簡単なアレンジです。「D」パターンに近づくにつれて徐々に複雑になります。バリエーションを曲の展開に合わせて切り替えると効果的です。

バリエーションタッチタブは、常にどれか1つが「ON」になっています。

AUTO VARI (オートバリ) タッチタブ

このタッチタブが「ON」(LEDが点灯)のとき、リズムを走らせると、リズムバリエーションを自動的に変化させます。AUTO VARI バリエーションタッチボタン(「A」、「B」、「C」または「D」)の各LEDは、使われているものが点灯します。さらに、ディスプレイには、現在演奏中の小節番号(「M=1」、「M=6」など)が表示されます。



▶ AUTO VARI (オートバリ) 機能画面

AUTO VARI タッチタブの機能の設定及びシーケンス(スタイルの演奏順序)をプログラムします。

MENU/EXIT タッチボタンを使った AUTO VARI 機能画面への行きかた：

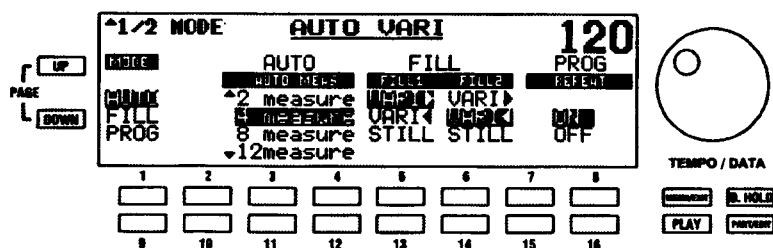
1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU (メニュー) モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 9番または10番セレクトタッチボタンを押します。「AUTO VARI」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った AUTO VARI 機能画面への行きかた：

AUTO VARI タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「AUTO VARI」という単語が表示されます。

現在、AUTO VARI 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、AUTO VARI Rhythms & Styles を様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

AUTO VARI (オートバリ) 機能画面 - ページ 1



MODE (モード)

リズムに対する AUTO VARI の機能を選ぶことができます。「AUTO」(バリエーションは、常に左から右、「A」から「D」へと動きます)、「FILL」(どのタブをフィルに使ったかどうかにより、バリエーションを右または左へ動かせます) または「PROG」(独自の AUTO VARI バリエーションをプログラムできます) を選ぶことができます。現在の選択項目が強調表示されます。

選択項目を変更するには、上へは 1 番、下へは 9 番のセレクトタッチボタンを使います。

AUTO (オート) モード

AUTO モードの際に、何小節で次のバリエーションに変化するかを設定します。「2」「4」「8」「12」、または「16」小節を選ぶことができます。

選択項目を変更するには、上へは 3 番または 4 番、下へは 11 番または 12 番のセレクトタッチボタンを使います。

FILL (フィルイン) モード

FILL モードの際に、FILL 1 および FILL 2 タッチタブの動作を設定します。「VARI ▶」(右側のバリエーションに移動)、「VARI ◀」(左側のバリエーションに移動) または「STILL」(移動しない) を選ぶことができます。

FILL 1 の選択項目を移動するには、上へは 5 番、下へは 13 番のセレクトタッチボタンを使います。

FILL 2 の選択項目を移動するには、上へは 6 番、下へは 14 番のセレクトタッチボタンを使います。

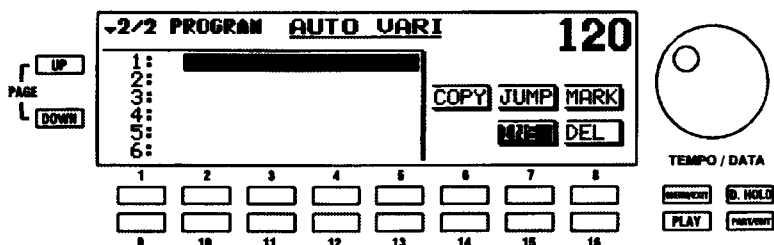
PROG - REPEAT (プログラム - リピート)

プログラムされたシーケンスを繰り返し演奏すかどうかを設定します。「ON」(シーケンスが繰り返されます。リズムを止めるまで、繰り返しは続きます) または「OFF」(プログラムされたシーケンスが一度だけ再生されます。その後リズムが止まります) を選ぶことができます。

この機能を オン するには 7 番または 8 番、オフ するには、15 番または 16 番セレクトタッチボタンを使います。

AUTO VARI (オートバリ) 機能画面 - ページ 2

AUTO VARI 機能画面のページ 1 から、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押して、ページ 2 を表示させます。

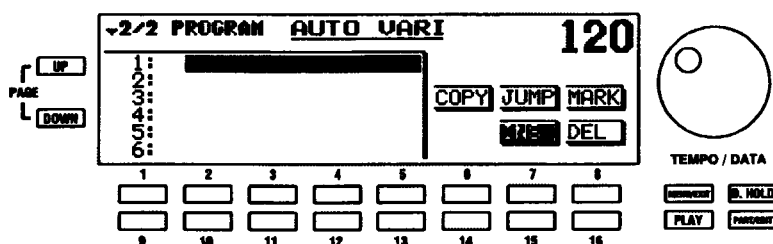


このページから、リズムタッチタブと番号付きセレクトタッチボタンを使って、自分のAutoVariシーケンスをプログラムすることができます。

AUTO VARI (オートバリ) シーケンスの作り方

以下の操作を実行してみてください。

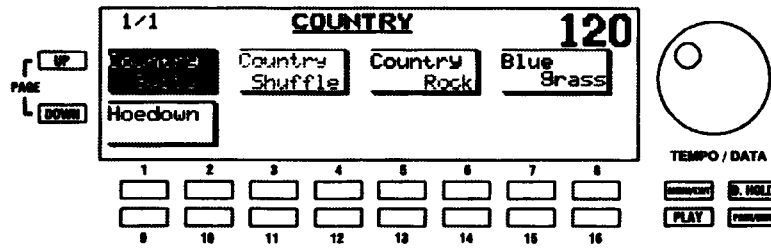
1. AUTO VARI 機能画面を表示するには、MENU/EXIT タッチボタンまたはショートカットを使い、PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押して、ページ 2 を表示させます。



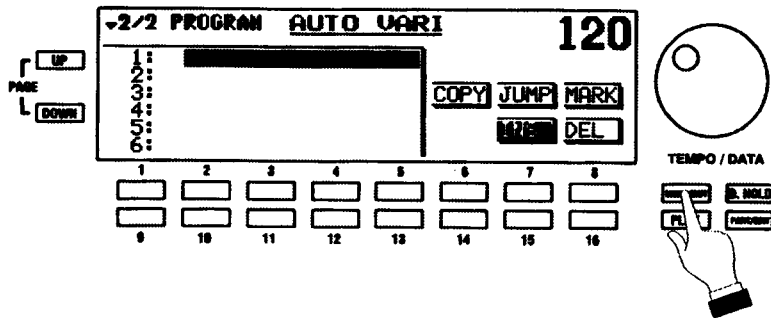
ディスプレイに、「COPY」、「JUMP」などのいくつかのコマンドが含まれていることに注意してください。これらのコマンドを使って、AUTO VARI シーケンスのプログラムをすることができます。これらすべてについては、続くパラグラフで説明されます。しかし、「INS」(挿入) コマンドが選ばれて、強調表示されていない限りなりません。

画面左側の番号にも注意してください。これらは、小節番号を示します。小節番号を上にもスクロールするには、上段の番号付きセレクトタッチボタン (1 番～5 番) を使います。小節番号を下にもスクロールするには、下段の番号付きセレクトタッチボタン (9 番～13 番) を使います。普通、AUTO VARI シーケンスのプログラムを始める場合、カーソル (黒く長いバー) を 1 小節目に設定します。

2. 上の画面から、リズムタッチボタンの一つを押します。ここでは例としてCOUNTRYを選びます。ディスプレイは、次のような表示になります。

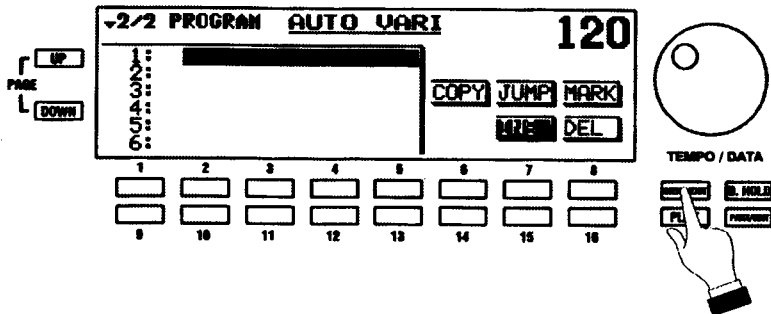


3. この例としては、7番または8番セレクトタッチボタンを押して、BLUEGRASSを選びます。



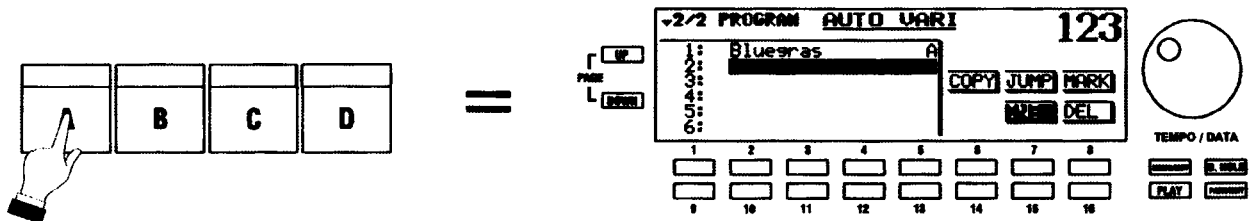
AUTO VARIシーケンスのプログラミングを始めるために使うスタイルを選びました。

4. AUTO VARI機能画面のページ2へ戻るには、MENU/EXITタッチボタンを押します。



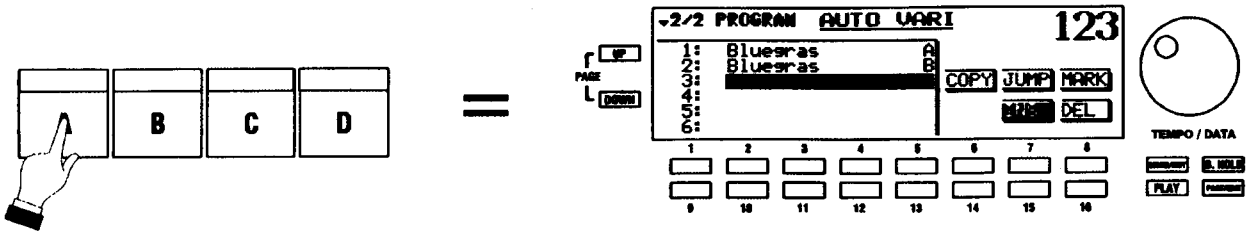
5. FILL IN 1およびFILL IN 2タッチタブに加えて、RHYTHM VARIATIONSセクションの「A」、「B」、「C」、「D」タッチタブを使って、AUTO VARIシーケンスをプログラムすることができます。

「A」タッチタブを一度押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



ディスプレイに、バリエーション文字「A」とともにスタイル名（「Bluegrass」）が表示されます。ここで、AUTO VARIシーケンスの小節1に、BLUEGRASSバリエーション「A」を挿入したことになります。

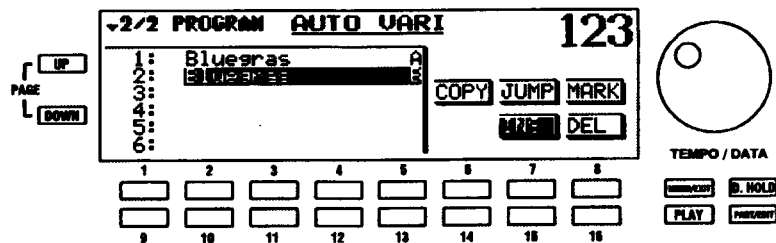
6. BLUEGRASSのバリエーション「B」を小節2に挿入したいと仮定します。「B」タッチタブを一度押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



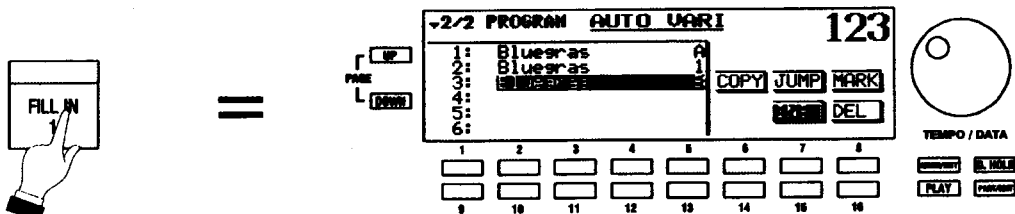
その小節のプログラムが完了すると、カーソルが自動的に次の小節に移動します。

AUTO VARI シーケンスの一部として、FILL INも挿入することができます。ここでは、小節2にFILL IN 1を挿入します。

7. この例としては、番号付きタッチボタンを使って、小節1へカーソルを動かします。



8. FILL IN 1を押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



ここで、小節2にFILL IN 1を挿入したので、以前に挿入した小節は小節3に移りました。

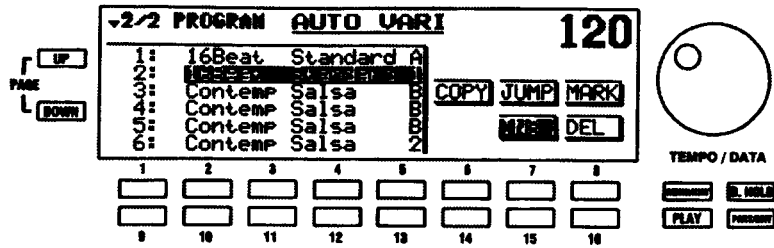
注記: AUTO VARI シーケンスでプログラムできる小節数は256小節までです。また、イントロとエンディングは、AUTO VARI シーケンスでは使用できません。

COPY (コピー) と PASTE (ペースト)

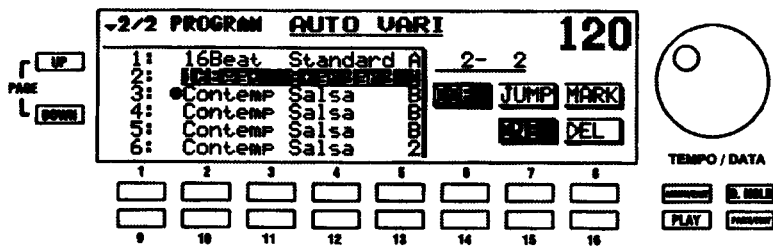
AUTO VARI シーケンスのプログラムを簡単にするために、COPY、PASTE 機能があります。これらの使い方を次の例で示します。

以下の操作を実行してみてください。

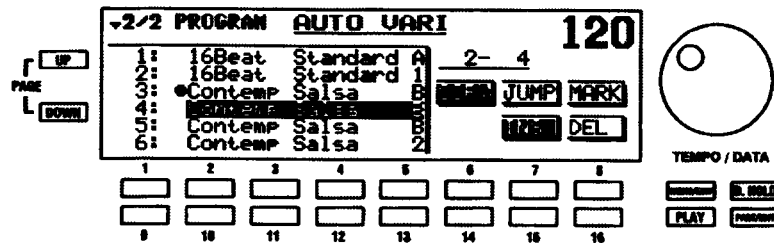
1. 上に述べた方法で、何小節かのAUTO VARIシーケンスをプログラムします。次の例では、小節1と2が同スタイル、その後の4小節が別のスタイルです。



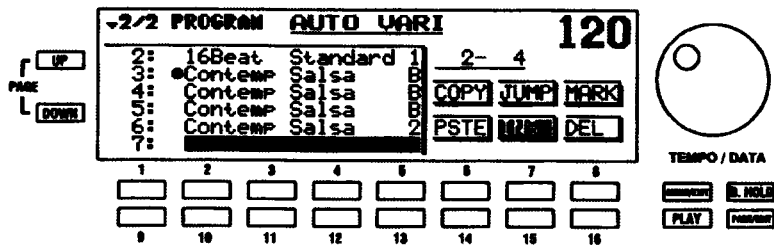
2. この例は、小節2から小節4を小節7から小節9にコピーすると仮定しています。コピー元の開始点としてカーソルを小節2に動かし、6番（COPY）セレクトタッチボタンを押します。



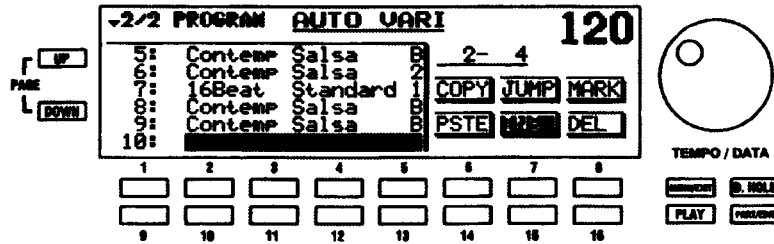
3. コピー元の終了点としてカーソルを小節4まで下に動かします。6番（COPY）セレクトタッチボタンを押します。



4. 小節2から4を選びました（コピー元の範囲がCOPYボタンの上に表示されます）。貼り付け先として、カーソルを小節7まで下に動かします。



新しいボタン「PSTE」(ペースト)が画面に表示されます。14番(PSTE)セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



これで、小節2から4を小節7から9に「ペースト」(貼り付け)されました。

MARK (マーク) と JUMP (ジャンプ)

長いAUTO VARIシーケンスを作成した場合、いちいちカーソルを動かして特定の小節を探すのは大変です。そこで、楽譜のリハーサルマークと同じように小節にマークを付け、プログラム中はそこへジャンプできるようになっています。ある小節にマークを設定するには8番(MARK)、マークされている小節へ飛ぶには7番(JUMP)を使います。マークを複数の小節に付けた場合、JUMPをする度に次のマーク小節に飛びます。

▶ RHYTHM EDIT (リズムエディット) メニュー

オリジナルのリズムパターンを「テンポラリ」に作成し、「ユーザーリズム」として記憶する機能です。

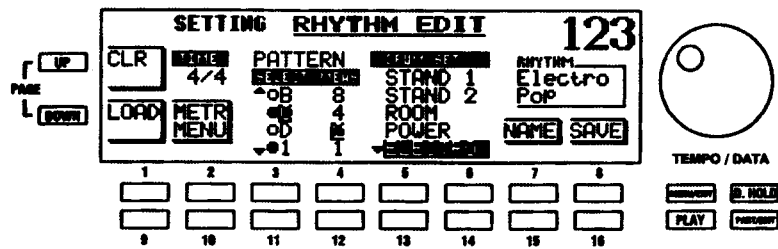
注記:この機能画面のショートカット(ユーザーリズム選択画面でPART/EDIT)は、本体内にユーザーリズムが存在している場合のみ有効です。

RHYTHM EDIT メニューへの行きかた:

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。MENU (メニュー) モードのページ3が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「3/4」が表示されます。
3. 9番または10番セレクトタッチボタンを押します。「RHYTHM EDIT」という単語が画面上部に表示されます。

現在、RHYTHM EDIT メニューが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、独自のユーザーリズムを記録することができます。

RHYTHM EDIT (リズムエディット) メニュー - ページ 1

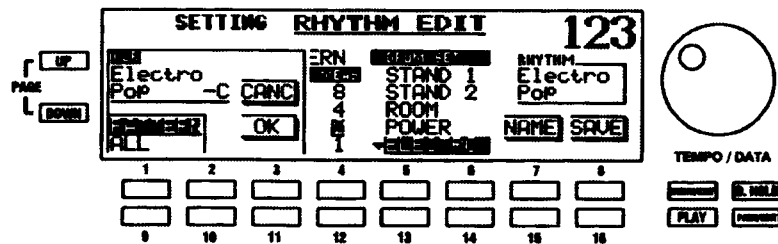


RHYTHM EDITに入ると、まずSETTINGページが表示されます。このページではリズムを打ち込む前の各設定や、パターンの消去／読み込みを行います。

CLR/LOAD (クリア/ロード)

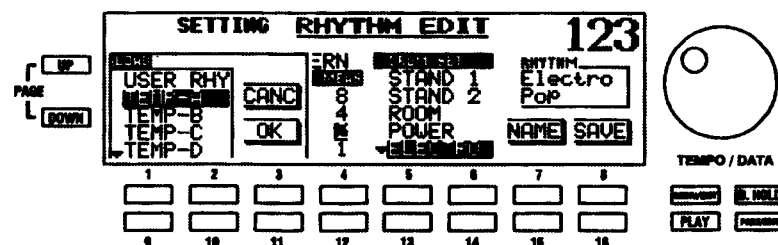
記録したリズムの一部または全部を消去したり、一つのパターンを他にコピーしたりすることができます。例えば、バリエーション「A」にパターンを記録して、それをバリエーション「B」にコピーすることができます。

現在選ばれているパターンを消去するにはCLR (1番セレクトタッチボタン) を使います。ディスプレイは、次のような表示になります。



「PATTERN」(選んだパターンだけが消去されます) または「ALL」(記録した全体のリズムが消去されます) を選ぶことができます。OK (実行) を選ぶには11番、CANC (取り消し) を選ぶには3番のセレクトタッチボタンを使います。

テンポ内でのパターンを現在のパターンに読みこんだり、他のユーザーリズム全体を現在のテンポ内全体に読み込むにはLOAD (9番セレクトタッチボタン) を使います。ディスプレイは、次のような表示になります。



「TEMP-A」や「TEMP-B」などは、テンポ内でのパターンを意味します。これらのどれかを選んで読み込むことができます。また、他のユーザーリズム全体を読み込むことができます。

注記: 本体内にユーザーリズムが存在しない場合、USER RHY を選んでも変化はありません。

上にスクロールするには1番または2番、下にスクロールするには9番または10番セレクトタッチボタンを使います。OKを選ぶには11番、CANCを選ぶには3番セレクトタッチボタンを使います。

TEMPパターンの一つを選んだ後に「OK」を選ぶと、そのパターンが現在選ばれているパターンへとコピーされます。パターンの選択については、78ページをご覧ください。

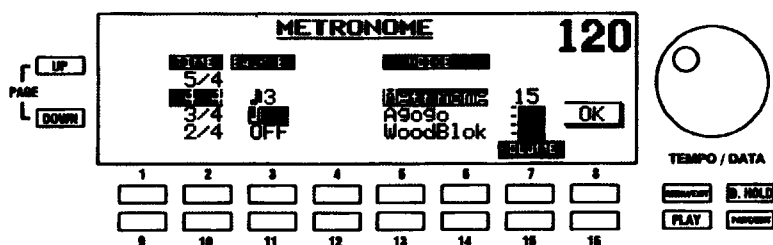
TIME (拍子記号)

ここでは、現在選ばれている拍子記号が表示されます。それを変えるには、10番セレクトタッチボタンを押して、METRONOME機能画面に入ります。

METR MENU (メトロノーム・メニュー)

メトロノームの設定や拍子を変えるにはメトロノームメニューを使用します。10番セレクトタッチボタンを押します。

METRONOME (メトロノーム) 機能画面



リズムの記録中、メトロノームが各ビートをカウントします。この画面で、メトロノームの設定をします。

注記：METRONOME機能画面へは、ある機能画面からのリンクでのみ行くことができます。いくつかの機能画面からアクセス可能ですが、リズム記録の一部なのでここで説明します。本ガイドの後でメトロノームについて説明するときは、様々なメトロノーム機能の説明をしている本ページを参照してください。

TIME (拍子記号)

曲の拍子記号を選びます。「2/4」「3/4」「4/4」、または「5/4」を選ぶことができます。

選択項目を移動するには、上へは2番、下へは10番のセレクトタッチボタンを使います。

UPBEAT (裏拍)

リズム感を正確に把握しやすくするために「裏拍」を鳴らすかどうかを設定します。「OFF」、「八分音符」または「八分三連音符」を選ぶことができます。

下のチャートは、各選択肢におけるメトロノームの鳴り方を図示しています。



選択項目を移動するには、上へは2番、下へは10番のセレクトタッチボタンを使います。

VOICE (ボイス)

メトロノームを聞き取りやすくするために音色を設定します。「Metronome」(いわゆるメトロノーム音)、「Agogo」(音程差が付いたアゴゴベル) または 「Woodblock」(音程差が付いたウッドブロック) を選ぶことができます。

選択項目を移動するには、上へは5番または6番、下へは13番または14番のセレクトタッチボタンを使います。

RHYTHM EDIT (リズムエディット) メニュー - ページ 1 (続き)

PATTERN (パターン)

記録したり、クリア/コピーを行うパターンを選択します。通常のスタイルと同様に、イントロ/エンディング、バリエーションA~Dおよびフィルインを選ぶことができます。

選択項目を移動するには、上へは3番、下へは11番セレクトタッチボタンを使います。

各パターンの小節数を設定します。「1」「2」「4」、または「8」を選ぶことができます。

選択項目を移動するには、上へは4番、下へは12番セレクトタッチボタンを使います。

注記: FILL IN 1およびFILL IN 2は、1小節に固定されています。

DRUM SET (ドラムセット)

使いたいドラムキットを選ぶことができます。10の異なるドラムキットを選ぶことができます。

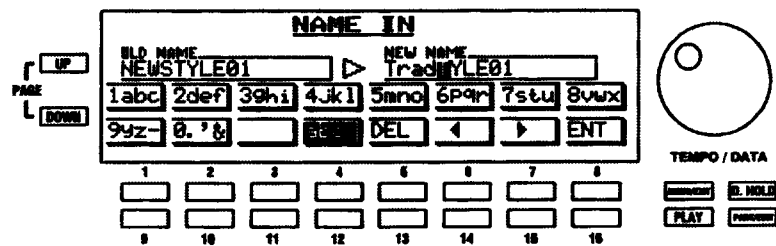
選択項目を移動するには、上へは5番または6番、下へは13番または14番のセレクトタッチボタンを使います。

注記:ドラムキットとそのドラムボイスのリストについては、本ガイドの最後にある付録をご覧ください。

NAME (名前をつける)

作成したリズムに名前を付けます。

1. NAME IN メニューに入るには、15番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



2. 「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。

カーソル位置にスペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイのレターボックスには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

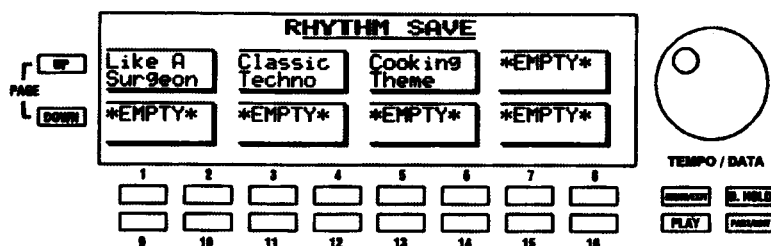
カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

入力した名前の確定にはENT (16番セレクトタッチボタン) を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

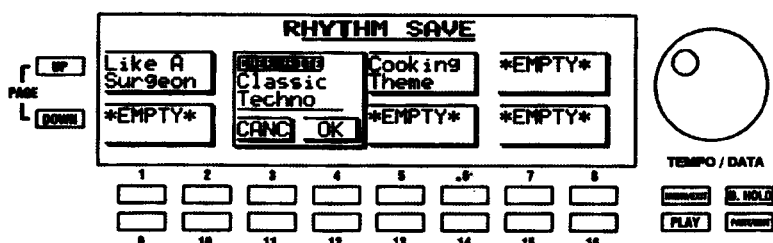
3. 名前 (16文字まで) を確定するには、ENT (16番セレクトタッチボタン) を押してください。

SAVE (セーブ)

作成したリズムをユーザーリズムへ記憶します。リズムを作成した後、16番セレクトタッチボタンを押してください。ディスプレイは、次のような表示になります。



リズムを記憶したい場所を選ぶには、番号付きタッチボタンの一つを押します。スタイルの選択と同様に、番号付きタッチボタンに対応する配列になっています。すでにメモリーにあるリズムを上書きしようとする場合、次のような画面が表示されます。

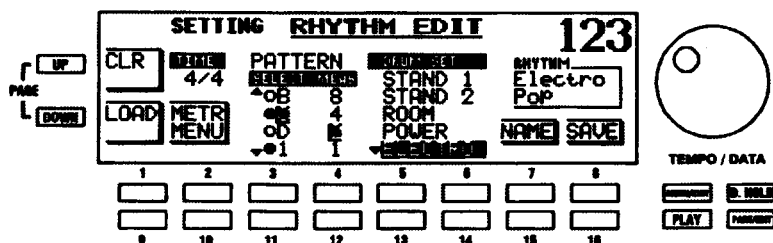


リズムを上書きしたくない場合、3番または11番セレクトタッチボタンのどちらかを押します。RHYTHM EDITメニューが再度表示され、リズムは記憶されません。リズムを記憶したい場合、4番または12番セレクトタッチボタンを押してください。数秒間「Please wait」というボックスが表示されます。このボックスが消えると、記憶完了です。

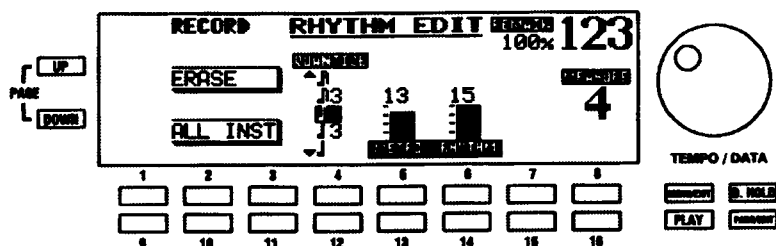
パターンの記録の仕方

以下の操作を実行してみてください。

1. MENU (メニュー) モードに入るには、MENU/EXIT タッチボタンを押します。
2. PAGE DOWN タッチボタンを二度押します。MENU (メニュー) モードのページ3が表示されます。
3. 9番または10番タッチボタンを押します。RHYTHM EDITメニューが表示されます。



- 記録するパターンを選びます。例えば、「A」です。項目を選ぶには、3番および11番セレクトタッチボタンを使います。
- 記録したい小節を選びます。例えば、「2」です。項目を選ぶには、4番および12番セレクトタッチボタンを使います。
- ドラムセットを選びます。例えば、「STAND 1」です。選択をするには、5番、6番、13番、および14番セレクトタッチボタンを使います。
- START/STOPタッチタブを押すと、記録が始まります。各ビートをカウントするメトロノームが聞こえます。ディスプレイは、次のような表示になります。



RHYTHM EDIT メニュー - RECORD が表示されますが、これは記録時のみ表示されます。

- テンポが速すぎたり遅すぎたりする場合、テンポつまみを使って好みのテンポに調節してください。
- 本体の鍵盤を使って、リズムパターンを記録します。パターンはループ走行しているの、音符を楽器ごとに少しずつ重ねていくことができます。

ミス・タッチなどで不要な音符を入力してしまった場合、次の方法で音符を消去してください。

ERASE (消去)

記録時に間違った音符を入力してしまった場合は、その音符を消去したり、特定の楽器すべてを消去することができます。記録状態にあるときに2番または3番セレクトタッチボタンを押したままにして、消去したいドラムボイスのキーを押したままにします。

ALL INST (全ての楽器)

特定のタイミングの楽器音全てを消去するには；

2番または3番セレクトタッチボタンを押したままにします。

10番または11番タッチボタンに同時を押したままにします。

パターン内の全ての音符を消去するには、両方のタッチボタンを押したままパターンを「一周」してください。

QUANTIZE (クオンタイズ)

入力した音符の「ずれ」を補正します。入力された音符のタイミングを、ここで設定した格子上に、強制的に移動させます。例えば8ビートのリズムを記録する場合は、八分音符に設定すると記録がしやすくなります。「OFF」にすると補正は行われません。

選択項目を移動するには、上へは4番、下へは12番のセレクトタッチボタンを使います。

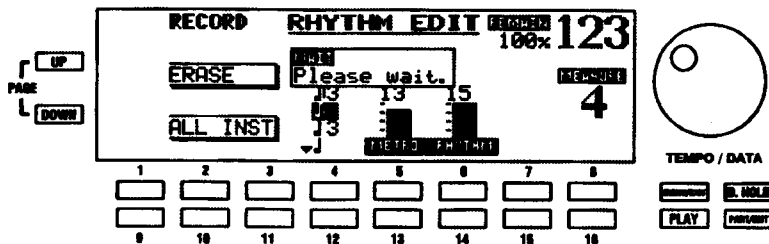
METRO (メトロノームボリューム)

メトロノームの音量を変えるには、5番と12番のセレクトタッチボタンを使います。

RHYTHM (リズムボリューム)

リズムの音量を変えるには、5番と12番のセレクトタッチボタンを使います (実際に記録される音量には影響しません)。

パターンの記録が終わったら、START/STOP タッチタブを押してください。ディスプレイは、約1秒間、次のようになります。



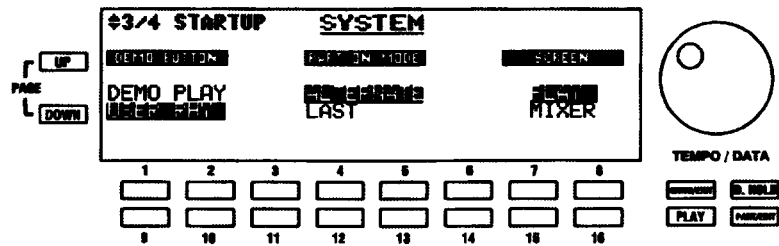
上のメッセージ表示が終わると、RHYTHM EDIT メニューのページ 1 に戻ります。

前のページで説明されている方法で、新しいリズムに名前を付けたり、記憶したりすることができます。

ユーザーリズムの呼び出し方

ユーザーリズムを記憶した後、次の方法でそれを呼び出すことができます。

1. DEMO (デモ) タッチタブは、デモソングの再生だけでなくユーザーリズムパターンの呼び出しにも使用します。このタッチタブの機能をユーザーリズムに変更するために、MENU EXIT タッチボタンを押します。
2. MENU (メニュー) モードのページ 4 を選ぶには、PAGE UP または PAGE DOWN タッチボタンを押します。
3. SYSTEM を選ぶには、11 番または 12 番セレクトタッチボタンを押します。
4. ディスプレイの表示が次のようになるまで、繰り返して PAGE UP タッチボタンを押します。

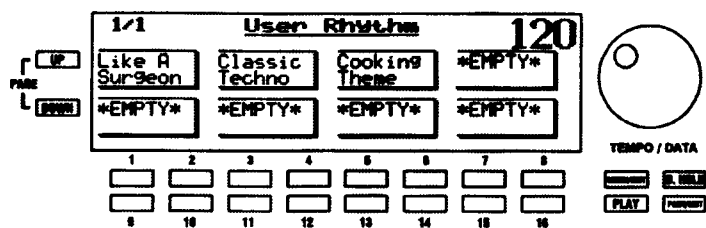


現在、SYSTEM 機能画面が表示されています。画面の左側に、「DEMO BUTTON」が表示されます。この高度機能により、ビルトインデモソングの演奏または RHYTHM EDIT 高度機能を使って作成したユーザーリズムの演奏に、DEMO (デモ) タッチタブを使うかどうかを選ぶことができます。

USER RHYTHM を選ぶには、9 番または 10 番セレクトタッチボタンを使います。

5. 以上が済むと、PLAY タッチボタンを押してプレイモードに戻ります。

6. DEMO (デモ) タッチタブを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



記憶した位置に、ユーザーリズムが付けた名前とともに表示されます。使いたいユーザーリズムを選ぶには、番号付きタッチボタンを使います。

注記: ユーザーリズムを特定の場所に記憶しなかった場合、場所を示すボックスは *EMPTY* と表示されます。ユーザーリズムがまったく無い場合、すべてのボックスに *EMPTY* が表示されます。

◆ EASY PLAY SYSTEM (イージー・プレイ・システム) タッチタブ

最少の指でローワー鍵盤を押さえるだけで、コード演奏ができる機能です。これを鳴らすにはローワー及びペダル鍵盤の部分を「ON」にしておく必要があります。



注記: EASY PLAY SYSTEM タッチタブは、ローワー鍵盤用に選ばれたドローバーおよびボイスのみに作用します。AUTOBAND 機能のコードは、59 ページで説明されている AUTOBAND 機能画面で、別々に制御されます。

注記: EASY PLAY SYSTEM が認識するすべてのコードの完全なリストについては、本ガイドの最後にある付録をご覧ください。

◆ PRESETS (プリセット)

| | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|----|------|
| <i>Rhythm Preset</i> | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | BANK |
| CANCEL | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | REC |

PRESETS

プリセットは各鍵盤の音色やスイッチの状態をあらかじめ記憶しておき、瞬時に音色の切り替えを行うのに使用します。工場出荷時に基本のセッティングをしてありますが、プリセットの内容は自由に書き換えることができます。また、工場出荷時の初期状態に戻すこともできます。

PRESET タッチタブは、CANCEL (キャンセル)、RHYTHM PRESET (リズムプリセット)、1～10のうちどれか一つだけが常に選ばれています。いずれかのPRESET タッチタブを選択すると、それまでの設定に代わり設定が呼び出されます。

ディスプレイがプレイモードの時にいずれかのプリセットを選択すると、ディスプレイに表示されるボイスの名前やドローバーの設定、スタイル等の変化が確認できます。

プリセットによって呼び出した設定を変更することはできますが、新たにRECORD (レコード) 操作を行わない限り記憶内容は変更されません。但しCANCEL タッチタブだけは特別で、現在の設定を常に記憶し続けているため、記憶操作は必要ありません。

注記: ドローバーやタッチタブといったフロントパネル上にはない設定もプリセットには記憶されます。プリセットに記憶されるパラメーターの完全なリストは、本ガイドの最後にある付録をご覧ください。

◆ プリセットバンク

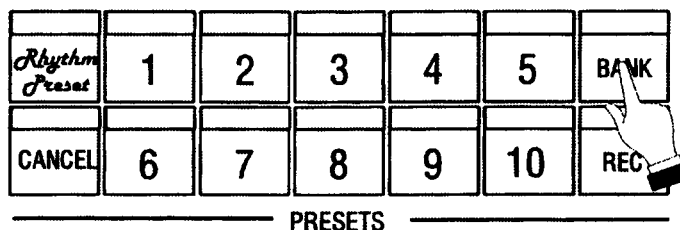
10の組み合わせの各セットまたはプリセットは、プリセットバンクと呼ばれています。XE-1には、10のビルトインプリセットバンクが搭載されています。それぞれのバンクが、イーजीリスニング、ジャズ、コンテンポラリー、ドローバー、ポップオルガン、クラシックオルガンなど、異なる種類の音楽に対応しています。

プリセットバンクの選び方

PRESET タッチタブから起動するプリセットバンクを選ぶことができます。

以下の操作を実行してみてください。

7. PRESETS セクションのBANK タッチタブを押したままにします。



8. BANK タッチタブを押したまま、PRESET セクションの任意の番号付きタッチタブを押します。例えば、1 番タッチタブです。



現在のバンク 1 を選びました。BANK タッチタブを押したままにして、どれかの番号付きタッチタブを選ぶと、押した番号に対応するプリセットバンクが選ばれます。

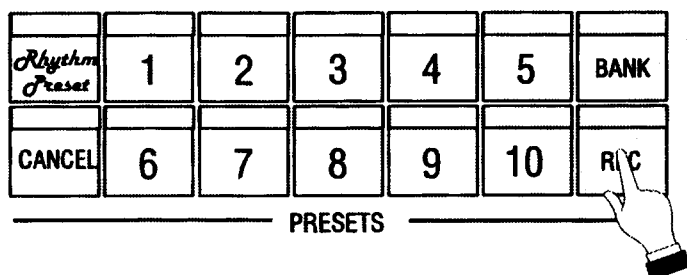
9. 任意の番号付き PRESET タッチタブを押します（この時点で設定が呼び出されます）。鍵盤を弾くと、新しい設定になっているのが分かります。

◆ セットアップをプリセットに記憶するには

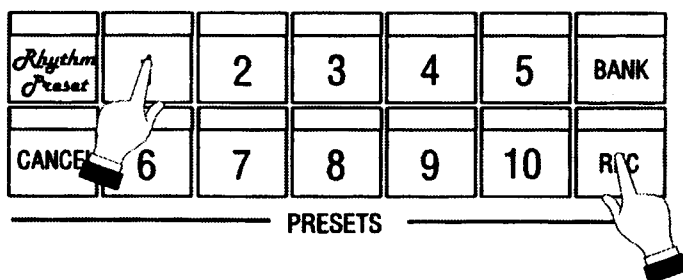
独自の設定にプリセットをプログラムすることができます。

以下の操作を実行してみてください。

1. パートごとの音色や効果、音量バランスなどを設定します。
2. REC タッチタブを、右手で押したままにします。



3. 右手で REC タッチタブを押したままにしてください。PRESET タッチタブの一つを左手で押しします。例えば、1 番タッチタブです。



押したプリセットの LED が数回点滅し、情報が保管されたことを示します。LED の点滅が止まると、記録処理が完了します。

組み合わせを PRESET タッチタブへ記憶した後、それを 3.5 インチのフロッピーディスクか CompactFlash Card に保存することができます。これは、本ガイドの「シーケンサー、ディスクドライブ、CompactFlash を使う」のセクションで説明されています。

▶ COMBI. PRESET (コンビネーションプリセット) 機能画面

XE-1には、コンビネーションプリセットとリズムプリセットの2タイプのプリセットがあります。コンビネーションプリセットは、10の番号が付いたPRESETタッチタブを使ってアクセスされるプリセットです。ディスプレイでは、「コンビネーションプリセット」が「COMBI. PRESET」に省略されています。この機能画面により、コンビネーションプリセットの特性を変えることができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った COMBI. PRESET 機能画面への行きかた：

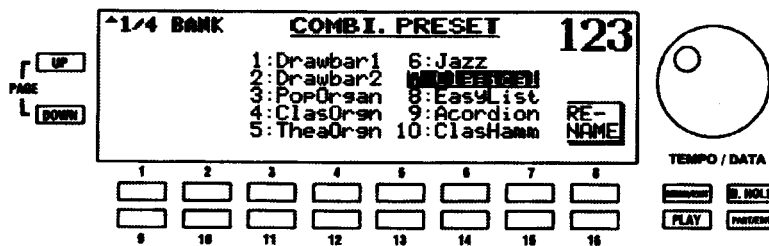
1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU (メニュー) モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 15番または16番セレクトタッチボタンを押します。「COMBI. PRESET」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った COMBI. PRESET 機能画面への行きかた：

BANK タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「COMBI. PRESET」という単語が表示されます。

現在、COMBI. PRESET 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、コンビネーションプリセットを様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

COMBI. PRESET (コンビネーションプリセット) 機能画面 - ページ 1



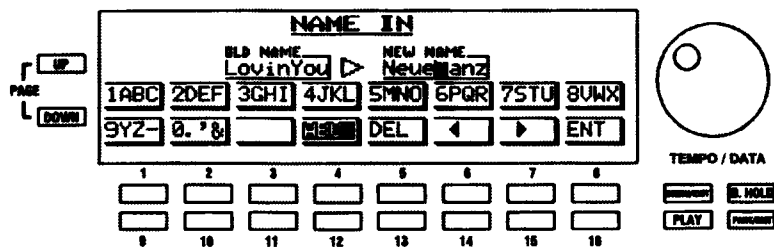
プリセットバンクの選択及び、プリセットバンクに名前を付けます。

プリセットバンクを選ぶ

番号付きタッチボタンを使い、ディスプレイに表示されているバンクリストを上下にスクロールします。

プリセットバンクに名前を付ける

- 16番タッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



2. 「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。

カーソル位置にスペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

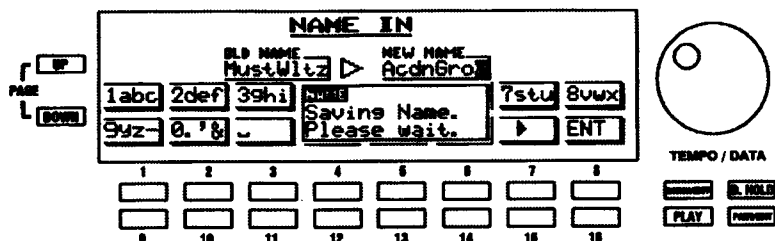
大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイのレターボックスには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

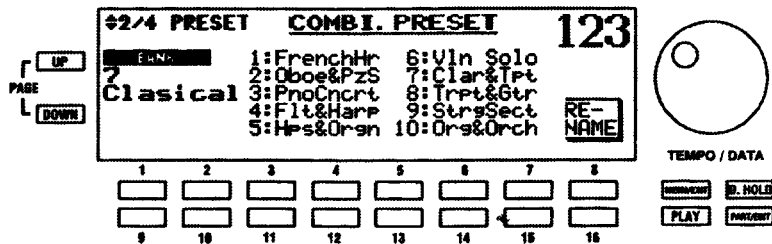
入力した名前の確定にはENT（16番セレクトタッチボタン）を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

3. 名前（8文字まで）を確定するには、ENT（16番セレクトタッチボタン）を押してください。



このボックスが消えて画面が普通に戻ると、新しいプリセット名の記憶完了です。

COMBI. PRESET (コンビネーションプリセット) 機能画面 - ページ 2



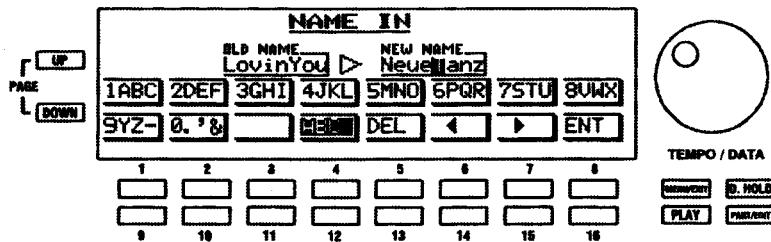
この機能画面により、選んだバンク内で、個々のプリセットを選んだり、リネームしたりすることができます。

プリセットを選ぶ

番号付きタッチボタンを使い、ディスプレイに表示されているプリセット名リストを上下にスクロールします。

プリセットに名前を付ける

1. 16番タッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



2. 「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。

カーソル位置にスペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

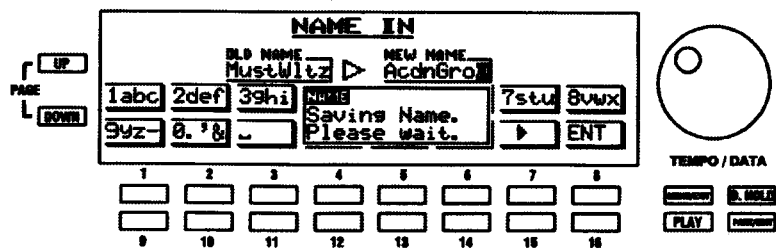
大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイのレターボックスには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

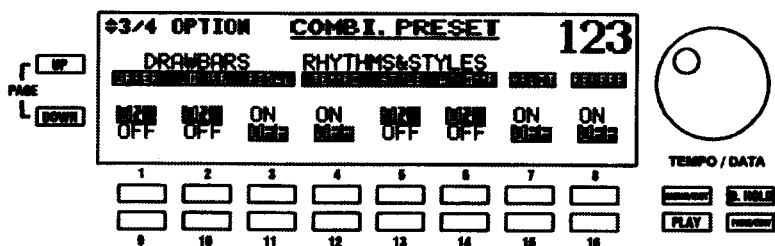
入力した名前の確定にはENT（16番セレクトタッチボタン）を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

- 名前 (8文字まで) を確定するには、ENT (16番セレクトタッチボタン) を押してください。



このボックスが消えて画面が普通に返ると、新しいプリセット名の記憶完了です。

COMBI. PRESET (コンビネーションプリセット) 機能画面 - ページ 3



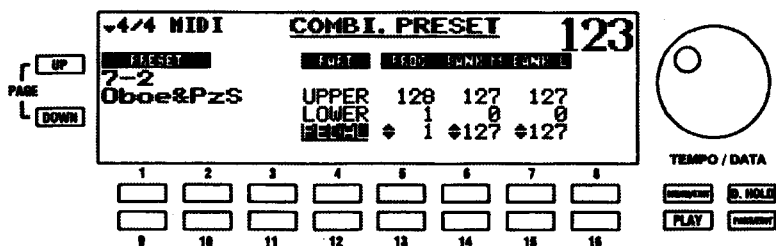
OPTION (オプション)

プリセットタッチタブを押したときに、何を呼び出すかを設定します。例えば、「ドローバーの設定や各パートの音色は変わって欲しいが、スタイルやテンポはそのままであって欲しい」といった場合の設定ができます。

設定が「ON」のとき、プリセットを押すと、そのパラメーターは呼び出されます。設定が「OFF」のときは、プリセット内のそのパラメーターは呼び出されません。

各オプションを「ON」するには上段 (1番～8番)、「OFF」するには下段 (9番～16番) のタッチボタンを使います。

COMBI. PRESET (コンビネーションプリセット) 機能画面 - ページ 4



送信する MIDI プログラム番号の設定

プリセットは、接続されている MIDI 機器に、MIDI プログラム番号データを送ることもできます。この機能画面により、アッパーおよびローワー鍵盤、それにペダル鍵盤のプログラム番号を選ぶことができます。これらバンクセレクトおよびプログラムチェンジのメッセージは、KEYBOARDチャンネルから送られてきます (詳細については、MIDI メニューを参照してください)。

パートを移動するには、上へは4番、下へは12番のセレクトタッチボタンを使います。

プログラム番号を変更するには、上へは5番、下へは13番のセレクトタッチボタンを使います。

バンク番号のMSB (Most Significant Bit) を変更するには、上へは6番、下へは14番のセレクトタッチボタンを使います。

バンク番号のLSB (Least Significant Bit) を変更するには、上へは7番、下へは15番のセレクトタッチボタンを使います。

◆ RHYTHM PRESET (リズムプリセット)

各リズムスタイルに適したセッティングを使うことができます。この機能を使うには、RHYTHM PRESET タッチタブを押して「ON」にします。LEDが点灯します。

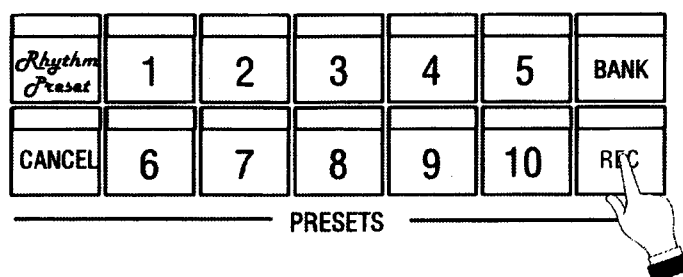


RHYTHM PRESET タッチタブが「ON」のとき、異なるリズムスタイルを選ぶ度に、ボイスも変更されません。こうして、スタイルとともにメロディーの演奏のために適切な設定が行われます。

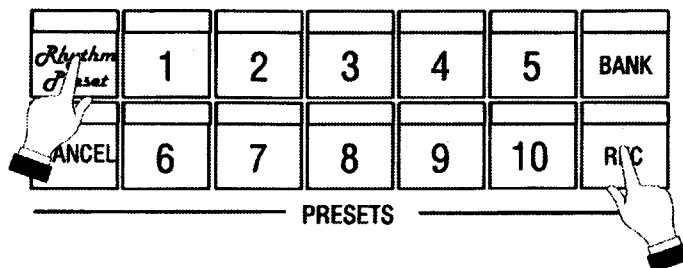
セッティングをリズムプリセットに記憶するには

オリジナルの設定を各リズムスタイルにプログラムすることができます。これには：

1. 好みのリズムスタイルを選びます。
2. 好みのボイスまたはドローバーレジストレーションにXE-1を設定します。
3. PRESETS タッチタブグループのREC タッチタブを押し続けてください。

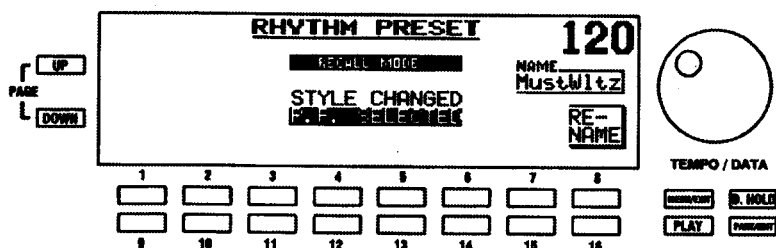


4. REC タッチタブを押している間、RHYTHM PRESET タッチタブを押します。



5. 押さえている両方のタッチタブを離します。RHYTHM PRESET タッチタブのLED が数回点滅します。点滅が終わると、新しいリズムプリセット設定が記憶されています。

▶ RHYTHM PRESET (リズムプリセット) 機能画面



この機能画面により、リズムプリセットのリネームと同時に、RHYTHM PRESETの機能を選ぶことができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った RHYTHM PRESET 機能画面への行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。MENU (メニュー) モードのページ3が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「3/4」が表示されます。
3. 15番または16番セレクトタッチボタンを押します。「RHYTHM PRESET」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った RHYTHM PRESET 機能画面への行きかた：

RHYTHM PRESET タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「RHYTHM PRESET」という単語が表示されます。

現在、RHYTHM PRESET 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、RHYTHM PRESET 機能を様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明されます。

RECALL MODE (リコールモード)

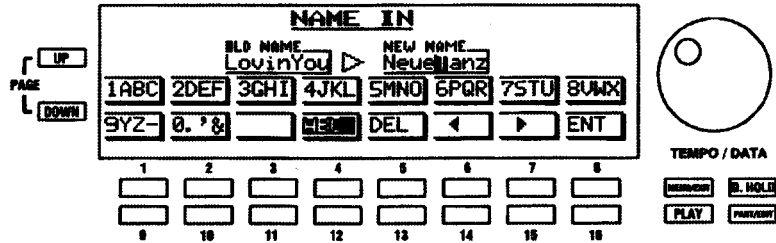
RHYTHM PRESET の機能を選ぶことができます。「STYLE CHANGED」(新しいリズム/スタイルを選ぶごとに、RHYTHM PRESET が変わります) または「R.P.SELECTED」(RHYTHM PRESET タッチタブを選んだときに限り、RHYTHM PRESET が変わります。リズムを変えても、レジストレーションは変わりません) を選ぶことができます。

STYLE CHANGED を選ぶには3番～6番、R.P.SELECTED を選ぶには11番～14番のセレクトタッチボタンを使います。

RENAME (名前を付ける)

リズムプリセットをリネームすることができます。この実行には：

- 16番タッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



2. 「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。

カーソル位置にスペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

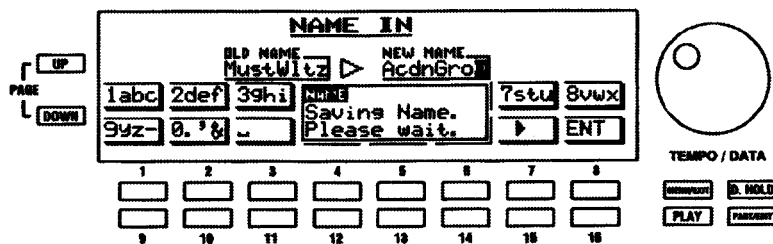
大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイのボタメンには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

入力した名前の確定にはENT（16番セレクトタッチボタン）を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

3. 名前（8文字まで）を確定するには、ENT（16番セレクトタッチボタン）を押してください。



このボックスが消えて画面が普通に返ると、プリセット名の変更は完了です。

◆ 全体にかかる効果

XE-1の全体にかかる効果には、リバーブ、SES、EQがあります。

◆ REVERB (リバーブ)

カーペットや家具など、吸音効果のある部屋で演奏する場合、REVERB を使うとすべてのボイスに美しいコンサートホール効果を加えることができます。

REVERB (リバーブ) タッチタブ

このタッチタブを押して「ON」(LEDが点灯)にすると、リバーブエフェクトがオンになります



リバーブの量と種類は、次に説明する REVERB 機能画面の設定で決まります。

▶ REVERB (リバーブ) 機能画面

この機能画面により、REVERB の機能を選ぶことができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った REVERB 機能画面への行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を表示させるには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。
2. 1番または2番セレクトタッチボタンを押します。「REVERB」という単語が画面上部に表示されます。

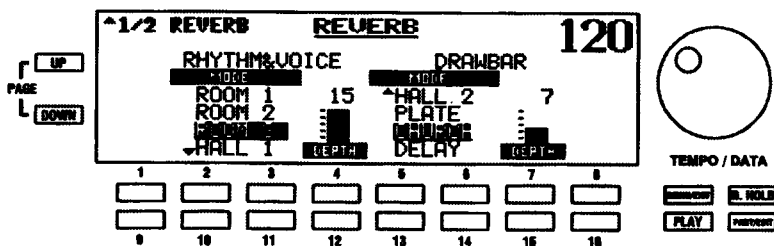
ショートカットを使った REVERB 機能画面への行きかた：

REVERB タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「REVERB」という単語が表示されます。

現在、REVERB (リバーブ) 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、リバーブを変化させることができます。

REVERB (リバーブ) 機能画面 - ページ 1

RHYTHM & VOICE MODE (リズム & ボイス・リバーブモード)



リズムおよびボイスのリバーブモードを設定します。

選択項目を移動するには、上へは2番または3番、下へは10番または11番のセレクトタッチボタンを使います。

RHYTHM & VOICE LEVEL (リズム & ボイス・リバーブレベル)

リズムおよびボイスの総合的なリバーブ量を設定します。

リバーブの量を増やすには4番、減らすには12番のセレクトタッチボタンを使います。

DRAWBAR MODE (ドローバー・リバーブモード)

ドローバーのリバーブモードを設定します。

選択項目を移動するには、上へは5番または6番、下へは13番または14番のセレクトタッチボタンを使います。

DRAWBAR LEVEL (ドローバー・リバーブレベル)

ドローバーの総合的なリバーブ量を設定します。

リバーブの量を増やすには7番、減らすには15番のセレクトタッチボタンを使います。

▶ REVERB (リバーブ) ミキサーメニュー

ドローバーを除く各パート別にリバーブ量を設定します。

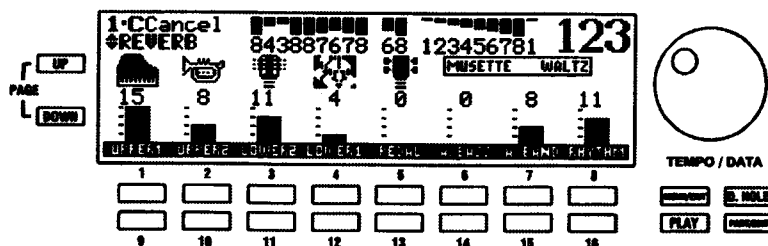
注記：この機能画面には、ショートカットがありません。PLAYおよびPARTタッチボタンでのみアクセス可能です。

REVERB ミキサーメニューへの行きかた：

1. ミキサーモードのページ1が表示されるまで、繰り返してPLAYセレクトタッチボタンを押します。ミキサーモードの詳細については、本ガイドのINFORMATION CENTER DISPLAYセクションを参照してください。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを三度押します。REVERB MIXER メニューのページ1が表示されます。

現在、REVERB MIXERメニューが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、様々なディビジョンのリバーブをコントロールすることができます。これらの操作については、次のページから説明されます。

REVERB MIXER メニュー (ページ 1)



各パートのリバーブ量を増やすには上段 (1 番～8 番)、減らすには下段 (9 番～16 番) のセレクトタッチボタンを使います。

注記: ボイス指定 (UPPER 1、UPPER 2、LOWER 2 など) の詳細については、36 ページから始まるボイス・セクションで説明されています。

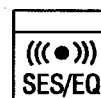
リバーブ量をコントロールしたいパートが画面中に無い場合は、PARTセレクトタッチボタンを使って画面を切り替えます。一度押す毎にパート表示画面が順番に切り替わります。

◆ SES/EQ (サウンド・エクspansion・システム/イコライザー)

SES (サウンド・エクspansion・システム) と EQ (イコライザー) で、音に広がりを持たせたり、演奏場所に合わせた音質にしたりすることができます。

SES/EQ タッチタブ

SES 効果の「ON/OFF」と、SES/EQ 機能画面 (次項) への「ショートカット」に使用します。



▶ SES/EQ 機能画面

この機能画面により、SES/EQ タッチタブで加えるサウンドのタイプを設定することができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った SES/EQ 機能画面への行きかた:

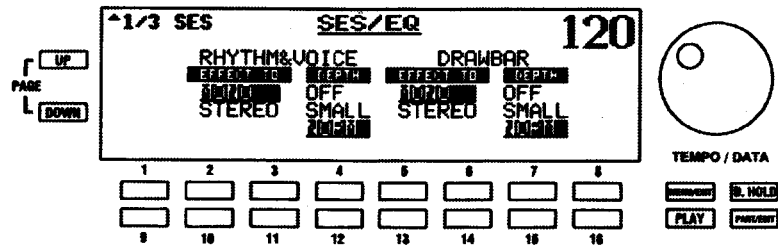
3. 種々のメニューセレクションを見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。
4. 9 番または 10 番セレクトタッチボタンを押します。「SES/EQ」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った SES/EQ 機能画面への行きかた:

SES/EQ タッチタブを押したままにします。約 1 秒後、画面上部に「SES/EQ」という単語が表示されます。

現在、SES/EQ 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、SES/EQ を様々に変化させることができます。これらの操作については、次のページから説明されます。

SES/EQ 機能画面 - ページ 1



SES (サウンド・エクspansion・システム) の設定を行います。

SES ステレオ/モノセレクト

SESのタイプを選びます。「STEREO」は、各パートにパンが設定されている場合に特に有効で自然なサウンドですが、若干効果が浅く感じるかも知れません。「MONO」は例えばレスリー効果のかかっていないドローバーのようなモノラルのサウンドにも広がりを持たせますが、元々パンが設定されたサウンドに使用すると不自然に感じるかも知れません。

リズムとボイスに STEREO を選ぶには2番または3番、MONO を選ぶには10番または11番のセレクトタッチボタンを使います。

ドロージャーに STEREO を選ぶには5番または6番、MONO を選ぶには13番または14番のセレクトタッチボタンを使います。

SES エフェクトデプス

SES のかかり具合を設定します。

リズム & ボイスの量を 増やす には4番、減らす には12番のセレクトタッチボタンを使います。

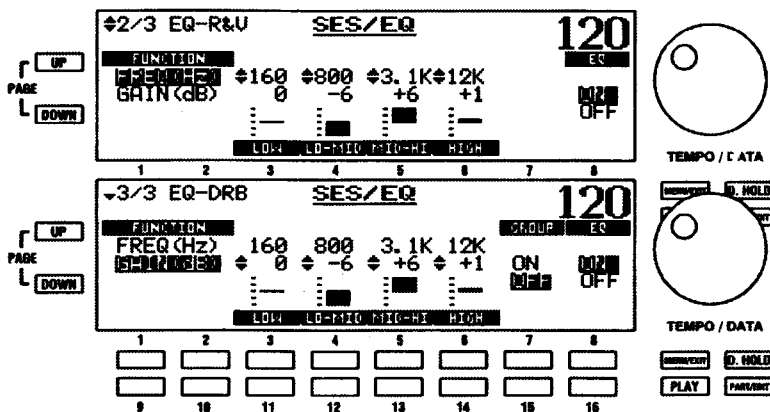
ドロージャーの量を 増やす には7番、減らす には15番のセレクトタッチボタンを使います。

SES/EQ メニューのページ2に行く前に、「イコライゼーション」について説明します。

「イコライゼーション」とは、何ですか？

「イコライゼーション」は、音響エンジニアが使う用語で、音質を変えることをいいます。例えば、ピアノが「マイク収録」され（そのサウンド出力がマイクで入力され）、その音を明るくしたり、低音を強調したりするには、サウンドエンジニアが「周波数帯」と呼ばれる個々の帯域レベルを増加させたり減少させたりして、希望の効果を得ます。家庭用ステレオアンプの「BASS」と「TREBLE」トーンコントロールは、非常に初歩的なイコライザーといえます。しかし、実際のイコライザーでは、「高域」と「低域」に限らず、広い周波数範囲を制御することができます。ハモンド XE-1 の SES/EQ 機能のイコライザー一部には、この機能が組み込まれています。下に説明されているように、SES/EQ メニューのページ2と3で、イコライザー一部が制御されます。

SES/EQ 機能画面 - ページ2と3



これらの機能画面で、イコライザーの設定を行います。Page 3がドローバー用、ページ2はリズム&とボイス用です。これらのページ間を移動するには、PAGE UPとPAGE DOWN ボタンを使います。

FUNCTION (ファンクション)

画面中央に、「LOW」、「LO-MID」、「MID-HI」、「HIGH」とマークされた4つの調整が表示されています。これらは、周波数 (FREQUENCY) (対象の周波数帯域のセンター周波数) の調整や利得 (GAIN) (対象の周波数帯域に対するレベル) の調整が可能になるように作られています。

FREQ を選ぶには、1番または2番、GAIN を選ぶには、9番または10番セレクトタッチボタンを使います。

「FREQ」を選ぶと、画面中央の4つのコントロールで、「LOW」、「LO-MID」、「MID-HI」、「HIGH」の周波数帯域の中心周波数をコントロールすることができます。

周波数を高くするには、それぞれの周波数帯の上段 (3番～6番)、低くするには下段 (11番～14番) のセレクトタッチボタンを使います。

「GAIN」を選ぶと、画面中央の4つのコントロールで、「LOW」、「LO-MID」、「MID-HI」、「HIGH」の周波数帯域のレベルをコントロールすることができます。

レベルを上げるには、それぞれの周波数帯の上段 (3番～6番)、下げるには下段 (11番～14番) のセレクトタッチボタンを使います。

GROUP (グループ)

SES/EQ機能画面のページ2のみで、リズム/ボイスおよびドローバーの両方のEQ設定をコントロールすることができます。この機能が通常の状態「OFF」のとき、ページ3を使ってドローバーのEQ設定をコントロールすることができます。この機能が「ON」のとき、ページ3のコントロールの下の番号付きセレクトタッチボタンを押しても効果はありません。ページ2が、すべてのパートに対して、EQを制御します。

EQグループを「ON」にするには7番、「OFF」にするには、15番のセレクトタッチボタンを使います。

EQ ON/OFF

SES/EQ機能画面のページ2と3には、EQ用のON/OFF設定もあります。これらにより、リズム/ボイスとドローバーに対して、EQの「ON」または「OFF」を別々にすることができます。

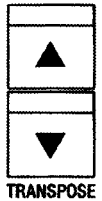
EQを「ON」にするには8番、「OFF」にするには16番のセレクトタッチボタンを使います。

注記: EQグループが「ON」のとき、EQのON/OFF設定はページ2によってのみコントロールされます。

◆ 便利な機能

◆ TRANSPOSE (トランスポーズ)

機器全体を移調します。これは、あるキーで書かれた曲で、他のキーで演奏する必要がある場合に有効です。例えば、Cメジャーで書かれて演奏される曲をGメジャーで演奏することができます。TRANSPOSEは、中央位置から上下6半音の範囲で移動可能です。



下向きタッチタブを押すと、LEDが点灯し、全体の音程が半音下がります。同時に、ディスプレイがプレイモードの場合、左上部に「Xp=-1」が表示されます。TRANSPOSEダウンタッチタブを押す度に、各ステップダウンを表示してディスプレイが変化します。

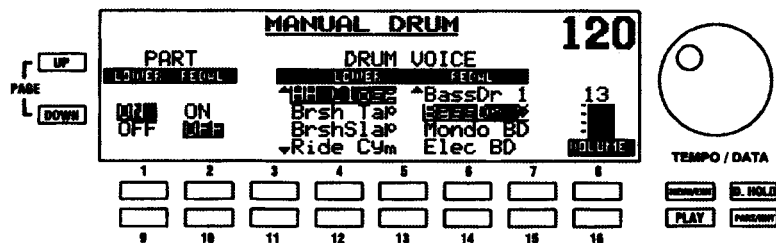
中央点（LEDは消灯）から、TRANSPOSE上向きタッチタブを押すと、「Xp=+1」がディスプレイに表示されます。

◆ MANUAL DRUM (マニュアルドラム)

ローキー鍵盤またはペダル鍵盤で、単一のリズム楽器音を発音する機能です。ペダル鍵盤でバスドラム、ローキー鍵盤でスネアドラムなど自分の演奏によって基本リズムパターンが演奏されます。リズムの走行中でも、MANUAL DRUM機能は使うことができます。この機能を使うには、MANUAL DRUMタッチタブを押します。LEDが点灯します。



MANUAL DRUM (マニュアルドラム) 機能画面



MANUAL DRUM 機能の設定を行います。

MENU/EXIT タッチボタンを使った MANUAL DRUM 機能画面への行きかた：

1. 任意のプレイモードページからMENU（メニュー）モードの最初の画面を見るには、MENU/EXITセレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU（メニュー）モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。MENU（メニュー）モードのページ3が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「3/4」が表示されます。
3. 13番または14番セレクトタッチボタンを押します。「MANUAL DRUM」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った MANUAL DRUM 機能画面への行きかた：

MANUAL DRUM タッチタブを押したままにします。約 1 秒後、画面上部に「MANUAL DRUM」という単語が表示されます。

現在、MANUAL DRUM 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、MANUAL DRUM 機能を様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

LOWER (ロー) ON/OFF

ロー鍵盤の MANUAL DRUM を「ON」にするには 1 番、「OFF」にするには 9 番のセレクトタッチボタンを使います。

PEDAL (ペダル) ON/OFF

ペダル鍵盤の MANUAL DRUM を「ON」にするには 2 番、「OFF」にするには 10 番のセレクトタッチボタンを使います。

DRUM VOICE LOWER (ロワードラムボイス)

ロー鍵盤のボイスを変更するには、3 番または 4 番と、11 番または 12 番のセレクトタッチボタンを使います。

DRUM VOICE PEDAL (ペダルドラムボイス)

ペダル鍵盤のボイスを変更するには、5 番または 6 番と、13 番または 14 番のセレクトタッチボタンを使います。

VOLUME (ボリューム)

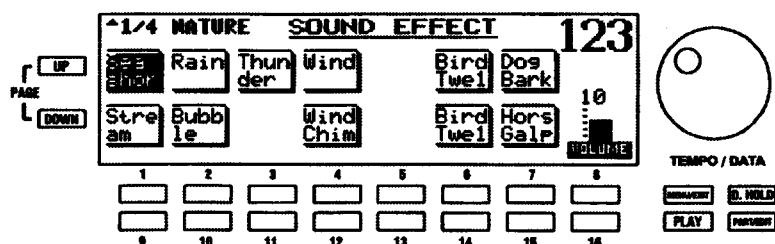
MANUAL DRUM の音量を上げるには 8 番、下げるには 16 番のセレクトタッチボタンを使います。

◆ SOUND EFFECT (サウンドエフェクト)

演奏のバックに様々な効果音を鳴らして、雰囲気盛り上げる機能です。この機能を使うには、SOUND EFFECT タッチタブを押します。LED が点灯します。

SOUND
EFFECT

注記: Dog Bark や Scratch は一時的な効果音ですが、Seashore、Rainなどの音は連続的な効果音です。こういった連続音の効果音を選ぶと、SOUND EFFECT タッチタブのLEDが「ON」になり、もう一度押して「OFF」にするまで鳴り続けます。一時的な効果音を選ぶと、SOUND EFFECT タッチタブのLEDを「ON」にしても、鳴り終わった時点で自動的に「OFF」になります。



▶ SOUND EFFECT (サウンドエフェクト) ボイスメニュー

SOUND EFFECT タッチタブによって再生する効果音を選択します。

注記: この機能画面は、ショートカットを経由してのみアクセス可能です。

SOUND EFFECT ボイスメニューへの行きかた:

1. SOUND EFFECT タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「SOUND EFFECT」という単語が表示されます。現在選んでいるボイスが強調表示されます。

サウンドエフェクトボイスメニューは、4ページあります。PAGE UPとPAGE DOWNタッチボタンを使って、どのページを表示するかを選ぶことができます。

ボイスページを移動するには、昇順にPAGE UP、降順にPAGE DOWNセレクトタッチボタンを使います。

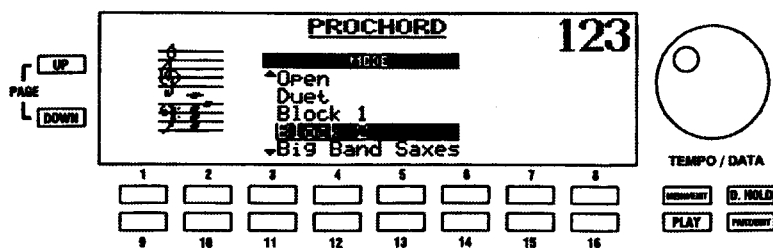
画面のボイスは、番号付きタッチボタンの配列に対応しています。画面の下の番号付きタッチボタンを使って、好みのSOUND EFFECTを選びます。選択されたボイスが強調表示されます。

Pro
Chord

◆ PROCHORD (プロコード)

アップパー鍵盤で演奏されている単音のメロディーに対して、本格的にアレンジされたハーモニーが得られます。ハーモニー音は、ロワー鍵盤で弾かれたコードによって決まります。

▶ PROCHORD (プロコード) 機能画面



プロコードのモード（ハーモニーの付き方や使用するパート）を設定します。

MENU/EXIT タッチボタンを使った PROCHORD 機能画面への行きかた：

1. MENU（メニュー）モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU（メニュー）モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。MENU（メニュー）モードのページ2が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「2/4」が表示されます。
3. 13番または14番セレクトタッチボタンを押します。「PROCHORD」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った PROCHORD 機能画面への行きかた：

PROCHORD タッチタブを押したままにします。約1秒後、画面上部に「PROCHORD」という単語が表示されます。

現在、PROCHORD 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、PROCHORD を様々に変化させることができます。これらの操作については、次に説明します。

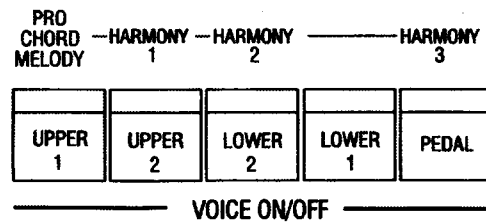
MODE（モード）

PROCHORD タッチタブを選んだときに演奏される PROCHORD パターンを選ぶことができます。

選択項目を移動するには、上へは3番～5番、下へは11番～13番のセレクトタッチボタンを使います。

プロコード使用時のボイスパートについて

VOICE ON/OFFグループの5つのタッチタブは普通、VOICEセクションからのボイスの「ON」または「OFF」をします。しかし、PROCHORD の使用時には、これらのタッチタブはPROCHORD ハーモニーの個々のパートを「ON」または「OFF」する機能になります（Open 及び Close 以外）。



各タッチタブの上に「MELODY」, 「HARMONY 1」といった印刷がされています。これらは、各タッチタブにより影響される PROCHORD ハーモニーの部分の意味します。例えば、HARMONY 1 タッチタブを「OFF」にすると、PROCHORD ハーモニーの最高音部が消されます。また、HARMONY 2 タッチタブを「OFF」にすると、PROCHORD ハーモニーの2番目の音部が消されます。これらのタッチタブは、PROCHORD アレンジメントにどれだけのパーツがあるかによって、初期状態が異なります。例えば、Duet モードには基本的にMELODYとHARMONY 1の二つのボイスしかないので、HARMONY 2とHARMONY 3は「OFF」になっていますが、それらを「ON」にすることで「隠された」ハーモニーも鳴らすことができます。

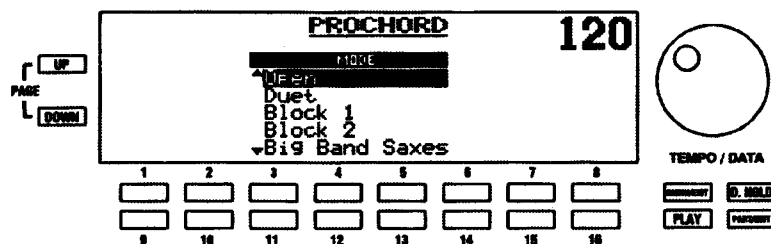
注記: この機能は、オープンとクローズを除いて、すべてのPROCHORDパターンで使えます。

プロコードボイスの設定

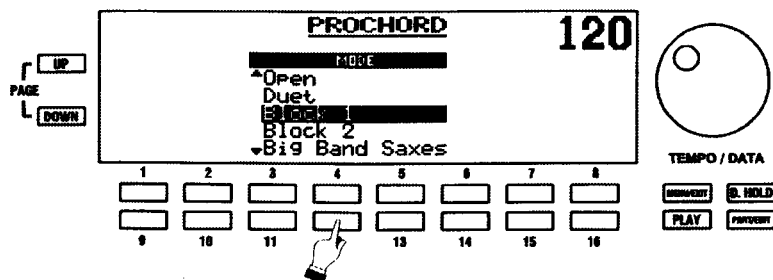
VOICE SETUP タッチタブを使って、一つのPROCHORDパターンの様々なパートに対してボイスを割り当てることができます。

以下の操作を実行してみてください。

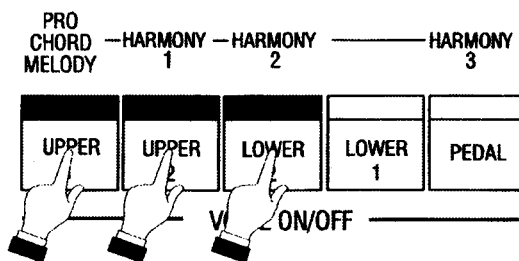
- 1 PROCHORD タッチタブを押したままにします。PROCHORD 機能画面が表示されます。
- 2 モードをBLOCK 1にします（11番～13番セレクトタッチタブを使います）。



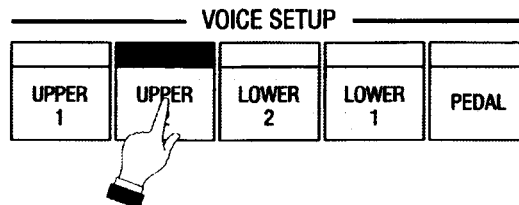
- VOICE ON/OFF タッチタブグループの MELODY、HARMONY 1 および HARMONY 2 タッチタブが「ON」(LED が点灯) していない場合、それらを押し点灯させます。



- VOICE SETUP タッチタブグループの HARMONY 1 タッチタブが「ON」(LED が点灯) していない場合、押し点灯させます。

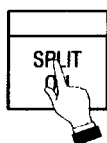


- 上のタッチタブが「ON」のとき、VOICE タッチタブを使ったサウンドの変更は、HARMONY 1 セクションを対象としています。



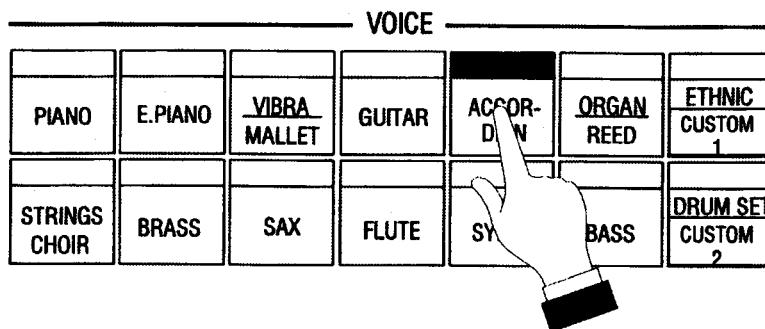
この例としては、SPLIT ON タッチタブも「ON」(LED が点灯) にしてください。

- ローキーボードのコード(スプリットの左)を左手で押し、アッパー鍵盤で適当な楽譜を演奏してください。BLOCK 1 PROCHORD パターンが聞こえます。このパターンとしては、MELODY がピッコラフォン、HARMONY 1 がグランドピアノ、HARMONY 2 がジャズギターで再生されます。



- UPPER 2 タッチタブが「ON」なので、VOICE タッチタブグループの PIANO タッチタブも「ON」になっています。VOICE タッチタブグループの ACCORDION タッチタブを押します。

8. ロワー鍵盤上で左手であるコードを押さえ（スプリットの左）、アッパー鍵盤で任意の音符を演奏します。HARMONY 1 のボイスがアコーディオンになった BLOCK 1 PROCHORD パターンが鳴ります。

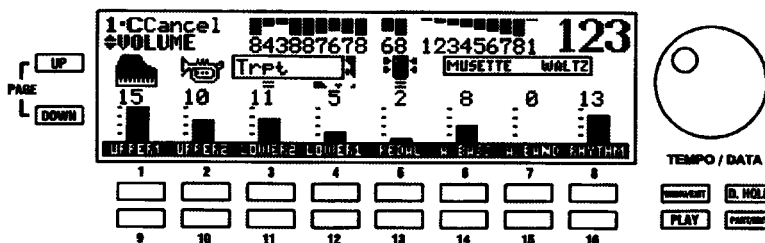


▶ PROCHORD (プロコード) ミキサー

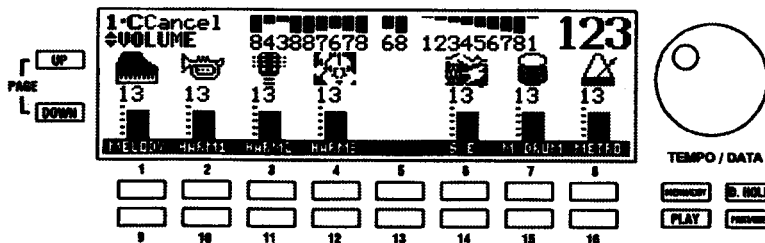
本ガイドの要所で説明しているように、ディスプレイには、プレイモード、ミキサーモード、MENU（メニュー）モードの3モードがあります。ミキサーモードのページ2で各 PROCHORD アレンジメントの異なるパート（オープンとクローズを除く）のボリュームを制御することができます。

以下の操作を実行してみてください。

1. ディスプレイの表示が次のようになるまで、繰り返してPLAYタッチボタンを押します。



2. PART/EDIT タッチボタンを一度押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



「MELODY」「HARM1」「HARM2」, 「HARM3」の表示に注意してください。これらは、PROCHORD パターンの異なるパートを意味します。番号付きタッチボタンを使って、これらのパートのそれぞれのボリュームをコントロールすることができます。

選んだパートの音量を上げるには1番～4番、下げるには9番～12番のセレクトタッチボタンを使います。

注記：PROCHORD メロディーとハーモニーボイスのPAN、VELOCITY、REVERB、CHORUSをコントロールするには、PAGE UP と PAGE DOWN タッチボタンでページを切り替えてください。

▶ **CONTROL (コントロール) 機能画面**

ピッチバンド/モジュレーションホイール、エクスプレッションペダル、フットスイッチといったコントローラーの設定、ディスプレイの切り替わる時間の設定を行います。

MENU/EXIT タッチボタンを使った CONTROL 機能画面への行きかた：

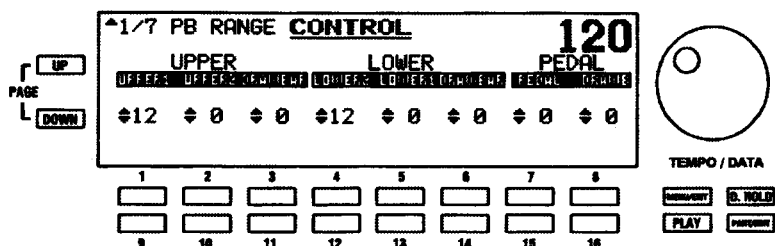
1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP タッチボタンを三度押します。MENU (メニュー) モードのページ4が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「4/4」が表示されます。
3. 5番または6番セレクトタッチボタンを押します。「CONTROL」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った CONTROL 機能画面への行きかた：

CONTROL タッチタブを押します。「CONTROL」という単語が画面上部に表示されます。

現在、CONTROL機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使うことができます。これらの操作については、次に説明します。

CONTROL (コントロール) 機能画面 - ページ 1

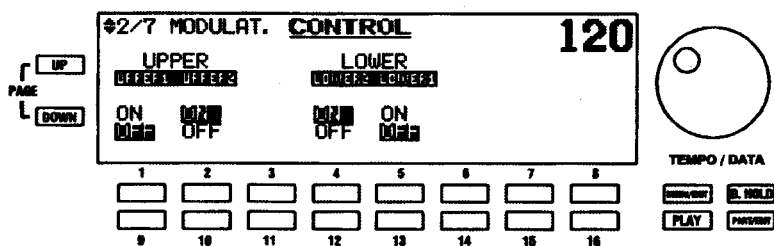


PB RANGE (ピッチベンドレンジ)

各パートのピッチベンドホイールの範囲を設定します。「0」(ピッチベンド無し)から「12」(12半音ステップつまり一オクターブ)までを選ぶことができます。

ピッチベンドレンジを広げるには、上段(1番～8番)、狭めるには下段(9番～16番)のセレクトタッチボタンを使います。

CONTROL (コントロール) 機能画面 - ページ 2

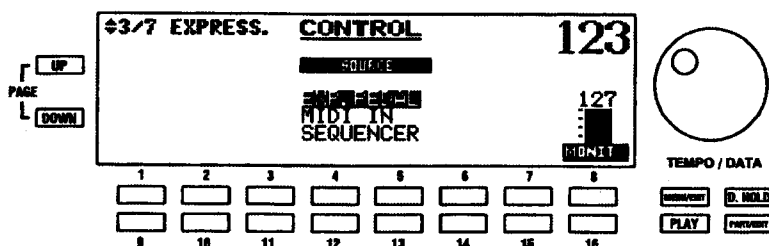


MODULATION (モジュレーション)

CONTROL 機能画面のページ1から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ2を表示させます。この機能画面では、モジュレーションホイールの操作をどのパートに効かせるかを選びます。

モジュレーションを「ON」にするには上段(1番、2番、4番、5番)、「OFF」にするには下段(9番、10番、12番、13番)のセレクトタッチボタンを使います。

CONTROL (コントロール) 機能画面 - ページ 3



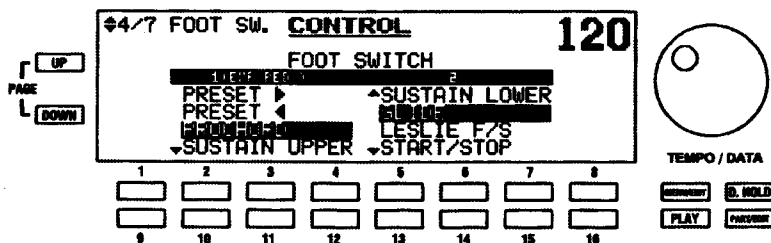
EXPRESS. - SOURCE (エクスプレッションソース)

CONTROL 機能画面のページ2から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ3を表示させます。この機能画面では、XE-1のエクスプレッション音量を何で変化させるかを選びます。

「EXP.PEDAL」(EXP-100 ジャックに挿入されたエクスプレッションペダルでコントロールされます)、
「MIDI IN」(外部 MIDI 機器のエクスプレッションデータによってコントロールされます)、または
「SEQUENCER」(XE-1のシーケンサーで演奏される曲に入っているエクスプレッションデータでコントロールされます)を選ぶことができます。普段はSEQUENCERにしておけばEXP-100エクスプレッションペダルとシーケンサとを自動的に切り替えますが、シーケンサ演奏時でも音量を自分でコントロールしたい場合にはEXP.PEDALにします。

選択項目を移動するには、上へは3番、下へは11番のセレクトタッチボタンを使います。

CONTROL (コントロール) 機能画面 - ページ 4



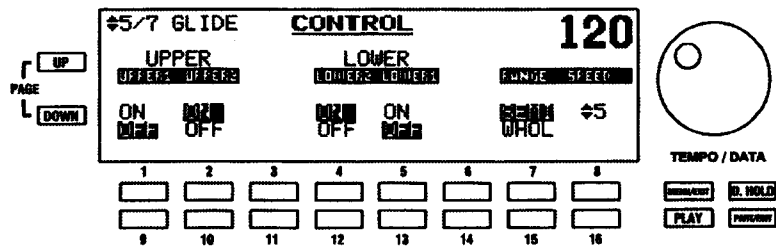
CONTROL 機能画面のページ3から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ4を表示させます。この機能画面では、フットスイッチの機能を選びます。

FOOT SW. (フットスイッチ) 機能設定

ハモンド EXP-100Fエクスプレッションペダルのサイドスイッチであるフットスイッチ1の選択項目を移動するには、上へは2番～4番、下へは10番～12番のセレクトタッチボタンを使います。

XE-1のアクセサリパネルにある FOOT SW ジャックに差し込むフットスイッチ2の選択項目を移動するには、上へは5番～7番、下へは13番～15番のセレクトタッチボタンを使います。

CONTROL (コントロール) 機能画面 - ページ5



GLIDE (グライド)

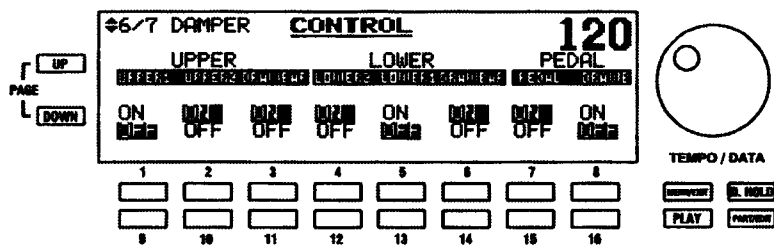
CONTROL機能画面のページ4から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ5を表示させます。この機能画面では、グライド機能の設定をします。

「グライド」という単語は、フットスイッチを使ってピッチをバンドする機能を指すために使われます。これは、ホイールコントロールを使ってピッチをバンドする「ピッチバンド」と区別するために、「グライド」と呼ばれています。

注記：この設定はGLIDEをフットスイッチの機能として選んだときのみ有効になります。

グライドを「ON」にするには上段（1番、2番、4番、5番）、「OFF」にするには下段（9番、10番、12番、13番）のセレクトタッチボタンを使います。

CONTROL (コントロール) 機能画面 - ページ6



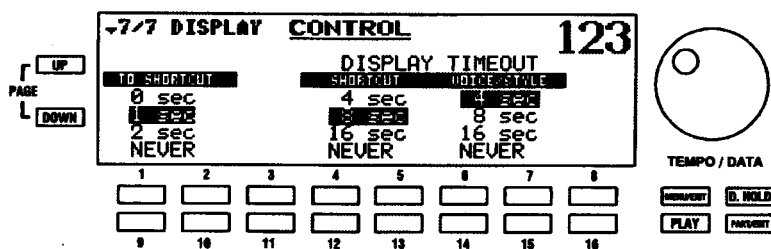
DAMPER (ダンパー)

CONTROL機能画面のページ5から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ6を表示させます。この機能画面では、フットスイッチの機能にDAMPERを選んだとき、どのパートにダンパーをかけるかを選びます。

注記：この設定はDAMPERをフットスイッチの機能として選んだときのみ有効になります。

ダンパー機能を「ON」するには上段（1番～8番）、「OFF」にするには下段（9番～16番）のセレクトタッチボタンを使います。

CONTROL (コントロール) 機能画面 - ページ7



CONTROL機能画面のページ6から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ7を表示させます。この機能画面では、ディスプレイの表示時間を設定します。

TO SHORTCUT (ショートカット時間)

タッチタブによってコントロールされる機能画面が表示されるまでに、タッチタブをどれくらい長く押したままにしなければならないかを選ぶことができます。「0」から「2」秒まで、または「NEVER」(ショートカット機能が無効)から選ぶことができます。

タイムを短くするには1番または2番、長くするには9番または10番のセレクトタッチボタンを使います。

DISPLAY TIMEOUT (タイムアウト時間)

プレイまたはミキサーモードに戻る前に、ディスプレイに機能画面を表示し続ける時間を選ぶことができます。「4」、「8」、または「16」秒か、「NEVER」(別のページを選ぶまでメニューが表示されます)を選ぶことができます。機能画面またはボイス及びスタイル選択画面の表示時間を別々に選ぶことができます。

機能画面のタイムを短くするには4番または5番、長くするには12番または13番のセレクトタッチボタンを使います。

ボイス及びスタイル選択画面のタイムを短くするには6番または7番、長くするには14番または15番のセレクトタッチボタンを使います。

▶ PAN(パン) ミキサーメニュー

それぞれのパートをスピーカーシステムのどこへ定位させるかを設定します。パートごとに定位を変えることで「ステレオ感」が得られます。

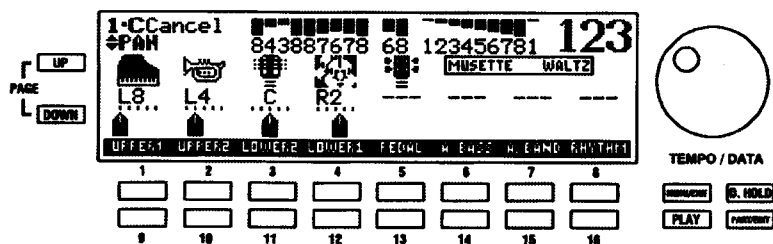
注記：この機能画面には、ショートカットがありません。PLAYおよびPARTタッチボタンでのみアクセス可能です。

PAN MIXERメニューへの行きかた：

1. ミキサーモードのページ1が表示されるまで、繰り返しPLAYセレクトタッチボタンを押します。ミキサーモードの詳細については、本ガイドのディスプレイセクションを参照してください。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを一度押します。PAN 機能画面のページ 1が表示されます。

現在、PAN MIXERメニューが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、ボイスのディレクションをコントロールすることができます。これらの操作については、次に説明します。

PAN (パン) ミキサーメニュー (ページ 1)



各パートのパンを調節するには、その表示下の各タッチボタンを押します。右へ移動するには上段 (1～8)、左へ移動するには下段 (9～16) を押します。例えばUPPER 1のパンは1と9、UPPER 2のパンは2と10で調節します。

注記：ボイス指定 (UPPER 1、UPPER 2、LOWER 2など) の詳細については、36ページから始まるボイス・セクションで説明されています。

現在の画面内でないパートのパンを調節するには、PARTセレクトタッチボタンを使います。PARTセレクトタッチボタンを一度押すごとに、画面内のパートが切り替わります。

▶ VELOCITY (ベロシティ) ミキサーメニュー

各パートのベロシティのかけ方を設定します。「FIX」(固定)の他に、ディスプレイでグラフで表示されている6つの異なるカーブから選ぶことができます。

PLAYとPARTタッチボタンを使った VELOCITY MIXERメニューへの行きかた：

1. ミキサーモードのページ1が表示されるまで、繰り返しPLAYセレクトタッチボタンを押します。ミキサーモードの詳細については、本ガイドのINFORMATION CENTER DISPLAYセクションを参照してください。

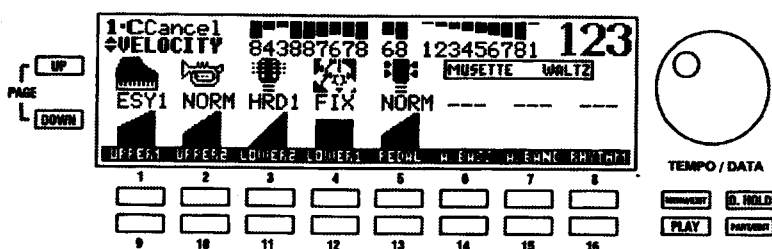
- PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。VELOCITY 機能画面のページ 1 が表示されます。

ショートカットを使った VELOCITY MIXER メニューへの行きかた：

VELOCITY TOUCH タッチタブを押したままにします。約 1 秒後、VELOCITY 機能画面のページ 1 が表示されます。

現在、VELOCITY MIXER メニューが表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、様々なディビジョンのベロシティをコントロールすることができます。これらの操作については、次に説明します。

VELOCITY (ベロシティ) ミキサーメニュー (ページ 1)



各パートのベロシティカーブを調節するには、その表示下の各タッチボタンを押します。軽くするには上段 (1~8)、重くするには下段 (9~16) を押します。例えばUPPER 1 のベロシティカーブは1と9、UPPER 2 のベロシティカーブは2と10で調節します。

注記：ボイス指定 (UPPER 1、UPPER 2、LOWER 2 など) の詳細については、36 ページから始まる ボイス・セクション で説明されています。

現在の画面内にはないパートのベロシティカーブを調節するには、PART セレクトタッチボタンを使います。PART セレクトタッチボタンを一度押すごとに、画面内のパートが切り替わります。

◆ MIDI (ミディ)

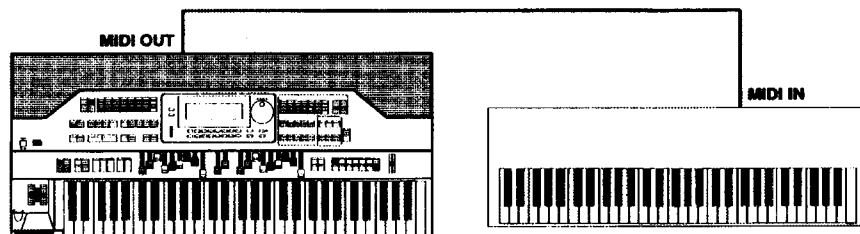
◆ MIDIで出来ること

MIDIという文字は、Musical Instrument Digital Interface を意味します。MIDIは、MIDI対応の電子楽器同士の演奏情報交換を目的とした国際標準です。例えば、シンセサイザとドラムマシンとで通信したり、電子ピアノとパソコンなどをインターフェースさせることができます。さらに、MIDIは世界中のすべての楽器メーカーによって認められ、使用されている国際標準なので、MIDIを通して様々な楽器メーカーで製造された楽器間の通信が可能です。

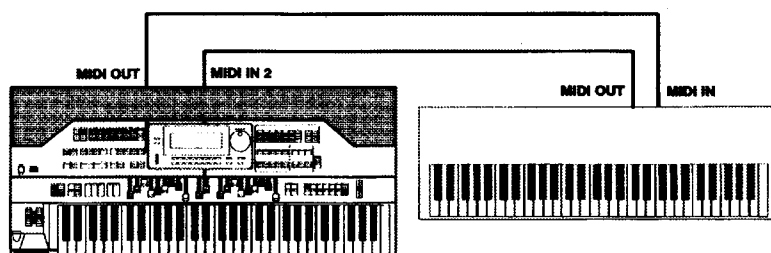
◆ MIDIの接続

MIDI IN と MIDI OUT

通信を実行するには、すべてのMIDI装着機器に、少なくともMIDI INとMIDI OUTの二つのMIDIジャックが装備されています。MIDI OUTは別の機器へMIDIデータを送信するために使われますが、MIDI INは別の機器からMIDIデータを受信するために使われます。



上の例では、送信機器 (MIDI OUT) の鍵盤は、受信機器 (MIDI IN) の音源を制御するために使われています。送信機器で鍵盤を弾くと、受信機器の鍵盤が弾かれたかのように、受信機器が鳴ります。送信機器の鍵盤を離すと、受信機器で鳴りやみます。(これは、「Note On/Note Off」データと呼ばれます。) 送信機器はマスターと呼ばれ、受信機器はスレーブと呼ばれます。これは、最っとも基本的なMIDI接続です。

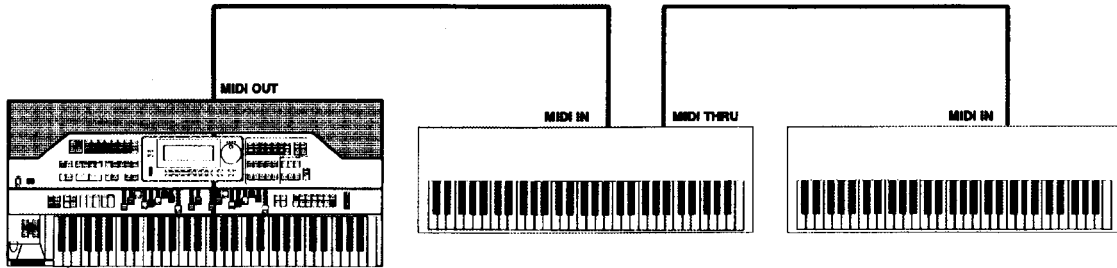


上の例は、二台のMIDI機能を持つ装置間の双方向通信の例です。この例では、どちらの機器の鍵盤も、もう一つの機器の音源の制御に使うことができます。

注記：上に示した方法でMIDI INとMIDI OUTを接続するとき、「MIDI ループ」つまりノートが二度演奏されるのを防ぐために、XE-1のMIDI IN 2ポートを使います。

MIDI THRU

多くのMIDI機器には、MIDI THRUと呼ばれる別なMIDI端子が用意されています。MIDI THRUによって、同じ送信機器から複数の機器を制御することができます。つまり、MIDI OUTからのデータがMIDI INへ入力されると同時に、MIDI THRUを通して別の機器に分岐されます。下に示す図は、この方法を示します。

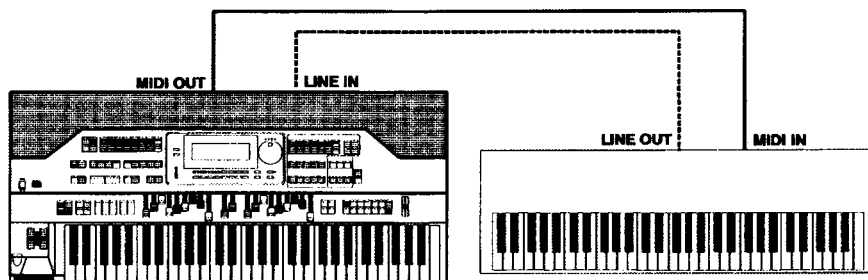


上の例では、MIDIデータがマスター機器(MIDI OUT)からスレーブ機器(MIDI IN)に送られ、スレーブ機器で受けたデータがMIDI THRU接続で次の機器へと送られます。

注記: MIDI INコネクターとMIDI OUTコネクターを逆にすると、シンセサイザーから他の機器を簡単に再生することができます。

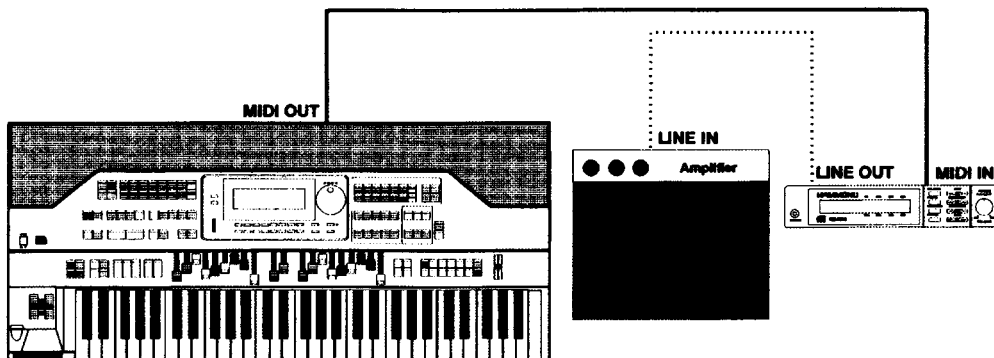
◆ オーディオとMIDI接続

例1: シンセサイザーの音をXE-1で鳴らす



シンセサイザーのオーディオ出力をXE-1のLINE INジャックに接続すると、XE-1のスピーカーシステムでシンセサイザーの音を鳴らすことができます。

例2: サウンドモジュール



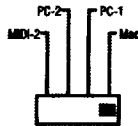
この例ではLINE OUTの接続は、外部アンプに対して行っていることに注意してください。もちろん、モジュールからのLINE OUTオーディオ接続は、XE-1のLINE INへも接続することができます。

◆ パソコンを使う

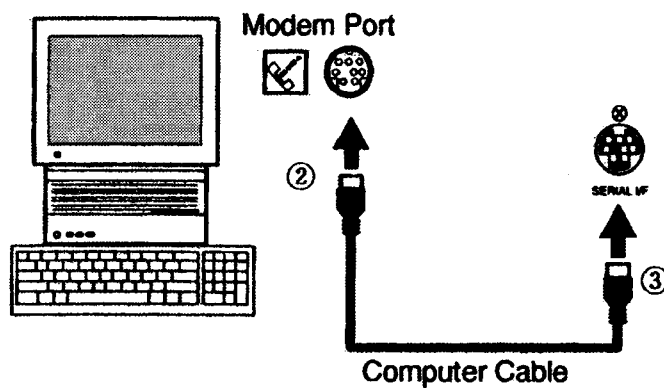
パソコンを使いたい場合、使用するパソコンのタイプに応じて、いくつかの方法があります。次のパラグラフでは、これらの詳細を説明します。

Macintosh® パソコンへの接続

3. XE-1の電源が「OFF」であることを確かめ、XE-1後部のセレクタースイッチを「Mac」に設定します。



4. コンピューターケーブルの一端をパソコン後部の MODEM ポートに接続します。
5. コンピューターケーブルの他の一端をXE-1後部のシリアルインターフェース（「Serial I/F」とマークされている）に接続します。



MIDI ソフトウェアを使う

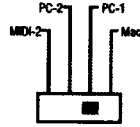
MIDIシーケンスソフトウェアを使って、上記の図にあるようにパソコンからXE-1を演奏するには、次のようにします。

モデムポートをシリアルポートに設定してください。

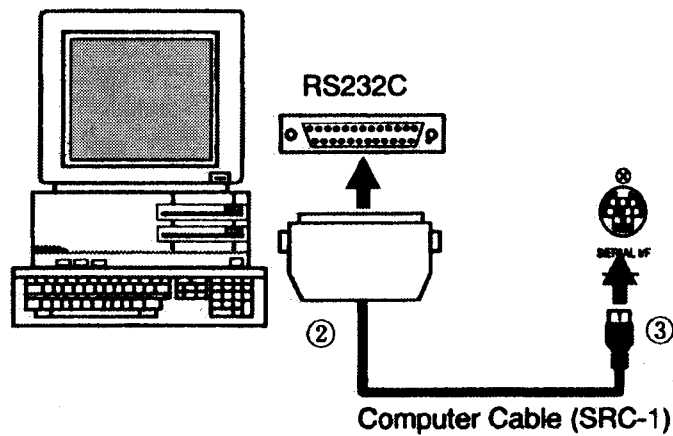
インターフェースタイプ（MIDI インターフェースクロック）を 1 MHz にセットします。

PC-9800 シリーズパソコンへの接続

1. XE-1の電源が「OFF」であることを確かめ、XE-1後部のセレクタースイッチを「PC-1」に設定します。



2. SRC-1 コンピューターケーブルの一端をパソコン後部のRS-232Cポートに接続します。
3. コンピューターケーブルの他の一端をXE-1後部のシリアルインターフェース（「Serial I/F」とマークされている）に接続します。

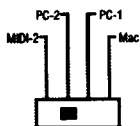


MIDI ソフトウェアを使う

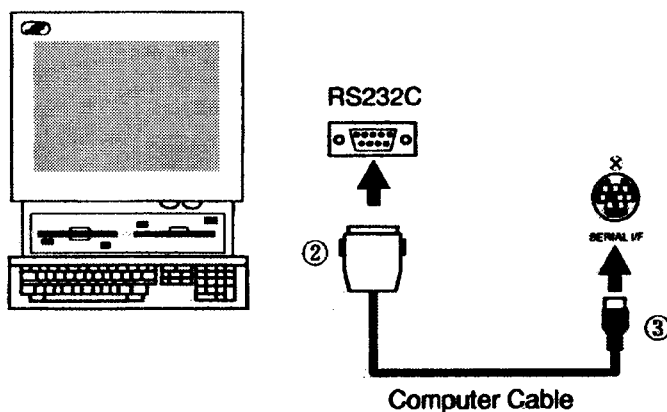
上の接続で、MIDIシーケンサーソフトウェアを使って、パソコンからXE-1を操作することができます。また、XE-1から操作しているパソコンで、シーケンスを記録することもできます。

PC-シリーズパソコンへの接続

1. XE-1の電源が「OFF」であることを確かめ、XE-1後部のセレクタースイッチを「PC-2」に設定します。



2. シリアルコンピューターケーブルの一端をパソコン後部のシリアルポートに接続します。
3. コンピューターケーブルの他の一端をXE-1後部のシリアルインターフェース（「Serial I/F」とマークされている）に接続します。



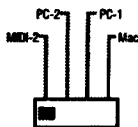
MIDIソフトウェアを使う

上の接続で、MIDIシーケンサーソフトウェアを使って、パソコンからXE-1を操作することができます。また、XE-1から操作しているパソコンで、シーケンスを記録することもできます。

サウンドカードを使ったパソコンとの接続

パソコンにサウンドカードが装備されている場合、XE-1のMIDI IN 2ポートを使って、パソコンに接続することができます。現在入手可能なほとんどのサウンドカードには、MIDIポートがありません。しかし、MIDI機器に特化したほとんどのミュージックショップで入手可能な特別なMIDIインターフェースケーブルを使って、「ジョイスティック」ポートをMIDI接続に使うことができます。

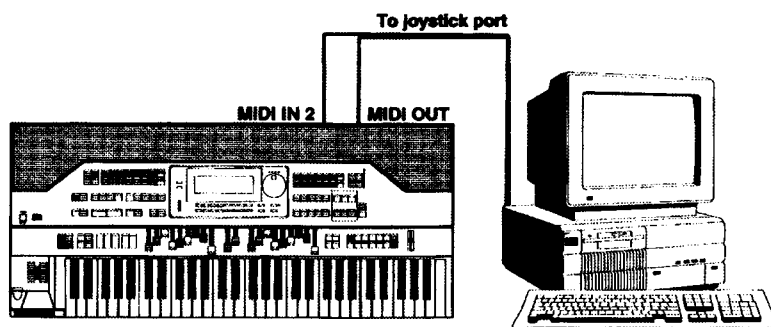
1. XE-1の電源が「OFF」であることを確かめ、XE-1後部のセレクタースイッチを「MIDI-2」に設定します。



2. MIDIインターフェースケーブルの一端をサウンドカードのジョイスティックポートに接続します。インターフェースは、次のようになります。



3. ケーブルの他端は、2つのMIDIプラグに分割されています。「MIDI OUT」とマークされているプラグをXE-1のMIDI IN 2ポートに接続します。「MIDI IN」とマークされているプラグをXE-1のMIDI OUTポートに接続します。



注記: パソコンのシリアルまたはパラレルポートを使うMIDIハードウェアインターフェースも利用することができます。MIDIコンピューターインターフェースの詳細については、販売店にご相談ください。

▶ MIDI 機能画面

この機能画面により、機器の総合MIDIパラメーターの設定をすることができます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った MIDI 機能画面への行きかた：

4. MENU (メニュー) モードの最初のページを見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/3」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには3ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
5. PAGE UP セレクトタッチボタンを二度押します。MENU (メニュー) モードのページ3が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「3/3」が表示されます。
6. 1番または2番セレクトタッチボタンを押します。「MIDI EDIT」という単語が画面上部に表示されます。

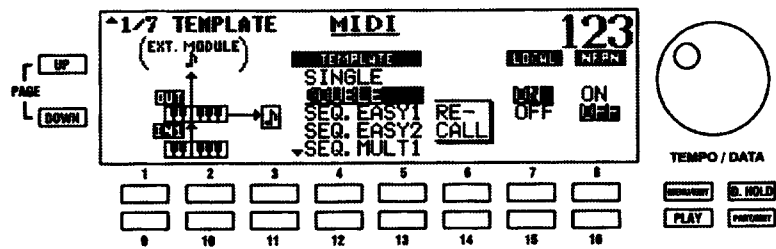
ショートカットを使った MIDI 機能画面への行きかた：

MIDI タッチタブを押します。「MIDI」という単語が画面上部に表示されます。



現在、MIDI機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、XE-1のMIDI演奏を変化させることができます。これは、以下に説明されています。

MIDI 機能画面 - ページ 1



この機能画面により、MIDI NRPN およびローカルコントロールの「ON」および「OFF」の他に、MIDI「テンプレート」つまり典型的な設定を呼び出すことができます。

MIDI TEMPLATE (テンプレート)

MIDI関連の設定項目は数多くあり、いちいち設定しては大変です。そこで典型的な設定を「テンプレート」として用意し、簡単に設定ができるようにしてあります。各テンプレートについて説明します。

- 「SINGLE」 - XE-1を鍵盤楽器として単独で使い、また外部音源モジュールも制御します(初期設定)。
- 「DOUBLE」 - XE-1をハモンド XLK-1または他のキーボード機器とともに二段鍵盤楽器として使い、また外部音源モジュールも制御します。
- 「SEQ.EASY1」 - XE-1を SINGLE モードで使い、EASY REC モードでパソコンに接続します。
- 「SEQ.EASY2」 - XE-1を DOUBLE モードで使い、EASY REC モードでパソコンに接続します。
- 「SEQ.MULTI」 - XE-1を SINGLE モードで使い、MULTI REC モードでパソコンに接続します。
- 「SEQ.16TR」 - XE-1を SINGLE モードで使い、16 TRACKS モードでパソコンに接続します。
- 「VOCAL」 - XE-1をボーカルハーモナイザーとともに使います。

MIDIテンプレートリストの側を図をご覧ください。MIDIケーブルとコネクタの接続方法が示されています(モードの詳細については、付録をご覧ください)。

中央の鍵盤は、XE-1の内部鍵盤です。八分音符は、XE-1の内部トーンジェネレーターです。「OUT」と「IN1」は、後部パネルのコネクターです。

MIDIテンプレートを呼び出すには、6番または14番(RECALL)セレクトタッチボタンを押します。

MIDI ローカルコントロール

ローカルコントロールとは鍵盤や自動伴奏といった制御部分と内部の音源との接続のことです。ローカルコントロールが「ON」の状態では、鍵盤を弾けば内部の音源は発音しますが、「OFF」にすると鍵盤や自動伴奏の情報はMIDI OUTから送信されるだけで、音源はMIDI INから受信される情報でしか鳴らなくなります。これは外部にシーケンサーを接続して演奏を記録する際に「二度鳴り」を防ぐために使用します。

ローカルコントロールを「ON」にするには7番、「OFF」にするには、15番セレクトタッチボタンを使います。

MIDI NRPN

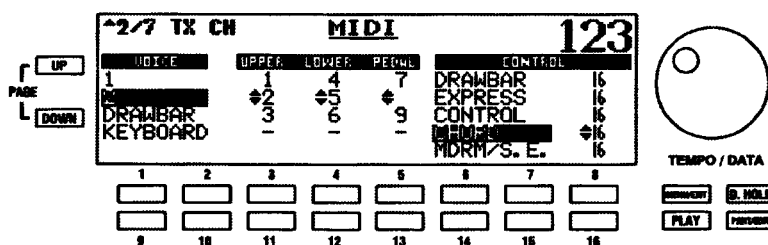
NRPNの送受信を「ON」または「OFF」することができます。「NRPN:Non-Registered Parameter Number」(非登録パラメーター番号)は、MIDIの一般的なコントロール番号に定められていないコントロールメッセージのことで、その各機能は、メーカーによって異なります。ハモンド XE-1は、パーカッション2nd ON/OFF、ピブラート/コーラスON/OFF、レスリーON/OFF、レスリースロー/ファーストなどのパラメーターを制御するためにNRPNを使っています。

注記: XE-1の多くのタッチタブには、NRPNコントローラー番号が割り当てられています。XE-1で送信され認識されるすべてのNRPNコードの完全なリストについては、本ガイドの最後にある付録をご覧ください。

注記: このパラメータが「ON」のとき、XE-1はNRPNコードを送受信します。

NRPNを「ON」にするには8番、「OFF」にするには16番のセレクトタッチボタンを使います。

MIDI 機能画面 - ページ2



MIDI機能画面のページ1から、PAGE UP セレクトタッチボタンを押して、ページ2を表示させます。

この機能画面により、アッパーおよびローキーボードとペダルが送信するMIDIチャンネルを選ぶことができます。また、コントローラー情報を送信するチャンネルも選ぶことができます。

MIDI ノート ON/OFF チャンネルの選択

ボイスグループを選ぶには、1番、2番、9番、10番セレクトタッチボタンを使います。最上行のボタンは、選択項目を上にスクロールします。最下行のボタンは、選択項目を下にスクロールします。

アッパー、ロー、ペダルのMIDIチャンネルの選択項目を上スクロールするには、3番、4番、または5番セレクトタッチボタンを使います。「1」から「16」まで、それに「OFF」を選ぶことができます。

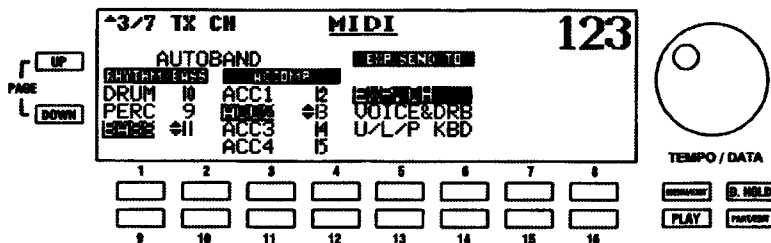
MIDIチャンネルの選択項目を下スクロールするには、11番、12番、または13番セレクトタッチボタンを使います。

MIDI 制御チャンネルの選択

MIDI コントローラーを選ぶには、6 番、7 番、14 番および 15 番セレクトタッチボタンを使います。最上行のボタンは、選択項目を上にスクロールします。最下行のボタンは、選択項目を下にスクロールします。

選んだコントローラーの MIDI チャンネルを選ぶには、8 番および 16 番セレクトタッチボタンを使います。8 番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。16 番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。「1」から「16」まで、それに「OFF」を選ぶことができます。

MIDI 機能画面 - ページ 3



MIDI 機能画面のページ 2 から、PAGE UP セレクトタッチボタンを押して、ページ 3 を表示させます。

この機能画面により、エクスプレッションデーターを送信する MIDI チャンネルを選ぶと同時に、AUTOBAND の送信する MIDI チャンネルを選ぶことができます。

AUTOBAND リズム／ベースパートの選択

リズムまたはベースパートを選ぶには、1 番および 9 番セレクトタッチボタンを使います。「DRUM」「PERC」または「BASS」を選ぶことができます。1 番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。9 番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。

AUTOBAND リズム／ベースチャンネルの選択

選んだパートの MIDI チャンネルを選ぶには、2 番および 10 番セレクトタッチボタンを使います。「1」から「16」まで、それに「-」（OFF）を選ぶことができます。2 番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。10 番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。

AUTOBAND 伴奏パートの選択

付属パートを選ぶには、3 番および 11 番セレクトタッチボタンを使います。3 番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。11 番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。

AUTOBAND 伴奏チャンネルの選択

選んだパートの MIDI チャンネルを選ぶには、4 番および 12 番セレクトタッチボタンを使います。「1」から「16」まで、それに「-」（OFF）を選ぶことができます。4 番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。12 番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。

EXP. SEND TO (エクスプレッション情報の送信先)

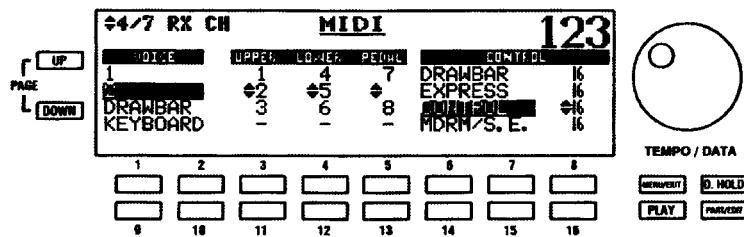
接続されているエクスプレッションペダルからのエクスプレッションデータの送信方法を選ぶことができます。「EXPRESS」(エクスプレッションデータは、EXPRESSIONチャンネルに送信されます)、「VOICE&DRB」(エクスプレッションデータは、VOICE 1、VOICE 2およびDRAWBARに送信されます)または「U/L/P KBD」(エクスプレッションデータは、KEYBOARDチャンネルに送信されます)を選ぶことができます。

選択項目を上スクロールするには、5番または6番セレクトタッチボタンを使います。

選択項目を下スクロールするには、13番または14番セレクトタッチボタンを使います。

注記：XE-1の各パートが送信するMIDIチャンネルを選ぶには、ページ2を使います。

MIDI機能画面 - ページ4



MIDI機能画面のページ3から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ4を表示させます。

この機能画面により、アッパーおよびローキーボードとペダルが受信するMIDIチャンネルを選ぶことができます。また、コントローラー情報を受信するチャンネルも選ぶことができます。

MIDI信号ノートON/OFFチャンネルの選択

ボイスグループを選ぶには、1番、2番、9番、10番セレクトタッチボタンを使います。最上行のボタンは、選択項目を上スクロールします。最下行のボタンは、選択項目を下スクロールします。

アッパー、ロー、ペダルのMIDIチャンネルの選択項目を上スクロールするには、3番、4番、または5番セレクトタッチボタンを使います。「1」から「16」まで、それに「OFF」を選ぶことができます。

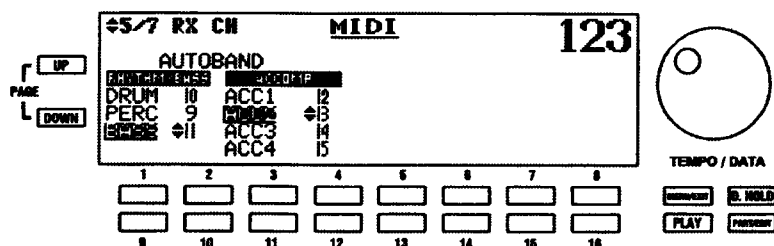
MIDIチャンネルの選択項目を下スクロールするには、11番、12番、または13番セレクトタッチボタンを使います。

MIDI制御チャンネルの選択

MIDIコントローラーを選ぶには、6番、7番、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。最上行のボタンは、選択項目を上スクロールします。最下行のボタンは、選択項目を下スクロールします。

選んだコントローラーのMIDIチャンネルを選ぶには、8番および16番セレクトタッチボタンを使います。8番タッチボタンでは、選択画面が上スクロールします。16番タッチボタンでは、逆に下スクロールします。「1」から「16」まで、それに「OFF」を選ぶことができます。

MIDI機能画面 - ページ5



MIDI機能画面のページ4から、PAGE UPセレクトタッチボタンを押して、ページ5を表示させます。

この機能画面により、エクスプレッションデータを受信するMIDIチャンネルを選ぶと同時に、AUTOBANDの受信するMIDIチャンネルを選ぶことができます。

AUTOBAND リズム/ベースパートの選択

リズムまたはベースパートを選ぶには、1番および9番セレクトタッチボタンを使います。「DRUM」「PERC」または「BASS」を選ぶことができます。1番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。9番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。

AUTOBAND リズム/ベースチャンネルの選択

選んだパートのMIDIチャンネルを選ぶには、2番および10番セレクトタッチボタンを使います。「1」から「16」まで、それに「-」(OFF)を選ぶことができます。2番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。10番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。

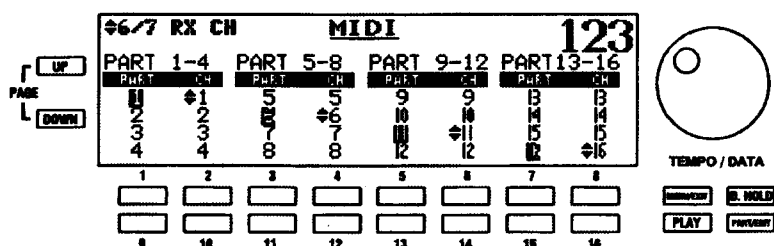
AUTOBAND 伴奏パートの選択

付属パートを選ぶには、3番および11番セレクトタッチボタンを使います。3番タッチボタンでは、選択画面が上

AUTOBAND 伴奏チャンネルの選択

選んだパートのMIDIチャンネルを選ぶには、4番および12番セレクトタッチボタンを使います。「1」から「16」まで、それに「-」(OFF)を選ぶことができます。4番タッチボタンでは、選択画面が上にスクロールします。12番タッチボタンでは、逆に下にスクロールします。

MIDI機能画面 - ページ6



MIDI機能画面のページ5から、PAGE UP セレクトタッチボタンを押して、ページ6を表示させます。

この機能画面により、MIDIソングファイルを演奏するために使うパートがどのMIDIチャンネルで受信されるかを選ぶことができます。すべてのパートに対して、「-」(OFF)の他にMIDIチャンネル1から16までを選ぶことができます。

上のメニューから項目を選ぶためにタッチボタンを使っている場合、最上行のボタンが選択項目を上スクロールします。また、最下行のボタンが選択項目を下スクロールします。

パート 1 から 4 までを選ぶには、1番および9番セレクトタッチボタンを使います。

パート1から4までのMIDIチャンネルを選ぶには、2番および10番セレクトタッチボタンを使います。

パート 5 から 8 までを選ぶには、3番および11番セレクトタッチボタンを使います。

パート5から8までのMIDIチャンネルを選ぶには、4番および12番セレクトタッチボタンを使います。

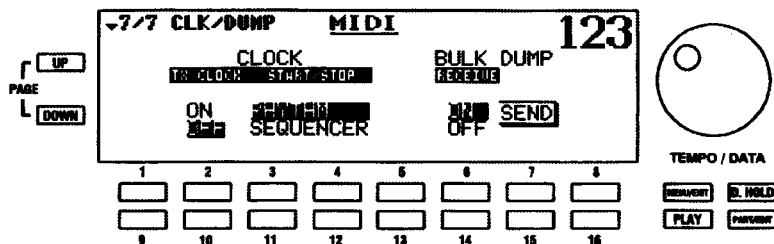
パート 9 から 12 までを選ぶには、5番および13番セレクトタッチボタンを使います。

パート9から12までのMIDIチャンネルを選ぶには、6番および14番セレクトタッチボタンを使います。

パート 13 から 16 までを選ぶには、7番および15番セレクトタッチボタンを使います。

パート13から16までのMIDIチャンネルを選ぶには、8番および16番セレクトタッチボタンを使います。

MIDI機能画面 - ページ7



MIDI機能画面のページ6から、PAGE UP セレクトタッチボタンを押して、ページ7を表示させます。

MIDI CLOCK (クロック) ON/OFF

MIDI クロックデータを送信するかどうかを選ぶことができます。

MIDI クロック送信をオンするには2番、オフにするには、10番セレクトタッチボタンを使います。

MIDI START/STOP (スタート/ストップ)

MIDI スタート/ストップコマンドを自動伴奏/シーケンサーどちらの操作で送信するかを選びます。

RHYTHM を選ぶには、3番または4番セレクトタッチボタンを使います。RHYTHM を選んだ場合、RHYTHM CONTROL 部の START/STOP タッチタブを使います。

SEQUENCER を選ぶには、11番または12番セレクトタッチボタンを使います。SEQUENCER を選んだ場合、PLAY/PAUSE (▶||) タッチタブを使います。

BULK DUMP

この機能画面により、XE-1の現在の一時的な設定をMIDIデータレコーダーに記録したり、MIDIデータレコーダーから呼び出したりすることができます。

BULK DUMP - RECEIVE (メモリーダンプ - 受信)

MIDIデータレコーダーからXE-1のプリセットおよびグローバルパラメーターを読み出すことができます。

MIDI データの送受信前に、XE-1がMIDI データレコーダーに接続されていることを確かめ、次のようにします。

1. RECEIVE を「ON」にするには、4番セレクトタッチボタンを押します。「ON」という単語が強調表示されます。
2. MIDIレコーダーを起動してください。すべての情報が受信されると、PLAY画面に戻ります。

BULK DUMP - SEND (メモリーダンプ - 送信)

XE-1の現在の設定をMIDIデータレコーダーに送信することができます。この実行には、次のようにします。

1. MIDIレコーダーがデータ受信可能であること (RECORD) を確認してください。
2. MIDIデータレコーダーへのデータダンプを始めるには、13番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイには、「Please Wait...」が表示されます。すべての情報が送信されると、その表示が消えます。

注記: 「OFF」が表示されているとき、XE-1に対してデータダンプをしようとすると、ディスプレイに「Data Protect !」を表示します。これで、間違ってデータを上書きすることがなくなります。

◆ シーケンサー、ディスクドライブ、CompactFlash™ (コンパクトフラッシュ) カードの使い方

◆ SEQUENCER (シーケンサー)


ハモンド XE-1 のシーケンサーは、演奏を 3 つの異なる方法で記録することができます。

1. **EASY RECORD** - 簡単に素早く演奏を記録します。
2. **MULTI RECORD** - EASY REC に比べて、個々のパートをより別々に記録することができます。
3. **16 TRACK** - いわゆる GM ソングの再生の他に、ドローパーやボイスレジストレーションと独立したパート 1 からパート 16 を使い、独自の曲を記録することができます。

ソングデータの保存や読み出しには、フロッピーディスクまたは CompactFlash カードを使用します。

「General MIDI」とは、何ですか？

「General MIDI」は、複数の MIDI 装置を接続して使うことができる音楽機器の MIDI 機能の一つの規格のことです。例えば、General MIDI 以前では、各メーカーにより、様々なソースに対して様々なプログラム番号が割り当てられていました。例えば、プログラム #4 が「ブランド X」の MIDI 機器でストリングであり、プログラム #4 が「ブランド Y」の MIDI 機器のトランペットである場合、MIDI プログラム #4 を操作しているキーボードから各機器へと送信すると、一つからストリングを聞き、もう一つからトランペットを聞くこととなります。しかし、本当は両方のユニットでストリングスを演奏させたいということとなります。General MIDI 互換機器を使えば、所定の動作をさせることができます。例えば、プログラム番号 1 は、常にグランドピアノになります。プログラム番号 27 は、常にジャズギターになります。

XE-1 のような、General MIDI 規格に合致する MIDI 機器には、General MIDI ロゴ () が表示されています。General MIDI ロゴを持つミュージックデータは、General MIDI サウンドジェネレーターを使って、同じベーシック機能を再現し、再生することができます。

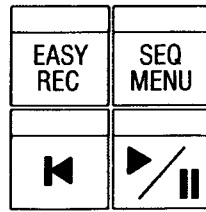
「SMF」とは、何ですか？

「SMF」(Standard MIDI ファイル) は、同じ音楽データを様々なシーケンサーで再生することが可能になる標準フォーマットです。別のシーケンサーでこのフォーマットで記録されたソングデータは、XE-1 によって再生することができます。XE-1 では、SMF フォーマットの EASY REC、MULTI REC、16 TRACKS を使って、記録された音楽データを保存します。

注記： SMF フォーマットにより、ノート (どの鍵を押したか)、ベロシティ (どのくらいの速さで鍵を押したか)、プログラム番号 (使ったボイス) など、主な互換性が維持されます。メーカーによって一部の MIDI 機能の使い方に違いがあり、完全な互換性を保証することはできません。したがって、ある音楽データを再生しているとき、XE-1 の設定を変更する必要があるかも知れません。

次のページでは、各シーケンサー機能の詳細を説明します。

SEQUENCER (シーケンサー) タッチタブ



—SEQUENCER—

これらのタッチタブにより、シーケンサー機能をコントロールすることができます。

EASY REC (イージーレコード)

SEQUENCER メニューのEASY REC 部へ飛び、もしソングデータが無ければ記録スタンバイ状態になります。最も簡単に演奏を記録したい場合にはEASY REC を押し、次にPLAY/PAUSE を押します。



SEQ MENU (シーケンサーメニュー)

このタッチタブにより、SEQUENCER メニューへ瞬時にアクセスすることができます。このタッチタブを一度押すと、ディスプレイにSEQUENCER メニューが表示されます。



REW/STOP

演奏中であれば曲を停止し、曲の先頭へ戻ります。LEDは停止中で、かつソングデータが存在する場合に点灯します。

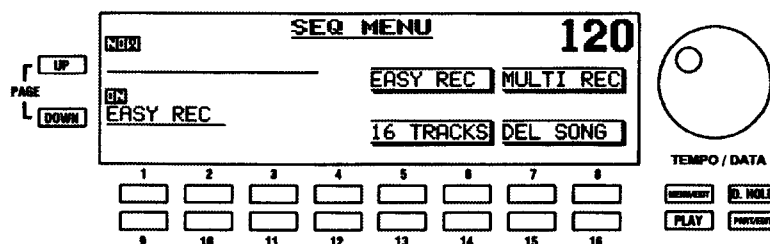


PLAY/PAUSE

曲の記録及び再生を開始/停止します。LEDは記録及び再生中は点灯、一時停止中は点滅します。



▶ SEQUENCER (シーケンサー) メニュー



この機能画面により、XE-1のシーケンサー機能の使い方を選ぶことができます。

メニュータッチボタンを使った SEQUENCER メニューへの行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENUセレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを三度押します。MENU (メニュー) モードのページ4が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「4/4」が表示されます。
3. 3番または4番のセレクトタッチボタンを押します。「SEQ MENU」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った SEQUENCER メニューへの行きかた：

SEQ MENU (シーケンサーメニュー) タッチタブを押します。「SEQ MENU」という単語が画面上部に表示されます。



現在、SEQUENCER メニューが表示されています。シーケンサーの様々な機能を選ぶために、画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使うことができます。これらの機能は、次に説明されます。

EASY REC (イージーレコード)

EASY REC は最も簡単な記録方法で、XE-1 での演奏を各鍵盤単位で全て記録します。

MENU/EXIT タッチボタンを使った EASY REC メニューへの行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENUセレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを三度押します。MENU (メニュー) モードのページ4が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「4/4」が表示されます。
3. 3番または4番セレクトタッチボタンを押します。「SEQ MENU」という単語が画面上部に表示されます。
4. 5番または6番セレクトタッチボタンを押します。「EASY REC」という単語が画面上部に表示されます。

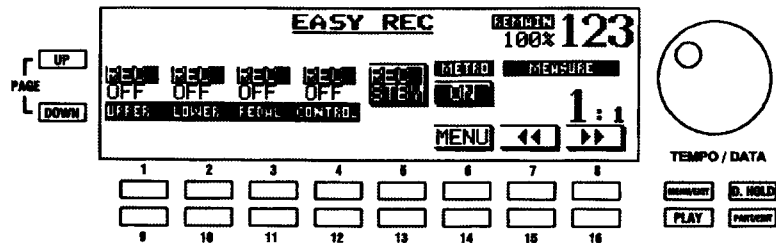
ショートカットを使った EASY REC メニューへの行きかた：

EASY REC タッチタブを押します。「EASY REC」という単語が画面上部に表示されます。

現在、EASY REC メニューページが表示されています。

EASY REC (イージーレコード) を使った曲の記録

1. 曲にしたいレジストレーションにXE-1を設定します。
2. EASY REC メニューに入るには、EASY REC タッチタブを押すか、MENU/EXIT と番号付きタッチボタンを使います。



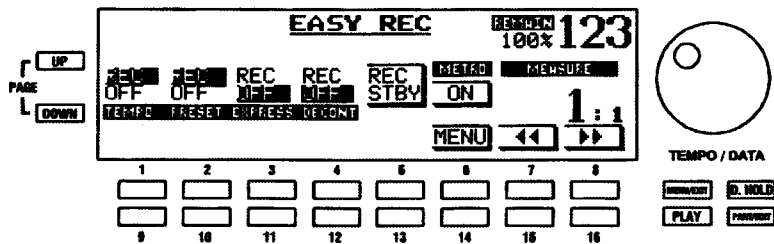
ディスプレイに、UPPER、LOWER、PEDAL、CONTROLの4パートが表示されます。これは、アッパーおよびローキーボード、ペダル鍵盤とコントロール（ドローバー、タッチタブなどを含む、XE-1の操作コントロール）を使って記録できることを意味します。

すべてのパートを一度で記録したくない場合、番号付きタッチボタンを使って、記録するパートを選ぶことができます。

REC（記録）を選ぶには、最上行の番号付きセレクトタッチボタンを使います。

OFFを選ぶには、最下行の番号付きセレクトタッチボタンを使います。「OFF」を選ぶと、それで特定されたパートは記録されません。

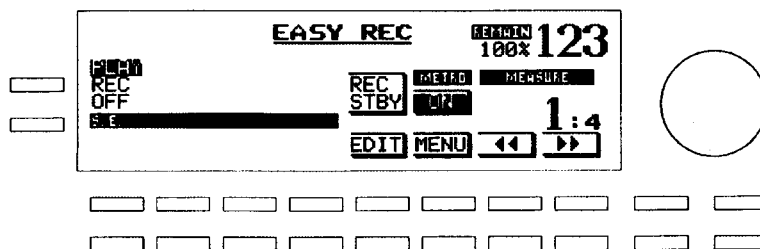
3. UPPER、LOWER、PEDAL、CONTROLのベーシックパートの他に、ドローバーコントロールのような他のパラメーターの記録を選ぶこともできます。これら他のパラメーターを見るには、上記のページからPART/EDIT タッチボタンを押します。



上のページでPART/EDIT タッチボタンを押すと、ディスプレイは、次のような表示になります。

ディスプレイに、TEMPO、PRESET、EXPRESS、DBCONTが表示されます。これは、テンポデータ、プリセット変更、エクスペッションデータ、ドローバーレジストレーションを記録することができることを意味します。

前のページのように、個々のパートの「REC」または「OFF」を選ぶには、番号付きセレクトタッチボタンを使います。



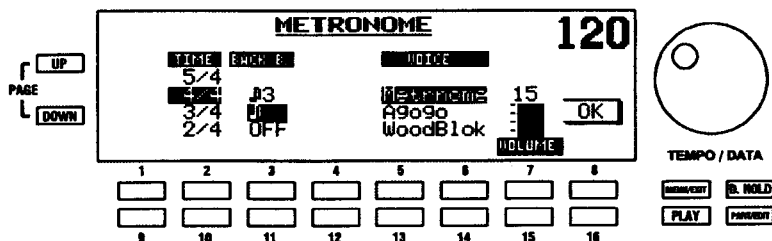
上のページでPART/EDIT タッチボタンを押すと、ディスプレイは、次のような表示になります。

ディスプレイは、S.E.という表示になります。これは、サウンドエフェクトを記録することができることを意味します。

- XE-1でシーケンスを記録すると、メトロノームが各ビートをカウントします。しかし、この時点でメトロノーム機能を変えることができます。

記録の間、メトロノームの音を消したい場合、6番タッチボタンを押してください。これにより、メトロノームが「OFF」になります。

メトロノームを聞きたいけれど、そのパラメーターを変更したい場合、14番タッチボタンを押してください。ディスプレイは、次のような表示になります。



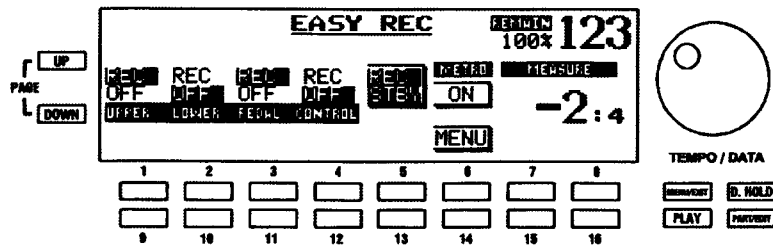
現在、METRONOME 機能画面が表示されています。これはショートカット経由でのみアクセスすることができます。この機能画面により、メトロノームの特性を変えることができます。

注記： METRONOME 機能画面の詳細については、本ガイドの77ページから説明されています。

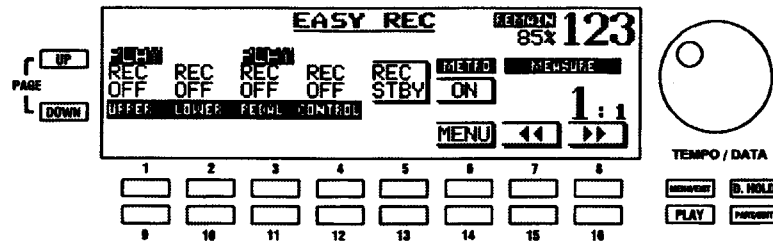
メトロノームの設定が終わるか、変更せずに終了したい場合、8番または16番セレクトタッチボタンを押して「OK」を選びます。再度、EASY REC メニューが表示されます。

- 「REC STBY」(記録スタンバイ) ボックスが強調表示されない場合、5番セレクトタッチボタンを押して、強調表示させます。XE-1は現在、スタンバイモードにあり、記録を開始することができます。

6. RHYTHM CONTROL セクションのPLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押します。ディスプレイカウントダウン2小節 (「-2:1、-2:2、-2:3、-2:4、-1:1、-1:2、-1:3、-1:4」) に小節カウンターが表示され、プログラムした通りにメトロノームが鳴ります。



7. 小節カウンターが二つの導入小節のカウントを終えたら、曲の演奏を始めてください。アウフタクトの曲の場合、-1小節目の終わりから演奏を始めてもかまいません。
8. 曲の演奏が終わったら、PLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押して記録を止めます。ディスプレイは、次のような表示になります。



一つまたはいくつかの「PLAY」ボックスが画面に表示されます。これらは、曲を記録するときのXE-1のパートまたはディビジョンを示します。特定のパートの上に「PLAY」ボックスが表示されない場合、曲を記録しているときにそのパートを使わなかったことを意味します。

記録が終わると、PART/EDIT タッチボタンを使って、他のパート (TEMPO、EXPRESSなど) のデータを確認することもできます。

曲の再生

曲の記録が終わり、EASY REC画面が再度表示されたら、REW/STOP (◀) タッチタブも「ON」(LEDが点灯) になります。これは、XE-1のメモリーに曲が存在し、その曲の再生が可能であることを意味します。

PLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押します。曲の再生が開始されます。

各パートの下の番号付きタッチボタンを使って、その上に「PLAY」ボックスが表示されているパートの「PLAY」または「OFF」を選ぶことができます。こうして、各パートを別々に聞くことができます。

曲を途中で止めたい場合、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の再生が停止されます。

曲を止めた位置から再度始めたい場合、再度、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の再生が再開され、最後まで再生されます。

特定の小節から曲を始めたい場合、15 番および 16 番タッチボタンを押し、所望の小節番号がディスプレイに表示されるまで、小節を移動させます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の再生を開始します。

曲を最初の位置から再度始めるには、REW/STOP タッチタブを押してください。これにより、曲が最初から始まるように、ディスプレイが小節 1 にリセットされます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の再生を開始します。

MULTI REC (マルチレコード)

MULTI REC は XE-1 の各鍵盤に割り当てられる各パート別に細分化して記録できる記録方法です。

EASY REC を使って、UPPER、LOWER、PEDAL、または CONTROL を記録するかどうかを選ぶことができます。しかし、UPPER、LOWER などの中のようなパートを別々に選ぶことはできません。例えば、UPPER 1 と UPPER 2 を別々に記録することはできません。

曲の記録に於いて、複数の異なるパートを別々に制御したい場合、MULTI REC を使ってください。

MENU/EXIT タッチボタンを使った MULTI REC メニューページへの行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには 4 ページあり、ページ 1 が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを三度押します。MENU (メニュー) モードのページ 4 が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「4/4」が表示されます。
3. 3 番または 4 番セレクトタッチボタンを押します。「SEQ MENU」という単語が画面上部に表示されます。
4. 7 番または 8 番セレクトタッチボタンを押します。「MULTI REC」という単語が画面上部に表示されます。

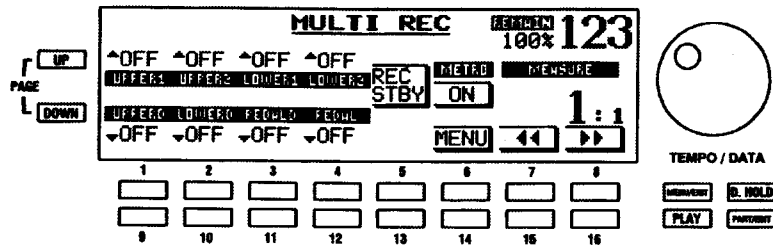
ショートカットを使った MULTI REC メニューへの行きかた：

1. SEQ MENU (シーケンサーメニュー) タッチタブを押します。「SEQ MENU」という単語が画面上部に表示されます。
2. 7 番または 8 番セレクトタッチボタンを押します。「MULTI REC」という単語が画面上部に表示されます。

現在、MULTI REC メニューページが表示されています。

MULTI REC (マルチレコード) を使った曲の記録

1. 曲に使いたいレジストレーションに XE-1 を設定します。
2. MULTI REC メニューに入るには、SEQ MENU タッチタブを押すか、MENU/EXIT と番号付きタッチボタンを使うか、そのどちらかを行います。



ディスプレイに、UPPER 1、UPPER 2、LOWER 1、LOWER 2、DRB-U (ドローバーアッパー)、DRB-L (ドローバーロー)、DRB-P (ドローバーペダル)、PEDAL の 8 パートが表示されます。これは、アッパー、ロー、ペダルに対して、個々のパートを使って記録することができることを意味します。

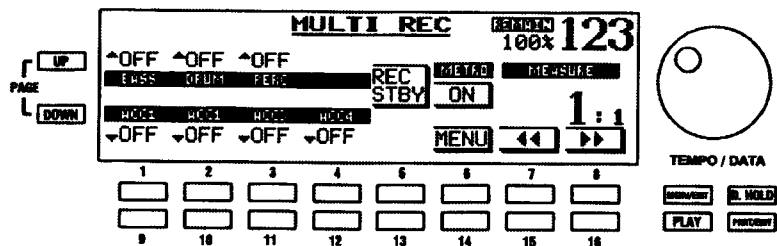
すべてのパートを一度で記録したくない場合、番号付きタッチボタンを使って、記録するパートを選ぶことができます。

UPPER 1、UPPER 2、LOWER 1、LOWER 2 の「REC」(記録) または「OFF」を選ぶには、最上行の番号付きセレクトタッチボタンを使います。

UPPERD (アッパードローバー)、LOWERD (ロワードローバー)、PEDALD (ペダルドローバー)、PEDAL (ペダルボイス) の「REC」(記録) または「OFF」のために「REC」(レコード) または「OFF」を選ぶには、最下行の番号付きセレクトタッチボタンを使います。

「OFF」を選ぶと、それで特定されたパートは記録されません。

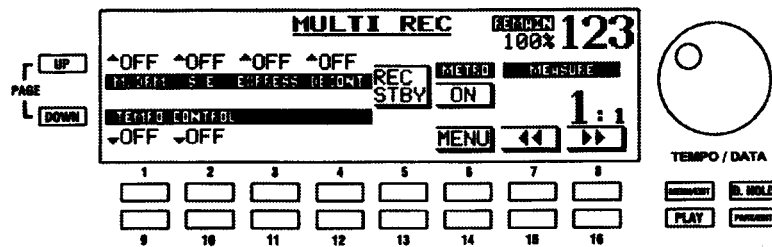
3. UPPER、LOWER、PEDAL、CONTROL のベーシックパートの他に、ドローバー移動のような他のパラメーターの記録を選ぶこともできます。これら他のパラメーターを見るには、上記のページから PART/EDIT タッチボタンを押します。上のメニューで PART/EDIT タッチボタンを押すと、ディスプレイは、次のような表示になります。



ディスプレイに、BASS、DRUM、PERC、ACC1、ACC2、ACC3、ACC4 の 7 パートが表示されます。これは、AUTOBAND ORCHESTRA の個々のパートを使って記録することができることを意味します。

前のページのように、個々のパートの「REC」または「OFF」を選ぶには、番号付きセレクトタッチボタンを使います。

上のページでPART/EDIT タッチボタンを押すと、ディスプレイは、次のような表示になります。



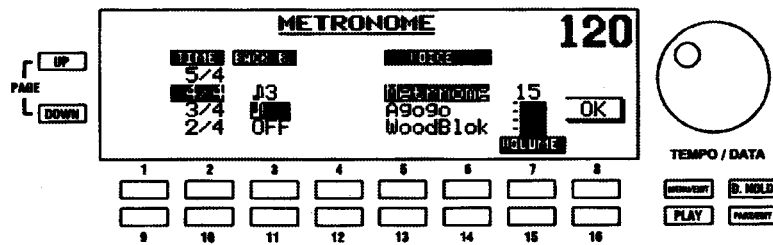
ディスプレイに、M.DRM、S.E.、EXPRESS、DBCNT、TEMPO、CONTROLの6パートが表示されます。これは、鍵盤ドラム、サウンドエフェクト、エクスペリションデーター、ドローバレジストレーション、テンポデーター、それにピッチベンド、モジュレーションなどの他のコントローラーを記録することができることを意味します。

前のページのように、個々のパートの「REC」または「OFF」を選ぶには、番号付きセレクトタッチボタンを使います。

- XE-1でシーケンスを記録すると、メトロノームが各ビートをカウントします。しかし、この時点でメトロノーム機能を変えることができます。

記録の間、メトロノームの音を消したい場合、6番タッチボタンを押してください。これにより、メトロノームが「OFF」になります。

メトロノームを聞きたいけれど、そのパラメーターを変更したい場合、14番タッチボタンを押してください。ディスプレイは、次のような表示になります。



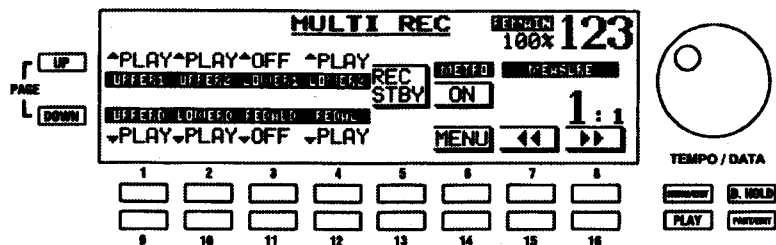
現在、METRONOME機能画面が表示されています。これはショートカット経由でのみアクセスすることができます。この機能画面により、メトロノームの特性を変えることができます。

注記： METRONOME機能画面の詳細については、本ガイドの77ページから説明されています。

メトロノームの設定が終わるか、変更せずに終了したい場合、8番または16番セレクトタッチボタンを押して「OK」を選びます。再度、MULTI RECメニューが表示されます。

- 「REC STBY」(レコードスタンバイ) ボックスが強調表示されていない場合、5番セレクトタッチボタンを押して強調表示させます。XE-1は現在、スタンバイモードにあり、記録を開始することができます。
- RHYTHM CONTROL セクションのPLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押します。ディスプレイカウントダウン2小節 (「-2:1、-2:2、-2:3、-2:4、-1:1、-1:2、-1:3、-1:4」) に小節カウンターが表示され、プログラムした通りにメトロノームが鳴ります。

7. 小節カウンタが二つの導入小節のカウントを終えたら、曲の演奏を始めてください。アウフタクトの曲の場合、-1小節目の終わりから演奏を始めてもかまいません。
8. 曲の演奏が終わったら、PLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押して記録を止めます。ディスプレイは、次のような表示になります。



「PLAY」という単語がディスプレイの数力所に表示されます。これらの場所には、曲を記録したときに使ったXE-1のパートやディビジョンが表示されます。特定のパートの上に「OFF」という単語が表示される場合、曲を記録したときにそのパートを使わなかったということを意味します。

曲の再生

曲の記録が終わり、MULTI REC画面が再度表示されたら、REW/STOP (◀) タッチタブも「ON」(LEDが点灯)になります。これは、XE-1のメモリーに曲が存在し、その曲の再生が可能であることを意味します。

PLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押します。曲の演奏が開始されます。

各パートの下の番号付きタッチボタンを使って、その上に「PLAY」ボックスが表示されているパートの「PLAY」または「OFF」を選ぶことができます。こうして、各パートを別々に聞くことができます。

曲を途中で止めたい場合、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が停止されます。

曲を止めた位置から再度始めたい場合、再度、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が再開され、最後まで演奏されます。

特定の小節から曲を始めたい場合、15番および16番タッチボタンを押して、所望の小節番号がディスプレイに表示されるまで、小節を移動させます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の再生を開始します。

曲を最初の位置から再度始めるには、REW/STOP タッチタブを押してください。これにより、曲が最初から始まるように、ディスプレイが小節1にリセットされます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の演奏を開始します。

16 TRACKS (16トラック)

16TRACKSは内部の鍵盤演奏用のパートとは独立したパートを使用して演奏を記録/再生します。

EASY RECとMULTI RECは、UPPER 1、LOWER 1、ドローパー、サウンドエフェクトなど、XE-1に特有の演奏プラットホームを使って、ソングデータを記録することができます。それに対し16 TRACKSはそれらとは独立した16のパートを使って演奏を記録/再生します。また、GM (General MIDI) の拡張レベル1で作られたソングデータの再生も行えます。

MENU/EXIT タッチボタンを使った 16 TRACKS メニューページへの行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENUセレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを三度押します。MENU (メニュー) モードのページ4が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「4/4」が表示されます。
3. 3番または4番セレクトタッチボタンを押します。「SEQ MENU」という単語が画面上部に表示されます。
4. 13番または14番セレクトタッチボタンを押します。「16 TRACKS」という単語が画面上部に表示されます。

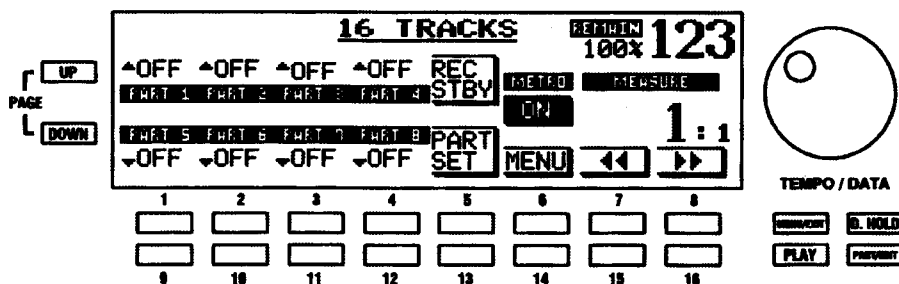
ショートカットを使った 16 TRACKS メニューへの行きかた：

1. SEQ MENU (シーケンサーメニュー) タッチタブを押します。「SEQ MENU」という単語が画面上部に表示されます。
2. 13番または14番セレクトタッチボタンを押します。「16 TRACKS」という単語が画面上部に表示されます。

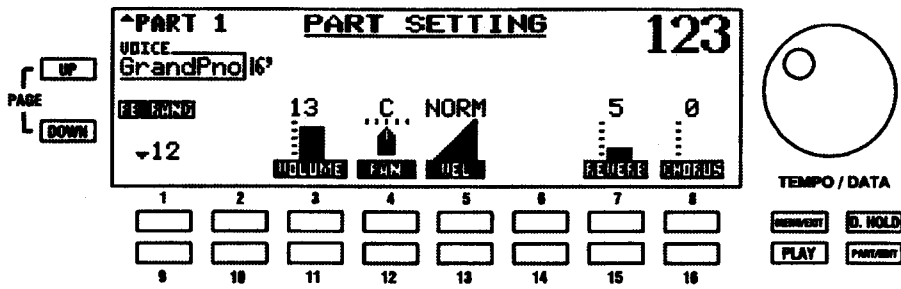
現在、16 TRACKS メニューページが表示されています。

16 TRACKS (16トラック) を使った曲の記録

1. 16 TRACKS メニューに入ります。

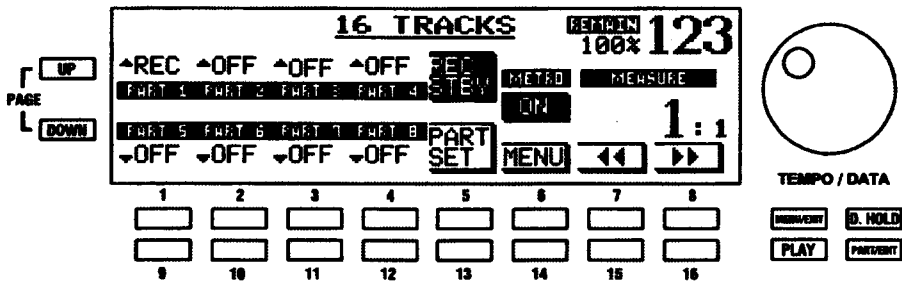


- [PART SET]を押し、パート設定をします。

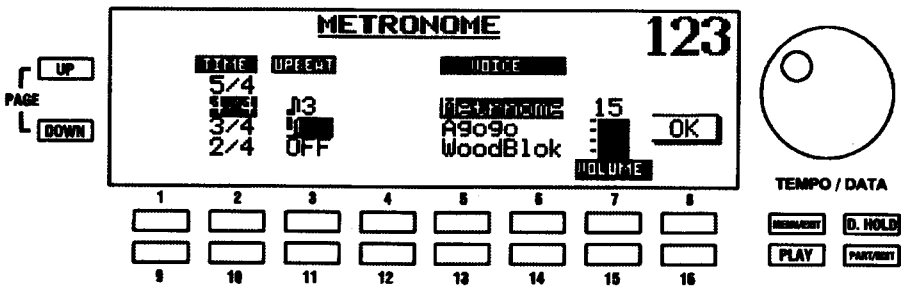


これにより、記録したいパートのパラメーターの設定をします。例えばボイス、ボリューム、パンなどです。ここで本体の鍵盤を弾くと、UPPER 1等ではなくPART 1といった現在選ばれているパートが発音します。

- [MENU/EXIT]を押し、16 TRACKSメニューに戻ります。
- LCDボタンの[REC STBY]を押すと、選んだパートが自動的に「REC」になります。パートは「OFF」にできません。



- XE-1でシーケンスを記録すると、メトロノームが各ビートをカウントします。メトロノームの音を消したり変えたりする場合や、シーケンスの時間を変更する場合、LCDボタンの[METRO MENU]を押し、METRONOMEメニューを表示させます。

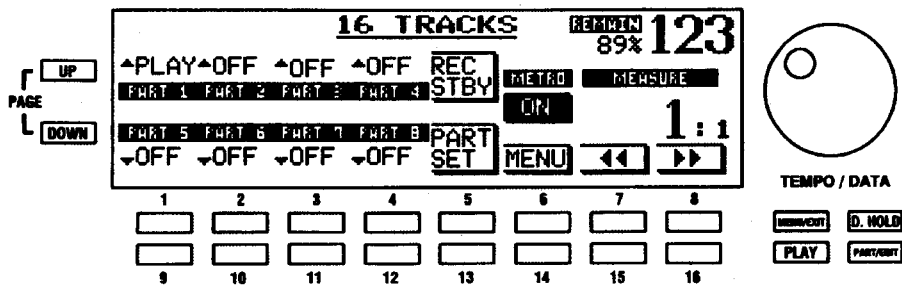


注記：METRONOME 機能画面の詳細については、本ガイドの77ページから説明されています。

メトロノームの設定が終わるか、変更せずに終了したい場合、8番または16番セレクトタッチボタンを押して「OK」を選びます。再度、16 TRACKSメニューが表示されます。

- [Play/Pause]タッチタブを押します。ディスプレイカウントダウン2小節に小節カウンター（例えば、4/4の「-2:1、-2:2、-2:3、-2:4、-1:1、-1:2、-1:3、-1:4」）が表示され、メトロノームがプログラム通りに鳴ります。

小節カウンタが二つの導入小節のカウントを終えたら、曲の演奏を始めてください。アウフタクトの曲の場合、-1小節目の終わりから演奏を始めてもかまいません。



7. 曲の演奏が終わったら、[Play/Pause]タッチタブを押して記録を止めます。ディスプレイは、次のような表示になります。

「PLAY」という単語がディスプレイの数力所に表示されます。これらの場所には、曲を記録したときに使ったXE-1のパートやディビジョンが表示されます。

8. 次のパートを記録するには、ステップ2から繰り返してください。

曲の再生

自分の曲の記録が終わり、16 TRACKS画面が再度表示されたら、REW/STOP (◀) タッチタブも「ON」(LEDが点灯)になります。これは、XE-1のメモリーに曲が存在し、その曲の再生が可能であることを意味します。

PLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押します。曲の演奏が開始されます。

各パートの下の番号付きタッチボタンを使って、その上に「PLAY」ボックスが表示されているパートの「PLAY」または「OFF」を選ぶことができます。

曲を途中で止めたい場合、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が停止されます。

曲を止めた位置から再度始めたい場合、再度、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が再開され、最後まで演奏されます。

特定の小節から曲を始めたい場合、15番および16番タッチボタンを押し、所望の小節番号がディスプレイに表示されるまで、小節を移動させます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の再生を開始します。

曲を最初の位置から再度始めるには、REW/STOP タッチタブを押してください。これにより、曲が最初から始まるように、ディスプレイが小節1にリセットされます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の演奏を開始します。

◆ ディスクドライブと CompactFlash™ (コンパクトフラッシュ)

ハモンド XE-1 は、いくつかのタイプのデーターを保存し、読み込むことができます。

1. シーケンサーまたはソングデーター
2. セットアップデーター
3. スタイルデーター

上のデーターは、二種類の媒体に対して、保存または読み込みが可能です。

1. フロッピーディスク
2. CompactFlash™ カード

次のページでは、各機能を説明します。

ディスクスロット

ディスクスロットは、機器の左端のピッチベンド/モジュレーションホイールの下にあります。これは、3.5 インチ 2DD または 2HD フロッピーディスクに適合しています。



アクセスインジケータ

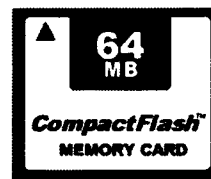
ディスクドライブが使われている場合、ディスクスロットの左側の緑のLED が点灯します。例えば、データーの保存中や読み込み中に点灯します。

注記：このLED が点灯している間、XE-1 の電源を「OFF」にしたり、ディスクを取り出したりしないでください。データ破損の原因になります。

エジェクトボタン

ディスクをディスクスロットに挿入すると、通常の引っ込んだ位置からボタンが飛び出し、ディスクを取り出すときに押せるようになります。これを押し込むと、ディスクスロットからディスクが排出されます。

CompactFlash (コンパクトフラッシュ) カードスロット

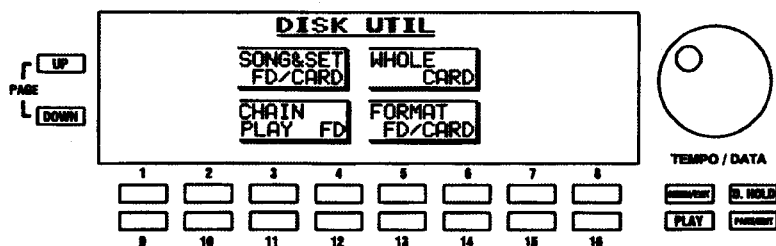


CompactFlash (コンパクトフラッシュ) カードスロットは、XE-1 後部のアクセサリパネル上にあります。CompactFlash カードをスロットに挿入します。ラベルを上面にしてカードを挿入してください。カードを使った後にエジェクトするには、スロットの右側にあるエジェクトボタンを使います。

特記事項：本ガイドの説明において、以下のタイプの CompactFlash カードが XE-1 で使えることを確認しています。

| | |
|----------|--------------------------|
| SanDisk | SDCFB-15, -30, -64, -128 |
| MELCO | RCF-C30M, -C64M |
| I-O DATA | PCCF-32M |

▶ DISK UTIL (ディスクユーティリティ) メニュー



フロッピーディスクまたは CompactFlash カードに関連する操作を行います。

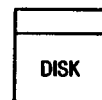
MENU/EXIT タッチボタンを使った DISK UTIL 機能画面への行きかた：

1. MENU (メニュー) モードの最初の画面を見るには、MENU セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。これは、MENU (メニュー) モードには4ページあり、ページ1が表示されていることを示します。
2. PAGE UP セレクトタッチボタンを三度押します。MENU (メニュー) モードのページ4が表示されます。ディスプレイの左上隅に、「4/4」が表示されます。
3. 9番または10番のセレクトタッチボタンを押します。「DISK UTIL」という単語が画面上部に表示されます。

ショートカットを使った DISK UTIL 機能画面への行きかた：

DISK タッチタブを押します。「DISK UTIL」という単語が画面上部に表示されます。

現在、DISK UTIL 機能画面が表示されています。画面の下の番号付きセレクトタッチボタンを使って、フロッピーディスクや CompactFlash カードに対する様々な操作をすることができます。これらの操作については、次に説明します。



DISK UTIL - FORMAT (フォーマット)

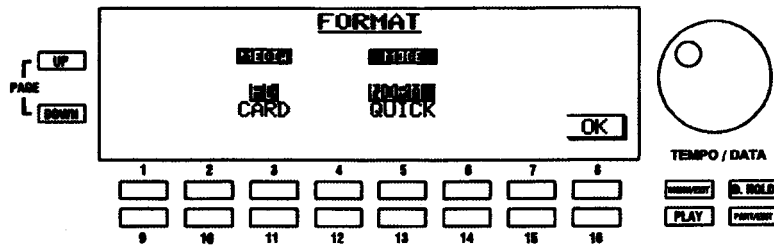
フロッピーディスクや CompactFlash カードは、使用前にフォーマット (初期化) しなければなりません。したがって、最初にフォーマットの方法を説明します。これは、ディスクまたはカードが新品のときに一度だけ実行しなければなりません。

注記：本機で扱えないフォーマットがなされている場合も、フォーマットが必要です。

フロッピーディスクまたはカードをフォーマットするには：

1. フォーマットを行うには、まずフォーマットしたいメディアつまり3.5インチ2DDまたは2HDフロッピーディスクをディスクスロットに挿入するか、カードをXE-1後部のCompactFlash (コンパクトフラッシュ) カードスロットに挿入します。フォーマットが行われていない、又は本機で扱えないフォーマットがなされている場合は自動的にフォーマットを行うか尋ねてきます。
2. DISK タッチタブを押すか、MENU/EXIT タッチボタンを使います。ディスプレイにDISK UTIL メニューが表示されます。

3. FORMAT メニューを選ぶために、13番または14番セレクトタッチボタンを押します。



「MEDIA」と「FORMAT」の二つの項目が表示されます。

MEDIA (メディア)

フロッピーディスク (FD) または CompactFlash カード (CARD) のどちらをフォーマットするかを選択します。

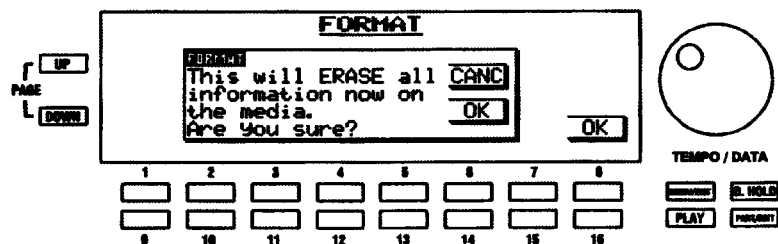
4. フロッピーディスクをフォーマットする場合、3番セレクトタッチボタンを使ってFDを選びます。また、CompactFlashカードをフォーマットする場合、11番セレクトタッチボタンを使ってCARDを選びます。

MODE (モード)

実行したいフォーマットを「NORMAL」または「QUICK」フォーマットから選ぶことができます。NORMAL フォーマットは、ディスクまたはカードを全て初期化する「低レベル」フォーマットです。QUICK フォーマットでは、ディスクまたはカードの管理領域が初期化されるだけで、NORMAL フォーマットより速くフォーマットすることができます。

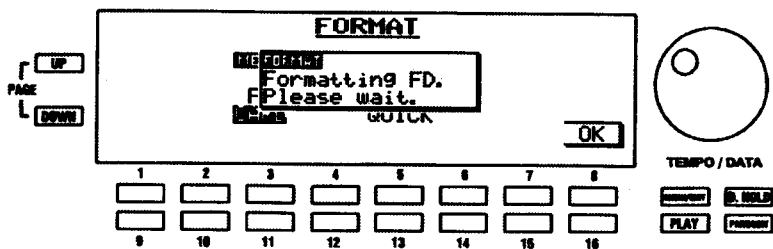
5. NORMを選ぶには、5番セレクトタッチボタンを使います。また、QUICKを選ぶには、13番セレクトタッチボタンを使います。フォーマットする場合、QUICKフォーマットを実行することはできません。
6. 16番セレクトタッチボタンを押して、「OK」を選びます。フォーマットしたくない場合、PLAYまたはMENU/EXIT セレクトタッチボタンを押して、FORMAT メニューから抜けます。

すでにデータを含んでいるディスクまたはカードをフォーマットしようとしている場合、次の警告メッセージが表示されます。



ディスクまたはカードの現在の内容を失いたくない場合、6番セレクトタッチボタンを押して、FORMAT を中止します。ディスクまたはカードを再フォーマットする場合、14番 (「OK」) セレクトタッチボタンを押します。

ディスクのフォーマットに、約1分かかります。その間、ディスプレイには、次のメッセージが表示されます。



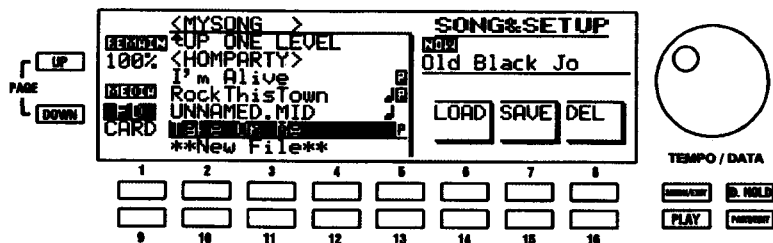
注記： CompactFlash カードをフォーマットしている場合、「Formatting Card. Please wait」が表示されます。ディスクの書き込み禁止ノッチが開いている場合、フォーマットは行われずエラーメッセージが表示されます。

フォーマットが完了した後、ディスプレイはFORMATメニューを表示します。これで曲やセットアップの記録など、ディスクやカードを使うための準備ができました。

DISK UTIL - SONG & SETUP (ソング&セットアップ)

ディスクまたはカードから曲を読み込む

1. ソングデータを保存した3.5インチフロッピーディスクまたはCompactFlashカードを適切なスロットに挿入します。ディスプレイは、次のような表示になります。但しカードは普段差しっぱなしで使用することを想定しているため自動的にこの画面には来ません。DISK タッチタブ→SONG&SETUP と操作してこの画面に来ます。

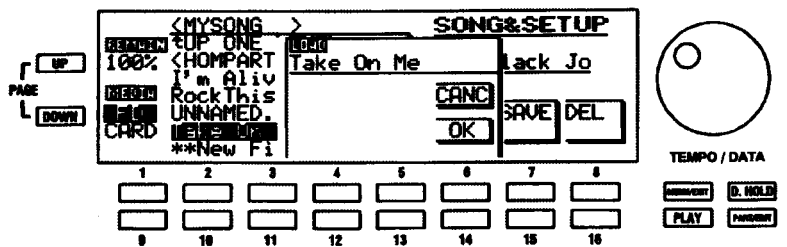


2. ディスプレイの左側に、現在選択されているメディア、曲のタイトルまたはファイル名のリストが表示されます。現在の位置は、曲名を強調表示するカーソルによってマークされます。

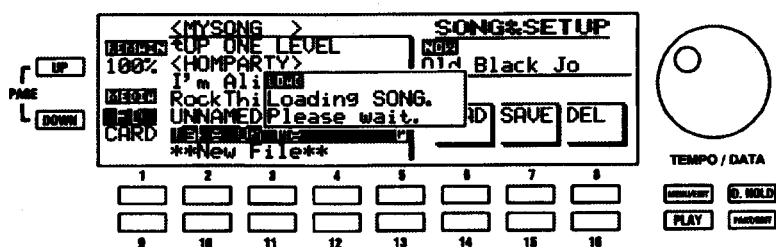
カーソルの移動には、上へは2番～4番、下へは10番～12番のセレクトタッチボタンを使います。

保存されている曲数がリストの表示可能行数より多い場合、読み込みたい曲が見えないかも知れません。そのような場合は、タッチボタンでリストをスクロールさせて見つけます。

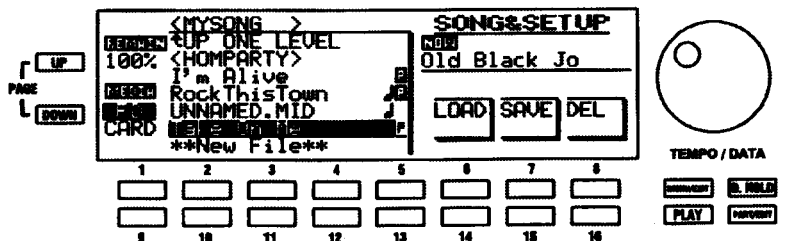
3. 選択が終わったら、6番または14番セレクトタッチボタンを押してLOADを選びます。ディスプレイは、次のような表示になります。



4. 曲を読み込みたくない場合、6番セレクトタッチボタンを押して、「CANC」を選びます。曲を読み込みたい場合、14番セレクトタッチボタンを押して、「OK」を選びます。ディスプレイは、次のような表示になります。

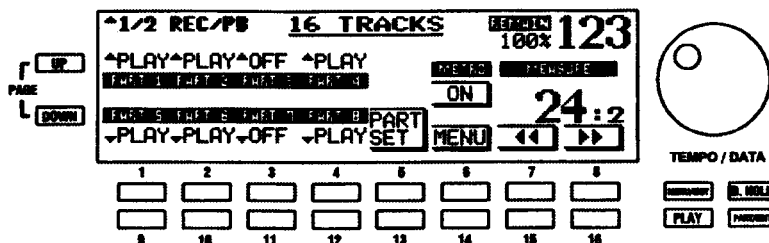


5. 読み込みが終わると、ディスプレイは、次のような表示になります。



REW/STOP (◀) タッチタブのLEDが点灯します。これは、XE-1の本体内に曲が存在し、その曲の再生が可能であることを意味します。

6. PLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押します。曲の演奏が開始され、ディスプレイは、次のような表示になります。



曲を途中で止めたい場合、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が停止されます。

曲を止めた位置から再度始めたい場合、再度、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が再開され、最後まで演奏されます。

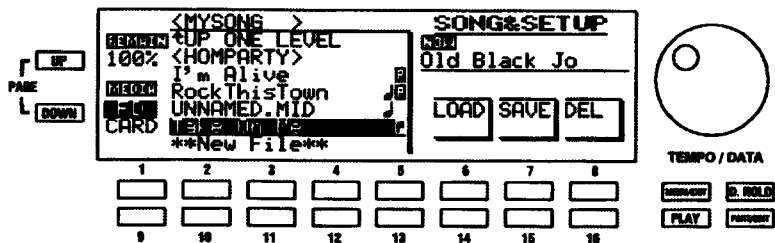
特定の小節から曲を始めたい場合、15番および16番タッチボタンを押し、所望の小節番号がディスプレイに表示されるまで、小節を移動させます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の再生を開始します。

曲を最初の位置から再度始めるには、REW/STOP タッチタブを押してください。これにより、曲が最初から始まるように、ディスプレイが小節1にリセットされます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の演奏を開始します。

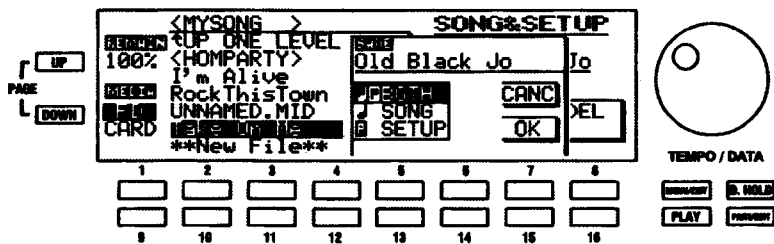
曲のディスクまたはカードへの保存

保存できる曲数は、同一ディレクトリ（後述）内あたり最大50曲です。曲の長さによっては、これより少なくなります。

1. シーケンサーに曲を記録します。
2. フォーマット済みの3.5インチ2DDまたは2HDフロッピーディスクまたはCompactFlashカードを適切なスロットに挿入します。但しカードは普段差しっぱなしで使用することを想定しているため自動的にこの画面には来ません。DISK タッチタブ→SONG&SETUPと操作してこの画面に来ます。



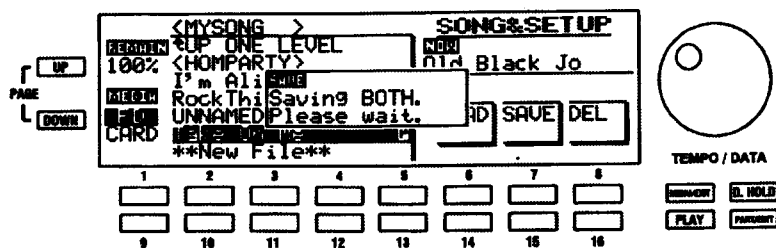
3. ディスクまたはカードに入っている既存の曲を消去したくない場合、「New File」という場所にカーソルを合わせます（10番～12番のセレクトタッチボタンを使います）。次に15番セレクトタッチボタンを押して、SAVE を選びます。



ディスプレイに、「BOTH」、「SONG」、「SETUP」の3つの選択肢が表示されます。「SONG」（演奏情報のみ）、「SETUP」（プリセット及びグローバルデータのみ）、「BOTH」（その両方）のいずれかを選択します。普段は「BOTH」を使用してください。

選択項目を移動するには、上へは5番、下へは13番のセレクトタッチボタンを使います。

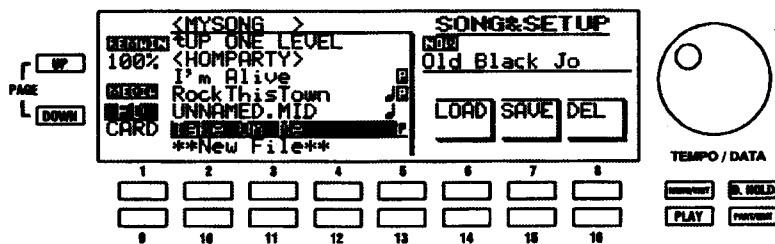
保存したくない場合、7番セレクトタッチボタンを押して、「CANC」を選びます。保存したい場合、15番セレクトタッチボタンを押して、「OK」を選びます。保存処理が始まり、ディスプレイは、次のような表示になります。



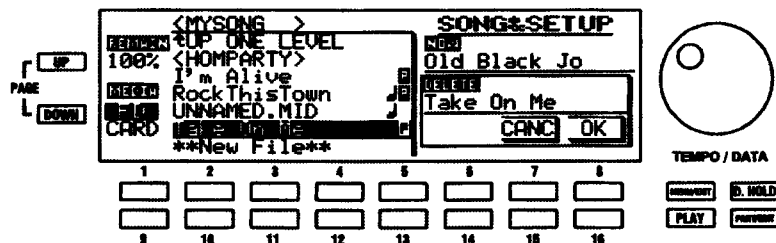
「Saving...」が消えて、画面が普通に返ると、保存終了です。ディスクの書き込み禁止ノッチが開いている場合、保存は行われずエラーメッセージが表示されます。

ディスクまたはカードからの曲の消去

1. ソングデーターを保存した3.5インチフロッピーディスクまたはCompactFlashカードを適切なスロットに挿入します。ディスプレイには、SONG/SETメニューが表示されます。但しカードは普段差しっぱなしで使用することを想定しているため自動的にこの画面には来ません。DISKタッチタブ→SONG&SETUPと操作してこの画面に来ます。



2. ディスプレイの左側に、選択されているメディア、曲のタイトルまたはファイル名のリストが表示されます。現在の位置は、その上にある文字を強調表示するカーソルでマークされます。選択項目の移動には、上へは2番～5番、下へは10番～13番のセレクトタッチボタンを使います。
3. 選択が終わったら、8番または16番セレクトタッチボタンを押し、「DEL」を選びます。ディスプレイには、右端に「YES」と「NO」が表示されます。これは、選んだ曲を消去を確認するためです。

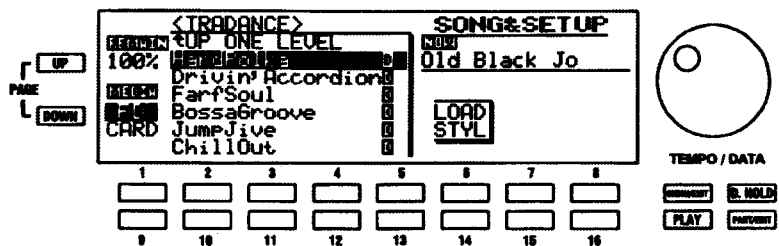


4. 「YES」を選ぶには、8番セレクトタッチボタンを押します。曲を消去したくない場合、7番セレクトタッチボタンを押して、「CANC」を選びます。「OK」を選ぶと、ディスクまたはカードから曲が消去されます。

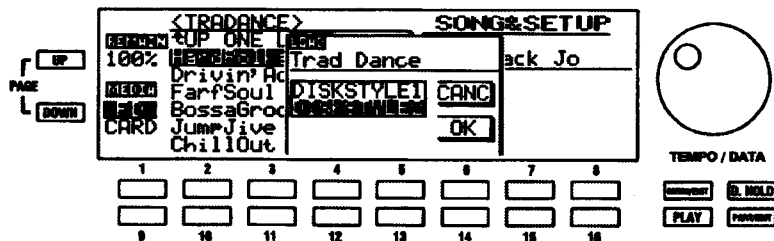
注記：ディスクの書き込み禁止ノッチが開いている場合、消去は行われずエラーメッセージが表示されます。

ディスクまたはカードからスタイルを読み込む

1. スタイルデータを保存した3.5インチフロッピーディスクまたはCompactFlashカードを適切なスロットに挿入します。ディスプレイは、次のような表示になります。但しカードは普段差しっぱなしで使用することを想定しているため自動的にこの画面には来ません。DISK タッチタブ→SONG&SETUPと操作してこの画面に来ます。

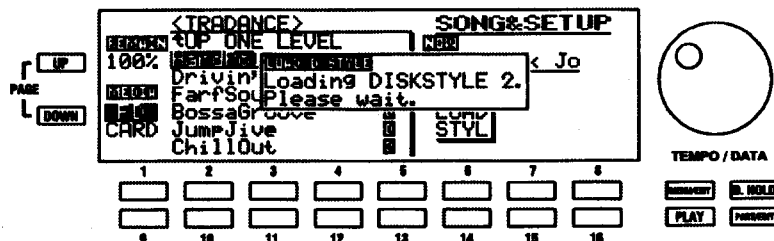


2. LOAD STYL を選ぶには、6番または14番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



ディスプレイに、「DISKSTYLE1」と「DISKSTYLE2」が表示されますので、どのリズムタッチボタンにディスクスタイルを読み込むかを指定します。「DISKSTYLE1」を選んだ場合、ディスクスタイルの使用にRHUMBAタッチボタンを使うこととなります。「DISKSTYLE2」を選んだ場合、TANGOタッチボタンを使います (RHUMBAとTANGOタッチボタンの印刷を見てください)。

3. 「DISKSTYLE1」を選ぶには5番か6番、「DISKSTYLE2」を選ぶには13番か14番のセレクトタッチボタンを使います。ディスクスタイルの読み込みはそのディスク内容一括で行われます。このメニューから抜けるには、8番セレクトタッチボタンを押してください。
4. 読み込みを始めるには16番セレクトタッチボタンを押します。読み込み処理が始まり、ディスプレイは、次のような表示になります。



読み込み処理が終了すると、SONG&SETUP画面に戻ります。ディスクから読み込んだスタイルはCompactFlashカードに保存しておき、次回からはそちらを使用することをお勧めします。これは読み込みが速いためです。

読み込んだスタイルを使う

ディスクスタイルを読み込んだスタイルタッチボタンを押します。

「DISKSTYLE1」はRHUMBAを、「DISKSTYLE2」はTANGOタッチボタンを使います。

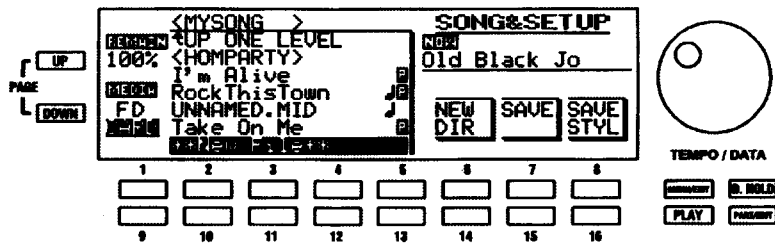
ディスクスタイルはそれぞれのスタイル選択画面の2ページ目から始まります。

個々のリズムスタイルを選ぶには、番号付きタッチボタンを使います。

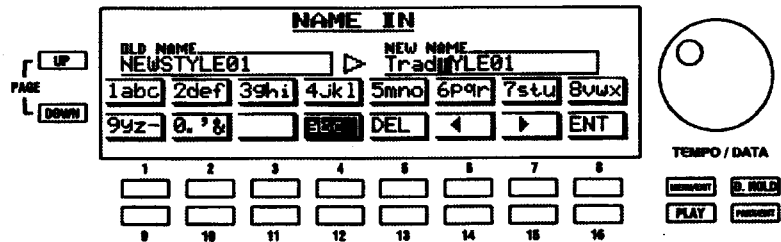
注記: 読み込まれたスタイルは、XE-1の電源を切っても、ディスクスタイルをデフォルトするまでは本体内に記憶されています。

スタイルデータのディスクまたはカードへの保存

1. 3.5インチフロッピーディスクまたはCompactFlashカードを適切なスロットに挿入します。ディスプレイは、次のような表示になります。但しカードは普段差しっぱなしで使用することを想定しているため自動的にこの画面には来ません。DISKタッチタブ→SONG&SETUPと操作してこの画面に来ます。



2. SAVE STYLを選ぶには、8番または16番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



3. ディスクスタイルグループ名を付けるには、番号付きタッチボタンを使います。この名前は、一つのスタイルタッチボタン (RHUMBAまたはTANGO) で使用できるすべてのスタイルに与えられる名前です。「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。

スペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

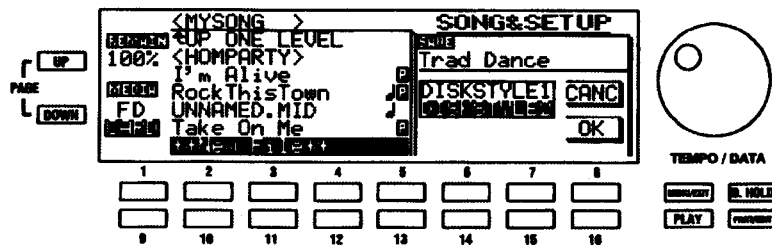
大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイ内のボタンには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

入力した名前の確定にはENT（16番セレクトタッチボタン）を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

- 名前（16文字まで）を確定するには、ENT（16番セレクトタッチボタン）を押してください。

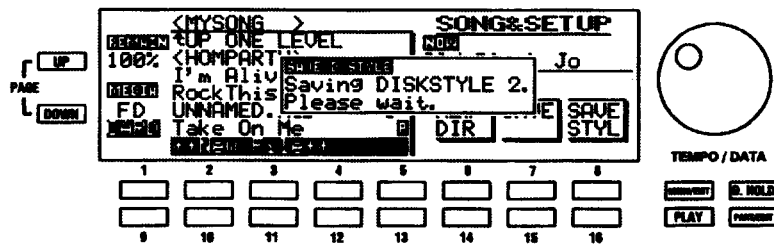


「DISKSTYLE1」と「DISKSTYLE2」の、どちらに入っているディスクスタイルを保存するかを選択します。

- 「DISKSTYLE1」を選ぶには5番か6番、「DISKSTYLE2」を選ぶには13番か14番のセレクトタッチボタンを使います。

このメニューから抜きたい場合、8番（「CANC」）セレクトタッチボタンを押します。

- 保存をするには16番セレクトタッチボタンを押してください。保存処理が始まり、ディスプレイは、次のような表示になります。

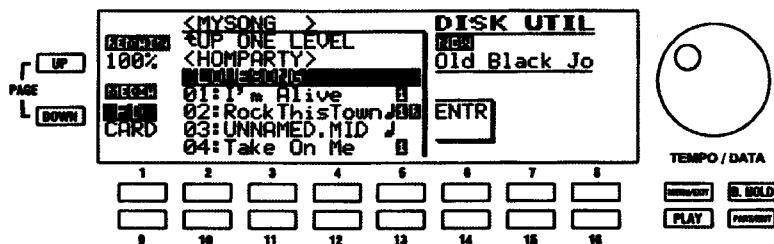


保存が完了すると、SONG&SETUP ページに戻ります。

「ディレクトリ」とは

ディスクやカードには多数のファイル（曲やスタイルなど）を保存することができます。したがって、ロック、ジャズ、ラブバラードといった同じジャンルの曲や、同じシリーズのスタイルなどをまとめて一つのグループに保存したいことがあるかも知れません。特にこの目的のために、ディスクまたはカードに「ディレクトリ」を作成することができます。ディレクトリは、机やたんすの引き出しと同様に、ファイルグループを保存できるディスクまたはカードの場所のことです。

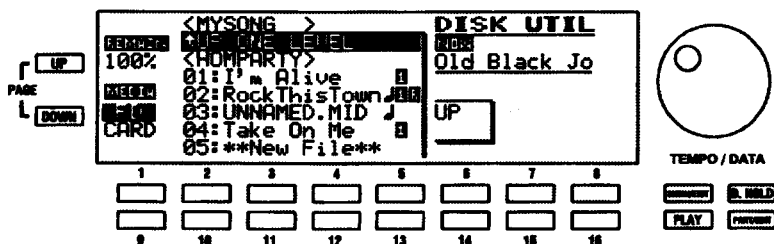
ディスプレイを使って内容を見る場合、ディスクまたはカードにディレクトリが有ると、次のようになります。



ディレクトリ名はファイルとは違い、括弧 < 内に表示されます。また、カーソル（どのファイルまたはディレクトリーを選んだかを表示する黒く長いバー）がファイルを指している場合、「LOAD」、「SAVE」および「DEL」の三つのボックスが画面右側に表示され、ファイルの読み込み、保存、または消去が可能になりますが、カーソルをディレクトリ名の上に動かすと、「ENTR」ボックスが表示され、そのディレクトリー内へ「入る」ことができます。

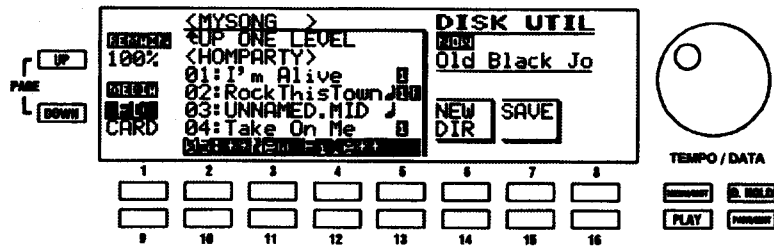
ENTRを選んでそのディレクトリの内容を見るには、6番または14番セレクトタッチボタンを押します。

他のディレクトリへ行くため、現在表示されているディレクトリから「出る」には、番号付きタッチボタンの最上行を使い、「UP ONE LEVEL」と表示されている画面の最上行に強調表示を動かします。

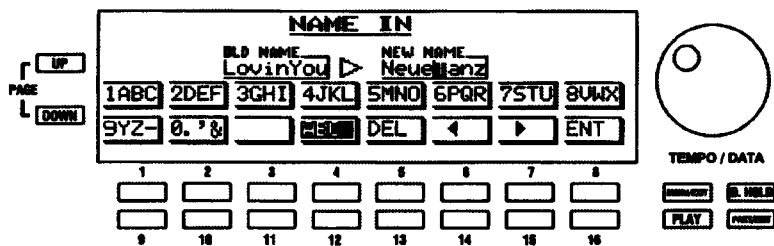


ボタン「UP」が現れますので、6番または14番セレクトタッチボタンを押します。カーソルを他のディレクトリー名に動かし、上記の指示に従い、その内容を見ることができます。

ディレクトリの作成



1. カーソルを一番下へ移動し、「**New File**」まで動かすと、「NEW DIR」と「SAVE」の二つのボックスが表示されます。



2. ファイルを保存する場合は「SAVE」を選びますが、新しいディレクトリを作成する場合、8番または16番セレクトタッチボタンを押して、「NEW DIR」を選びます。ディスプレイは、次のような表示になります。
3. ディレクトリ名を付けるには、番号付きタッチボタンを使います。「NEW NAME」と呼ばれる画面右部のボックスに新しい名前とカーソルが表示され、「OLD NAME」と呼ばれる画面左部のボックスに現在の名前が表示されます。文字の入力には番号付きタッチボタンを使います。どの番号付きタッチボタンを使うかは画面上に表示されています。例えば、文字「1ABC」を入力するには、1番タッチボタンを使います。また、文字「2DEF」などを入力するには、2番タッチボタンを使います。
スペースを挿入するには、11番セレクトタッチボタンを使います。

大文字または小文字を選ぶには、12番セレクトタッチボタンを使います。ディスプレイ内のボタンには、例えば「1ABC」や「1abc」など、どのタイプが選択されているかが示されます。

カーソル位置の文字を消すには、13番セレクトタッチボタンを使います。

カーソルを前後に移動するには、14番および15番セレクトタッチボタンを使います。

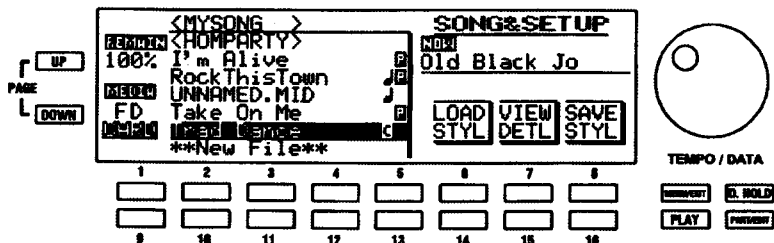
入力した名前の確定にはENT（16番セレクトタッチボタン）を、取り消すにはMENU/EXITを使います。

4. 名前（8文字まで）を確定するには、ENT（16番セレクトタッチボタン）を押してください。ディスプレイに、「Now saving...Please wait」が表示されます。このボックスが消えて画面が戻ると、ディレクトリの作成は完了です。新しいディレクトリにファイルを保存できるようになります。

ファイルタイプ

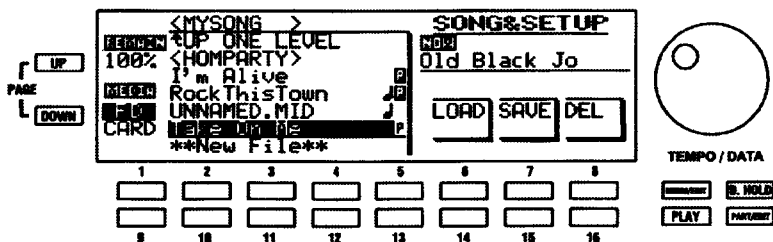
ディスクやカードには違う種類の複数のファイルを保存することができます。したがって、選んだファイルの種類に応じて、ディスプレイに表示される選択肢は異なります。

例えば、「複合スタイルファイル」を選ぶと、ディスプレイは、次のような表示になります。



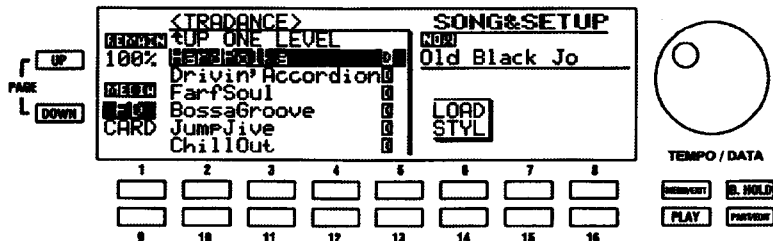
「複合スタイルファイル」は、多数のディスクスタイルを含むファイルで、「C」によって示されます (Combinedの略)。ディスプレイでは、ファイルを読み込み「LOAD」し、ファイルを保存「SAVE」したり、ファイルに含まれるスタイル詳細を見たり「VIEW DETL」することができます。

「ソングファイル」を選ぶと、ディスプレイは、次のような表示になります。



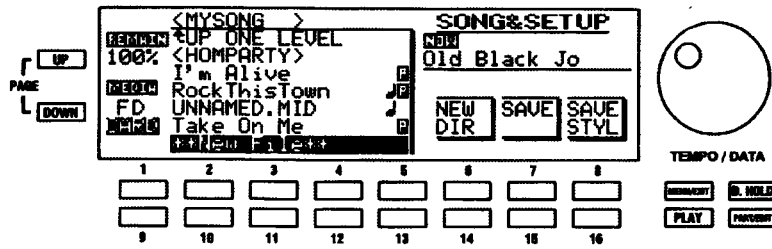
ソングファイルがセットアップデータを含んでいる場合、後に「P」(Presetの略)と四分音符記号(曲を意味します)が表示されます。ディスプレイでは、ファイルを読み込み「LOAD」したり、ファイルを保存「SAVE」したり、ファイルを削除「DEL」したりすることができます。

「Disk Style File」を選ぶと、ディスプレイは、次のような表示になります。



ディスクスタイルファイルは、「D」(Disk styleの略)で示されます。ディスプレイでは、ファイルを読み込み「LOAD」することができます。

ディスクまたはカード上のデータを含まないエリアは、「**New File**」と表示されます。ここにカーソルがあると、ディスプレイは、次のような表示になります。

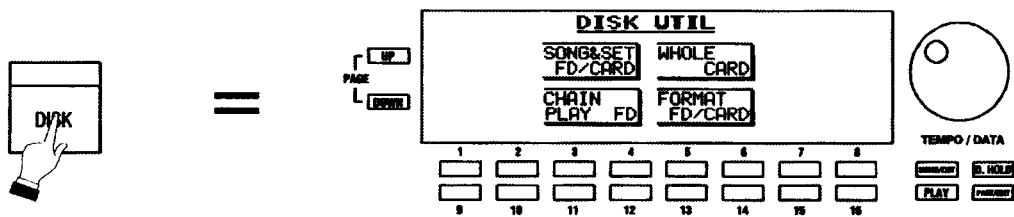


ディスプレイでは、新しいディレクトリ「NEW DIR」を作成したり、曲やセットアップを保存「SAVE」したり、ディスクスタイルを保存「SAVE STYL」したりすることができます。

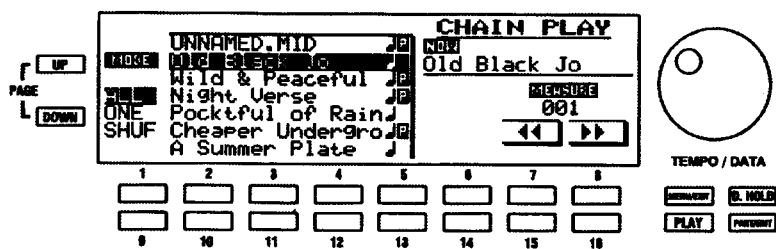
DISK UTIL - CHAIN PLAY (チェインプレイ)

ディスク上の複数の曲を連続演奏します。この機能を使うには、次のようにします。

1. ソングデータを保存した3.5インチフロッピーディスクを適切なスロットに挿入します。ディスプレイには、SONG/SETメニューが表示されます。
2. DISK UTILメニューを表示するために、DISK セレクトタッチボタンを押します。



3. CHAIN PLAY ページを表示するために、11番または12番セレクトタッチボタンを押します。

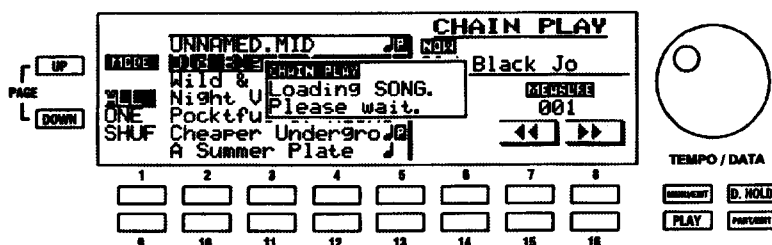


4. どの曲から演奏を始めるかを選びます。ディスプレイの左側に、曲のタイトルまたはファイル名リストが表示されます。現在の位置は、その上にある文字を強調表示するカーソルでマークされます。

選択項目の移動には、上へは2番～5番、下へは10番～13番のセレクトタッチボタンを使います。

保存されている曲数がリストの表示可能行数より多い場合、読み込みたい曲が見えないかも知れません。そのような場合は、タッチボタンでリストをスクロールさせて見つけます。

- モードを選ぶには、1番または2番セレクトタッチボタンを使います。「ONE」(選んだ曲が繰り返し演奏されます)、「ALL」(ディスクが選んだ曲の演奏を始め、最後まで演奏されます。次に、ディスクの最初の曲から順番に演奏されます)、または「SHUF」(曲目4が曲目1に続いたり、曲目2が曲目8に続いたりするように、曲の演奏順をシャッフルします)を選ぶことができます。
- PLAY/PAUSE (▶/||) タッチタブを押します。曲はディスクから演奏され始め、この機能画面から抜けるまで、演奏が続きます。



曲を途中で止めたい場合、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が停止されます。

曲を止めた位置から再度始めたい場合、再度、PLAY/PAUSE タッチボタンを押してください。曲の演奏が再開され、最後まで演奏されます。

特定の小節から曲を始めたい場合、15番および16番タッチボタンを押し、好みの小節番号がディスプレイに表示されるまで、小節を移動させます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、その小節で曲の演奏を開始します。

曲をもう一度最初から始めるには、REW/STOP タッチタブを押してください。これにより、曲が最初から始まるように、ディスプレイが小節1にリセットされます。次に、PLAY/PAUSE タッチタブを押して、曲の演奏を開始します。

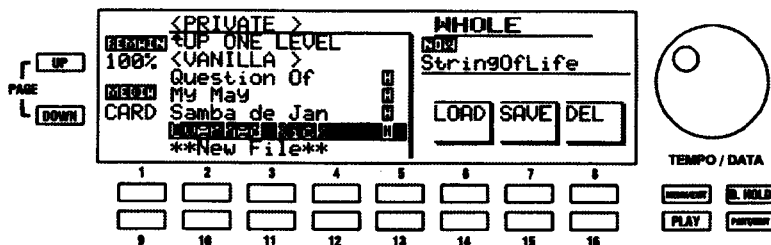
▶ DISK UTIL - WHOLE (ホール)

XE-1は非常に多くのパラメータを持つ柔軟性に富んだ機器です。したがって、機器を使う度に機器全体を再プログラムする必要が無いように、プリセット、ユーザーリズム、カスタムスタイル、カスタムボイスなどのすべてのメモリーの内容をCompactFlashカードへ保存し、必要に応じて呼び出せるようにしておくのが便利です。XE-1は、この「WHOLE」ファイルを作成することができます。WHOLEとは、機器の「全部」のメモリー内容を意味し、それを後で使えるように一枚のCompactFlashカードに保存します。様々な音楽アレンジメントのために、WHOLEは一枚のカードの中に複数保存することが出来ます。

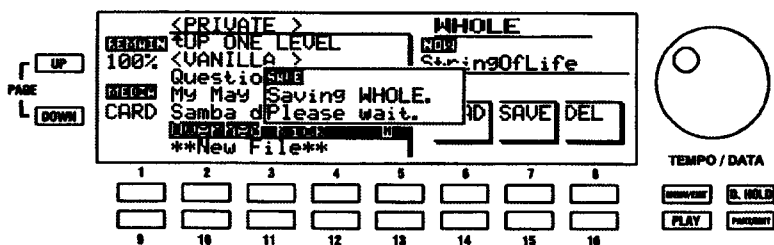
WHOLEの保存

- 好みのカスタムスタイル、リズムプリセット、プリセット、カスタムボイス、または他に選んだカスタムオプションで、XE-1をプログラムします。
- CompactFlashカードをカードスロットに挿入します。

- DISK UTIL メニューへ行くため、DISK タッチタブを押すか、MENU/EXIT タッチボタンを使います。ディスプレイにDISK UTIL メニューが表示されます。
- WHOLE を選ぶため、5番または6番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



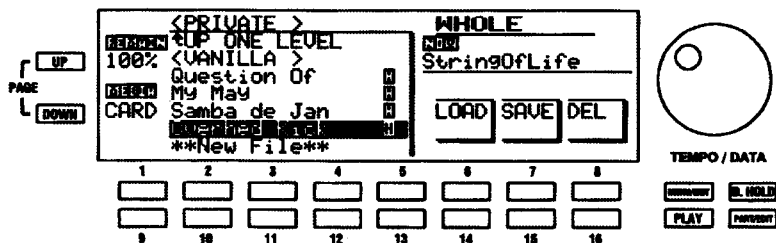
- 使っているカードにすでにデータが記録されていて、それを消去したくない場合、「New File」という場所へカーソルを移動し「SAVE」を選びます。



「Saving WHOLE. Please wait」のボックスが消え、画面が通常に戻ると、保存完了です。

WHOLE の読み込み

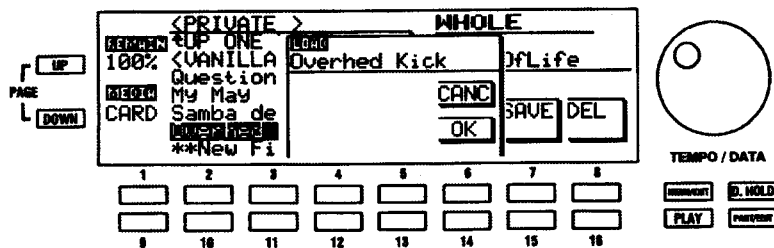
- WHOLE を保存した CompactFlash カードをカードスロットに挿入します。
- DISK UTIL メニューに行くために、DISK タッチタブを押すか、MENU/EXIT タッチボタンを使います。ディスプレイにDISK UTIL メニューが表示されます。
- WHOLE を選ぶために、5番または6番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



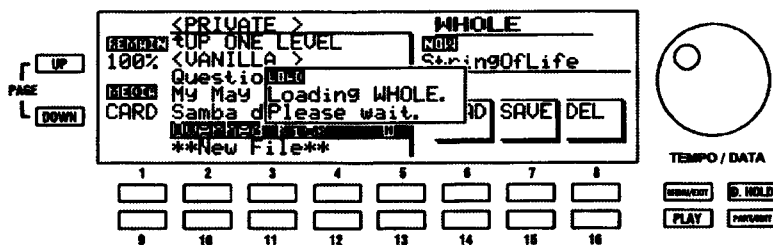
- ディスプレイの左側に、ファイル名リストが表示されます。現在の位置は、名前を強調表示するカーソルによってマークされます。

カーソルの移動には、上へは2番～4番、下へは10番～12番のセレクトタッチボタンを使います。

5. 選択が終わったら、6番または14番セレクトタッチボタンを押してLOADを選びます。ディスプレイは、次のような表示になります。



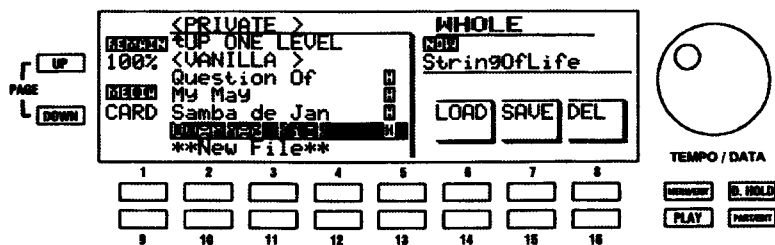
6. WHOLE を読み込みたくない場合、6番セレクトタッチボタンを押して、「CANC」を選びます。曲をロードしたい場合、14番セレクトタッチボタンを押し、「OK」を選びます。ディスプレイは、次のような表示になります。



「Loading WHOLE. Please wait」のボックスが消え、画面が戻ると、WHOLE の読み込みは完了です。

WHOLE の消去

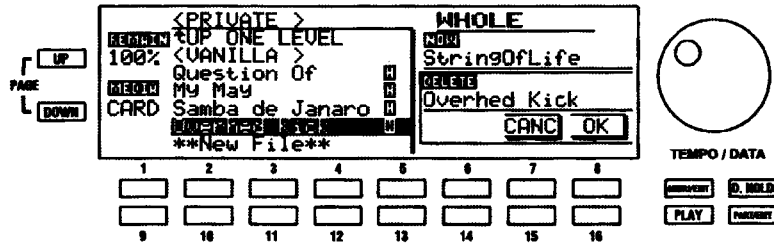
1. WHOLE データーを保存した CompactFlash カードをカードスロットに挿入します。
2. DISK UTIL メニューにアクセスするために、DISK タッチタブを押すか、MENU/EXIT タッチボタンを使います。ディスプレイに DISK UTIL メニューが表示されます。
3. WHOLE を選ぶために、5番または6番セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイは、次のような表示になります。



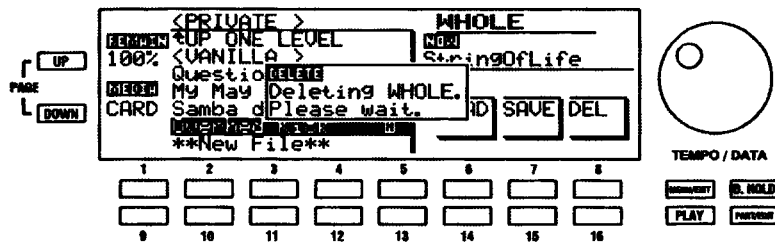
4. ディスプレイの左側に、ファイル名リストが表示されます。現在の位置は、その上にある文字を強調表示するカーソルでマークされます。

カーソルの移動には上へは2番～5番、下へは10番～13番のセレクトタッチボタンを使います。

5. 選択が終わったら、8番または16番セレクトタッチボタンを押し、「DEL」を選びます。ディスプレイには、右端に「YES」と「NO」が表示されます。これは、選んだWHOLEを消去することを確認するためです。



6. 「YES」を選ぶには、8番セレクトタッチボタンを押します。WHOLE CARDを消去したくない場合、7番セレクトタッチボタンを押して、「CANC」を選びます。「OK」を選ぶと、カードからWHOLE CARDが消去されます。



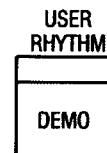
◆ その他の機能

◆ DEMO PLAY (デモ演奏)

ハモンド XE-1 の自己紹介、デモソングを再生する機能です。

DEMO (デモ) タッチタブ

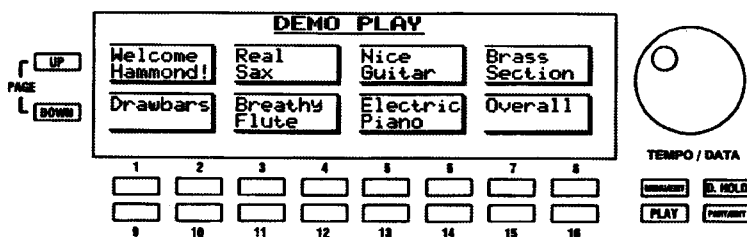
このタッチタブにより、デモソングを再生したり、プログラムしたユーザーリズムを呼び出したりすることができます。本タッチタブの機能選択については、本ガイドの162ページから説明されています。



デモソングの再生

以下の操作を実行してみてください。

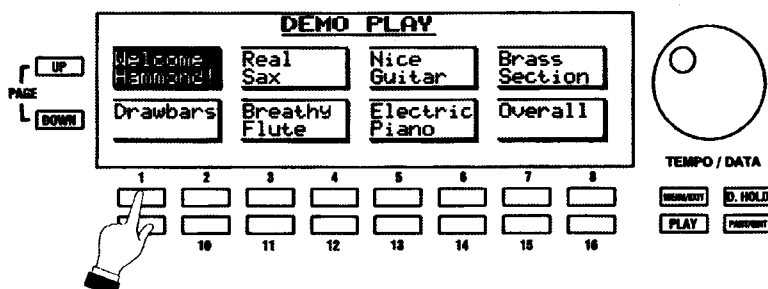
1. DEMO タッチタブを押します。LED が点灯し、ディスプレイは、次のように表示されます。



注記: 画面上部に「USER RHYTHMS」が表示された場合、DEMO タッチタブでデモソングが選べるように、DEMO タッチタブの機能を変更しなければなりません。この方法については、本ガイドの162ページから説明されています。

曲名は、リズムおよびボイスと同じく、番号付きタッチボタン対応しています。番号付きタッチボタンの一つを押すと、選んだデモソング名が強調表示され、そのデモソングの演奏が始まります。

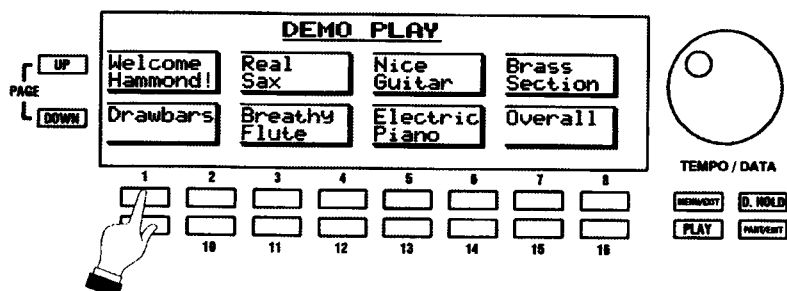
2. この例としては、1番または2番セレクトタッチボタンを押してください。ディスプレイは、次のような表示になります。



最初のデモソングの演奏が開始されます。終了すると、次のデモソングが演奏され、さらに3番目と続き、すべてのデモソングが演奏されるまで続きます。最初のデモソングの演奏が再開され、全体のシーケンスが繰り返されます。

デモソングが演奏される順番は、最上行の左から右になり、次に最下行の左から右になり、次に最上行に戻り、次に最下行に戻るといったようになります。

3. デモソングを止めるには、演奏中の曲に対応するタッチボタンを押します。

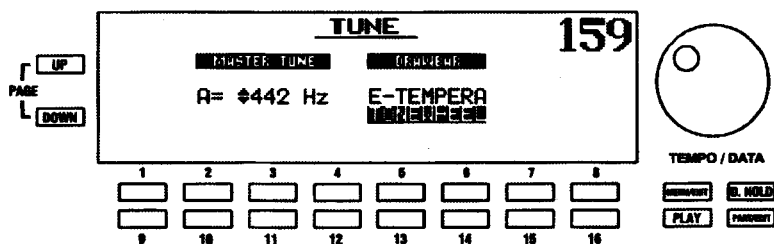


デモソングの再生が終わり、デモソング名がディスプレイに表示されます。

別のデモソングを演奏するには、そのタッチボタンを押します。新しく選んだデモソングが演奏され、次の順番のソングが演奏され、適切な番号のタッチボタンを押すか DEMO タッチタブを押して DEMO PLAY 機能を「OFF」にするまで、ライブラリー内のすべてのデモソングが演奏されます。

注記：XE-1がDEMO プレイモードにある場合、MENU/EXIT、PLAY、DISPLAY HOLD、PART/EDIT タッチボタンを押しても効果はありません。

▶ TUNE (調律) 機能画面



機器全体のチューニングピッチとドローバーのチューニング特性を設定します。

注記：この機能画面には、ショートカットがありません。MENU/EXIT タッチボタンでのみ行くことができます。

TUNE 機能画面への行きかた

- 任意のプレイモードページからMENU(メニュー)モードの最初のページを見るには、MENU/EXIT セレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。
- 3番または4番セレクトタッチボタンを押します。「TUNE」という単語が画面上部に表示されます。

MASTER TUNEにより、オルガン全体の総合ピッチを変えることができます。基準ピッチは、「A=440」です。選択可能な範囲は、「A=430」から「A=450」までになります。

ピッチを下げるには1番または2番、上げるには9番または10番セレクトタッチボタンを使います。

TUNE MODEで、ドローバーの音律を選びます。「E-TEMPERA」(平均律)または「TONEWHEEL」(B-3、C-3、RT-3、およびA-100で使われているトーンホイールジェネレーター特性に似た方法で一定のノートの周波数を変えます)を選ぶことができます。初期設定モードは、「E-TEMPERA」です。

音律を変えるには、3番、4番、11番、または12番セレクトタッチボタンを使います。

注記：音律の変化は、非常に微妙です。慣れていない耳では、明確ではありません。

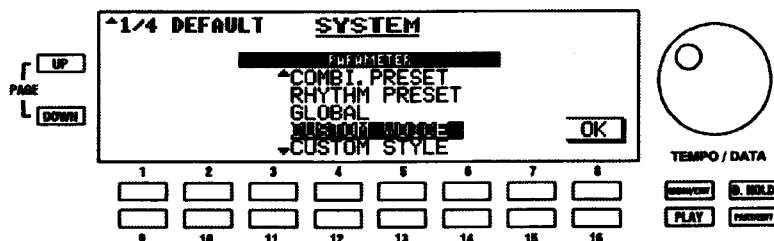
▶ SYSTEM (システム) メニュー

XE-1の動作システムの機能設定をします。

SYSTEMメニューへの行きかた：

1. 任意のプレイモード画面からMENU (メニュー) モードの最初のページを見るには、MENU/EXITセレクトタッチボタンを押します。ディスプレイの左上隅に、「1/4」が表示されます。
2. PAGE DOWN タッチボタンを一度押します。MENU (メニュー) モードのページ4が表示されます。
3. 11番または12番セレクトタッチボタンを押します。「SYSTEM」という単語が画面上部に表示されます。

SYSTEM (システム) メニュー - ページ 1



DEFAULT (デフォルト) - リセット手順

工場出荷時の初期設定にXE-1をリセットします。

警告！ 次の手順を実行すると、すべてのパラメーター、設定、レジストレーションが消去され、機器が工場出荷時の初期設定状態になります。

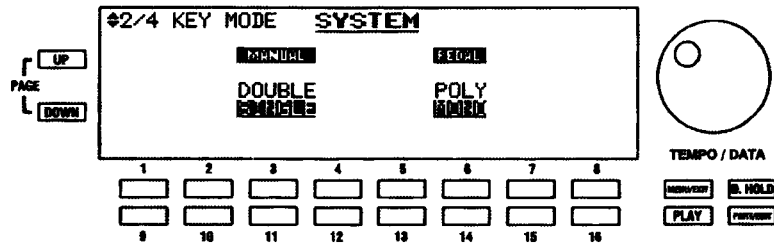
機器のリセットをするには、次のようにします。

- 「CANCEL」 - キャンセルモード
- 「COMBI.PRESET」 - コンビネーションプリセット
- 「RHYTHM PRESET」 - リズムプリセット
- 「GLOBAL」 - グローバルパラメータ
- 「CUSTOM VOICE」 - カスタムボイス
- 「CUSTOM STYLE」 - カスタムスタイル
- 「USER RHYTHM」 - ユーザーリズム
- 「DISK STYLE」 - ディスクスタイル
- 「ALL」 - すべて

選択項目を移動するには、上へは4番または5番、下へは11番または12番セレクトタッチボタンを使います。

- 「YES」を選んで機器を初期設定状態に戻すには、16番セレクトタッチボタンを押します。リセットしたくない場合、PLAYまたはMENU/EXITセレクトタッチボタンを押します。

SYSTEM (システム) メニュー - ページ 2



MANUAL (手鍵盤) モード

手鍵盤の段数を設定します。 Hammond XLK-1 など MIDI キーボードをローキーボードとして使う場合、鍵盤モードを「DOUBLE」に設定して、スプリットなどの機能が正しく動作するようにします。MIDI キーボード無しに XE-1 を使う場合、通常の初期設定である「SINGLE」を使います。このパラメータは MIDI テンプレートの呼び出しによって自動的に変化します。

DOUBLE モードを選ぶには3番、SINGLE モードを選ぶには11番のセレクトタッチボタンを使います。

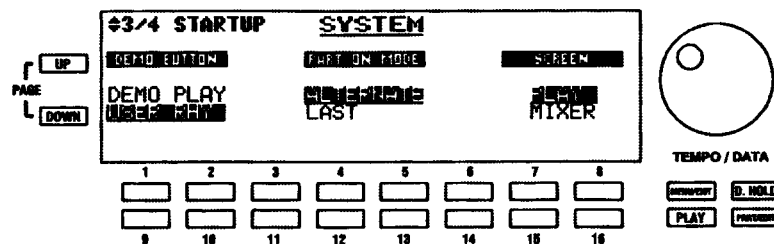
PEDAL (足鍵盤) モード

ペダル鍵盤で和音を演奏できるようにするかどうかを設定します。

POLY (ポリフォニック - 和音演奏可能) を選ぶには、6番セレクトタッチボタンを使います。

MONO (モノフォニック - 単音演奏) を選ぶには、14番セレクトタッチボタンを使います。

SYSTEM メニュー - ページ 3



DEMO BUTTON (デモタッチタブ)

DEMO タッチタブの機能を設定します。デモ演奏がユーザーリズムかを選ぶことができます。

DEMO PLAYを選ぶには1番または2番、USER RHYTHMを選ぶには9番または10番のセレクトタッチボタンを使います。

PART ON MODE (パートオンモード)

VOICE ON/OFF スイッチ群の様々なパートが互いにどう作用するかを設定します。「ALTERNATE」(それぞれのパートがばらばらにON/OFFできます)または「LAST」(最後に押したパートのみがONになります)を選ぶことができます。

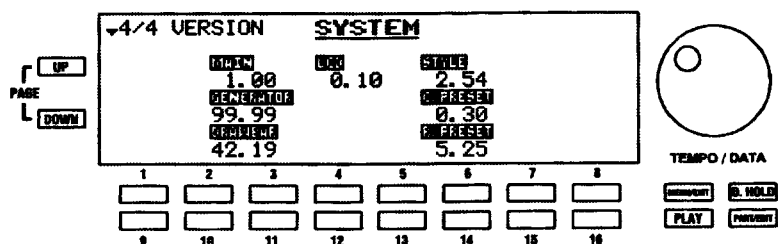
ALTERNATEを選ぶには4番または5番、LASTを選ぶには、12番または13番のセレクトタッチボタンを使います。

PLAY/MIXER (プレイ/ミキサー) モードセレクト

XE-1を最初に「ON」して初期画面が表示された後、画面をプレイモードにするかミキサーモードにするかを選ぶことができます。

プレイモードを選ぶには7番または8番、ミキサーモードを選ぶには15番または16番のセレクトタッチボタンを使います。

SYSTEM メニュー - ページ 4



VERSION (ソフトウェアバージョン)

ソフトウェアのバージョンを表示します。

◆ 機器のお手入れ

◆ 電源

使用後は機器を「OFF」にしてください。電子部品に必要以上の負荷がかかるので、機器の「ON」と「OFF」をパチパチと素早く切り替えないでください。

◆ キャビネット

普通の家具と同様に、直射日光により機器の外観を損なうことがあります。ほこりを払うには、柔らかい乾いた布を使います。指紋や汚れを除去するには、中性洗剤に軽く浸した柔らかい布を使います。すぐに柔らかい乾いた布で拭いてください。

◆ 鍵盤とスイッチ類

鍵盤とスイッチ類の汚れは、水に湿らせた清潔で柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ガソリン、ライター液、四塩化炭素など、揮発性のものはご使用にならないでください。このような用材をご使用になると鍵盤やスイッチ類の塗装面が変質したり表示されている文字が消えることがあります。

◆ 機器の移動

移動させる場合、機器の各部をボルトで止めたり固定したりする必要はありません。輸送を行う際には、運送会社と充分にご相談ください。

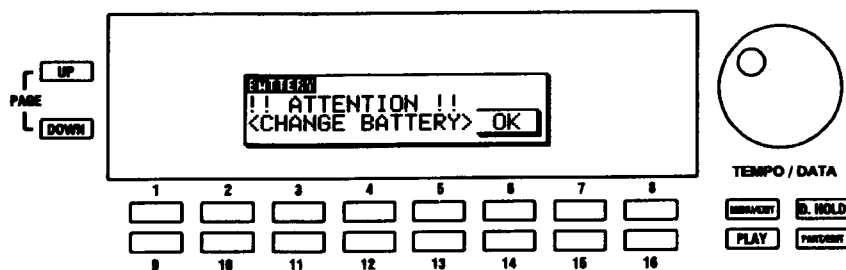
◆ バックアップ電池について

本機は、内蔵されている電池によりデータのバックアップを行います。

トランスポーズの機能は、バックアップされませんので、ご注意ください。

電源をONしたとき、数秒間、次のようなディスプレイ表示が出たときは、ご注意ください。

■電池の電圧が低くなっています。

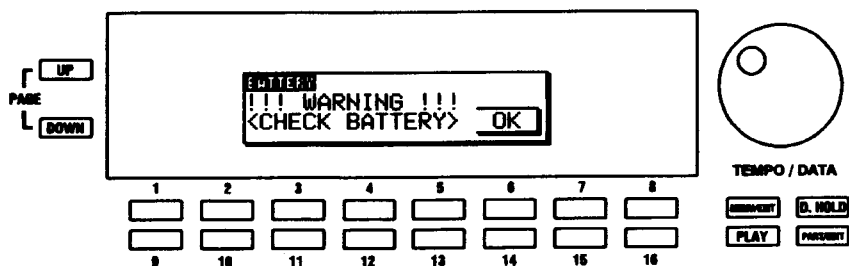


バックアップ用電池の電圧が下がっています。お早めに、購入店に電池の交換をご依頼ください。

※本機は電源を入れたとき、メモリー・チェックを行います。メモリーのバックアップが正常に行われていないと、自動的にイニシャライズ（初期化）を行います。

メモリーのバックアップが正常に行われていれば、イニシャライズ（初期化）は実行されず、「プレイモード」の表示をします。

■電池が正しく挿入されていません。



バックアップ用電池が正しくセットされていないか、または電圧がありません。お早めに、購入店に電池交換をご依頼ください。

ディスプレイは、数秒間、表示した後、自動的にイニシャライズ（初期化）を行います。イニシャライズ（初期化）が終了すると「プレイモード」の表示になります。

本機の故障、外的ノイズ、修理や電池交換などによるメモリー内容の消失により生じた損傷、逸失利益または第三者からのいかなるご請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

グローバルパラメーター及びシステムパラメータは、電池によってメモリーバックアップされています。大切なデータは、DISK UTILITYのWHOLEを使用し、コンパクトフラッシュカードに保存することをおすすめします。

プリセットパラメーターは、フラッシュROMによって記憶されているため、電池によるデータ消失はありません。



Model XE-1

(付 録)

- Table of Contents -

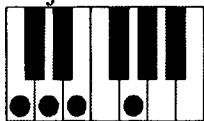
| | |
|---|----|
| Chord Chart | 1 |
| MIDI Implementation Chart | 2 |
| Part and MIDI Messages | 3 |
| MIDI Channel In Song File | 4 |
| MIDI Information | |
| Channel Voice Message | 5 |
| NRPN for Part 1 - 16 | 7 |
| RPN for Part 1 - 16 and each Voice part | 7 |
| System Exclusive Message | 8 |
| Global Parameters | 11 |
| Preset Parameters | 13 |
| System Parameters | 16 |
| List of Parameters | |
| *1 Voice List | 17 |
| *2 Sound Effect | 20 |
| *3 Manual Drum | 20 |
| *6 Foot Switch | 20 |
| *4 Prochord Type Chart | 21 |
| *5 Styles List | 22 |
| Preset and Name List | 23 |
| Drawbar Data List | 23 |
| Part 1 - 16 Instruments List | 25 |
| Drum Sets List | 27 |
| Specifications | 29 |

コードチャート (コードモードがシングルの時)

Major



Major + 9



7th flat 5



Sus 4th



Minor



Major 6 + 9



7th flat 9



7th sus 4th



7th



Major flat 5



7th #9



B flat / C



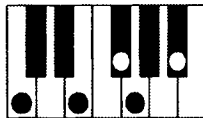
Diminished



Minor 6th



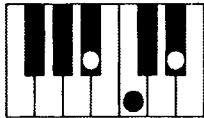
7th #11



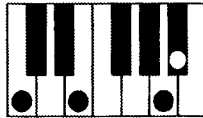
Augmented



Minor 7th



7th + 13



Major 6th



Minor 9th



9th



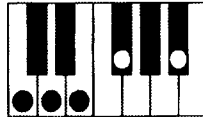
Major 7th



Minor + 9



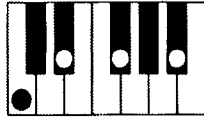
9th flat 5



Major 9th



Minor 7th flat 5



Aug 7th



[Hammond シングルキーボード]
モデル : XE-1

2000年7月6日
Version 1.0

MIDI インプリメンテーション・チャート

| Function | | Transmitted | Recognized | Remarks |
|------------------|-----------------|--------------------------|------------------------|----------------------|
| Basic Channel | Default | 1 - 16 | 1 - 16 | |
| | Changed | 1 - 16 | 1 - 16 | |
| Mode | Default | 3 | 3 | |
| | Messages | X | X | |
| | Altered | ***** | X | |
| Note Number | : True Voice | 6 - 126 ***** | 0 - 127 0 - 127 | |
| | | | | |
| Velocity | Note ON | O | O | |
| | Note OFF | X | X | |
| After Touch | Key's | X | X | |
| | Ch's | X | X | |
| Pitch Bender | | O | O | |
| Control Change | 0,32 | O | O | Bank Select |
| | 1 | O | O | Modulation |
| | 6,38 | O | O | Data Entry |
| | 7 | O | O | Volume |
| | 10 | O | O | Pan |
| | 11 | O | O | Expression |
| | 64 | O | O | Hold 1 |
| | 80,81,82 | O | O | Drawbar Reg. U, L, P |
| | 84 | O | O | Prochord Active |
| | 85 | O | O | Glide Active |
| | 86 | O | O | Sustain Active |
| | 91 | O | O | Reverb Send Level |
| | 93 | O | O | Chorus Send Level |
| | 98,99 | O | O | NRPN LSB, MSB |
| | 100, 101 | O | O | RPN LSB, MSB |
| 120 | O | O | All Sound Off | |
| 121 | O | O | Reset All Controllers | |
| Program Change | : True # | O 0 - 127 ***** | O 0 - 127 O 0 - 127 | |
| | | | | |
| System Exclusive | | O | O | |
| System Common | : Song Position | X | X | |
| | : Song Select | X | X | |
| | : Tune | X | X | |
| System Real Time | : Clock | O | X | |
| | : Commands | O Start, Stop & Continue | X | Rhythm/Sequencer |
| Aux Messages | : Local On/Off | X | X | |
| | : All Notes Off | O | O | |
| | : Active Sense | O | O | |
| | : Reset | X | X | |

Mode 1: OMNI ON, POLY
Mode 3: OMNI OFF, POLY

Mode 2: OMNI ON, MONO
Mode 4: OMNI OFF, MONO

O: Yes
X: No

パートとMIDIメッセージ

| | Upper 1, 2, ...& Pedal | U/L/P Keyboard | U/L/P Drawbar | Drawbar Control | Expression | Control | Chord | M.Drum/ S.E. | Drum,Perc, ...&Acc 4 | Part 1-16 |
|-----------------|-------------------------------|--------------------------------------|------------------|--------------------|------------|----------------------------------|-------|-----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| Note | O *5 | O | O *5 | X | X | X | O | O *5 | O | O *5 |
| Pitch Bend | O | O | O | X | X | X | X | X | O | O |
| Modulation | O | O | X | X | X | X | X | X | O | O |
| Volume, Pan | O | X | X | X | X | X | X | X | O | O |
| Expression | O*1 | X | O*1 | X | O*2 | X | X | X | O | O*1 |
| Hold 1 | O | O | O | X | X | X | X | X | X | O |
| Drawbar Reg. | X | X | X | O | X | X | X | X | X | X |
| Prochord Active | X | X | X | X | X | O | X | X | X | X |
| Glide Active | O*8 | O*8 | X | X | X | X | X | X | X | X |
| Sustain Active | O*8 | O*8 | O*8 | X | X | X | X | X | X | X |
| Reverb, Chorus | O | X | X | X | X | X | X | X | O | O |
| RPN | O *3 | X | O *3 | X | X | X | X | X | O *4 | O *4 |
| NRPN | X | X | X | X | X | O *6 | X | X | X | O *7 |
| All Notes Off | O | O | O | X | X | X | X | O | O | O |
| All Sounds Off | O | O | O | X | X | X | X | O | O | O |
| Reset All Ctrl. | O | O | O | X | X | X | X | X | O | O |
| Bank, Program | Change voice each part. | Tx. Only for external control. | X | X | X | Combination, Rhythm Preset | X | X | Change voice each part. | Change voice each part. |

O=Yes
X=No

- *1. 各パートに有効
- *2. 全パートに有効（オーディオが制御される）
- *3. ピッチベンドレンジ
- *4. ピッチベンドレンジ、ファインチューンとコースチューン
- *5. オクターブ、ベロシティ、パートON/OFFスイッチ設定に無関係
- *6. グローバルおよびプリセットパラメーターリストを参照
- *7. パート 1 - 16NRPN リストを参照
- *8. ペダルボイス、ペダルキーボード、ペダルドロバーを除く

ソングファイルのMIDIチャンネル

MIDI
チャンネル

| Easy Rec | |
|------------------|--|
| 1 Upper Keyboard | Note, P.Bend, Mod., Sustain Active, Glide Active |
| 2 Lower Keyboard | |
| 3 Pedal Keyboard | |
| 4 (Part 4) | All of channel messages at each tracks |
| 5 (Part 5) | |
| 6 (Part 6) | |
| 7 (Part 7) | |
| 8 (Part 8) | |
| 9 Auto Bass | |
| 10 Drums | |
| 11 Percussion | |
| 12 Accom 1 | Note, P.Bend, Mod, Volume, Expression, Bank/Program chg. |
| 13 Accom 2 | |
| 14 Accom 3 | |
| 15 Accom 4 | |
| 16 Manual Drum | Note |
| Sound Effect | Note |
| Drawbar Control | CC#80 - 82 |
| Expression Pedal | CC#11 |
| Control (Others) | NRPN, SysEx, CC, Bank/Program chg. |

| Multi Rec | |
|--------------------|--|
| 1 Upper 1 / Melody | Note, P.Bend, Mod, Volume, Pan, Expression, Hold 1, Reverb, Chorus, Sustain Active, Glide Active, PB Range, Bank/Program Chg. |
| 2 Upper 2 / Harm 1 | |
| 3 Lower 1 | |
| 4 Lower 2 / Harm 2 | Note, P.Bend, Expression Sustain, PB Range |
| 5 Pedal / Harm 3 | |
| 6 Upper Drawbar | |
| 7 Lower Drawbar | |
| 8 Pedal Drawbar | |
| 9 Auto Bass | |
| 10 Drums | |
| 11 Percussion | Note, P.Bend, Mod, Volume, Expression, Bank/Program chg. |
| 12 Accom 1 | |
| 13 Accom 2 | |
| 14 Accom 3 | |
| 15 Accom 4 | |
| 16 Manual Drum | |
| Sound Effect | |
| Drawbar Control | |
| Expression Pedal | CC#11 |
| Control (Others) | NRPN, SysEx, CC, Bank/Program chg. |

| 16 Tracks | |
|------------|--|
| 1 Part 1 | All of channel messages at each tracks |
| 2 Part 2 | |
| 3 Part 3 | |
| 4 Part 4 | |
| 5 Part 5 | |
| 6 Part 6 | |
| 7 Part 7 | |
| 8 Part 8 | |
| 9 Part 9 | |
| 10 Part 10 | |
| 11 Part 11 | |
| 12 Part 12 | |
| 13 Part 13 | |
| 14 Part 14 | |
| 15 Part 15 | |
| 16 Part 16 | |

MIDI 情報

[チャンネルボイスメッセージ]

Note Off

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| 8n | kk | vv |
| 9n | kk | 00 |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 kk=Note Number: 00 - 7F(0 - 127)
 vv=Velocity(disregard): 00 - 7F(0 - 127)

Note On

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| 9n | kk | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 kk=Note Number: 00 - 7F(0 - 127)
 vv=Velocity: 00 - 7F(0 - 127)

Control Change

Control Changeで設定した値は、Program Changeメッセージなどが受信されてもリセットされません。

Bank Select

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 00 | mm |
| Bn | 20 | ll |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 mm,ll=Bank Number: 00 00 - 7F 7F
 Default Value = 00 00

"GM System On"が受信されると、Rx.Bank Select = Off になり、Bank Selectは受信されません。

"Full Parameter Rest"が受信されると、Rx.Bank Select = Onになります。

このデバイスは、バンク番号のローワバイト (ll) を00にします。しかし、Bank Selectを送信するときは、アッパーバイト (mm) とローワバイト (ll) の両方を送信します。Program Changeを送信するまで、Bank Selectプロセスは保留します。

Modulation

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 01 | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Modulation Depth: 00 - 7F

Modulationは、一部のボイスでは動作しません。

Data Entry

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 06 | mm (MSB) |
| Bn | 26 | ll (LSB) |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 mm,ll=Value for the Parameter designated by RPN/NRPN.

Volume

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 07 | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Volume: 00 - 7F(0 - 127)
 Default Value = 64(100)

受信メッセージのMIDIチャンネルに対応するPartのボリュームをコントロールします。

Pan

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 0A | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Pan: 00(Left) - 40(Center) - 7F(Right)
 Default Value = 40(64)

Rhythm Partでは、各楽器の総合パン設定が相対的に変化しません。

Expression

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 0B | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Expression: 00 - 7F(0 - 127)
 Default Value = 7F(127)

ボリュームメッセージと独立して、受信メッセージのMIDIチャンネルに対応するPartのボリュームをコントロールします。Expressionメッセージが、エクスプレッションペダル、クレッシェンド、デクレッシェンドのイントネーションの表現に使われます。

Hold 1

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 40 | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Control Value: 00 - 7F(0 - 127) 0-63 = Off, 64-127 = On

Prochord Active

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 54 | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Control Value: 00 - 7F(0 - 127) 0-63 = Off, 64-127 = On

このパラメーターが"On"のとき、"Harmony"パートが有効になります。

Glide Active

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 55 | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Control Value: 00 - 7F(0 - 127) 0-63 = Off, 64-127 = On

このパラメーターが"On"のとき、ノートをグライドします。

Sustain Active

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 56 | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Control Value: 00 - 7F(0 - 127) 0-63 = Off, 64-127 = On
 オリジナル音色とサステイン長の間のリリースレートを交換します。

General Effect 1 (Reverb Send Level)

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 5B | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Reverb Send Level: 00 - 7F(0 - 127)
 Default Value = 28(40)

受信メッセージのMIDIチャンネルに対応するPartのReverb Send Levelをコントロールできます。

General Effect 3 (Chorus Send Level)

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| Bn | 5D | vv |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)
 vv=Reverb Send Level: 00 - 7F(0 - 127)
 Default Value = 28(40)

受信メッセージのMIDIチャンネルに対応するPartのChorus Send Levelをコントロールできます。

NRPN MSB/LSB

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte | |
|--------|----------|----------|-------|
| Bn | 63 | mm | (MSB) |
| Bn | 62 | ll | (LSB) |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)

mm=Upper Byte of the Parameter Number designated by NRPN[MSB].

ll=Lower Byte of same[MSB].

*GM System On*が受信されると、RX.NRPNがOffになり、NRPNは受信されません。

NRPNによって設定された値は、"Program Change"、"Reset All controllers"などが受信されても、リセットされません。

NRPN- "Non Registered Parameter Number"

各機器に特定の機能で、MIDI規格に定義されていない機能を持つ Control Changeに、NRPNという名前が使われています。NRPNを使うとき、NRPN MSBおよびNRPN LSB (cc#98と99)で、コントロールするパラメーターを指定し、Data Entry MSB (CC#6)で指定したパラメーターの値を設定します。

NRPNのパラメーターを指定すると、それ以降に同じチャンネルに受信されたすべてのData Entryが、パラメーターの値の変更とみなされます。間違った動作を避けるには、必要なパラメーター値を設定した後、RPN Null (RPN = 7F7F)の設定を推奨します。このサウンドモジュールでは、NRPNを使って、ボイスパラメーターを変えることができます。

RPN MSB/LSB

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte | |
|--------|----------|----------|-------|
| Bn | 65 | mm | (MSB) |
| Bn | 64 | ll | (LSB) |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)

mm=Upper Byte of the Parameter Number designated by RPN[MSB].

ll=Lower Byte of same[MSB].

RPNによって設定された値は、"Program Change"、"Reset All controllers"などが受信されても、リセットされません。

NRPN- "Non Registered Parameter Number"

各機器に特定の機能で、MIDI規格に定義されていない機能を持つ Control Changeに、NRPNという名前が使われています。NRPNを使うとき、RPN MSBおよびRPN LSB (cc#101と100)で、コントロールするパラメーターを指定し、Data Entry MSB (CC#6)で指定したパラメーターの値を設定します。

RPNのパラメーターを指定すると、それ以降に同じチャンネルに受信されたすべてのデータ入力、パラメーターの値の変更とみなされます。間違った動作を避けるには、必要なパラメーター値を設定した後、RPN Nullの設定を推奨します。

Program Change

| Status | 2nd Byte |
|--------|----------|
| Cn | pp |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)

pp=Program Number

(Combination/Rhythm)を即座に変更します。

その他：Program Changeを受信した後、フレッシュNote Oからボイスが変わります。この変更前にすでに演奏されているボイスは、影響されません。

Pitch Bend Change

| Status | 2nd Byte | 3rd Byte |
|--------|----------|----------|
| En | ll | mm |

n=MIDI Channel Number: 0 - F(Ch.1 - 16)

mm=Upper Byte

ll=Lower Byte 00 00(-8192) - 40 00(0) - 7F 7F(8191)

NRPN1 ~ 16用

| Category | Parameter | NRPN Adr. | | DATA Range | | Default |
|-----------------|-------------------|-------------|-------------|---|--|---------|
| | | LSB (62) | MSB (63) | MSB (06) | | |
| Vibrato | Rate | 08 | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| | Depth | 09 | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| | Delay | 0A | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| Filter | Cut Off Frequency | 20 | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| | Resonance | 21 | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| Envelope | Attack Rate | 63 | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| | Decay Rate | 64 | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| | Release Rate | 66 | 01 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| Drum Instrument | Pitch Coarse | rr | 18 | 00 - 40 - 7F(-64 - 0 - +63) Relative | | 40(0) |
| | Level | rr | 1A | 00 - 7F(0 - 127) Absolute | | |
| | Pan | rr | 1C | 00 - 40 - 7F(L - C - R) Absolute | | |
| | Reverb Send Level | rr | 1D | 00 - 7F(0 - 127) Absolute | | |
| | Chorus Send Level | rr | 1E | 00 - 7F(0 - 127) Absolute | | |
| | | | | <i>rr = Drum Instrument Note Number</i> | | |

Data EntryのLSBを無視します。

Relative Changeのパラメーターは、プリセット値(40h)を基本として相対的に変化します。

Absolute Changeのパラメーターは、プリセットデータに関係なく、MIDIの値によって絶対パラメーター値が設定されます。

RPN Part 1 - 16 と各ボイスパート用

| Parameter | RPN Adr. | | DATA Range | | Default |
|------------------------|-------------|-------------|--|--|---------|
| | LSB (64) | MSB (65) | MSB (06) | | |
| Pitch Bend Sensitivity | 00 | 00 | 00 - 18(0 - 24 Notes) | | 02 |
| Master Fine Tuning | 01 | 00 | 00 00 - 40 00 - 7F 7F (-8192*100/8192 - 0 - +8191*100/8192) | | 40 00 |
| Master Coarse Tuning | 02 | 00 | 28 - 40 - 58(-24 - 0 +24 semitones) | | 40 |
| RPN Null | 7F | 7F | | | |

システム エクスクルーシブ メッセージ

カレントダンプ/グローバルダンプ

1. Each Packet

| | |
|--------|---|
| F0 | System Exclusive |
| 55 | SUZUKI ID |
| 00 | Device ID |
| 10 | Model ID MSB |
| 0E | Model ID LSB |
| 11 | Command: Data Packet |
| [TYPE] | Data Type 07h= Current Dump 08h= Global Dump |
| [PNH] | Packet Number MSB |
| [PNL] | Packet Number LSB |
| [DATA] | 128 Bytes Data 256 Bytes nibblized ASCII ex: 7Eh = 37h, 45h |
| [CHD] | Check Digit Lower 7 bits of XOR [DATA] |
| F7 | End of Exclusive |

2. Acknowledge

| | |
|-------|--|
| F0 | System Exclusive |
| 55 | SUZUKI ID |
| 00 | Device ID |
| 10 | Model ID MSB |
| 0E | Model ID LSB |
| 14 | Command: Acknowledge |
| [AK] | Result: 00h=OK 05h=Check Digit Error 06h=Recieve Protected |
| [PNH] | Packet Number MSB |
| [PNL] | Packet Number LSB |
| F7 | End of Exclusive |

3. Hand shake communication

| Master | Slave |
|----------|------------------|
| Packet 0 | -> |
| | <- Acknowledge 0 |
| Packet 1 | -> |
| | <- Acknowledge 1 |
| | |

このデバイスは、アクノレッジが受信されないと20 ms待ち、パケットナンバーの次のデータを送信します。(一方向送信)

NRPN スイッチ

| | |
|--------|-------------------|
| F0 | System Exclusive |
| 55 | SUZUKI ID |
| 00 | Device ID |
| 10 | Model ID MSB |
| 0E | Model ID LSB |
| 02 | Command: NRPN Sw. |
| [DATA] | 00h=Off, 7Fh=On |
| F7 | End Of Exclusive |

このデバイスが本メッセージを受信すると、NRPNの送受信がオン/オフされます。

モード設定 エクスクルーシブ メッセージ

1. Full Parameters Reset

| | |
|--------|---|
| F0 | System Exclusive |
| 55 | SUZUKI ID |
| 10 | Device ID for DT1 |
| 42 | Model ID for DT1 |
| 12 | Command: DT1 |
| 40 | Address MSB |
| 00 | Address |
| 7F | Address LSB |
| [DATA] | 00h= Reset Part 1 - 16 7Eh= Reset for Multi Rec. 7Fh= Reset for Easy Rec. |
| [SUM] | Check Sum |
| F7 | End of Exclusive |

このデバイスが本メッセージを受信すると、Full Parameterの初期設定値にリセットされ、このデバイス用に正しくミュージックデータを受信できる状態になります。このメッセージの処理には、約50 msかかります。次のメッセージの前に、インターバルをとって下さい。

2. GM System On

| | |
|----|---------------------------------|
| F0 | System Exclusive |
| 7E | Universal Non-Real Time Message |
| 7F | Device ID: Broadcast |
| 09 | General MIDI Message |
| 01 | General MIDI On |
| F7 | End of Exclusive |

このデバイスが本メッセージを受信すると、GM (General MIDI) 動作レベル1の初期状態にリセットされ、GMソング (レベル1) を正しく受信できる状態になります。このとき、パート1 - 16では、Rx.NRPN = Off、RxBank Select = Offになります。このメッセージの処理には、約50 msかかります。次のメッセージの前に、インターバルをとってください。

ユニバーサル リアルタイム システム エクスクルーシブ メッセージ

これらのメッセージは、パート1 - 16専用です。

1. Master Volume

| | |
|------|---------------------------------|
| F0 | System Exclusive |
| 7F | Universal Real Time Message |
| 7F | Device ID: Broadcast |
| 04 | Sub ID 1 Device Control Message |
| 01 | Sub ID 2 Master Volume |
| [LL] | Lower Byte of Master Volume |
| [MM] | Upper Byte of Master Volume |
| F7 | End of Exclusive |

[LL]は、00hとして扱われます。

2. Master Pan

| | |
|------|---------------------------------|
| F0 | System Exclusive |
| 7F | Universal Real Time Message |
| 7F | Device ID: Broadcast |
| 04 | Sub ID 1 Device Control Message |
| 02 | Sub ID 2 Master Pan |
| [LL] | Lower Byte of Master Pan |
| [MM] | Upper Byte of Master Pan |
| F7 | End of Exclusive |

[LL]は、00hとして扱われます。

システム エクスクルーシブ メッセージ

これらのメッセージは、パート 1 - 16 専用です。

データーセット 1 (DT1)

実際のデータの転送を行うメッセージで、機器に対してデータを設定したい場合に使用します。

| | |
|--------|--|
| F0 | System Exclusive |
| 55 | SUZUKI ID |
| 10 | Device ID for DT1 |
| 42 | Model ID for DT1 |
| 12 | Command: DT1 |
| [AA] | Address MSB (Upper Byte of the Head Address of Transmitted Data) |
| [BB] | Address (Middle Byte) |
| [CC] | Address LSB (Lower Byte) |
| [DATA] | Data (Main portion of the Transmitted Data. Data of plural Bytes are transmitted in the order of address.) |
| ... | |
| [DATA] | |
| [SUM] | Check Sum |
| F7 | End of Exclusive |

システムパラメーター

| Address | Size | Data Range | Parameter | Description | Default Value | Description |
|----------|------|------------|---|----------------------|---------------|-------------|
| 40 00 04 | 01 | 00 - 7F | Master Volume (=F0 7F 7F 04 01 00 vv F7) | 0 - 127 | 7F | 127 |
| 40 00 05 | 01 | 28 - 58 | Master Key-Shift | -24 - +24[semitone] | | |
| 40 00 06 | 01 | 01 - 7F | Master Pan (=F0 7F 7F 04 02 00 mm F7) | 1(left) - 127(right) | 40 | center |
| 40 00 7F | 01 | 00 - 7F | Full parameter Reset | | | |

パッチパラメーター

1. Patch Common

| Address | Size | Data Range | Parameter | Description | Default Value | Description |
|----------|------|------------|------------------|---|---------------|-------------|
| 40 01 30 | 01 | 00 - 07 | Reverb Macro | 00: Room 1 01: Room 2 02: Room 3 03: Hall 1 04: Hall 2 05: Plate 06: Church 07: Cathedral | 04 | Hall 2 |
| 40 01 31 | 01 | 00 - 07 | Reverb Character | 0 - 7 | 04 | 4 |
| 40 01 32 | 01 | 00 - 07 | Reverb Pre-LPF | 0 - 7 | 03 | 3 |
| 40 01 33 | 01 | 00 - 7F | Reverb Level | 0 - 127 | 40 | 64 |
| 40 01 34 | 01 | 00 - 7F | Reverb Time | 0 - 127 | 2A | 42 |
| 40 01 38 | 01 | 00 - 07 | Chorus Macro | 00: Chorus 1 01: Chorus 2 02: Leslie S 03: Leslie F 04: Echo 05: Flanger 06: Delay 1 07: Delay 2 | 01 | Chorus 2 |
| 40 01 3A | 01 | 00 - 7F | Chorus Level | 0 - 127 | 40 | 64 |
| 40 01 3D | 01 | 00 - 25 | Chorus Rate | 0 - 37 | 02 | 2 |

Reverb Macro: プリセット Reverb Type を設定するパラメーターです。これを変えると、Character、Pre-LPF が、各タイプのプリセット値に変わります。

Chorus Macro: プリセット Chorus Type を設定するパラメーターです。これを変えると、Rate の値が、各タイプのプリセット値に変わります。

2. Patch Block

本記は6個のパートを持っており、パートごとに色々な設定を行うことができます。それぞれのパートのパラメータをパッチ・パラメータといいます。エクスクループ・メッセージでパッチ・パラメータ情報の通信をする場合、パートナンバー（通常はMIDIチャンネルと同じ番号を使います）ではなく、プロッタ・ナンバーによりアドレスを指定します。

x...Block Number(0 - F) Part 1: x=1
 Part 2: x=2

 Part 9: x=9
 Part 10: x=0
 Part 11: x=A
 Part 12: x=B

 Part 16: x=F

| Address | Size | Data Range | Parameter | Description | Default Value | Description |
|----------|------|------------|---------------------|-----------------------------------|---------------|-------------|
| 40 1x 15 | 01 | 00 - 02 | Use For Rhythm Part | 0 = Off 1 = Map 1 2 = Map 2 | | See below |

* ドラム・パートとして使用するパートの、ドラム・マップを設定するパラメータです。本器では最大2つのドラム・マップ(MAP1, MAP2)を同時に(異なったパートで)使用することができます。

* 初期設定種では、Part10 (MIDI CH=10,x=0)がMAP1(1)に、その他のパートは通常の楽器音のパート(OFF(0), ノーマル・パート)になっています。

| Address | Size | Data Range | Parameter | Description | Default Value | Description |
|----------|------|------------|--|---------------------|----------------|-------------|
| 40 1x 02 | 01 | 00 - 10 | Rx. MIDI Channel | 1 - 16, Off | Same as Part # | |
| 40 1x 0A | 01 | 00 - 01 | Rx. NRPN | Off/On | 00 | Off |
| 40 1x 16 | 01 | 28 - 58 | Pitch Key Shift | -24 - +24[semitone] | 40 | 0[semitone] |
| 40 1x 17 | 02 | 08 - F8 | Pitch Offset Fine | -12.0 - +12.0[Hz] | 08 00 | 0[Hz] |
| 40 1x 23 | 01 | 00 - 01 | Rx. Bank Select | Off/On | 01 | On |
| 40 1x 30 | 01 | 00 - 7F | Vibrato Rate (=Bn 63 01 62 08 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |
| 40 1x 31 | 01 | 00 - 7F | Vibrato Depth (=Bn 63 01 62 09 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |
| 40 1x 32 | 01 | 00 - 7F | Cut Off Freq. (=Bn 63 01 62 20 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |
| 40 1x 33 | 01 | 00 - 7F | Resonance (=Bn 63 01 62 21 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |
| 40 1x 34 | 01 | 00 - 7F | Env. Attack (=Bn 63 01 62 63 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |
| 40 1x 35 | 01 | 00 - 7F | Env. Decay (=Bn 63 01 62 64 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |
| 40 1x 36 | 01 | 00 - 7F | Env. Release (=Bn 63 01 62 66 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |
| 40 1x 37 | 01 | 00 - 7F | Vibrato Delay (=Bn 63 01 62 0A 06 vv) | -63 - 0 - +63 | 40 | 0 |

ドラムセットアップパラメーター

mm: Map number (0=Map 1, 1=Map 2)

rr: Drum part note number (00h - 7Fh)

| Address | Size | Data Range | Parameter | Description | Default Value | Description |
|----------|------|------------|--|--|---------------|-------------|
| 41 m1 rr | 01 | 00 - 7F | Play Note Number | Pitch Coarse | | |
| 41 m2 rr | 01 | 00 - 7F | Level (=Bn 63 1A 62 rr 06 vv) | | | |
| 41 m4 rr | 01 | 00 - 7F | Pan (=Bn 63 1C 62 rr 06 vv) | -63(Left) - 0(C) - +63(Right) | | |
| 41 m5 rr | 01 | 00 - 7F | Reverb Send Level (=Bn 63 1D 62 rr 06 vv) | Multiplicand of the part reverb level 0.0 - 1.0 | | |
| 41 m6 rr | 01 | 00 - 7F | Chorus Send Level (=Bn 63 1E 62 rr 06 vv) | Multiplicand of the part chorus level 0.0 - 1.0 | | |

When the DRUM SET is changed, all the Drum Setup Parameter value is initialised (goes back to the Default value).

グローバルパラメーター

| Category | Parameter | NRPN Adr. | | DATA Range | LSB (26) | Default |
|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------------|-------------|------------------|
| | | LSB (62) | MSB (63) | | | |
| Tune | Transpose | 01 | 00 | 3A - 40 - 46(-6 - 0 - +6) | - | 40(0) |
| | Drawbar Tune | 01 | 01 | 00, 01(E-Tempera, Tonewheel) | - | 00(E-Tempera) |
| | Master Tune | 01 | 02 | 36 - 40 - 4A(A=430 - 440 - 450) | - | 40(A=440) |
| Expression | Source | 01 | 03 | 00 - 02(Exp.Ped, MIDI, Seq) | - | 02(Seq) |
| Foot Switch | Mode 1 | 02 | 00 | *6 | - | 09(Start/Stop) |
| | Mode 2 | 02 | 01 | *6 | - | 04(Damper Upper) |
| Glide | Upper 1 | 03 | 00 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Upper 2 | 03 | 01 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Lower 1 | 03 | 02 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Lower 2 | 03 | 03 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Range | 03 | 04 | 00, 01(Semi/Whole) | - | 00(Semi) |
| | Speed | 03 | 05 | 00 - 07(0 - 7) | - | 02(3) |
| Damper | Upper 1 | 04 | 00 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Upper 2 | 04 | 01 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Upper Drawbar | 04 | 02 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Lower 1 | 04 | 03 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Lower 2 | 04 | 04 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Lower Drawbar | 04 | 05 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Pedal | 04 | 06 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Pedal Drawbar | 04 | 07 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| Reverb | Reverb On | 05 | 00 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Type Rhythm&Voice | 05 | 01 | 00 - 07(Room 1 - Cathedral) | - | 04(Hall 2) |
| | Type Drawbar | 05 | 02 | 00 - 07(Room 1 - Cathedral) | - | 04(Hall 2) |
| SES | SES On | 06 | 00 | 00, 01(Off/On) | - | 00(Off) |
| | Depth Rhy&Voice | 06 | 01 | 00 - 02(Off, Small, Normal) | - | 02(Normal) |
| | Depth Drawbar | 06 | 02 | 00 - 02(Off, Small, Normal) | - | 02(Normal) |
| | Effect Rhy&Voice | 06 | 03 | 00, 01(Mono/Stereo) | - | 00(Mono) |
| | Effect Drawbar | 06 | 04 | 00, 01(Mono/Stereo) | - | 00(Mono) |
| Equalizer | Rhythm & Voice On | 07 | 00 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Drawbar On | 07 | 01 | 00, 01(Off/On) | - | 01(On) |
| | Group | 07 | 02 | 00, 01(Off/On) | - | 00(Off) |
| | R&V Freq Low | 07 | 03 | 00 - 06(40 - 160 Hz) | - | 02(63) |
| | R&V Freq Low-Mid | 07 | 04 | 00 - 07(200 - 1kHz) | - | 03(400) |
| | R&V Freq Mid-High | 07 | 05 | 00 - 07(1.25k - 6.3kHz) | - | 05(4k) |
| | R&V Freq High | 07 | 06 | 00 - 03(8k - 16kHz) | - | 01(10k) |
| | R&V Gain Low | 07 | 07 | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 0B(+5) |
| | R&V Gain Low-Mid | 07 | 08 | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 06(0) |
| | R&V Gain Mid-High | 07 | 09 | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 03(-3) |
| | R&V Gain High | 07 | 0A | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 01(-5) |
| | Drawbar Freq Low | 07 | 0B | 00 - 06(40 - 160 Hz) | - | 05(125) |
| | Drawbar Freq Low-Mid | 07 | 0C | 00 - 07(200 - 1kHz) | - | 03(400) |
| | Drawbar Freq Mid-High | 07 | 0D | 00 - 07(1.25k - 6.3kHz) | - | 05(4k) |
| | Drawbar Freq High | 07 | 0E | 00 - 03(8k - 16kHz) | - | 01(10k) |
| | Drawbar Gain Low | 07 | 0F | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 0C(+6) |
| | Drawbar Gain Low-Mid | 07 | 10 | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 06(0) |
| Drawbar Gain Mid-High | 07 | 11 | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 03(-3) | |
| Drawbar Gain High | 07 | 12 | 00 - 06 - 0C(-6 - 0 - +6dB) | - | 00(-6) | |

グローバルパラメーター

| Category | Parameter | NRPN Adr. | | DATA Range | | Default |
|---------------|---------------------|-------------|---------------------|-----------------------------------|---------|-------------|
| | | LSB (62) | MSB (63) | MSB (06) | | |
| Leslie | Off Type | 08 | 00 | 00, 01(Through, Brake) | | 00(Through) |
| | Slow Speed Horn | 08 | 01 | 00 - 09(0, 24 - 48rpm) | | 05(36) |
| | Slow Speed Bass | 08 | 02 | 00 - 09(0, 24 - 48rpm) | | 05(36) |
| | Fast Speed Horn | 08 | 03 | 00 - 15(0, 375 - 435rpm) | | 07(393) |
| | Fast Speed Bass | 08 | 04 | 00 - 15(0, 375 - 435rpm) | | 07(393) |
| | Rise Time Horn | 08 | 05 | 00 - 18(0.2 - 5.0s) | | 05(1.2) |
| | Rise Time Bass | 08 | 06 | 00 - 18(0.5 - 12.5s) | | 0D(7.0) |
| | Fall Time Horn | 08 | 07 | 00 - 18(0.2 - 5.0s) | | 04(1.0) |
| | Fall Time Bass | 08 | 08 | 00 - 18(0.5 - 12.5s) | | 0F(8.0) |
| | Brake Time Horn | 08 | 09 | 00 - 18(0.2 - 5.0s) | | 05(1.2) |
| | Brake Time Bass | 08 | 0A | 00 - 18(0.5 - 12.5s) | | 12(9.0) |
| | Volume Horn | 08 | 0B | 00 - 0C(0 - -12dB) | | 00(0) |
| | Volume Bass | 08 | 0C | 00 - 0C(0 - -12dB) | | 00(0) |
| | Mic. Angle | 08 | 0D | 00 - 06(0 - 180deg) | | 04(120) |
| Mic. Distance | 08 | 0E | 00 - 08(0.3 - 2.7m) | | 01(0.6) | |
| Touch Tempo | Division | 09 | 00 | 00, 01(Eighth/Quarter note) | | 01(Quarter) |
| | Start | 09 | 01 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| Auto Vari | Auto Vari On | 0A | 00 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Mode | 0A | 01 | 00 - 02(Auto, Fill, Prog) | | 00(Auto) |
| | Auto Measure | 0A | 02 | 00 - 04(2, 4, 8, 12,16) | | 01(4) |
| | Fill In 1 | 0A | 03 | 00 - 02(Forward, Backward, Still) | | - |
| | Fill In 2 | 0A | 04 | 00 - 02(Forward, Backward, Still) | | - |
| | Program Repeat | 0A | 05 | 00, 01(Off/On) | | - |
| 16 Parts | Voice Number | 2p | 00 | *1 | | *1 |
| | Volume | 2p | 01 | 00 - 7F | | 64 |
| | Pan | 2p | 02 | 00 - 40 - 7F(Left-Center-Right) | | 40(Center) |
| | Vel.Curve | 2p | 03 | 00 - 05(Fix, Normal - Strg) | | - |
| | Reverb Send Level | 2p | 04 | 00 - 7F | | 28 |
| | Chorus Send Level | 2p | 05 | 00 - 7F | | 00 |
| | Octave Shift | 2p | 06 | 3E - 40 - 42(-2, -1, 0, +1, +2) | | 40 |
| | Bend Range | 2p | 07 | 00 - 0C | | 02 |
| | | | | <i>p=part(0-F: 1-16)</i> | | |
| Preset Load | Upper Drawbar | 0B | 00 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Lower Drawbar | 0B | 01 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Pedal Drawbar | 0B | 02 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Tempo | 0B | 03 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Style | 0B | 04 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Accomp | 0B | 05 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Split | 0B | 06 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Reverb | 0B | 07 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| Auto Band | Chord Mode | 0C | 00 | 00 - 02(Single, Fingerd, Pianist) | | 00(Single) |
| | On Bass | 0C | 01 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Auto Bass Retrigger | 0C | 02 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Transform | 0C | 03 | 00, 01(Normal/Simple) | | 00(Normal) |

for Legacy Support :

| | | | | | |
|--------|----------|----|----|------------------------|-------------|
| Leslie | Off Type | 00 | 6E | 00, 01(Through, Brake) | 00(Through) |
|--------|----------|----|----|------------------------|-------------|

ex: Master Tune to 442 on MIDI...

Bx 63 02 62 01 06 42

(x=Control Channel)

プリセットパラメーター

| Category | Parameter | NRPN Adr. | | DATA Range | | Default | |
|------------------|-------------------|-------------|-------------|--|---|--|---|
| | | LSB (62) | MSB (63) | MSB (06) | | | LSB (26) |
| MIDI | Program Change | 3k | 00 | 00 - 7F | | 00 | |
| | Bank MSB | 3k | 01 | 00 - 7F | | 00 | |
| | Bank LSB | 3k | 02 | 00 - 7F | | 00 | |
| | | | | <i>k=0:Upper, 1:Lower, 2:Pedal</i> | | | |
| Split | Split On | 0D | 00 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) | |
| | Split Key | 0D | 01 | 24 - 60 | | 3C(C3) | |
| | Pedal To Lower | 0D | 02 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |
| | | | | | | | |
| Orch.Voice | Part On | 4p | 00 | 00, 01(Off/On) | | Upper 1: On Upper 2: Off Lower 1: On Lower 2: Off Pedal: On | |
| | Voice Number | 4p | 01 | *1 | | *1 | |
| | Volume | 4p | 02 | 00 - 7F | | Upper 1: 13 Upper 2: 13 Lower 1: 9 Lower 2: 9 Pedal: 10 | |
| | Pan | 4p | 03 | 00 - 40 - 7F(Left-Center-Right) | | 40(Center) | |
| | Vel.Touch | 4p | 04 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) | |
| | Vel.Curve | 4p | 05 | 00 - 05(Fix, Normal - Strg) | | 01(Normal) | |
| | Reverb Send Level | 4p | 06 | 00 - 7F | | - | |
| | Chorus Send Level | 4p | 07 | 00 - 7F | | 00(Off) | |
| | Sustain On | 4p | 08 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |
| | Sustain Length | 4p | 09 | 00 - 02(Short, Mid, Long) | | 02(Long) | |
| | Octave Shift | 4p | 0A | 3E - 40 - 42(-2, -1, 0, +1, +2) | | Upper 1: 40(0) Upper 2: 40(0) Lower 1: 41(+1) Lower 2: 41(+1) Pedal: 40(0) | |
| | Bend Range | 4p | 0B | 00 - 0C | | 02 | |
| | Modulation On | 4p | 0C | 00, 01(Off/On) | | 01 | |
| | | | | <i>p=0:Upper 1, 1:Upper 2, 2:Lower 1, 3:Lower 2, 4:Pedal</i> | | | |
| | Drawbar Voice | Part On | 5k | 00 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | | Voice Type | 5k | 01 | 00 - 02(Btype, Mellow, Brite) U&L 00 - 01(Normal, Muted) Pedal | | Upper: Btype Lower: Btype Pedal: Normal |
| Drawbar Attack | | 5k | 02 | 00 - 04(Slow, No, Soft, Norm, Max) | | 03(Normal) | |
| Sustain On | | 5k | 03 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |
| Sustain Length | | 5k | 04 | 00 - 02(Short, Mid, Long) | | 01(Mid) | |
| Octave Shift | | 5k | 05 | 3E - 40 - 42(-2, -1, 0, +1, +2) | | Upper: 40(0) Lower: 41(+1) Pedal: 40(0) | |
| Bend Range | | 5k | 06 | 00 - 0C | | 02 | |
| Fold Back Low | | 5k | 07 | 00 - 0C(C1 - C2) Upper&Lower | | 0C | |
| Fold Back High | | 5k | 08 | 2B - 30(G4 - C5) Upper&Lower | | 2B | |
| | | | | <i>k=0:Upper, 1:Lower, 2:Pedal</i> | | | |
| Percussion Voice | Second On | 0E | 00 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |
| | Third On | 0E | 01 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |
| | Decay Fast | 0E | 02 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |
| | Soft | 0E | 03 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |
| | Touch | 0E | 04 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) | |

プリセットパラメーター

| Category | Parameter | NRPN Adr. | | DATA Range | | Default |
|--------------------|--------------------|-------------|--|---------------------------------|---------------------|-------------------------|
| | | LSB (62) | MSB (63) | MSB (06) | | |
| | Velocity | 0E | 05 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Volume | 0E | 06 | 00 - 0F(1 - 16) | | 06(7) |
| | Key Track | 0E | 07 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Drawbar Cancel | 0E | 08 | 00, 01(Enable 1'/Cancel 1') | | 01(On) |
| | Drawbar Level | 0E | 09 | 00, 01(0dB, -3dB) | | 01(-3dB) |
| Sound Effect | Voice Number | 0F | 00 | - | | *2 |
| | Volume | 0F | 01 | 00 - 7F | | 7F |
| | Pan | 0F | 02 | 00 - 40 - 7F(Left-Center-Right) | | 40(Center) |
| | Vel. Curve | 0F | 03 | 00 - 06(Off, Normal - Strg) | | 01(Normal) |
| | Reverb Send Level | 0F | 04 | 00 - 7F | | 28 |
| | Chorus Send Level | 0F | 05 | 00 - 7F | | 00 |
| Manual Drum | Manual Drum On | 10 | 00 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Volume | 10 | 01 | 00 - 7F | | 7F |
| | Pan | 10 | 02 | 00 - 40 - 7F(Left-Center-Right) | | 40(Center) |
| | Vel. Curve | 10 | 03 | 00 - 06(Off, Normal - Strg) | | 01(Normal) |
| | Reverb Send Level | 10 | 04 | 00 - 7F | | 28 |
| | Chorus Send Level | 10 | 05 | 00 - 7F | | 00 |
| | Lower On | 10 | 06 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Pedal On | 10 | 07 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Voice Number Lower | 10 | 08 | - | | *3 0E(Ride Cymbal) |
| Voice Number Pedal | 10 | 09 | - | | *3 10(Crash Cymbal) | |
| Pro Chord | Prochord On | 14 | 00 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Prochord Type | 14 | 01 | 00 - 13 *4 | | 01(Open) |
| | Part On | 6c | 00 | 00, 01(Off/On) | | - |
| | Voice Number | 6c | 01 | *1 | | *1 |
| | Volume | 6c | 02 | 00 - 7F | | 69(13) |
| | Pan | 6c | 03 | 00 - 40 - 7F(Left-Center-Right) | | 40(Center) |
| | Vel. Curve | 6c | 04 | 00 - 06(Off, 1-6) | | 01(Normal) |
| | Reverb Send Level | 6c | 05 | 00 - 7F | | 28 |
| | Chorus Send Level | 6c | 06 | 00 - 7F | | 00 |
| | | | <i>c=0:Melody, 1:Harm1, 2:Harm2, 3:Harm3</i> | | | |
| Leslie/Vibrato | V1/C1 | 11 | 00 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | V2/C2 | 11 | 01 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Chorus | 11 | 02 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Speed | 11 | 03 | 00 - 04(6.1 - 7.25 Hz) | | 02(6.83Hz) |
| | Leslie On | 11 | 04 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Fast | 11 | 05 | 00, 01(Slow/Fast) | | 00(Slow) |
| | Over Drive | 11 | 06 | 00 - 0F(Off, 1 - 15) | | 00(Off) |
| Rhythm | Style Number | 12 | 00 | *5 | | *5 00 00(Tradit. Waltz) |
| | Variation Number | 12 | 01 | 00 - 03(A - D) | | 00(A) |
| | Tempo | 12 | 02 | MSB of 28 - 12C(BPM 40 - 300) | | LSB 00 50(80) |
| | Volume Auto Bass | 12 | 03 | 00 - 7F | | - |
| | Volume Auto Band | 12 | 04 | 00 - 7F | | - |
| | Volume Rhythm | 12 | 05 | 00 - 7F | | - |
| | Auto Band 1 On | 12 | 06 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Auto Band 2 On | 12 | 07 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Auto Bass On | 12 | 08 | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | EPS On | 12 | 09 | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) |
| | Memory On | 12 | 0A | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Memory Auto Bass | 12 | 0B | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| | Memory Chord | 12 | 0C | 00, 01(Off/On) | | 01(On) |
| Memory Lower | 12 | 0D | 00, 01(Off/On) | | 00(Off) | |

プリセットパラメーター

| Category | Parameter | NRPN Adr. | | DATA Range | | Default |
|---------------|----------------------|-------------|-------------|----------------|-------------|--------------|
| | | LSB (62) | MSB (63) | MSB (06) | LSB (26) | |
| | Memory Prochord | 12 | 0E | 00, 01(Off/On) | - | 00(Off) |
| | Reverb Auto Bass | 12 | 0F | 00 - 7F | - | 1D(4) |
| | Reverb Auto Band | 12 | 10 | 00 - 7F | - | 00 |
| | Reverb Rhythm | 12 | 11 | 00 - 7F | - | 00 |
| | Chorus Auto Bass | 12 | 12 | 00 - 7F | - | 00 |
| | Chorus Auto Band | 12 | 13 | 00 - 7F | - | 00 |
| | Chorus Rhythm | 12 | 14 | 00 - 7F | - | 00 |
| Reverb/Chorus | Rev. Depth Rhy&Voice | 13 | 00 | 00 - 7F | - | 69(13) |
| | Rev. Depth Drawbar | 13 | 01 | 00 - 7F | - | 30(7) |
| | Chorus Type | 13 | 02 | 00 - 07 | - | 01(Chorus 2) |
| | Cho. Depth Rhy&Voice | 13 | 03 | 00 - 7F | - | 00 |

for Legacy Support :

| | | | | | | |
|------------------|----------------|----|----|----------------------------|--|--|
| Vibrato | Mode | 00 | 45 | 00 - 03(Off, 1 - 3) | | |
| | Chorus | 00 | 0B | 00, 01(Off/On) | | |
| Leslie | Leslie On | 00 | 09 | 00, 01(Off/On) | | |
| | Fast | 00 | 00 | 00, 01(Slow/Fast) | | |
| Sustain | Pedal Keyboard | 00 | 1E | 00 - 03(Off, Short - Long) | | |
| Percussion Voice | Second On | 00 | 12 | 00, 01(Off/On) | | |
| | Third On | 00 | 13 | 00, 01(Off/On) | | |

システムパラメーター

| Category | Parameters | Data Range | Default |
|------------------|----------------------|---|---------------|
| Switch/Key | Key Mode | Single/Double | Single |
| | Pedal Key Mode | Mono/Poly | Mono |
| | Part On Mode | Alternate/Last | Last |
| | Recall Rhythm Preset | Style Changed/ R.P.Pushed | Style Changed |
| | Demo Button | Demo/User Rhythm | Demo |
| Display | To Shortcut | 4s, 8s, 16s, Never | 16s |
| | Timeout Shortcut | 4s, 8s, 16s, Never | 16s |
| | Timeout Voice/Style | 4s, 8s, 16s, Never | 16s |
| MIDI System | Template | Single, Double, Seq.Easy 1, Seq.Easy 2, Seq Multi 1, Seq Multi Seq 16track,Vocal | Single |
| | Local Control | Off/On | On |
| | NRPN | Off/On | Off |
| | Recieve Dump | Off/On | On |
| | Exp. Send To | Exp.Ch, Voice&Drb, ULP Kbd | Exp. Ch |
| | Message Internal | Off/On | Off |
| | Message External | Off/On | On |
| | Start/Stop | Rhythm/Sequencer | Rhythm |
| | Clock Out | Off/On | Off |
| | Recieve Channel | Upper 1 | 1 - 16, Off |
| Upper 2 | | 1 - 16, Off | Off |
| Lower 1 | | 1 - 16, Off | Off |
| Lower 2 | | 1 - 16, Off | Off |
| Pedal | | 1 - 16, Off | Off |
| Upper Drawbar | | 1 - 16, Off | Off |
| Lower Drawbar | | 1 - 16, Off | Off |
| Pedal Drawbar | | 1 - 16, Off | Off |
| Auto Bass | | 1 - 16, Off | Off |
| Drum | | 1 - 16, Off | Off |
| Percussion | | 1 - 16, Off | Off |
| Accomp. 1 | | 1 - 16, Off | Off |
| Accomp. 2 | | 1 - 16, Off | Off |
| Accomp. 3 | | 1 - 16, Off | Off |
| Accomp. 4 | | 1 - 16, Off | Off |
| M.Drum/S.E. | | 1 - 16, Off | Off |
| Drawbar Control | | 1 - 16, Off | Off |
| Expression Pedal | | 1 - 16, Off | Off |
| Control | | 1 - 16, Off | Off |
| Chord | | 1 - 16, Off | Off |
| Upper Keyboard | | 1 - 16, Off | 1 |
| Lower Keyboard | | 1 - 16, Off | 2 |
| Pedal Keyboard | | 1 - 16, Off | 3 |
| Part 1 | | 1 - 16, Off | Off |
| Part 2 | | 1 - 16, Off | Off |
| Part 3 | | 1 - 16, Off | Off |
| Part 4 | | 1 - 16, Off | 4 |
| Part 5 | | 1 - 16, Off | 5 |
| Part 6 | | 1 - 16, Off | 6 |
| Part 7 | | 1 - 16, Off | 7 |
| Part 8 | | 1 - 16, Off | 8 |
| Part 9 | | 1 - 16, Off | 9 |
| Part 10 | 1 - 16, Off | 10 | |
| Part 11 | 1 - 16, Off | 11 | |
| Part 12 | 1 - 16, Off | 12 | |
| Part 13 | 1 - 16, Off | 13 | |
| Part 14 | 1 - 16, Off | 14 | |
| Part 15 | 1 - 16, Off | 15 | |
| Part 16 | 1 - 16, Off | 16 | |

| Category | Parameters | Data Range | Default |
|------------------|------------------|-------------|---------|
| Transmit Channel | Upper 1 | 1 - 16, Off | Off |
| | Upper 2 | 1 - 16, Off | Off |
| | Lower 1 | 1 - 16, Off | Off |
| | Lower 2 | 1 - 16, Off | Off |
| | Pedal | 1 - 16, Off | Off |
| | Upper Drawbar | 1 - 16, Off | Off |
| | Lower Drawbar | 1 - 16, Off | Off |
| | Pedal Drawbar | 1 - 16, Off | Off |
| | Auto Bass | 1 - 16, Off | Off |
| | Drum | 1 - 16, Off | Off |
| | Percussion | 1 - 16, Off | Off |
| | Accomp. 1 | 1 - 16, Off | Off |
| | Accomp. 2 | 1 - 16, Off | Off |
| | Accomp. 3 | 1 - 16, Off | Off |
| | Accomp. 4 | 1 - 16, Off | Off |
| | M.Drum/S.E. | 1 - 16, Off | Off |
| | Drawbar Control | 1 - 16, Off | Off |
| | Expression Pedal | 1 - 16, Off | Off |
| | Control | 1 - 16, Off | Off |
| | Chord | 1 - 16, Off | Off |
| | Upper Keyboard | 1 - 16, Off | 1 |
| | Lower Keyboard | 1 - 16, Off | 2 |
| | Pedal Keyboard | 1 - 16, Off | 3 |

*1 ボイスリスト

| Group | Display | Voice Name | Data Dec | | Data Hex | | |
|----------------|-----------|---------------------------|---------------------|-----|----------|-----|----|
| | | | MSB | LSB | MSB | LSB | |
| Piano | StGdPno | Stereo Grand Piano | 0 | 0 | 00 | 00 | |
| | BrStGPno | Bright Stereo Grand Piano | 0 | 7 | 00 | 07 | |
| | GrndPno | Acoustic Grand Piano | 0 | 1 | 00 | 01 | |
| | BrtrPno | Bright Piano | 0 | 8 | 00 | 08 | |
| | DarkPno | Dark Piano | 0 | 2 | 00 | 02 | |
| | HnktPno | Honkey-Tonk Piano | 0 | 3 | 00 | 03 | |
| | PnoOct1 | Octave Piano 1 | 3 | 21 | 03 | 15 | |
| | PnoOct2 | Octave Piano 2 | 3 | 22 | 03 | 16 | |
| | EGndPno | Electric Grand Piano | 0 | 4 | 00 | 04 | |
| | Hrpschrd | Harpischord | 0 | 5 | 00 | 05 | |
| | HrpsCoup | Coupled Harpischord | 0 | 9 | 00 | 09 | |
| | E.Piano | ElecPno1 | Electric Piano 1 | 0 | 10 | 00 | 0A |
| EPnoDet1 | | Detuned Electric Piano 1 | 0 | 11 | 00 | 0B | |
| EPnoVel1 | | Electric Piano 1 Velocity | 0 | 12 | 00 | 0C | |
| TremEPno | | Tremolo Electric Piano | 0 | 13 | 00 | 0D | |
| EPno60's | | 60's Electric Piano | 0 | 14 | 00 | 0E | |
| ElecPno2 | | Electric Piano 2 | 0 | 15 | 00 | 0F | |
| EPnoDet2 | | Detuned Electric Piano 2 | 0 | 16 | 00 | 10 | |
| EPnoVel2 | | Electric Piano 2 Velocity | 0 | 17 | 00 | 11 | |
| Clav | | Clavi | 0 | 6 | 00 | 06 | |
| Vibra & Mallet | | Vibe | Vibraphone 1 | 0 | 18 | 00 | 12 |
| | Vibe Vb | Vibraphone 2 | 0 | 25 | 00 | 19 | |
| | Gloken | Glockenspiel | 0 | 19 | 00 | 13 | |
| | GlokX-66 | Glockenspiel X-66 | 0 | 26 | 00 | 1A | |
| | Celesta | Celesta | 0 | 20 | 00 | 14 | |
| | MuscBox | Music Box | 0 | 27 | 00 | 1B | |
| | TnklBell | Tinkle Bell | 0 | 21 | 00 | 15 | |
| | Marimba | Marimba | 0 | 22 | 00 | 16 | |
| | Xylophon | Xylophone | 0 | 28 | 00 | 1C | |
| | Chime | Tubular-Bell | 0 | 23 | 00 | 17 | |
| | OrgnChim | Organ Chime | 0 | 29 | 00 | 1D | |
| | ChurBell | Church Bell | 0 | 24 | 00 | 18 | |
| | Carillon | Carillon | 0 | 30 | 00 | 1E | |
| | Dulcimer | Dulcimer | 0 | 31 | 00 | 1F | |
| | Agogo | Agogo | 0 | 32 | 00 | 20 | |
| | SteelDrum | Steel Drum | 0 | 37 | 00 | 25 | |
| | WoodBlok | Wood Block | 0 | 33 | 00 | 21 | |
| | Castanet | Castanet | 0 | 38 | 00 | 26 | |
| | Mokugyo | Mokugyo | 3 | 23 | 03 | 17 | |
| | MeloTom1 | Melodic Tom 1 | 0 | 34 | 00 | 22 | |
| | MeloTom2 | Melodic Tom 2 | 0 | 39 | 00 | 27 | |
| | SynTom | Synth Tom | 0 | 35 | 00 | 23 | |
| | AnlgTom | Analog Tom | 0 | 40 | 00 | 28 | |
| | RevCym1 | Reverse Cymbal 1 | 0 | 36 | 00 | 24 | |
| | RevCym2 | Reverse Cymbal 2 | 0 | 41 | 00 | 29 | |
| | Guitar | NylnGtr | Nylon-string Guitar | 0 | 42 | 00 | 2A |
| | | Uku-lele | Ukulele | 0 | 49 | 00 | 31 |
| | | SteelGtr | Steel-string Guitar | 0 | 43 | 00 | 2B |
| 12stGtr | | 12-strings Guitar | 0 | 50 | 00 | 32 | |
| N&SGtr | | Nylon + Steel Guitar | 0 | 44 | 00 | 2C | |
| JazzGtr | | Jazz Guitar | 0 | 45 | 00 | 2D | |
| MuteGtr | | Muted Guitar | 0 | 46 | 00 | 2E | |
| CrtyGtr | | Country Guitar | 0 | 51 | 00 | 33 | |
| ClenGtr | | Clean Guitar | 0 | 47 | 00 | 2F | |
| ChrsGtr | | Chorus Guitar | 0 | 52 | 00 | 34 | |
| HawGtr | | Hawaiian Guitar | 0 | 48 | 00 | 30 | |
| OvdrGtr | | Overdrive Guitar | 0 | 53 | 00 | 35 | |
| DistGtr | | Distortion Guitar | 0 | 54 | 00 | 36 | |
| FdbkGtr | | Feedback Guitar | 0 | 60 | 00 | 3C | |
| PowrGtr | | Power Guitar | 0 | 55 | 00 | 37 | |
| RockRhy | | Rock Rhythm | 0 | 56 | 00 | 38 | |
| MtDsGtr | | Muted Distortion Guitar | 0 | 57 | 00 | 39 | |
| FunkGtr | | Funk Guitar | 0 | 58 | 00 | 3A | |
| WahGtr | | Wah Guitar | 3 | 24 | 03 | 18 | |
| Gtr.Harm | | Guitar Harmonics | 0 | 59 | 00 | 3B | |
| Gtr.Fdbk | | Guitar Feedback | 0 | 61 | 00 | 3D | |

| Group | Display | Voice Name | Data Dec | | Data Hex | | |
|-----------|---------------------|----------------------------|----------------|-----|----------|-----|----|
| | | | MSB | LSB | MSB | LSB | |
| Accordion | Acrd . | Accordion 1/0/0 | 0 | 62 | 00 | 3E | |
| | Acrd . | Accordion 1/1/0 | 0 | 63 | 00 | 3F | |
| | Acrd . | Accordion 1/0/1 | 0 | 64 | 00 | 40 | |
| | Acrd . | Accordion 1/1/1 | 0 | 65 | 00 | 41 | |
| | Acrd . | Accordion 0/1/0 | 0 | 66 | 00 | 42 | |
| | Acrd . | Accordion 0/1/1 | 0 | 67 | 00 | 43 | |
| | Acrd . | Accordion 0/0/1 | 0 | 68 | 00 | 44 | |
| | Acrd . | Accordion 1/2/0 | 0 | 69 | 00 | 45 | |
| | Acrd . | Accordion 1/2/1 | 0 | 70 | 00 | 46 | |
| | Acrd . | Accordion 0/2/0 | 0 | 71 | 00 | 47 | |
| | Acrd . | Accordion 0/2/1 | 0 | 72 | 00 | 48 | |
| | Musette | Musette | 2 | 19 | 02 | 13 | |
| | Organ & Reed (Pipe) | ChurOrg1 | Church Organ 1 | 0 | 73 | 00 | 49 |
| | | ChurOrg2 | Church Organ 2 | 0 | 80 | 00 | 50 |
| | | ChurOrg3 | Church Organ 3 | 0 | 87 | 00 | 57 |
| Positiv1 | | Positive Organ 1 | 0 | 74 | 00 | 4A | |
| Positiv2 | | Positive Organ 2 | 0 | 81 | 00 | 51 | |
| Bourdon | | Bourdon 1 | 0 | 75 | 00 | 4B | |
| StopFlut | | Bourdon 2 | 0 | 82 | 00 | 52 | |
| StF8&4 | | Stopped Flute 8&4 | 0 | 89 | 00 | 59 | |
| StF8&2 | | Stopped Flute 8&2 | 0 | 90 | 00 | 5A | |
| StF8&23 | | Stopped Flute 8&2 2/3 | 0 | 93 | 00 | 5D | |
| Diapasn | | Diapason | 0 | 76 | 00 | 4C | |
| Prin8&4 | | Principal 8&4 | 0 | 83 | 00 | 53 | |
| PrinChrs | | Principal Chorus & Mixture | 0 | 88 | 00 | 58 | |
| Gamba | | Gamba | 0 | 77 | 00 | 4D | |
| GambCist | | Gamba Celeste | 0 | 84 | 00 | 54 | |
| OboeHorn | Oboe | 0 | 91 | 00 | 5B | | |
| Trompelt | Trompette | 0 | 94 | 00 | 5E | | |
| Mix III | Mixture III | 0 | 78 | 00 | 4E | | |
| Mix IV | Mixture IV | 0 | 85 | 00 | 55 | | |
| Reed | Hamnica | Harmonica | 0 | 79 | 00 | 4F | |
| | Melodion | Melodion | 0 | 86 | 00 | 56 | |
| | ReedOrgn | Reed Organ | 0 | 92 | 00 | 5C | |
| (Analog) | Novacd s | Novachord sus | 0 | 95 | 00 | 5F | |
| | Novacd d | Novachord dcy | 0 | 102 | 00 | 66 | |
| | OrgnDiap | Diapason | 0 | 96 | 00 | 60 | |
| | OrgnTrpt | Trumpet | 0 | 103 | 00 | 67 | |
| | OrgnVln | Violin | 0 | 97 | 00 | 61 | |
| | OrgnCelo | Cello | 0 | 104 | 00 | 68 | |
| | OrgnHom | Horn | 0 | 105 | 00 | 69 | |
| | Kinura | Kinura | 0 | 98 | 00 | 62 | |
| | Theater1 | Theater Organ 1 | 0 | 99 | 00 | 63 | |
| | Theater2 | Theater Organ 2 | 0 | 106 | 00 | 6A | |
| Theater3 | Theater Organ 3 | 0 | 100 | 00 | 64 | | |
| (Hammond) | VoxHumn | Vox Humana | 0 | 101 | 00 | 65 | |
| | DrwbOrgn | Drawbar Organ | 0 | 107 | 00 | 6B | |
| | DetOrg1 | Detuned Electric Organ 1 | 0 | 112 | 00 | 70 | |
| | 60'sOrgn | 60's Organ | 0 | 108 | 00 | 6C | |
| | Db60Orgn | Drawbar+60's Organ | 0 | 113 | 00 | 71 | |
| | PercOrgn | Percussive Organ | 0 | 109 | 00 | 6D | |
| | DetOrg2 | Detuned Electric Organ 2 | 0 | 114 | 00 | 72 | |
| | XyloOrgn | Xylo Organ | 0 | 110 | 00 | 6E | |
| | RockOrgn | Rock Organ | 0 | 111 | 00 | 6F | |

| Group | Display | Voice Name | Data Dec | | Data Hex | | |
|----------|-----------------|-----------------------------|------------------|-----|----------|-----|----|
| | | | MSB | LSB | MSB | LSB | |
| Ethnic | Sitr | Sitar 1 | 0 | 115 | 00 | 73 | |
| | SitrOct | Sitar 2 | 0 | 122 | 00 | 7A | |
| | Banjo | Banjo | 0 | 116 | 00 | 74 | |
| | Kalimba | Kalimba | 0 | 123 | 00 | 7B | |
| | Mandolin | Mandolin | 0 | 117 | 00 | 75 | |
| | Shamisen | Shamisen | 0 | 118 | 00 | 76 | |
| | Tsugaru | Tsugaru Shamisen | 0 | 124 | 00 | 7C | |
| | Koto | Koto | 0 | 119 | 00 | 77 | |
| | Taisho1 | Taisho Koto 1 (Benkei) | 0 | 120 | 00 | 78 | |
| | Taisho2 | Taisho Koto 2 (Ran Soprano) | 0 | 125 | 00 | 7D | |
| | Taisho3 | Taisho Koto 3 (Ran TypeII) | 0 | 121 | 00 | 79 | |
| | Taisho4 | Taisho Koto 4 (Ran Alto) | 0 | 126 | 00 | 7E | |
| | Bagpipe | Bagpipe | 0 | 127 | 00 | 7F | |
| | Shanai | Shanai | 1 | 4 | 01 | 04 | |
| | Fiddle | Fiddle | 1 | 0 | 01 | 00 | |
| | Kokyu | Kokyu | 1 | 5 | 01 | 05 | |
| | Hichiriki | Hichiriki | 1 | 1 | 01 | 01 | |
| | Shyo | Shyo | 1 | 6 | 01 | 06 | |
| | Shinobue | Shinobue | 1 | 2 | 01 | 02 | |
| | Nohkan | Nohkan | 1 | 7 | 01 | 07 | |
| | Shakuhach | Shakuhachi | 1 | 3 | 01 | 03 | |
| | Strings & Choir | Vlin | Violin | 1 | 22 | 01 | 16 |
| | | VlinVib. | Violin Vibrato | 1 | 29 | 01 | 1D |
| | | SlowVlin | Slow Violin | 1 | 35 | 01 | 23 |
| | | Viola | Viola | 1 | 23 | 01 | 17 |
| | | Cello | Cello | 1 | 24 | 01 | 18 |
| | | CeloVib. | Cello Vibrato | 1 | 30 | 01 | 1E |
| | | StroStr1 | Stereo Strings 1 | 1 | 25 | 01 | 19 |
| | | StroStr2 | Stereo Strings 2 | 1 | 31 | 01 | 1F |
| | | Strg1 | BBD Strings | 1 | 26 | 01 | 1A |
| | | DullStr1 | Dull BBD Strings | 1 | 32 | 01 | 20 |
| | | Strg2 | Strings | 1 | 27 | 01 | 1B |
| | | DullStr2 | Dull Strings | 1 | 33 | 01 | 21 |
| | | SlowStrg | Slow Strings | 1 | 38 | 01 | 26 |
| DetStrg | | Detuned Strings | 1 | 39 | 01 | 27 | |
| PizzStrg | | Pizzicato Strings | 1 | 42 | 01 | 2A | |
| TremStrg | | Tremolo Strings | 1 | 43 | 01 | 2B | |
| Orchestr | | Orchestra | 1 | 44 | 01 | 2C | |
| OrchHit | | Orchestra Hit | 1 | 37 | 01 | 25 | |
| SynStr1 | | Synth Strings 1 | 1 | 45 | 01 | 2D | |
| SynStr2 | | Synth Strings 2 | 1 | 49 | 01 | 31 | |
| SynStr3 | | Synth Strings 3 | 1 | 46 | 01 | 2E | |
| OrchHarp | | Orchestral Harp | 1 | 36 | 01 | 24 | |
| OrgnHarp | | Organ Harp | 1 | 41 | 01 | 29 | |
| ChurChor | | Church Choir | 1 | 28 | 01 | 1C | |
| AahChor | | Aah Choir | 1 | 34 | 01 | 22 | |
| SlowChor | | Slow Choir | 1 | 40 | 01 | 28 | |
| SynVox | | Synth Voice | 1 | 48 | 01 | 30 | |
| DooVox | | Doo Voice | 1 | 47 | 01 | 2F | |
| BopVox | | Bop Voice | 1 | 50 | 01 | 32 | |
| Brass | | Trpt | Trumpet 1 | 1 | 51 | 01 | 33 |
| | | BritTrpt | Trumpet 2 | 1 | 58 | 01 | 3A |
| | | SlowTrpt | Slow Trumpet | 1 | 52 | 01 | 34 |
| | | MuteTrpt | Muted Trumpet | 1 | 59 | 01 | 3B |
| | | Trombone | Trombone 1 | 1 | 53 | 01 | 35 |
| | SynTrbn | Trombone 2 | 1 | 60 | 01 | 3C | |
| | MelwTrbn | Trombone 3 | 1 | 54 | 01 | 36 | |
| | BrasSect | Brass Section 1 | 1 | 55 | 01 | 37 | |
| | Bras&Tp. | Brass Section 2 | 1 | 61 | 01 | 3D | |
| | BrasFall | Brass Fall Down | 1 | 62 | 01 | 3E | |
| | BrasOct | Octave Brass | 3 | 25 | 03 | 19 | |
| | FrHrSect | French Horns | 1 | 56 | 01 | 38 | |
| | FrHnClos | French Horn Closed | 1 | 57 | 01 | 39 | |
| | FrHnOpen | French Horn Open | 1 | 64 | 01 | 40 | |
| | FlugHom | Flugel Horn | 1 | 63 | 01 | 3F | |
| | SynBrs1 | Synth Brass 1 | 1 | 65 | 01 | 41 | |
| | SynBrs2 | Synth Brass 2 | 1 | 66 | 01 | 42 | |
| | SynBrs3 | Synth Brass 3 | 1 | 68 | 01 | 44 | |
| | SynBrs4 | Synth Brass 4 | 1 | 69 | 01 | 45 | |
| | AnaBrs1 | Analog Brass 1 | 1 | 67 | 01 | 43 | |
| | AnaBrs2 | Analog Brass 2 | 1 | 70 | 01 | 46 | |

| Group | Display | Voice Name | Data Dec | | Data Hex | | |
|-----------|-------------|----------------------|-------------------------|-----|----------|-----|----|
| | | | MSB | LSB | MSB | LSB | |
| Sax | SprnSax | Soprano Sax | 1 | 71 | 01 | 47 | |
| | SpSxVb | Soprano Sax Vibrato | 1 | 77 | 01 | 4D | |
| | AltoSaxf | Alto Sax f | 1 | 72 | 01 | 48 | |
| | AltoSaxp | Alto Sax p | 1 | 78 | 01 | 4E | |
| | TenrSaxf | Tenor Sax f | 1 | 73 | 01 | 49 | |
| | TnSxVb | Tenor Sax Vibrato | 1 | 79 | 01 | 4F | |
| | OvbrSax | Overblown Sax | 1 | 74 | 01 | 4A | |
| | TnSxVI | Tenor Sax Velocity | 1 | 80 | 01 | 50 | |
| | TenrSxp1 | Tenor Sax p 1 | 1 | 75 | 01 | 4B | |
| | TenrSxp2 | Tenor Sax p 2 (XT) | 1 | 81 | 01 | 51 | |
| | BarSax | Baritone Sax | 1 | 76 | 01 | 4C | |
| | Oboe | Oboe | 1 | 82 | 01 | 52 | |
| | EnglHorn | English Horn | 1 | 85 | 01 | 55 | |
| | Bassoon | Bassoon | 1 | 83 | 01 | 53 | |
| | Clarinet | Clarinet | 1 | 84 | 01 | 54 | |
| | SlowCla. | Slow Clarinet | 1 | 86 | 01 | 56 | |
| | Flute | Flut1 | Flute 1 | 1 | 88 | 01 | 58 |
| | | TremFlut | Flute 2 (Tremolo Flute) | 1 | 87 | 01 | 57 |
| | | BrthFlut | Flute 3 (Breathy Flute) | 1 | 93 | 01 | 5D |
| | | Flut2 | Flute 4 (XT) | 1 | 94 | 01 | 5E |
| Piccolo | | Piccolo | 1 | 89 | 01 | 59 | |
| Recorder | | Recorder 1 | 1 | 90 | 01 | 5A | |
| Recorderf | | Recorder 2 | 1 | 95 | 01 | 5F | |
| PanFlut | | Pan Flute | 1 | 91 | 01 | 5B | |
| BotBlow | | Bottle Blow | 1 | 96 | 01 | 60 | |
| Whistle | | Whistle | 1 | 92 | 01 | 5C | |
| Ocarina | | Ocarina | 1 | 97 | 01 | 61 | |
| Synth | | SqrLead | Square Lead | 1 | 98 | 01 | 62 |
| | | SawLead | Saw Lead | 1 | 105 | 01 | 69 |
| | | Dr.Solo | Dr.Solo | 1 | 117 | 01 | 75 |
| | CalliopLd | Calliope Lead | 1 | 99 | 01 | 63 | |
| | ChiffLead | Chiffer Lead | 1 | 106 | 01 | 6A | |
| | ChangLd | Charang Lead | 1 | 112 | 01 | 70 | |
| | VoxLead | Voice Lead | 1 | 118 | 01 | 76 | |
| | 5thLead | Fifth Lead | 1 | 100 | 01 | 64 | |
| | Bass&Ld | Bass & Lead | 1 | 107 | 01 | 6B | |
| | BsLdVel | Bass & Lead Velocity | 3 | 26 | 03 | 1A | |
| | NewAge | New Age Pad | 1 | 101 | 01 | 65 | |
| | WarmPad | Warm Pad | 1 | 108 | 01 | 6C | |
| | Polysyn. | Polysynth Pad | 1 | 113 | 01 | 71 | |
| | ChorPad | Choir Pad | 1 | 119 | 01 | 77 | |
| | BowdPad | Bowed Pad | 1 | 114 | 01 | 72 | |
| | MettPad | Metal Pad | 1 | 120 | 01 | 78 | |
| | HaloPad | Halo Pad | 1 | 102 | 01 | 66 | |
| | SweepPad | Sweep Pad | 1 | 109 | 01 | 6D | |
| | IceRain | Ice Rain | 1 | 103 | 01 | 67 | |
| | Sndtrak | Soundtrack | 1 | 110 | 01 | 6E | |
| | Crystal | Crystal | 1 | 104 | 01 | 68 | |
| | SynMalt | Synth Mallet | 1 | 111 | 01 | 6F | |
| | Atmspher | Atmosphere | 1 | 115 | 01 | 73 | |
| | Bright | Brightness | 1 | 121 | 01 | 79 | |
| | Goblin | Goblin | 1 | 116 | 01 | 74 | |
| | EchoDrop | Echo Drops | 1 | 122 | 01 | 7A | |
| | EchoBell | Echo Bell | 2 | 0 | 02 | 00 | |
| | EchoPan | Echo Pan | 2 | 4 | 02 | 04 | |
| Sci-Fi | Sci-Fi | 1 | 127 | 01 | 7F | | |
| Square | Square | 1 | 123 | 01 | 7B | | |
| Sine | Sine Wave | 1 | 125 | 01 | 7D | | |
| Saw | Saw | 2 | 1 | 02 | 01 | | |
| Step8 | Step 8 | 1 | 124 | 01 | 7C | | |
| Step4 | Step 4 | 2 | 2 | 02 | 02 | | |
| WhitNois | White Noise | 1 | 126 | 01 | 7E | | |
| PinkNois | Pink Noise | 2 | 3 | 02 | 03 | | |

| Group | Display | Voice Name | Data Dec | | Data Hex | |
|----------|--------------------------|-----------------|----------|-----|----------|-----|
| | | | MSB | LSB | MSB | LSB |
| Bass | AcosBas1 | Acoustic Bass 1 | 2 | 5 | 02 | 05 |
| | AcosBas2 | Acoustic Bass 2 | 2 | 12 | 02 | 0C |
| | FngrBas1 | Finger Bass 1 | 2 | 6 | 02 | 06 |
| | FngrBas2 | Finger Bass 2 | 2 | 13 | 02 | 0D |
| | PickBass | Picked Bass | 2 | 7 | 02 | 07 |
| | FrtlesBs | Fretless Bass | 2 | 14 | 02 | 0E |
| | SlapBas1 | Slap Bass 1 | 2 | 8 | 02 | 08 |
| | SlapBas2 | Slap Bass 2 | 2 | 15 | 02 | 0F |
| | SynBas1 | Synth Bass 1 | 2 | 9 | 02 | 09 |
| | SynBas2 | Synth Bass 2 | 2 | 10 | 02 | 0A |
| | SynBas3 | Synth Bass 3 | 2 | 16 | 02 | 10 |
| | SynBas4 | Synth Bass 4 | 2 | 17 | 02 | 11 |
| | SynBas5 | Synth Bass 101 | 2 | 23 | 02 | 17 |
| | RubrBass | Rubber Bass | 2 | 24 | 02 | 18 |
| | Contrbas | Contrabass | 2 | 11 | 02 | 0B |
| | Tuba | Tuba | 2 | 18 | 02 | 12 |
| | Timpani | Timpani | 2 | 21 | 02 | 15 |
| | Fagotto | Fagotto | 2 | 26 | 02 | 1A |
| | GambPdl | Gamba Pedal | 2 | 25 | 02 | 19 |
| | EX Bass | EX Bass | 2 | 22 | 02 | 16 |
| Taisho5 | Taisho Koto 5 (Ran Bass) | 2 | 20 | 02 | 14 | |
| Drum Set | Standad1 | Standard1Set | 2 | 27 | 02 | 1B |
| | Standad2 | Standard2Set | 2 | 28 | 02 | 1C |
| | Room | RoomSet | 2 | 29 | 02 | 1D |
| | Power | PowerSet | 2 | 30 | 02 | 1E |
| | Electro | ElectronicSet | 2 | 31 | 02 | 1F |
| | Analog | AnalogSet | 2 | 32 | 02 | 20 |
| | Jazz | JazzSet | 2 | 33 | 02 | 21 |
| | Brush | BrushSet | 2 | 34 | 02 | 22 |
| | Orchestr | OrchestraSet | 2 | 35 | 02 | 23 |
| | SFX | SFXSet | 2 | 36 | 02 | 24 |
| Japanese | JapaneseSet | 2 | 37 | 02 | 25 | |
| Custom | | Custom 1_1 | 1 | 8 | 01 | 08 |
| | | Custom 1_2 | 1 | 9 | 01 | 09 |
| | | ... | ... | ... | ... | ... |
| | | Custom 1_14 | 1 | 21 | 01 | 15 |
| | | Custom 2_1 | 2 | 38 | 02 | 26 |
| | | Custom 2_2 | 2 | 39 | 02 | 27 |
| | | ... | ... | ... | ... | ... |
| | | Custom 2_14 | 2 | 51 | 02 | 33 |

ex: Change Upper 2 to Celesta via MIDI...

Bx 63 01 62 41 06 00 26 14

(x=Control Channel)

*2 サウンドエフェクト

| Data LSB | | Sound | Playback |
|----------|-----|------------------|----------|
| Dec | Hex | | |
| 0 | 00 | SeaShore | Loop |
| 1 | 01 | Rain | Loop |
| 2 | 02 | Thunder | One-shot |
| 3 | 03 | Wind | Loop |
| 4 | 04 | Stream | Loop |
| 5 | 05 | Bubble | Loop |
| 6 | 06 | Bird Tweet 1 | One-shot |
| 7 | 07 | Bird Tweet 2 | One-shot |
| 8 | 08 | Dog Bark | One-shot |
| 9 | 09 | Horse Gallop | One-shot |
| 10 | 0A | Telephone Ring 1 | Loop |
| 11 | 0B | Telephone Ring 2 | Loop |
| 12 | 0C | Door Creaking | One-shot |
| 13 | 0D | Door Slam | One-shot |
| 14 | 0E | Scratch | One-shot |
| 15 | 0F | Wind Chime | Loop |
| 16 | 10 | Helicopter | Loop |
| 17 | 11 | Car-Engine | Loop |
| 18 | 12 | Car-Stop | One-shot |
| 19 | 13 | Car-Pass | One-shot |
| 20 | 14 | Car-Crash | One-shot |
| 21 | 15 | Siren | Loop |
| 22 | 16 | Train | Loop |
| 23 | 17 | Jet Plane | Loop |
| 24 | 18 | Star Ship | One-shot |
| 25 | 19 | Burst Noise | Loop |
| 26 | 1A | Applause | Loop |
| 27 | 1B | Laughing | One-shot |
| 28 | 1C | Scream | One-shot |
| 29 | 1D | Punch | One-shot |
| 30 | 1E | Heart Beat | One-shot |
| 31 | 1F | Foot Step | One-shot |
| 32 | 20 | Gun Shot | One-shot |
| 33 | 21 | Machine Gun | Loop |
| 34 | 22 | Laser Gun | One-shot |
| 35 | 23 | Explosion | One-shot |
| 36 | 24 | Tubler Bell | One-shot |
| 37 | 25 | Organ Chime | One-shot |
| 38 | 26 | Church Bell | One-shot |
| 39 | 27 | Gong Shot | One-shot |
| 40 | 28 | Cymbal Roll | Loop |
| 41 | 29 | SL Whistle | One-shot |
| 42 | 2A | Steam Locomotive | Loop |
| 43 | 2B | Crsh Cymbal | One-shot |

*3 マニュアルドラム

| Data LSB | | Voice |
|----------|-----|--------------------|
| Dec | Hex | |
| 0 | 00 | Bass Drum |
| 1 | 01 | Power Bass Drum |
| 2 | 02 | Concert Bass Drum |
| 3 | 03 | Jazz Bass Drum |
| 4 | 04 | Analog Bass Drum |
| 5 | 05 | Rim Shot |
| 6 | 06 | Snar Drum |
| 7 | 07 | Gated Snare Drum |
| 8 | 08 | Concert Snare Drum |
| 9 | 09 | Jazz Snare Drum |
| 10 | 0A | Analog Snare Drum |
| 11 | 0B | Brush Slap |
| 12 | 0C | Brush Swirl |
| 13 | 0D | Hand Clap |
| 14 | 0E | Ride Cymbal |
| 15 | 0F | Concert Cymbal |
| 16 | 10 | Crash Cymbal |
| 17 | 11 | Analog Cymbal |
| 18 | 12 | Close Hi-Hat |
| 19 | 13 | High Tom |
| 20 | 14 | Med Tom |
| 21 | 15 | Low Tom |
| 22 | 16 | Tambourine |
| 23 | 17 | Castanet |
| 24 | 18 | Wood Blok |
| 25 | 19 | Cabassa |
| 26 | 1A | Sleigh Bell |

*6 フットスイッチ

| Data MSB | | Function |
|----------|-----|------------------|
| Dec | Hex | |
| 0 | 00 | Off |
| 1 | 01 | Leslie Fast/Slow |
| 2 | 02 | Sustain Upper |
| 3 | 03 | Sustain Lower |
| 4 | 04 | Damper Upper |
| 5 | 05 | Damper Lower |
| 6 | 06 | Damper Pedal |
| 7 | 07 | Prochord |
| 8 | 08 | Glide |
| 9 | 09 | Start/Stop |
| 10 | 0A | Fill In 1 |
| 11 | 0B | Fill In 2 |
| 12 | 0C | Manual Drum |
| 13 | 0D | Preset Foward |
| 14 | 0E | Preset Backward |

ex: Set Sound Effect to Door Slam on MIDI...

Bx 63 00 62 0F 06 00 26 0D
(x=Control Channel)

ex: Set Manual Drum Lower to Jazz Snare Drum on MIDI...

Bx 63 08 62 10 06 00 26 09
(x=Control Channel)

ex: Set Foot Switch 1 to Fill In 1 on MIDI...

Bx 63 00 62 02 06 0A
(x=Control Channel)

*5 スタイルリスト

| Category | Style Name | Data Dec | | Data Hex | |
|----------------|--------------------|----------|-----|----------|-----|
| | | MSB | LSB | MSB | LSB |
| Waltz | Traditional Waltz | 0 | 0 | 00 | 00 |
| | Orchestral Waltz | 0 | 1 | 00 | 01 |
| | Jazz Waltz | 0 | 2 | 00 | 02 |
| | Organ Waltz | 0 | 3 | 00 | 03 |
| | Theatre Waltz | 0 | 4 | 00 | 04 |
| | European Walz | 0 | 5 | 00 | 05 |
| | String Waltz | 0 | 6 | 00 | 06 |
| | Classical Waltz | 0 | 7 | 00 | 07 |
| | Viennese Waltz | 0 | 8 | 00 | 08 |
| | Musette Waltz | 0 | 9 | 00 | 09 |
| | German Waltz | 0 | 10 | 00 | 0A |
| | Slow Waltz | 0 | 11 | 00 | 0B |
| Country | Country Guitar | 0 | 12 | 00 | 0C |
| | Country Shuffle | 0 | 13 | 00 | 0D |
| | Country Rock | 0 | 14 | 00 | 0E |
| | Bluegrass | 0 | 15 | 00 | 0F |
| | Hoedown | 0 | 16 | 00 | 10 |
| Jazz | Jazz Organ | 0 | 17 | 00 | 11 |
| | Accordion Quintet | 0 | 18 | 00 | 12 |
| | Afro Jazz | 0 | 19 | 00 | 13 |
| | 5/4 | 0 | 20 | 00 | 14 |
| Ballad | Swing Ballad | 0 | 21 | 00 | 15 |
| | BigBand Ballad | 0 | 22 | 00 | 16 |
| | Orchestra Strings | 0 | 23 | 00 | 17 |
| | Organ Ballad | 0 | 24 | 00 | 18 |
| | Pop Vocal | 0 | 25 | 00 | 19 |
| 8Beat | 6/8 Ballad Strings | 0 | 26 | 00 | 1A |
| | 8Beat Soft Rock | 0 | 27 | 00 | 1B |
| | 8Beat Ballad | 0 | 28 | 00 | 1C |
| | 8Beat Rock | 0 | 29 | 00 | 1D |
| Dance | 8Beat EasyRock | 0 | 30 | 00 | 1E |
| | Disco Samba | 0 | 31 | 00 | 1F |
| | 60's Dance | 0 | 32 | 00 | 20 |
| | Acid Jazz | 0 | 33 | 00 | 21 |
| | 90's Disco | 0 | 34 | 00 | 22 |
| | House | 0 | 35 | 00 | 23 |
| | 90's House | 0 | 36 | 00 | 24 |
| | Modern Dance | 0 | 37 | 00 | 25 |
| Ground Beat | 0 | 38 | 00 | 26 | |
| Bossa Nova | Bossa Nova | 0 | 39 | 00 | 27 |
| | Jazz Bossa Nova | 0 | 40 | 00 | 28 |
| | Organ Bossa | 0 | 41 | 00 | 29 |
| | Modern Bossa Nova | 0 | 42 | 00 | 2A |
| | Latin Vocal | 0 | 43 | 00 | 2B |
| | Simple Bossa Nova | 0 | 44 | 00 | 2C |
| Rhumba | Rhumba | 0 | 45 | 00 | 2D |
| | Orchestral Rhumba | 0 | 46 | 00 | 2E |
| | Organ Rhumba | 0 | 47 | 00 | 2F |
| March/Polka | March 4/4 | 0 | 48 | 00 | 30 |
| | March 6/8 | 0 | 49 | 00 | 31 |
| | Concert March 4/4 | 0 | 50 | 00 | 32 |
| | ConcertMarch 6/8 | 0 | 51 | 00 | 33 |
| | Organ March | 0 | 52 | 00 | 34 |
| | Polka | 0 | 53 | 00 | 35 |
| | Fast Polka | 0 | 54 | 00 | 36 |
| Custom Style 1 | Party Polka | 0 | 55 | 00 | 37 |
| | Custom Style 1_1 | 1 | 40 | 01 | 28 |
| | Custom Style 1_2 | 1 | 41 | 01 | 29 |
| | Custom Style 1_8 | 1 | 47 | 01 | 2F |

ex: Set Style to March 6/8 on MIDI...

Bx 63 00 62 12 06 00 26 31 (x=Control Channel)

| Category | Style Name | Data Dec | | Data Hex | | |
|-----------------------|--------------------|------------------|-----|----------|-----|----|
| | | MSB | LSB | MSB | LSB | |
| Trad | Hawaiian | 0 | 56 | 00 | 38 | |
| | Baroque | 0 | 57 | 00 | 39 | |
| | Classical Piano | 0 | 58 | 00 | 3A | |
| | Bolero 4/4 | 0 | 59 | 00 | 3B | |
| | Broadway Show | 0 | 60 | 00 | 3C | |
| | Console Riser | 0 | 61 | 00 | 3D | |
| | Jumpin Dixie | 0 | 62 | 00 | 3E | |
| | Foxtrot | 0 | 63 | 00 | 3F | |
| | Quickstep | 0 | 64 | 00 | 40 | |
| | Organ Quick Step | 0 | 65 | 00 | 41 | |
| | Dance Band Foxtrot | 0 | 66 | 00 | 42 | |
| | Gypsy | 0 | 67 | 00 | 43 | |
| | Gospel 2beat | 0 | 68 | 00 | 44 | |
| | Gentle Reggae | 0 | 69 | 00 | 45 | |
| | Reggae Shuffle | 0 | 70 | 00 | 46 | |
| | Swing | Dance Band Swing | 0 | 71 | 00 | 47 |
| Bigband Boogie Woogie | | 0 | 72 | 00 | 48 | |
| Combo Swing | | 0 | 73 | 00 | 49 | |
| Medium Swing | | 0 | 74 | 00 | 4A | |
| Fast Swing | | 0 | 75 | 00 | 4B | |
| European Swing | | 0 | 76 | 00 | 4C | |
| Blues | | 0 | 77 | 00 | 4D | |
| Contemp Blues | | 0 | 78 | 00 | 4E | |
| Rock | Hard Rock | 0 | 79 | 00 | 4F | |
| | Euro Rock | 0 | 80 | 00 | 50 | |
| | 70's Rock Guitar | 0 | 81 | 00 | 51 | |
| | Rock'n Roll | 0 | 82 | 00 | 52 | |
| | Rock Shuffle | 0 | 83 | 00 | 53 | |
| | Rock 5ths | 0 | 84 | 00 | 54 | |
| 16Beat | Rock Ballad | 0 | 85 | 00 | 55 | |
| | 16Beat Funk | 0 | 86 | 00 | 56 | |
| | 16Beat Ballad | 0 | 87 | 00 | 57 | |
| Samba | 16Beat Dance | 0 | 88 | 00 | 58 | |
| | Samba | 0 | 89 | 00 | 59 | |
| | Jazz Samba | 0 | 90 | 00 | 5A | |
| | Latin Samba | 0 | 91 | 00 | 5B | |
| Latin | Samba Lite | 0 | 92 | 00 | 5C | |
| | Cha Cha Cugat | 0 | 93 | 00 | 5D | |
| | Mambo Tito | 0 | 94 | 00 | 5E | |
| | Contemp Salsa | 0 | 95 | 00 | 5F | |
| | Chamambo | 0 | 96 | 00 | 60 | |
| | Rhumambo | 0 | 97 | 00 | 61 | |
| Disk Style 1 | Tango Bandoneon | 0 | 98 | 00 | 62 | |
| | Continental Tango | 0 | 99 | 00 | 63 | |
| | Disk Style 1_1 | 1 | 0 | 01 | 00 | |
| | Disk Style 1_2 | 1 | 1 | 01 | 01 | |
| | ... | ... | ... | ... | ... | |
| | Disk Style 1_16 | 1 | 15 | 01 | 0F | |
| | Disk Style 2 | Disk Style 2_1 | 1 | 16 | 01 | 10 |
| | | Disk Style 2_2 | 1 | 17 | 01 | 11 |
| ... | | ... | ... | ... | ... | |
| User Rhythm | Disk Style 2_16 | 1 | 31 | 01 | 1F | |
| | User Rhythm 1 | 1 | 32 | 01 | 20 | |
| | User Rhythm 2 | 1 | 33 | 01 | 21 | |
| | ... | ... | ... | ... | ... | |
| Custom Style 2 | User Rhythm 8 | 1 | 39 | 01 | 27 | |
| | Custom Style 2_1 | 1 | 48 | 01 | 30 | |
| | Custom Style 2_2 | 1 | 49 | 01 | 31 | |
| | ... | ... | ... | ... | ... | |
| | Custom Style 2_8 | 1 | 55 | 01 | 37 | |

*4 プロコードタイプチャート

| | Prochord Type | Harmony Style | Voicing | Data MSB | |
|----------------------------|-----------------|---|---|----------|-----|
| | | | | Dec | Hex |
| BASIC ProChord Types | Closed | Adds full chords to your right hand single finger melody, when a chord is being played with the left hand. | Currdnt registration (incl. Drawbars & Voices) | 0 | 00 |
| | Open | This creates the Open or Theatre-Organ style harmony. This is most effective when used on the upper half of the Upper Keyboard. | | 1 | 01 |
| | Prochord Type | Harmony Style | Voicing | | |
| HARMONIC ProChord Types | Duet | 2-part | Flute Nylon-String Guitar | 2 | 02 |
| | Block 1 | 5-part closed | Vibraphone Acoustic Grand Piano Jazz Guitar | 3 | 03 |
| | Block 2 | 5-part closed | Clarinet Alto Sax p2 Alto Sax f | 4 | 04 |
| | Big Band Saxes | 5-part open | Alto Sax f Tenor Sax f Baritone Sax | 5 | 05 |
| | Big Band | 5-part open | Trumpet Alto Sax f Trombone Tenor Sax f | 6 | 06 |
| | Small Combo 1 | 3-part closed | Acoustic Grand Piano Vibraphone Jazz Guitar | 7 | 07 |
| | Small Combo 2 | 3-part closed | Flute 2 Acoustic Grand Piano Jazz Guitar | 8 | 08 |
| | Small Combo 3 | 3-part closed | Trumpet Clarinet Trombone | 9 | 09 |
| | Theatre | 3-part open | Theatre Organ 1 | 10 | 0A |
| | Hymn | 4-part hymn voicing | Church Organ 1 | 11 | 0B |
| | Quartet 1 | 4-part open | Trumpet Alto Sax f Trombone Tenor Sax | 12 | 0C |
| | Quartet 2 | 4-part open, wide voicing | Trumpet Alto Sax f Trombone Baritone Sax | 13 | 0D |
| | Jazz Brass | 5-part voicing in forths | Trumpet Trombone | 14 | 0E |
| | Strings | 4-part closed with octave melody | Strings 2 | 15 | 0F |
| | Harmonic Chimes | Chime Voicing | Organ Harp | 16 | 10 |
| | Old Time | 4-part block voicing | Acoustic Grand Piano | 17 | 11 |
| | 4-part Closed | 4-part Closed | Accordion 0/1/0 | 18 | 12 |
| 5-part Open | 5-part Open | Theatre Organ 2 | 19 | 13 | |

ex: ProChord type to Big Band on MIDI...

Bx 63 01 62 14 06 06

(x=Control Channel)

プリセットとネームリスト

| Program Change | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|-----------------|------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|------------------|
| Bank Select MSB | Bank | Preset | | | | | | | | | | | |
| 0 | 1 | Cancel | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | Rhythm Preset |
| 1 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 3 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 4 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 5 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 6 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 7 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 8 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 9 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 10 | | | | | | | | | | | | |

ex: Change to Bank 5- Preset 3 on MIDI... Bx 00 04 Cx 03 (x=Control Channel)

ドロージャーデータリスト

Control code: Upper 50h(80)
Lower 51h(81)
Pedal 52h(82)

Data Map:

| Level | Upper/Lower | | | | | | | | | Pedal | |
|-------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | 16' | 5 1/3' | 8' | 4' | 2 2/3' | 2' | 1 3/5' | 1 1/3' | 1' | 16' | 8' |
| 0 | 00h(0) | 09h(9) | 12h(18) | 1Bh(27) | 24h(36) | 2Dh(45) | 36h(54) | 3Fh(63) | 48h(72) | 00h(0) | 09h(9) |
| 1 | 01h(1) | 0Ah(10) | 13h(19) | 1Ch(28) | 25h(37) | 2Eh(46) | 37h(55) | 40h(64) | 49h(73) | 01h(1) | 0Ah(10) |
| 2 | 02h(2) | 0Bh(11) | 14h(20) | 1Dh(29) | 26h(38) | 2Fh(47) | 38h(56) | 41h(65) | 4Ah(74) | 02h(2) | 0Bh(11) |
| 3 | 03h(3) | 0Ch(12) | 15h(21) | 1Eh(30) | 27h(39) | 30h(48) | 39h(57) | 42h(66) | 4Bh(75) | 03h(3) | 0Ch(12) |
| 4 | 04h(4) | 0Dh(13) | 16h(22) | 1Fh(31) | 28h(40) | 31h(49) | 3Ah(58) | 43h(67) | 4Ch(76) | 04h(4) | 0Dh(13) |
| 5 | 05h(5) | 0Eh(14) | 17h(23) | 20h(32) | 49h(41) | 32h(50) | 3Bh(59) | 44h(68) | 4Dh(77) | 05h(5) | 0Eh(14) |
| 6 | 06h(6) | 0Fh(15) | 18h(24) | 21h(33) | 2Ah(42) | 33h(51) | 3Ch(60) | 45h(69) | 4Eh(78) | 06h(6) | 0Fh(15) |
| 7 | 07h(7) | 10h(16) | 19h(25) | 22h(34) | 2Bh(43) | 34h(52) | 3Dh(61) | 46h(70) | 4Fh(79) | 07h(7) | 10h(16) |
| 8 | 08h(8) | 11h(17) | 1Ah(26) | 23h(35) | 2Ch(44) | 35h(53) | 3Eh(62) | 47h(71) | 50h(80) | 08h(8) | 11h(17) |

ex: Set Lower 8' to level 7 on MIDI... Bx 51 19 (x=Drawbar control Channel)

パート 1 - 16 ボイスリスト

PC# : Program Number VR# : Bank Select MSB (cc#0)

V : 2 ボイスを使う T : 非クロマチックスケール M : "Modulation" コントロールが無効

| PC# | VR# | INSTRUMENTNAME | V | T | M |
|-----|-----|---------------------------|---|---|---|
| 001 | 000 | Acoustic Grand Piano | | | |
| | 001 | Octave Piano 1 | * | | |
| | 002 | Octave Piano 2 | * | | |
| | 008 | Stereo Grand Piano | * | | |
| | 016 | Dark Piano | | | |
| 002 | 000 | Bright Piano | | | |
| | 008 | Bright Stereo Grand Piano | * | | |
| 003 | 000 | Electric Grand Piano | | | |
| 004 | 000 | Honkey-Tonk Piano | * | | |
| 005 | 000 | Electric Piano 1 | | | |
| | 001 | Tremolo Electric Piano | * | | |
| | 008 | Detuned Electric Piano 1 | * | | |
| | 016 | Elec.Piano 1 Velocity | * | | |
| | 024 | 60's Electric Piano | | | |
| 006 | 000 | Electric Piano 2 | | | |
| | 008 | Detuned Electric Piano 2 | * | | |
| | 016 | Elec.Piano 2 Velocity | * | | |
| 007 | 000 | Harpsichord | | | |
| | 008 | Coupled Harpsichord | * | | |
| 008 | 000 | Clavi | | | |
| 009 | 000 | Celesta | | | |
| 010 | 000 | Glockenspiel | | | |
| | 001 | Glockenspiel X-66 | | | |
| 011 | 000 | Music Box | | | |
| 012 | 000 | Vibraphone | | | |
| | 001 | Vibraphone 2 | * | | |
| 013 | 000 | Marimba | | | |
| 014 | 000 | Xylophone | | | |
| 015 | 000 | Tubular-Bell | | | |
| | 001 | Organ Chime | | | |
| | 008 | Church Bell | | | |
| | 016 | Carillon | | | |
| 016 | 000 | Dulcimer | | | |
| 017 | 000 | Drawbar Organ | | | |
| | 001 | Drawbar 1 | | | |
| | 002 | Drawbar 2 | | | |
| | 003 | Drawbar 3 | | | |
| | 004 | Drawbar 4 | | | |
| | 005 | Drawbar 5 | | | |
| | 006 | Drawbar 6 | | | |
| | 007 | Drawbar 7 | | | |
| | 008 | Detuned Electric Organ 1 | * | | |
| | 009 | Drawbar 8 | | | |
| | 010 | Drawbar 9 | | | |
| | 011 | Drawbar 10 | | | |
| | 012 | Drawbar 11 | | | |
| | 013 | Drawbar 12 | | | |
| | 014 | Drawbar 13 | | | |
| | 015 | Drawbar 14 | | | |
| | 016 | 60's Organ | | | |
| | 017 | Drawbar 15 | | | |
| | 018 | Drawbar 16 | | | |
| | 019 | Drawbar 17 | | | |
| | 020 | Drawbar 18 | | | |
| | 021 | Drawbar 19 | | | |
| | 022 | Drawbar 20 | | | |
| | 023 | Drawbar 21 | | | |
| | 024 | Drawbar 22 | | | |
| | 025 | Drawbar 23 | | | |
| | 026 | Drawbar 24 | | | |
| | 027 | Drawbar 25 | | | |
| | 028 | Drawbar 26 | | | |
| | 029 | Drawbar 27 | | | |
| | 030 | Drawbar 28 | | | |
| | 032 | Drawbar+60's Organ | * | | |

| PC# | VR# | INSTRUMENTNAME | V | T | M |
|-----|-----|-----------------------------------|---|---|---|
| 018 | 000 | Percussive Organ | | | * |
| | 001 | Drawbar 1p | * | | |
| | 002 | Drawbar 2p | * | | |
| | 008 | Detuned Electric Organ 2 | * | | |
| | 032 | Xylo Organ | * | | |
| | 033 | Novachord sus (Analog) | | | |
| | 034 | Novachord dcy (Analog) | | | |
| | 035 | Vox Humana (Analog) | | | |
| | 036 | Diapason (Analog) | | | |
| | 037 | Violin (Analog) | | | |
| | 038 | Cello (Analog) | | | |
| | 039 | Trumpet (Analog) | | | |
| | 040 | Horn (Analog) | | | |
| | 041 | Kinura (Analog) | | | |
| | 042 | Theater Organ 1 (Analog) | | | |
| | 043 | Theater Organ 2 (Analog) | | | |
| | 044 | Theater Organ 3 (Analog) | | | |
| | 045 | EX Bass | | | |
| 019 | 000 | Rock Organ | * | | * |
| 020 | 000 | Church Organ 1 | | | |
| | 001 | Positive Organ 1 | | | |
| | 002 | Positive Organ 2 | | | |
| | 008 | Church Organ 2 | * | | |
| | 016 | Church Organ 3 | * | | |
| | 024 | Diapason (Pipe) | | | |
| | 025 | Mixture III (Pipe) | | | |
| | 026 | Mixture IV (Pipe) | | | |
| | 027 | Gamba (Pipe) | | | |
| | 028 | Oboe (Pipe) | | | |
| | 029 | Trompette (Pipe) | | | |
| | 030 | Bourdon 1 (Pipe) | | | |
| | 031 | Bourdon 2 (Pipe) | | | |
| | 032 | Gamba Pedal (Pipe) | | | |
| | 033 | Fagotto (Pipe) | | | |
| | 034 | Principal 8&4 (Pipe) | * | | |
| | 035 | Principal Chorus & Mixture (Pipe) | * | | |
| | 036 | Stopped Flute 8&4 (Pipe) | * | | |
| | 037 | Stopped Flute 8&2 2/3 (Pipe) | * | | |
| | 038 | Stopped Flute 8&2 (Pipe) | * | | |
| | 039 | Gamba Celeste (Pipe) | * | | |
| 021 | 000 | Reed Organ | | | |
| 022 | 000 | Accordion 0/1/1 | * | | |
| | 001 | Accordion 1/0/0 | | | |
| | 002 | Accordion 0/0/1 | | | |
| | 003 | Accordion 1/0/1 | * | | |
| | 004 | Accordion 1/1/1 | * | | |
| | 005 | Accordion 1/2/1 | * | | |
| | 006 | Accordion 1/2/0 | * | | |
| | 007 | Accordion 1/1/0 | * | | |
| | 008 | Accordion 0/2/0 | * | | |
| 023 | 000 | Harmonica | | | |
| | 001 | Melodion | | | |
| 024 | 000 | Accordion 0/2/1 | * | | |
| | 001 | Accordion 0/1/0 | | | |
| | 002 | Musette | * | | |
| 025 | 000 | Nylon-String Guitar | | | |
| | 008 | Ukulele | | | |
| 026 | 000 | Steel-String Guitar | | | |
| | 008 | 12 Strings Guitar | * | | |
| | 009 | Nylon+Steel Guitar | * | | |
| | 016 | Mandolin | | | |
| 027 | 000 | Jazz Guitar | | | |
| | 008 | Hawaiian Guitar | | | * |

| PC# | VR# | INSTRUMENT NAME | V | T | M |
|-----|------------------|-------------------------|---|---|---|
| 028 | 000 | Clean Guitar | | | |
| | 008 | Chorus Guitar | * | | |
| | 024 | Wah Guitar | | | |
| 029 | 000 | Muted Guitar | | | |
| | 001 | Country Guitar | | | |
| | 002 | Muted Distortion Guitar | | | |
| 008 | Funk Guitar | | | | |
| 030 | 000 | Overdrive Guitar | | | |
| 031 | 000 | Distortion Guitar | | | |
| | 008 | Feedback Guitar | * | | |
| | 016 | Power Guitar | | | |
| 024 | Rock Rhythm | * | | | |
| 032 | 000 | Guitar Harmonics | | | |
| | 008 | Guitar Feedback | | | |
| 033 | 000 | Acoustic Bass 1 | | | |
| | 001 | Acoustic Bass 2 | | | |
| 034 | 000 | Finger Bass 1 | | | |
| | 001 | Finger Bass 2 | | | |
| 035 | 000 | Picked Bass | | | |
| 036 | 000 | Fretless Bass | | | |
| 037 | 000 | Slap Bass 1 | | | |
| 038 | 000 | Slap Bass 2 | | | |
| 039 | 000 | Synth Bass 1 | | | |
| | 001 | Synth Bass 101 | | | |
| | 008 | Synth Bass 3 | * | | |
| 040 | 000 | Synth Bass 2 | * | | |
| | 008 | Synth Bass 4 | * | | |
| | 016 | Rubber Bass | * | | |
| 041 | 000 | Violin | | | |
| | 002 | Violin Vibrato | | | |
| | 008 | Slow Violin | | | |
| 042 | 000 | Viola | | | |
| 043 | 000 | Cello | | | |
| | 002 | Cell Vibrato | | | |
| 044 | 000 | Contrabass | | | |
| 045 | 000 | Tremolo Strings | | | * |
| 046 | 000 | Pizzicato Strings | | | |
| 047 | 000 | Orchestral Harp | | | |
| | 001 | Organ Harp | | | |
| 048 | 000 | Timpani | | | |
| 049 | 000 | Strings | | | |
| | 001 | Dull Strings | | | |
| | 002 | Detuned Strings | * | | |
| | 008 | Orchestra | * | | |
| | 016 | Stereo Strings 1 | * | | |
| 017 | Stereo Strings 2 | * | | | |
| 050 | 000 | Slow Strings | | | |
| 051 | 000 | Synth Strings 1 | | | |
| | 001 | BBD Strings | | | |
| | 002 | Dull BBD Strings | | | |
| | 008 | Synth Strings 3 | * | | |
| 052 | 000 | Synth Strings 2 | * | | |
| 053 | 000 | Aah Choir | | | |
| | 001 | Church Choir | | | |
| | 032 | Slow Choir | | | |
| 054 | 000 | Doo Voice | | | |
| | 001 | Bop Voice | | | |
| 055 | 000 | Synth Voice | * | | |
| 056 | 000 | Orchestra Hit | | | |
| 057 | 000 | Trumpet | | | |
| | 001 | Trumpet 2 | | | |
| | 002 | Slow Trumpet | | | |
| 058 | 000 | Trombone | | | |
| | 001 | Trombone 2 | * | | |
| | 002 | Trombone 3 | | | |
| 059 | 000 | Tuba | | | |

| PC# | VR# | INSTRUMENT NAME | V | T | M |
|-----|----------------|----------------------|---|---|---|
| 060 | 000 | Muted Trumpet | | | |
| 061 | 000 | French Horns | * | | |
| | 001 | Flugel Horn | | | |
| | 008 | Fr Horn Closed | | | |
| 009 | Fr Horn Open | | | | |
| 062 | 000 | Brass Section 1 | | | |
| | 001 | Brass Fall Down | | | |
| | 008 | Brass Section 2 | * | | |
| | 024 | Octave Brass | * | | |
| 063 | 000 | Synth Brass 1 | * | | |
| | 008 | Synth Brass 3 | * | | |
| | 016 | Analog Brass 1 | * | | |
| 064 | 000 | Synth Brass 2 | * | | |
| | 008 | Synth Brass 4 | | | |
| 016 | Analog Brass 2 | * | | | |
| 065 | 000 | Soprano Sax | | | |
| | 003 | Soprano Sax Vibrato | | | |
| 066 | 000 | Alto Sax f | | | |
| | 008 | Alto Sax p | | | |
| 067 | 000 | Tenor Sax f | | | |
| | 001 | Overblown Sax | | | |
| | 002 | Tenor Sax Velocity | * | | |
| | 003 | Tenor Sax Vibrato | | | |
| | 008 | Tenor Sax p 1 | | | |
| 009 | Tenor Sax p 2 | | | | |
| 068 | 000 | Baritone Sax | | | |
| 069 | 000 | Oboe | | | |
| 070 | 000 | English Horn | | | |
| 071 | 000 | Bassoon | | | |
| 072 | 000 | Clarinet | | | |
| | 001 | Slow Clarinet | | | |
| 073 | 000 | Piccolo | | | |
| 074 | 000 | Flute 1 | | | |
| | 001 | Flute 2 | | | |
| | 002 | Flute 3 | * | | |
| | 003 | Flute 4 | | | |
| 075 | 000 | Recorder | | | |
| | 001 | Recorder 2 | * | | |
| 076 | 000 | Pan Flute | | | |
| 077 | 000 | Bottle Blow | * | | |
| 078 | 000 | Shakuhachi | * | | |
| 079 | 000 | Whistle | | | |
| 080 | 000 | Ocarina | | | |
| 081 | 000 | Square Lead | * | | |
| | 001 | Square | | | |
| | 008 | Sine Wave | | | |
| 082 | 000 | Saw Lead | * | | |
| | 001 | Saw | | | |
| | 002 | Step 8 | | | |
| | 003 | Step 4 | | | |
| 008 | Dr.Solo | * | | | |
| 083 | 000 | Calliope Lead | * | | |
| 084 | 000 | Chiffer Lead | * | | |
| 085 | 000 | Charang Lead | * | | |
| 086 | 000 | Voice Lead | * | | |
| 087 | 000 | Fifth Lead | * | | |
| 088 | 000 | Bass & Lead | * | | |
| | 002 | Bass & Lead Velocity | * | | |
| 089 | 000 | New Age Pad | * | | |
| 090 | 000 | Warm Pad | * | | |
| 091 | 000 | Polysynth Pad | * | | |
| 092 | 000 | Choir Pad | * | | |
| 093 | 000 | Bowed Pad | * | | |
| 094 | 000 | Metal Pad | * | * | |
| 095 | 000 | Halo Pad | * | | |
| 096 | 000 | Sweep Pad | * | * | * |

| PC# | VR# | INSTRUMENT NAME | V | T | M |
|-----|-----|---------------------------|---|---|---|
| 097 | 000 | Ice Rain | * | | |
| 098 | 000 | Sound Track | * | | * |
| 099 | 000 | Crystal | * | | |
| | 001 | Synth Mallet | | | |
| 100 | 000 | Atmosphere | * | | |
| 101 | 000 | Brightness | * | | |
| 102 | 000 | Goblin | * | | |
| 103 | 000 | Echo Drops | | | |
| | 001 | Echo Bell | * | | |
| | 002 | Echo Pan | * | | |
| 104 | 000 | Sci-Fi | * | | |
| 105 | 000 | Sitar | | | |
| | 001 | Sitar 2 | * | | |
| 106 | 000 | Banjo | | | |
| 107 | 000 | Shamisen | | | |
| | 001 | Tsugaru Jamisen | * | | |
| | 002 | Shamisen 2 | | | |
| | 003 | Biwa | | | |
| 108 | 000 | Koto | | | |
| | 002 | 17 Gen | | | |
| | 003 | Tohgoto | | | |
| | 008 | Taisho Koto (Benkei) | * | | |
| | 009 | Taisho Koto (Ran Soprano) | * | | |
| | 010 | Taisho Koto (Ran TYPEII) | * | | |
| | 011 | Taisho Koto (Ran Alto) | * | | |
| | 012 | Taisho Koto (Ran Bass) | | | |
| 109 | 000 | Kalimba | | | |
| 110 | 000 | Bag Pipe | | | |
| 111 | 000 | Fiddle | | | |
| 112 | 000 | Shanai | | | |
| | 016 | Hichiriki | | | |
| | 017 | Shyo | | | |
| | 018 | Shinobue | | | |
| | 019 | Nohkan | | | |
| | 020 | Kokyū | | | |
| 113 | 000 | Tinkle Bell | * | | |
| 114 | 000 | Agogo | | | |
| 115 | 000 | Steel Drum | | | |
| 116 | 000 | Wood Block | | * | |
| | 001 | Mokugyo | | * | |
| | 008 | Castanet | | * | |
| 117 | 000 | Taiko Drum | | * | |
| | 001 | Shime Daiko | | * | |
| | 002 | Gong | | * | |
| | 008 | Concert Bass Drum | | * | |
| 118 | 000 | Melodic Tom | | * | |
| | 008 | Melodic Tom 2 | | * | |
| 119 | 000 | Synth Tom | | * | |
| | 008 | Analog Tom | | * | |
| 120 | 000 | Reverse Cymbal 1 | | * | * |
| | 001 | Reverse Cymbal 2 | | * | * |
| 121 | 000 | Guitar Fret Noise | | | |
| | 001 | Guitar Cutting Noise | | * | |
| | 002 | String Slap | | * | |
| 122 | 000 | Breath Noise | | | |
| | 001 | Flute Key Click | | * | |
| 123 | 000 | Seashore | | * | * |
| | 001 | Rain | | * | * |
| | 002 | Thunder | | * | |
| | 003 | Wind | | * | * |
| | 004 | Stream | | * | * |
| | 005 | Bubble | | * | * |
| | 016 | Pink Noise | | * | |
| | 017 | White Noise | | * | |
| 124 | 000 | Bird Tweet | | * | * |
| | 001 | Dog | | * | |
| | 002 | Horse Gallop | | * | |
| | 003 | Bird Tweet 2 | | * | * |

| PC# | VR# | INSTRUMENT NAME | V | T | M |
|-----|-----|------------------|---|---|---|
| 125 | 000 | Telephone Ring 1 | | * | |
| | 001 | Telephone Ring 2 | | * | |
| | 002 | Door Cleaking | | * | |
| | 003 | Door Slam | | * | |
| | 004 | Scratch | | * | |
| | 005 | Wind Chime | * | * | |
| 126 | 000 | Helicopter | | * | |
| | 001 | Car Engine | | * | |
| | 002 | Car Stop | | * | |
| | 003 | Car Pass | | * | |
| | 004 | Car Crash | * | * | |
| | 005 | Siren | | * | |
| | 006 | Train / SL | | * | |
| | 007 | Jet Plane | * | * | * |
| | 008 | Star Ship | * | * | * |
| | 009 | Burst Noise | * | * | * |
| 127 | 000 | Applause | * | * | |
| | 001 | Laughing | | * | |
| | 002 | Scream | | * | |
| | 003 | Punch | | * | |
| | 004 | Heart Beat | | * | |
| | 005 | Foot Step | | * | |
| 128 | 000 | Gun Shot | | * | |
| | 001 | Machine Gun | | * | |
| | 002 | Laser Gun | | * | |
| | 003 | Explosion | * | * | |

| | | | | | |
|-----|-----|-------------|---|---|---|
| 001 | 125 | Custom 1-1 | - | - | - |
| 002 | 125 | Custom 1-2 | - | - | - |
| 003 | 125 | Custom 1-3 | - | - | - |
| 004 | 125 | Custom 1-4 | - | - | - |
| 005 | 125 | Custom 1-5 | - | - | - |
| 006 | 125 | Custom 1-6 | - | - | - |
| 007 | 125 | Custom 1-7 | - | - | - |
| 008 | 125 | Custom 1-8 | - | - | - |
| 009 | 125 | Custom 1-9 | - | - | - |
| 010 | 125 | Custom 1-10 | - | - | - |
| 011 | 125 | Custom 1-11 | - | - | - |
| 012 | 125 | Custom 1-12 | - | - | - |
| 013 | 125 | Custom 1-13 | - | - | - |
| 014 | 125 | Custom 1-14 | - | - | - |
| 001 | 126 | Custom 2-1 | - | - | - |
| 002 | 126 | Custom 2-2 | - | - | - |
| 003 | 126 | Custom 2-3 | - | - | - |
| 004 | 126 | Custom 2-4 | - | - | - |
| 005 | 126 | Custom 2-5 | - | - | - |
| 006 | 126 | Custom 2-6 | - | - | - |
| 007 | 126 | Custom 2-7 | - | - | - |
| 008 | 126 | Custom 2-8 | - | - | - |
| 009 | 126 | Custom 2-9 | - | - | - |
| 010 | 126 | Custom 2-10 | - | - | - |
| 011 | 126 | Custom 2-11 | - | - | - |
| 012 | 126 | Custom 2-12 | - | - | - |
| 013 | 126 | Custom 2-13 | - | - | - |
| 014 | 126 | Custom 2-14 | - | - | - |

ドラムセットリスト

PC: プログラム番号 (ドラムセット番号)

BLANK: STANDARD1セットと同じパーカッション

----: 無音

*: 2ボイスを使う (他のパーカッションは1ボイスを使う)

[EXC]: 同じ番号どうしは同時に鳴らない。

| NOTE NUMBER | | | PC 001 | PC 002 | PC 009 | PC 017 | PC 025 | PC 026 |
|-------------|-----|------|-------------------------|--------------------|-------------------|-----------------|-----------------|---------------------|
| No. | KBD | MIDI | STANDARD 1 Set | STANDARD 2 Set | ROOM Set | POWER Set | ELECTRONIC Set | ANALOG Set |
| 24 | 0 | 1 C | Tabla Te | | | | | Analog CHH 2 [EXC7] |
| 25 | 0 | 1 C# | Tabla Tun | | | | | ---- |
| 26 | 0 | 1 D | Tabla Ge | | | | | Analog OHH 2 [EXC7] |
| 27 | 0 | 1 D# | High Q | | | | | |
| 28 | 0 | 1 E | Slap | | | | | |
| 29 | 0 | 1 F | Scratch Push | | | | | |
| 30 | 0 | 1 F# | Scratch Pull | | | | | |
| 31 | 0 | 1 G | Sticks | | | | | |
| 32 | 0 | 1 G# | Square Click | | | | | |
| 33 | 0 | 1 A | Metronome Click | | | | | |
| 34 | 0 | 1 A# | Metronome Bell | | | | | |
| 35 | 0 | 1 B | Standard 1 Kick Drum 2 | Std 2 Kick Drum 2 | Room Kick Drum 2 | | | Analog BD 2 |
| 36 | 1 | 2 C | Standard 1 Kick Drum 1 | Std 2 Kick Drum 1 | Room Kick Drum 1 | MONDO Kick | Elec BD | Analog BD 1 |
| 37 | 1 | 2 C# | Side Stick | | | | | Analog Rim Shot |
| 38 | 1 | 2 D | Standard 1 Snare Drum 1 | Std 2 Snare Drum 1 | Room Snare Drum 1 | Gated SD | Elec SD | Analog SD 1 |
| 39 | 1 | 2 D# | Hand Clap | | | | | |
| 40 | 1 | 2 E | Standard 1 Snare Drum 2 | Std 2 Snare Drum 2 | Room Snare Drum 2 | | Gated SD | Analog SD 2 |
| 41 | 1 | 2 F | Low Tom 2 | | Room Low Tom 2 | Room Low Tom 2 | Elec Low Tom 2 | Analog Low Tom 2 |
| 42 | 1 | 2 F# | Closed Hi-hat [EXC1] | | | | | Analog CHH 1 [EXC1] |
| 43 | 1 | 2 G | Low Tom 1 | | Room Low Tom 1 | Room Low Tom 1 | Elec Low Tom 1 | Analog Low Tom 1 |
| 44 | 1 | 2 G# | Pedal Hi-hat [EXC1] | | | | | Analog CHH 1 [EXC1] |
| 45 | 1 | 2 A | Mid Tom 2 | | Room Mid Tom 2 | Room Mid Tom 2 | Elec Mid Tom 2 | Analog Mid Tom 2 |
| 46 | 1 | 2 A# | Open Hi-hat [EXC1] | | | | | Analog OHH 1 [EXC1] |
| 47 | 1 | 2 B | Mid Tom 1 | | Room Mid Tom 1 | Room Mid Tom 1 | Elec Mid Tom 1 | Analog Mid Tom 1 |
| 48 | 2 | 3 C | High Tom 2 | | Room High Tom 2 | Room High Tom 2 | Elec High Tom 2 | Analog High Tom 2 |
| 49 | 2 | 3 C# | Crash Cymbal 1 | | | | | Analog Cymbal |
| 50 | 2 | 3 D | High Tom 1 | | Room High Tom 1 | Room High Tom 1 | Elec High Tom 1 | Analog High Tom 1 |
| 51 | 2 | 3 D# | Ride Cymbal 1 | | | | | |
| 52 | 2 | 3 E | Chinese Cymbal | | | | Revs. Cymbal * | |
| 53 | 2 | 3 F | Ride Bell | | | | | |
| 54 | 2 | 3 F# | Tambourine | | | | | |
| 55 | 2 | 3 G | Splash Cymbal | | | | | |
| 56 | 2 | 3 G# | Cowbell | | | | | Analog Cowbell |
| 57 | 2 | 3 A | Crash Cymbal 2 | | | | | |
| 58 | 2 | 3 A# | Vibra-slap | | | | | |
| 59 | 2 | 3 B | Ride Cymbal 2 | | | | | |
| 60 | 3 | 4 C | High Bongo | | | | | |
| 61 | 3 | 4 C# | Low Bongo | | | | | |
| 62 | 3 | 4 D | Mute High Conga | | | | | Analog Hi Conga |
| 63 | 3 | 4 D# | Open High Conga | | | | | Analog Mid Conga |
| 64 | 3 | 4 E | Low Conga | | | | | Analog Low Conga |
| 65 | 3 | 4 F | High Timbale | | | | | |
| 66 | 3 | 4 F# | Low Timbale | | | | | |
| 67 | 3 | 4 G | High Agogo | | | | | |
| 68 | 3 | 4 G# | Low Agogo | | | | | |
| 69 | 3 | 4 A | Cabasa | | | | | |
| 70 | 3 | 4 A# | Maracas | | | | | Analog Maracas |
| 71 | 3 | 4 B | Short Hi Whistle [EXC2] | | | | | |
| 72 | 4 | 5 C | Long Low Whistle [EXC2] | | | | | |
| 73 | 4 | 5 C# | Short Guiro [EXC3] | | | | | |
| 74 | 4 | 5 D | Long Guiro [EXC3] | | | | | |
| 75 | 4 | 5 D# | Claves | | | | | Analog Claves |
| 76 | 4 | 5 E | High Wood Block | | | | | |
| 77 | 4 | 5 F | Low Wood Block | | | | | |
| 78 | 4 | 5 F# | Mute Cuica [EXC4] | | | | | |
| 79 | 4 | 5 G | Open Cuica [EXC4] | | | | | |
| 80 | 4 | 5 G# | Mute Triangle [EXC5] | | | | | |
| 81 | 4 | 5 A | Open Triangle [EXC5] | | | | | |
| 82 | 4 | 5 A# | Shaker | | | | | |
| 83 | 4 | 5 B | Jingle Bell | | | | | |
| 84 | 5 | 6 C | Bell Tree | | | | | |
| 85 | 5 | 6 C# | Castanets | | | | | |
| 86 | 5 | 6 D | Mute Surdo [EXC6] | | | | | |
| 87 | 5 | 6 D# | Open Surdo [EXC6] | | | | | |
| 88 | 5 | 6 E | | | | | | |
| 89 | 5 | 6 F | | | | | | |
| 90 | 5 | 6 F# | | | | | | |
| 91 | 5 | 6 G | Suzu | | | | | |
| 92 | 5 | 6 G# | Finger Snap | | | | | |
| 93 | 5 | 6 A | Snare Drum Roll | | | | | |

| NOTE NUMBER | | | PC 033 | PC 041 | PC 049 | PC 057 | PC 065 |
|-------------|-----|------|-----------|----------------|----------------------|-----------------------------|--------------|
| No. | KBD | MIDI | JAZZ Set | BRUSH Set | ORCHESTRA Set | SFX Set | JAPANESE Set |
| 27 | 0 | 1 D# | | | Closed Hi-hat [EXC1] | --- | --- |
| 28 | 0 | 1 E | | | Pedal Hi-hat [EXC1] | --- | --- |
| 29 | 0 | 1 F | | | Open Hi-hat [EXC1] | --- | --- |
| 30 | 0 | 1 F# | | | Ride Cymbal | --- | --- |
| 31 | 0 | 1 G | | | | --- | --- |
| 32 | 0 | 1 G# | | | | --- | --- |
| 33 | 0 | 1 A | | | | --- | --- |
| 34 | 0 | 1 A# | | | | --- | --- |
| 35 | 0 | 1 B | Jazz BD 2 | Jazz BD 2 | Concert BD 2 | --- | --- |
| 36 | 1 | 2 C | Jazz BD 1 | Jazz BD 1 | Concert BD 1 | --- | --- |
| 37 | 1 | 2 C# | | | | --- | --- |
| 38 | 1 | 2 D | Jazz SD 1 | Brush Tap | Concert SD | --- | --- |
| 39 | 1 | 2 D# | | Brush Slap | Castanets | High Q | --- |
| 40 | 1 | 2 E | Jazz SD 2 | Brush Swirl | Concert SD | Slap | --- |
| 41 | 1 | 2 F | | Br. Low Tom 2 | Timpani F | Scratch Push [EXC7] | --- |
| 42 | 1 | 2 F# | | | Timpani F# | Scratch Pull [EXC7] | --- |
| 43 | 1 | 2 G | | Br. Low Tom 1 | Timpani G | Sticks | --- |
| 44 | 1 | 2 G# | | | Timpani G# | Square Click | --- |
| 45 | 1 | 2 A | | Br. Mid Tom 2 | Timpani A | Metronome Click | --- |
| 46 | 1 | 2 A# | | | Timpani A# | Metronome Bell | --- |
| 47 | 1 | 2 B | | Br. Mid Tom 1 | Timpani B | Guitar sliding finger | --- |
| 48 | 2 | 3 C | | Br. High Tom 2 | Timpani c | Guitar cutting noise (down) | --- |
| 49 | 2 | 3 C# | | | Timpani c# | Guitar cutting noise (up) | --- |
| 50 | 2 | 3 D | | Br. High Tom 1 | Timpani d | String slap of double bass | Ha |
| 51 | 2 | 3 D# | | | Timpani d# | Fl. Key Click | Iyah |
| 52 | 2 | 3 E | | | Timpani e | Laughing | Iyoh |
| 53 | 2 | 3 F | | | Timpani f | Screaming | --- |
| 54 | 2 | 3 F# | | | | Punch | --- |
| 55 | 2 | 3 G | | | | Heart Beat | Ohdaiko 1 |
| 56 | 2 | 3 G# | | | | Footsteps 1 | Dohuchi |
| 57 | 2 | 3 A | | | Concert Cymbal 2 | Footsteps 2 | Ohdaiko 1 |
| 58 | 2 | 3 A# | | | | Applause * | Dohuchi |
| 59 | 2 | 3 B | | | Concert Cymbal 1 | Door Creaking | Ohdaiko 2 |
| 60 | 3 | 4 C | | | | Door | Ohdaiko 2 |
| 61 | 3 | 4 C# | | | | Scratch | Dohuchi |
| 62 | 3 | 4 D | | | | Windchime * | Shimedaiko 1 |
| 63 | 3 | 4 D# | | | | Car-Engine | Hyoushigi |
| 64 | 3 | 4 E | | | | Car-Stop | Shimedaiko 1 |
| 65 | 3 | 4 F | | | | Car-Pass | Shimedaiko 2 |
| 66 | 3 | 4 F# | | | | Car-Crash * | Hyoushigi |
| 67 | 3 | 4 G | | | | Siren | Shimedaiko 2 |
| 68 | 3 | 4 G# | | | | Train | Hyoushigi |
| 69 | 3 | 4 A | | | | Jetplane * | Kakko |
| 70 | 3 | 4 A# | | | | Helicopter | Suzu |
| 71 | 3 | 4 B | | | | Starship * | Kakko |
| 72 | 4 | 5 C | | | | Gun Shot | Ohkawa |
| 73 | 4 | 5 C# | | | | Machine Gun | Suzu |
| 74 | 4 | 5 D | | | | Lasergun | Ohkawa |
| 75 | 4 | 5 D# | | | | Explosion * | Suzu |
| 76 | 4 | 5 E | | | | Dog | Ohkawa |
| 77 | 4 | 5 F | | | | Horse-Gallop | Kotsuzumi Po |
| 78 | 4 | 5 F# | | | | Birds * | Atarigane 1 |
| 79 | 4 | 5 G | | | | Rain * | Kotsuzumi Po |
| 80 | 4 | 5 G# | | | | Thunder | Atarigane 1 |
| 81 | 4 | 5 A | | | | Wind | Kotsuzumi Po |
| 82 | 4 | 5 A# | | | | Seashore * | Atarigane 1 |
| 83 | 4 | 5 B | | | | Stream * | --- |
| 84 | 5 | 6 C | | | | Bubble * | Ohdaiko 3 |
| 85 | 5 | 6 C# | | | | --- | Daibyoushi |
| 86 | 5 | 6 D | | | | One | Okedoh |
| 87 | 5 | 6 D# | | | | --- | Kotsuzumi Ta |
| 88 | 5 | 6 E | | --- | Applause * | Two | Mokugyo |
| 89 | 5 | 6 F | | --- | | Three | Atarigane 2 |
| 90 | 5 | 6 F# | | --- | | --- | Konchiki 1 |
| 91 | 5 | 6 G | | --- | | Hit It | Konchiki 2 |
| 92 | 5 | 6 G# | | --- | | --- | Konchiki 3 |
| 93 | 5 | 6 A | | --- | | Snare Drum Roll | Sohban |
| 94 | 5 | 6 A# | | --- | | --- | Bonsho |
| 95 | 5 | 6 B | | --- | | --- | Dora |

仕様

| | |
|----------------------|---|
| Keyboard | 61 keys with Initial touch |
| Display | 240 x 64 dots graphics LCD with LED back light |
| Drawbars | 9-Upper, 9-Lower, 2-Bass |
| Percussion | 2nd, 3rd, Soft, Fast |
| Sound generator | PCM Voices: VASE II Drawbars Voices: VASE II & DRB |
| Maximum polyphony | PCM Voices:32, Drawbar Voices: 32 |
| Drawbar Effects | Leslie: 2 Rotor Digital Leslie- On/Off, Fast/Slow Vibrato/Chorus: V1, V2, V3, C1, C2, C3 |
| Effects | Reverb: 8 types, Chorus: 8 types S.E.S. (Sound Expansion System) Echo for Mic Input |
| PCM Voices | 275 preset voices + 28 user voices, 11 Drum-sets Upper compatible of GM (General MIDI Level 1). |
| Drawbar Voices | B-Type, Mellow, Brite (Upper and Lower) Normal, Muted (Pedal) |
| Equalizer | 2 Sections (Rhythm & Voice, Drawbar) 4 elements Parametric |
| Presets | 10 Banks (10 Presets each), 100 Rhythm Presets |
| Rhythms & Styles | 100 Preset Styles 2 x 16 Disk Style, 2 x 8 Custom Style, 8 User Rhythm Variation A, B, C, D, Auto Vari, Start/Stop, Touch Start, Intro/Ending, Fill-in 1, Fill-in 2, Autoband 1, Autoband 2, Autobass, Memory Touch Tempo Easy Play System, Manual Drum, Sound Effect |
| Pro Chord | 20 |
| Controls | Split, Transpose, Pitch bend, Modulation wheel, Tempo wheel, Demo, Display contrast |
| Volume | Master Volume |
| Disk drive | 3.5 inch 2DD/2HD Song, Set-up, Style, Upgrade |
| External memory slot | CompactFlash Memory Card (8M-128M Bytes) Song, Set-up, Style, Whole |
| Sequencer | 3 modes (Easy, Multi, 16 tracks) SMF (Standard MIDI File) |
| Terminals | Line out: L(mono)/R, Line in: L/R, Mic: In/Out, Mic volume, Echo volume, Headphone, Expression pedal (EXP-100F) with Foot switch, Foot switch, External Leslie 11-pin, Leslie volume, Computer interface(PC1, PC2, Mac), MIDI: IN1/IN2/OUT/THRU |
| Speakers | 2 x Woofer 13cm, 2 x Tweeter 5cm |
| Amplifier Output | 2 x 50W |
| Dimension | W x H x D: 1098mm x 235mm x 481mm |
| Weight | 35kg |
| Accessories | Music-rest, AC-Cord |
| Options | MIDI Keyboard XLK-1 MIDI Pedalboard XPK-100 Expression Pedal EXP-100F Stand STE-1 Foot Switch FS-9H |